

太宰府まちづくり市民意識調査

報告書

令和2年3月

太宰府市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	5
第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 小学校区（問5）	10
7. 居住年数（問6）	11
8. 住居形態（問7）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	13
2. 継続居住意向（問9）	14
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	15
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	17
第3節 日頃の暮らし、行動について	19
1. 子育て支援の推進（問10）	19
2. 高齢者福祉の推進	20
（1）生きがいの実感（問11）	20
（2）高齢者福祉サービスの充実度（問12）	21
（3）高齢者福祉サービスの充実度に対する理由（問12付問1）	22
3. 障がい福祉の推進	26
（1）障がい福祉サービスの充実度（問13）	26
（2）公共施設の弱者への配慮（問14）	27
（3）民間施設の弱者への配慮（問15）	28
（4）交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況（問16）	29
4. 地域福祉の推進（問17）	30
5. 生涯健康づくりの推進	31
（1）健康状態（問18）	31
（2）健康増進の取り組み状況（問19）	32
（3）健康診査の受診状況（問20）	33
（4）受診した健康診査の項目（問20付問1）	34
（5）市が健康診査（集団健診）を行った場合の利用意向（問21）	35
（6）健康推進事業の認知度（問22）	36
（7）健康推進事業の参加率（問22付問1）	37

6. 防災・消防体制の整備充実 -----	38
(1) 災害に対する日頃の備え (問 23)	38
(2) 消防団の認知度 (問 24)	40
7. 防犯・暴力追放運動の推進 -----	41
(1) 防犯面の安心度 (問 25)	41
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 25 付問 1)	42
8. 安全な消費生活の推進 -----	45
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 26)	45
(2) 被害や不安に感じた内容 (問 26 付問 1)	46
9. 人権を尊重するまちづくりの推進 -----	47
(1) 人権侵害の経験の有無 (問 27)	47
(2) 人権侵害の内容 (問 27 付問 1)	48
(3) 太宰府市での人権の尊重 (問 28)	49
10. 男女共同参画の推進 -----	50
(1) 固定的な役割分担に対する考え方 (問 29)	50
(2) DVを受けた経験がある場合の相談経験 (問 30)	51
11. 生涯学習の推進 -----	52
(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 31)	52
(2) 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 32)	53
12. 文化芸術の振興 (問 33) -----	54
13. 生活環境の向上 -----	55
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 34)	55
(2) 地域の環境マナーの順守状況 (問 35)	56
(3) 地域の美化活動への参加状況 (問 36)	57
14. 自然共生社会の構築 -----	58
(1) 市内の自然の豊かさについて (問 37)	58
(2) 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について (問 38)	59
15. 循環型社会の構築 -----	60
(1) 生ごみ堆肥化の取り組み状況 (問 39)	60
(2) 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況 (問 40)	61
16. 低炭素社会の構築 (問 41) -----	62
17. 環境教育・学習の推進 (問 42) -----	63
18. 未来に伝える景観づくり -----	64
(1) 市内の自然の美しさに対する評価 (問 43)	64
(2) 市内の歴史的景観の美しさに対する評価 (問 44)	65
(3) 居住地区のまちなみに対する評価 (問 45)	66
19. 計画的なまちづくりの推進 -----	67
(1) 住環境の快適さに対する評価 (問 46)	67
(2) 商業施設等の利便性に対する評価 (問 47)	68
(3) 近くにあると便利だと思ふ施設 (問 47 付問 1)	69
20. 地域交通体系の整備 -----	73
(1) 市内のバスの利便性に対する評価 (問 48)	73
(2) コミュニティバスの利便性に対する評価 (問 48 付問 1)	74
(3) 市内の鉄道の利便性に対する評価 (問 49)	75
(4) 市内の道路の円滑性に対する評価 (問 50)	76
(5) 歩行者環境に対する評価 (問 50 付問 1)	77
(6) 自転車環境に対する評価 (問 50 付問 2)	78
(7) 外出時の移動手段 (問 51)	79

21. 産業の振興（問 52）	80
22. 文化遺産の保存と活用	81
(1) 歴史文化遺産に対する評価（問 53）	81
(2) 歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度（問 54）	82
23. 観光基盤の整備充実	83
(1) 観光客の来訪に対する評価（問 55）	83
(2) 太宰府観光に必要なこと（問 56）	84
24. 国際交流・友好都市交流の推進	85
(1) 市内在住外国人との交流頻度（問 57）	85
(2) 姉妹都市、友好都市の認知度（問 58）	86
(3) 国際交流・友好都市交流で希望する具体的な取り組み（問 59）	88
25. コミュニティ活動等への参加	94
(1) 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況（問 60）	94
(2) ボランティア活動への参加状況（問 61）	95
26. 情報の共有化と活用	96
(1) 市民と行政との情報共有（問 62）	96
(2) 行政情報の接触状況（問 63）	97
(3) 「広報だざいふ」の閲読内容（問 63 付問 1）	100
(4) 「広報だざいふ」の閲読媒体（問 63 付問 2）	102
(5) インターネットの利用状況（問 64）	103
27. 市民のための行政運営	104
(1) 効果的な行政運営に対する評価（問 65）	104
(2) 市職員の対応・姿勢に対する満足度（問 66）	105
28. 太宰府市が行っている施策について	106
(1) 重要度（33 施策）（問 67）	106
(2) 満足度（33 施策）（問 67）	111
(3) 重要度と満足度の相関関係	116
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	117
(5) 平成 30 年度の重要度と満足度の相関関係との比較	118
第 4 節 まちづくりに対する自由意見	120

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1)調査地域

太宰府市全域

(2)調査対象

太宰府市内に居住する 18 歳以上の市民

(3)調査対象者数

1,000 人

(4)抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

(5)調査方法

郵送法（お礼兼督促状 1 回郵送）

(6)調査期間

配布：令和 2 年 2 月 7 日（金）

投函締切：令和 2 年 2 月 21 日（金）

（ただし、2 月 28 日到着分まで有効票とした）

(7)回収状況

有効回収数：524 件（回収率 52.4%）

3. 調査項目

回答者の属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	世帯構成	
	問4	職業	
	問4付問1	通勤・通学先	
	問5	小学校区	
	問6	居住年数	
住みやすさについて	問7	住居形態	
	問8	太宰府市の住みやすさ	
	問9	継続居住意向	
日頃の暮らし、行動について	問9付問1	住み続けたい理由	
	問9付問2	住み続けたくない理由	
	子育て支援の推進	問10	子育て支援の推進
	高齢者福祉の推進	問11	生きがいの実感
		問12	高齢者福祉サービスの充実度
	問12付問1	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由	
障がい福祉の推進	問13	障がい福祉サービスの充実度	
	問14	公共施設の弱者への配慮	
	問15	民間施設の弱者への配慮	
	問16	交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況	
地域福祉の推進	問17	地域福祉の推進	
生涯健康づくりの推進	問18	健康状態	
	問19	健康増進の取り組み状況	
	問20	健康診査の受診状況	
	問20付問1	受診した健康診査の項目	
	問21	市が健康診査（集団健診）を行った場合の利用意向	
	問22	健康推進事業の認知度	
問22付問1	健康推進事業の参加率		
防災・消防体制の整備充実	問23	災害に対する日頃の備え	
防犯・暴力追放運動の推進	問24	消防団の認知度	
	問25	防犯面の安心度	
問25付問1	防犯上危険と思う場所		
安全な消費生活の推進	問26	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
問26付問1	被害や不安に感じた内容		
人権を尊重するまちづくりの推進	問27	人権侵害の経験の有無	
	問27付問1	人権侵害の内容	
問28	太宰府市での人権の尊重		
男女共同参画の推進	問29	固定的な役割分担に対する考え方	
問30	DVを受けた経験がある場合の相談経験		
生涯学習の推進	問31	生涯学習活動の取り組み状況	
問32	運動・スポーツの取り組み頻度		
文化芸術の振興	問33	文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）を行う頻度	
生活環境の向上	問34	自宅周辺の衛生環境	
	問35	地域の環境マナーの順守状況	
	問36	地域の美化活動への参加状況	
自然共生社会の構築	問37	市内の自然の豊かさについて	
	問38	野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について	
循環型社会の構築	問39	生ごみ堆肥化の取り組み状況	
	問40	不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況	
低炭素社会の構築	問41	日頃からの省エネルギー・省資源の活動状況	
環境教育・学習の推進	問42	環境に関する学習会や講演会、イベントへの参加状況	
未来に伝える景観づくり	問43	市内の自然の美しさに対する評価	
	問44	市内の歴史的景観の美しさに対する評価	
	問45	居住地区のまちなみに対する評価	
計画的なまちづくりの推進	問46	住環境の快適さに対する評価	
	問47	商業施設等の利便性に対する評価	
	問47付問1	近くにあると便利だと思う施設	
地域交通体系の整備	問48	市内のバスの利便性に対する評価	
	問48付問1	コミュニティバスの利便性に対する評価	
	問49	市内の鉄道の利便性に対する評価	
	問50	市内の道路の円滑性に対する評価	
	問50付問1	歩行者環境に対する評価	
	問50付問2	自転車環境に対する評価	
問51	外出時の移動手段		
産業の振興	問52	日頃の買い物地域	
文化遺産の保存と活用	問53	歴史文化遺産に対する評価	
	問54	歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度	
観光基盤の整備充実	問55	観光客の来訪に対する評価	
	問56	太宰府観光に必要なこと	
国際交流・友好都市交流の推進	問57	市内在住外国人との交流頻度	
	問58	姉妹都市、友好都市の認知度	
	問59	国際交流・友好都市交流で希望する具体的な取り組み	
コミュニティ活動等への参加	問60	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況	
	問61	ボランティア活動への参加状況	
情報の共有化と活用	問62	市民と行政との情報共有	
	問63	行政情報の接触状況	
	問63付問1	「広報だざいふ」の閲読内容	
	問63付問2	「広報だざいふ」の閲読媒体	
問64	インターネットの利用状況		
市民のための行政運営	問65	効果的な行政運営に対する評価	
	問66	市職員の対応・姿勢に対する満足度	
太宰府市が行っている施策について	問67A	施策の重要度（33施策）	
	問67B	施策の満足度（33施策）	
自由意見			

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N=標本全数
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではH27年度調査、H28年度調査、H29年度調査、H30年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20歳代」は、18歳・19歳を含む。



第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別(問1)

- 回答者の性別は「男性」が42.2%、「女性」が55.0%となっている。

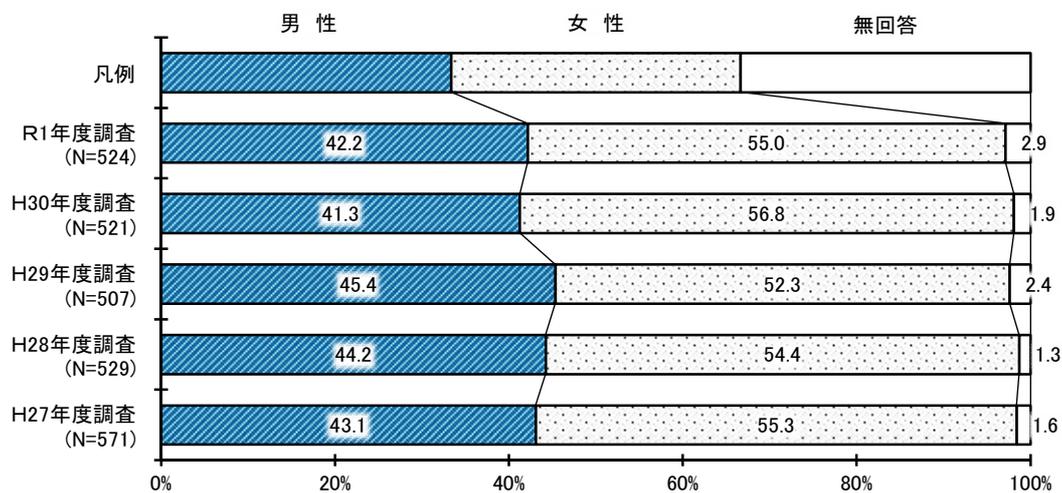
回答者の性別は、「男性」が42.2%、「女性」が55.0%で、女性の方が12.8ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向は変わらない。

年代別にみると、70歳代以上を除き、「女性」の方が「男性」より高くなっており、「20歳代」と「30歳代」は6割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除き、「女性」の方が「男性」より高くなっている。太宰府東小学校区は男女とも同程度（49.1%）となっている。

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		524	42.2	55.0	2.9
年代別	20歳代	39	33.3	66.7	-
	30歳代	47	34.0	66.0	-
	40歳代	104	42.3	54.8	2.9
	50歳代	88	44.3	55.7	-
	60歳代	108	41.7	55.6	2.8
	70歳代以上	132	48.5	47.7	3.8
	無回答	6	-	33.3	66.7
	小学校区別	太宰府小学校区	76	46.1	52.6
太宰府東小学校区		53	49.1	49.1	1.9
太宰府南小学校区		52	30.8	63.5	5.8
水城小学校区		86	43.0	57.0	-
水城西小学校区		61	41.0	57.4	1.6
太宰府西小学校区		79	38.0	59.5	2.5
国分小学校区		76	47.4	48.7	3.9
わからない		31	41.9	58.1	-
無回答		10	30.0	30.0	40.0

2. 年齢(問2)

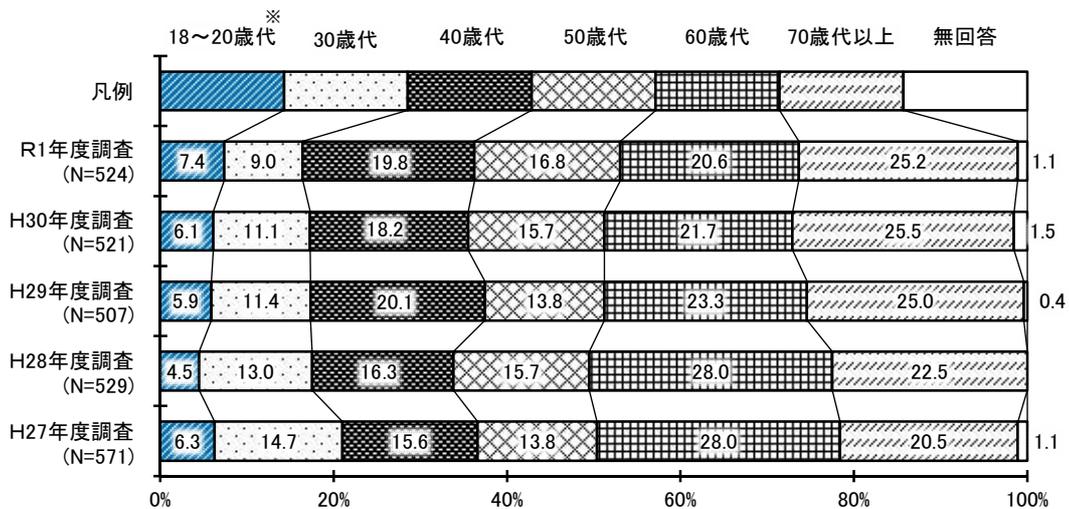
- 回答者の年齢は70歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70歳代以上」(25.2%)が最も高く、次いで「60歳代」(20.6%)、「40歳代」(19.8%)、「50歳代」(16.8%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で「30歳代」「60歳代」の割合は減少傾向にあり、前回調査から「30歳代」は2.1ポイント、「60歳代」1.1ポイント減少している。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、水城小学校区、水城西小学校区を除き、「70歳代以上」が最も高くなっている。一方、太宰府小学校区は「60歳代」(26.3%)が、水城小学校区では「40歳代」(30.2%)が、水城西小学校区では「50歳代」(27.9%)が最も高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中から選びください。(令和2年3月末時点で)



※H27調査までは20歳以上、H28調査以降は18歳以上が調査対象

		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		524	39	47	104	88	108	132	6
		100.0	7.4	9.0	19.8	16.8	20.6	25.2	1.1
小学校区別	太宰府小学校区	76	10.5	11.8	18.4	21.1	26.3	11.8	-
	太宰府東小学校区	53	11.3	5.7	18.9	13.2	20.8	30.2	-
	太宰府南小学校区	52	3.8	19.2	7.7	11.5	19.2	38.5	-
	水城小学校区	86	10.5	8.1	30.2	12.8	19.8	18.6	-
	水城西小学校区	61	4.9	9.8	26.2	27.9	18.0	13.1	-
	太宰府西小学校区	79	5.1	3.8	21.5	10.1	20.3	39.2	-
	国分小学校区	76	5.3	9.2	14.5	14.5	22.4	34.2	-
	わからない	31	9.7	6.5	19.4	35.5	16.1	9.7	3.2
無回答	10	-	-	-	10.0	10.0	30.0	50.0	

3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯（親と子）」が5割以上、「夫婦のみ」の世帯が3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、50歳代以下では「2世代世帯（親と子）」の割合が高い。

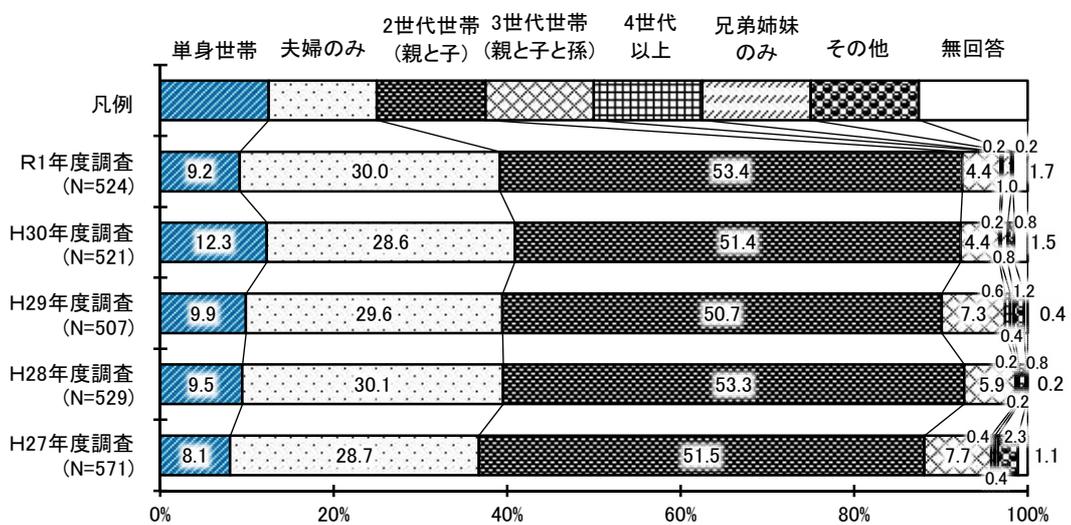
回答者の世帯構成は、「2世代世帯（親と子）」(53.4%)が最も高く、次いで「夫婦のみ」(30.0%)、「単身世帯」(9.2%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

年代別にみると、60歳代以上では、「夫婦のみ」が最も高くなっており、50歳代以下では「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯 (親と子))	(3世代世帯 (親と子と孫))	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		524	48	157	280	23	1	5	1	9
性別	男性	221	10.4	40.3	43.0	5.0	-	0.9	0.5	-
	女性	288	8.7	22.6	61.5	4.2	0.3	1.0	-	1.7
	無回答	15	-	20.0	53.3	-	-	-	-	26.7
年代別	20歳代	39	2.6	10.3	82.1	5.1	-	-	-	-
	30歳代	47	6.4	4.3	87.2	-	-	-	-	2.1
	40歳代	104	7.7	11.5	75.0	3.8	1.0	-	1.0	-
	50歳代	88	6.8	23.9	61.4	6.8	-	1.1	-	-
	60歳代	108	16.7	39.8	36.1	2.8	-	2.8	-	1.9
	70歳代以上	132	9.1	56.8	27.3	6.1	-	0.8	-	-
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	10.5	19.7	57.9	7.9	-	2.6	-	1.3
	太宰府東小学校区	53	5.7	34.0	54.7	5.7	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	52	3.8	44.2	50.0	-	-	1.9	-	-
	水城小学校区	86	16.3	22.1	54.7	4.7	-	-	1.2	1.2
	水城西小学校区	61	3.3	29.5	60.7	3.3	1.6	1.6	-	-
	太宰府西小学校区	79	6.3	38.0	49.4	5.1	-	-	-	1.3
	国分小学校区	76	9.2	31.6	52.6	5.3	-	1.3	-	-
	わからない	31	22.6	25.8	48.4	-	-	-	-	3.2
	無回答	10	-	20.0	30.0	-	-	-	-	50.0

4. 職業(問4)

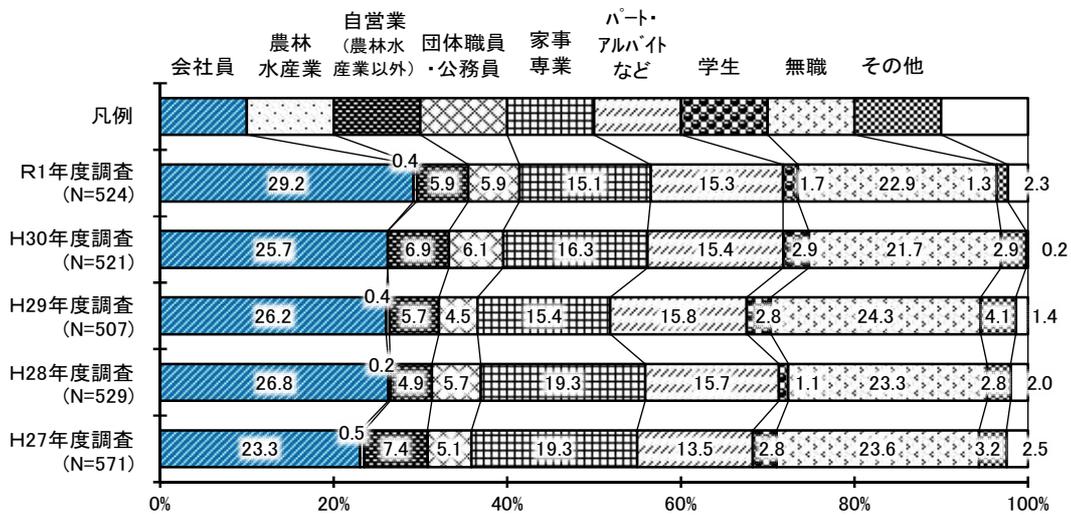
● 職業は「会社員」(29.2%)、「無職」(22.9%)、「パート・アルバイトなど」(15.3%)が主である。

回答者の職業は、「会社員」(29.2%)が最も高く、次いで「無職」(22.9%)、「パート・アルバイトなど」(15.3%)、の順となっている。

過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で「会社員」の割合が高い傾向は変わらない。性別・年代別にみると、男性は「会社員」(41.6%)が最も高くなっており、女性は「家事専業」(27.1%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「会社員」が最も高いのは、水城西小学校区(41.0%)となっている。一方、「無職」が最も高いのは、国分小学校区(34.2%)となっている。

問4. あなたのご職業を次の中から選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		524	153	2	31	31	79	80	9	120	7	12
		100.0	29.2	0.4	5.9	5.9	15.1	15.3	1.7	22.9	1.3	2.3
性別	男性	221	41.6	0.9	10.4	10.0	-	4.5	2.7	29.4	0.5	-
	女性	288	19.4	-	2.8	3.1	27.1	23.6	1.0	18.1	2.1	2.8
	無回答	15	33.3	-	-	-	6.7	13.3	-	20.0	-	26.7
性別・年代別	男性:20歳代	13	30.8	-	-	15.4	-	7.7	46.2	-	-	-
	男性:30歳代	16	81.3	-	-	12.5	-	6.3	-	-	-	-
	男性:40歳代	44	65.9	-	9.1	15.9	-	-	-	9.1	-	-
	男性:50歳代	39	71.8	-	15.4	12.8	-	-	-	-	-	-
	男性:60歳代	45	31.1	2.2	13.3	8.9	-	11.1	-	33.3	-	-
	男性:70歳代以上	64	6.3	1.6	10.9	3.1	-	4.7	-	71.9	1.6	-
	女性:20歳代	26	50.0	-	3.8	3.8	7.7	15.4	11.5	3.8	3.8	-
	女性:30歳代	31	32.3	-	3.2	3.2	22.6	32.3	-	3.2	-	3.2
	女性:40歳代	57	26.3	-	3.5	5.3	22.8	29.8	-	7.0	1.8	3.5
	女性:50歳代	49	20.4	-	2.0	6.1	14.3	40.8	-	12.2	4.1	-
	女性:60歳代	60	10.0	-	3.3	1.7	30.0	25.0	-	25.0	1.7	3.3
女性:70歳代以上	63	3.2	-	1.6	-	49.2	3.2	-	39.7	1.6	1.6	
無回答	17	29.4	-	-	-	5.9	11.8	-	17.6	-	35.3	
小学校区別	太宰府小学校区	76	30.3	2.6	7.9	7.9	10.5	13.2	3.9	21.1	1.3	1.3
	太宰府東小学校区	53	24.5	-	3.8	5.7	26.4	7.5	5.7	22.6	3.8	-
	太宰府南小学校区	52	19.2	-	3.8	3.8	17.3	21.2	-	32.7	-	1.9
	水城西小学校区	86	29.1	-	8.1	7.0	16.3	19.8	2.3	16.3	1.2	-
	水城西小学校区	61	41.0	-	3.3	4.9	11.5	24.6	-	9.8	3.3	1.6
	太宰府西小学校区	79	22.8	-	5.1	6.3	17.7	17.7	-	29.1	-	1.3
	国分小学校区	76	35.5	-	3.9	5.3	10.5	6.6	-	34.2	1.3	2.6
	わからない	31	35.5	-	12.9	6.5	16.1	9.7	3.2	12.9	-	3.2
	無回答	10	10.0	-	10.0	-	-	10.0	-	20.0	-	50.0

5. 通勤・通学先(問4付問1)

● 通勤・通学先は「福岡市」が30.4%、「太宰府市」が21.2%となっている。

回答者の通勤・通学先は「福岡市」(30.4%)が最も高く、次いで「太宰府市」(21.2%)、「筑紫野市」(12.4%)の順となっている。

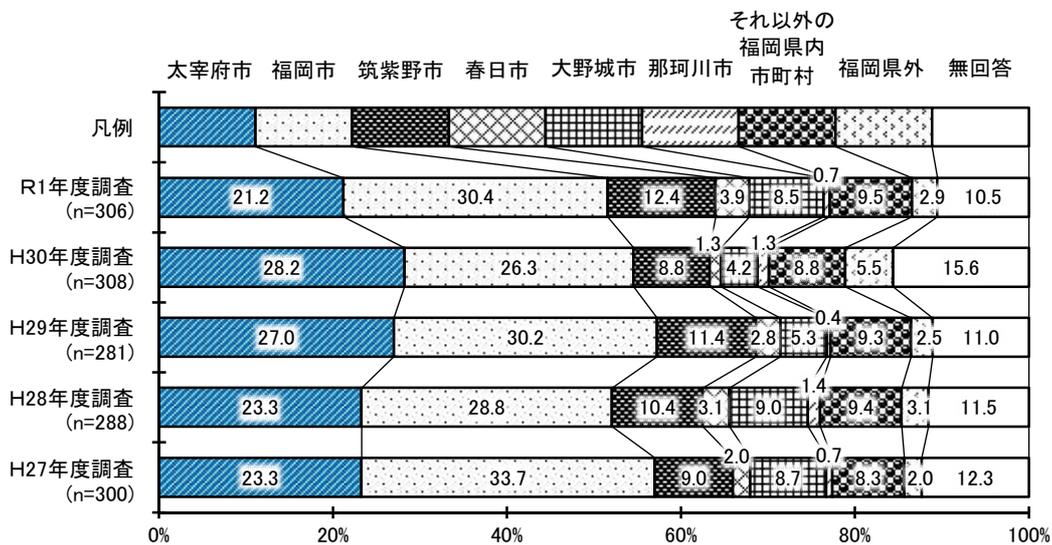
過去の調査結果と比べると、「福岡市」は前回調査から4.1ポイント増加している。一方、「太宰府市」は7.0ポイント低くなっている。

性別にみると、男女とも「福岡市」が最も高くなっている。

年代別にみると、60歳代を除くすべての年代で「福岡市」が最も高くなっている。なお、「福岡市」が最も高いのは20歳代(48.6%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で「福岡市」が最も高くなっている。なお、「福岡市」が最も高いのは国分小学校区(41.0%)となっている。一方、「太宰府市」が最も高いのは、太宰府小学校区(30.0%)となっている。

問4付問1.【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中から お選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	内市福れ岡以村県外	福岡県外	無回答
全体		306	65	93	38	12	26	2	29	9	32
性別	男性	155	21.3	33.5	8.4	2.6	5.8	0.6	12.9	3.9	11.0
	女性	144	21.5	25.7	16.7	5.6	11.8	0.7	5.6	2.1	10.4
	無回答	7	14.3	57.1	14.3	-	-	-	14.3	-	-
年代別	20歳代	35	14.3	48.6	8.6	-	11.4	-	5.7	2.9	8.6
	30歳代	38	18.4	26.3	18.4	7.9	2.6	-	13.2	2.6	10.5
	40歳代	80	20.0	27.5	10.0	6.3	8.8	1.3	12.5	2.5	11.3
	50歳代	73	21.9	35.6	15.1	4.1	5.5	1.4	5.5	4.1	6.8
	60歳代	56	30.4	21.4	10.7	-	12.5	-	10.7	1.8	12.5
	70歳代以上	24	16.7	25.0	12.5	4.2	12.5	-	8.3	4.2	16.7
小学校区別	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太宰府小学校区	50	30.0	24.0	10.0	6.0	6.0	2.0	6.0	6.0	10.0
	太宰府東小学校区	25	24.0	28.0	8.0	-	12.0	-	12.0	4.0	12.0
	太宰府南小学校区	25	8.0	40.0	36.0	4.0	4.0	-	-	-	8.0
	水城小学校区	57	28.1	29.8	5.3	1.8	5.3	-	17.5	1.8	10.5
	水城西小学校区	45	11.1	35.6	11.1	8.9	11.1	2.2	6.7	2.2	11.1
	太宰府西小学校区	41	14.6	22.0	19.5	4.9	22.0	-	12.2	2.4	2.4
	国分小学校区	39	25.6	41.0	2.6	-	2.6	-	7.7	5.1	15.4
	わからない	21	23.8	28.6	19.0	4.8	4.8	-	9.5	-	9.5
無回答	3	-	-	33	-	-	-	-	-	67	

6. 小学校区(問5)

- 住んでいる小学校区は「水城小学校区」(16.4%)と「太宰府西小学校区」(15.1%)が多くなっている。

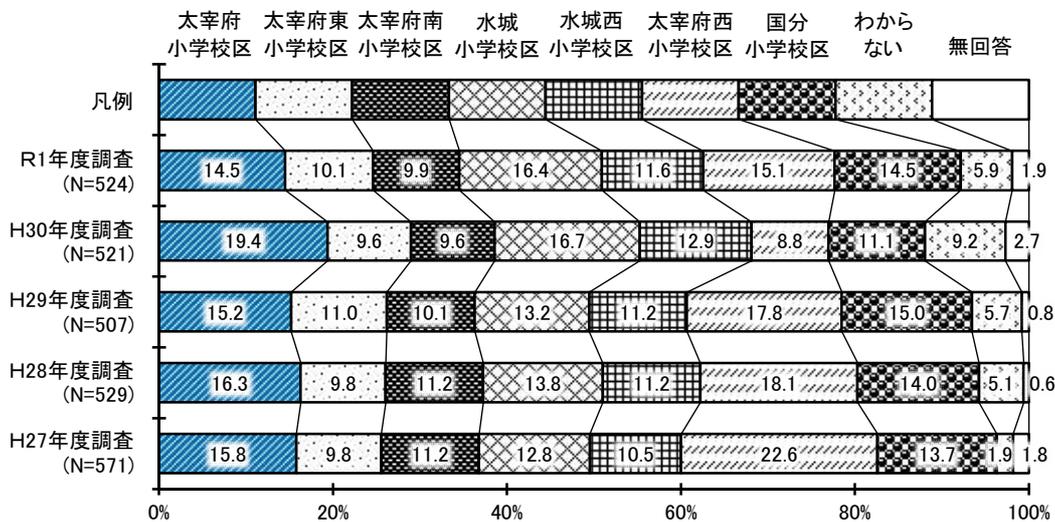
回答者の住んでいる小学校区は「水城小学校区」(16.4%)が最も高く、次いで「太宰府西小学校区」(15.1%)、「太宰府小学校区」(14.5%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府小学校区」は前回調査から4.9ポイント減少している。

性別にみると、「太宰府小学校区」、「太宰府東小学校区」、「国分小学校区」は男性の方が女性より高くなっており、「太宰府南小学校区」、「水城小学校区」、「水城西小学校区」、「太宰府西小学校区」は女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、「水城小学校区」が最も高いのは40歳代(25.0%)となっている。一方、「太宰府西小学校区」が最も高いのは、70歳代以上(23.5%)となっている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。



		標本数	小太宰府区	小太宰府東区	小太宰府南区	小水城校区	小水城西校区	小太宰府西区	小国分校区	わからない	無回答
全体		524	76	53	52	86	61	79	76	31	10
		100.0	14.5	10.1	9.9	16.4	11.6	15.1	14.5	5.9	1.9
性別	男性	221	15.8	11.8	7.2	16.7	11.3	13.6	16.3	5.9	1.4
	女性	288	13.9	9.0	11.5	17.0	12.2	16.3	12.8	6.3	1.0
	無回答	15	6.7	6.7	20.0	-	6.7	13.3	20.0	-	26.7
年代別	20歳代	39	20.5	15.4	5.1	23.1	7.7	10.3	10.3	7.7	-
	30歳代	47	19.1	6.4	21.3	14.9	12.8	6.4	14.9	4.3	-
	40歳代	104	13.5	9.6	3.8	25.0	15.4	16.3	10.6	5.8	-
	50歳代	88	18.2	8.0	6.8	12.5	19.3	9.1	12.5	12.5	1.1
	60歳代	108	18.5	10.2	9.3	15.7	10.2	14.8	15.7	4.6	0.9
	70歳代以上	132	6.8	12.1	15.2	12.1	6.1	23.5	19.7	2.3	2.3
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	83.3

7. 居住年数(問6)

- 居住年数が「25年以上」が5割以上を占めている。
- 「5年以上～10年未満」が過去5年間で最も高くなっている。

回答者の居住年数は「25年以上」(52.7%)が最も高く、次いで「10年以上～15年未満」(10.3%)、「5年以上～10年未満」(9.9%)の順となっている。

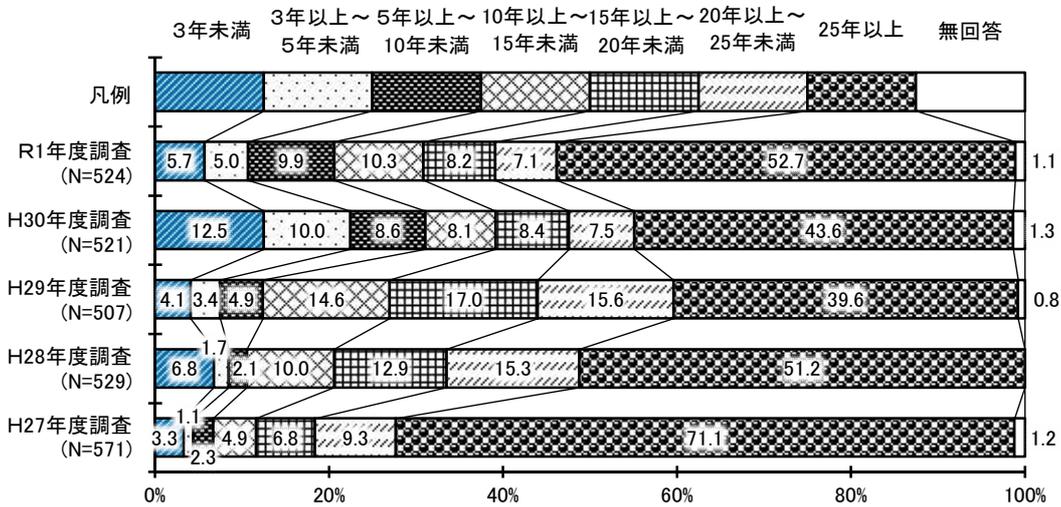
過去の調査結果と比べると、「5年以上～10年未満」の割合が増加し、過去5年間の調査で最も高くなっている。一方、「20年以上～25年未満」は過去5年間の調査で最も低くなっている。

性別にみると、「25年以上」は男性(57.9%)の方が女性(50.3%)より高くなっており、「10年以上～15年未満」は女性(12.5%)の方が男性(5.9%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で「25年以上」が最も高くなっている。一方、20歳代は「20年以上～25年未満」(25.6%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「25年以上」が最も高くなっている。

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(令和2年3月末時点で)



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		524	30	26	52	54	43	37	276	6
性別	男性	221	5.9	5.4	11.3	5.9	4.5	9.0	57.9	-
	女性	288	5.9	4.9	9.4	12.5	11.5	4.9	50.3	0.7
	無回答	15	-	-	-	33.3	-	20.0	20.0	26.7
年代別	20歳代	39	20.5	7.7	2.6	7.7	15.4	25.6	20.5	-
	30歳代	47	12.8	12.8	21.3	19.1	8.5	2.1	23.4	-
	40歳代	104	4.8	7.7	16.3	23.1	18.3	5.8	24.0	-
	50歳代	88	4.5	3.4	10.2	11.4	5.7	12.5	52.3	-
	60歳代	108	3.7	3.7	11.1	2.8	4.6	3.7	70.4	-
	70歳代以上	132	2.3	1.5	2.3	3.8	3.0	3.8	83.3	-
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	-	5.3	5.3	9.2	10.5	9.2	60.5	-
	太宰府東小学校区	53	3.8	1.9	7.5	7.5	9.4	9.4	60.4	-
	太宰府南小学校区	52	3.8	3.8	7.7	9.6	7.7	9.6	57.7	-
	水城小学校区	86	4.7	8.1	15.1	15.1	9.3	3.5	44.2	-
	水城西小学校区	61	8.2	4.9	3.3	21.3	6.6	8.2	47.5	-
	太宰府西小学校区	79	5.1	3.8	6.3	10.1	11.4	3.8	59.5	-
	国分小学校区	76	5.3	5.3	11.8	3.9	3.9	10.5	59.2	-
	わからない	31	22.6	6.5	35.5	3.2	6.5	3.2	19.4	3.2
	無回答	10	20.0	-	-	-	-	-	30.0	50.0

8. 住居形態(問7)

●「持ち家・分譲マンション」が76.0%で、最も高くなっている。

回答者の住居形態は「持ち家・分譲マンション」(「一戸建て」と「集合住宅」の合計)(76.0%)が最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート」(「一戸建て」と「集合住宅」の合計)(21.2%)の順となっている。

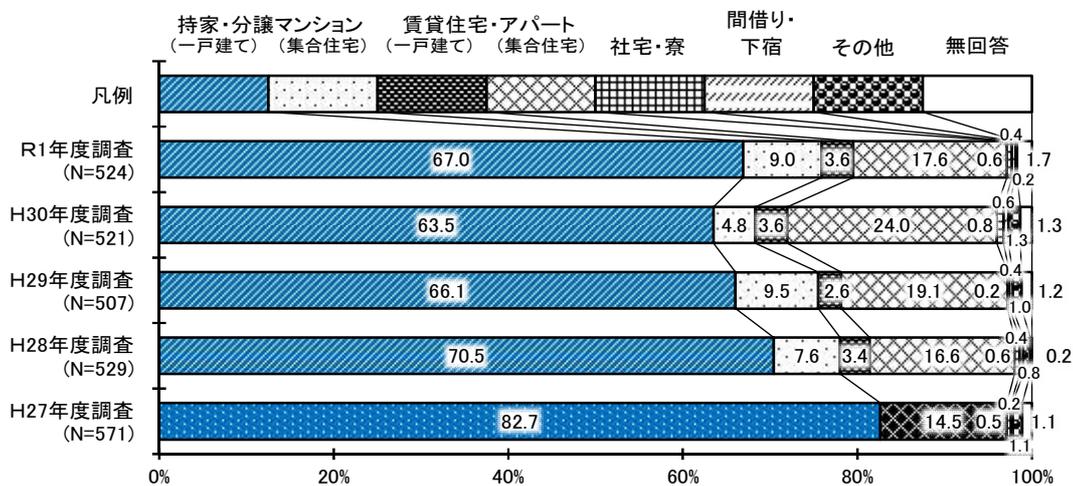
過去の調査結果と比べると、「持ち家・分譲マンション」は前回調査から7.7ポイント増加している。一方、「賃貸住宅・アパート」は6.4ポイント減少している。

性別にみると、男女とも「持ち家・分譲マンション」が最も高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「持ち家・分譲マンション」の割合が最も高く、『70歳代以上』では、9割以上と特になくなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「持ち家・分譲マンション」の割合は6割以上と高くなっている。

問7. あなたのお住まいを次の中からお選びください。



※「持ち家(一戸建て)」「持ち家(集合住宅)」「賃貸住宅(一戸建て)」「賃貸住宅(集合住宅)」は、H28年度調査より追加された項目。H27までは「持ち家・分譲マンション」「賃貸住宅・アパート」

		標本数	(持ち家(一戸建て))	持ち家(集合住宅(マンション・アパート))	(賃貸住宅(一戸建て))	賃貸住宅(集合住宅(マンション・アパート))	社宅・寮	間借り・下宿	その他	無回答
全体		524	351	47	19	92	3	2	1	9
		100.0	67.0	9.0	3.6	17.6	0.6	0.4	0.2	1.7
性別	男性	221	65.2	9.0	2.7	20.4	0.5	0.5	0.5	1.4
	女性	288	68.8	9.4	4.5	16.0	0.7	-	-	0.7
	無回答	15	60.0	-	-	6.7	-	6.7	-	26.7
年代別	20歳代	39	59.0	10.3	-	28.2	2.6	-	-	-
	30歳代	47	59.6	8.5	4.3	27.7	-	-	-	-
	40歳代	104	51.0	6.7	5.8	32.7	1.9	1.0	-	1.0
	50歳代	88	60.2	17.0	5.7	15.9	-	-	-	1.1
	60歳代	108	73.1	8.3	3.7	13.0	-	0.9	0.9	-
	70歳代以上	132	87.1	6.1	1.5	4.5	-	-	-	0.8
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	小学校区別	太宰府小学校区	76	69.7	9.2	3.9	13.2	1.3	1.3	-
太宰府東小学校区		53	84.9	-	3.8	7.5	1.9	-	-	1.9
太宰府南小学校区		52	100.0	-	-	-	-	-	-	-
水城小学校区		86	43.0	18.6	4.7	32.6	1.2	-	-	-
水城西小学校区		61	45.9	21.3	4.9	26.2	-	-	-	1.6
太宰府西小学校区		79	86.1	1.3	3.8	8.9	-	-	-	-
国分小学校区		76	73.7	7.9	2.6	15.8	-	-	-	-
わからない		31	32.3	6.5	6.5	45.2	-	3.2	3.2	3.2
無回答		10	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-	50.0

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ(問8)

● 太宰府市の住みやすさについて『満足派』は71.4%、『不満派』は9.9%となっている。

太宰府市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は71.4%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は9.9%で、『満足派』が7割以上と高くなっている。

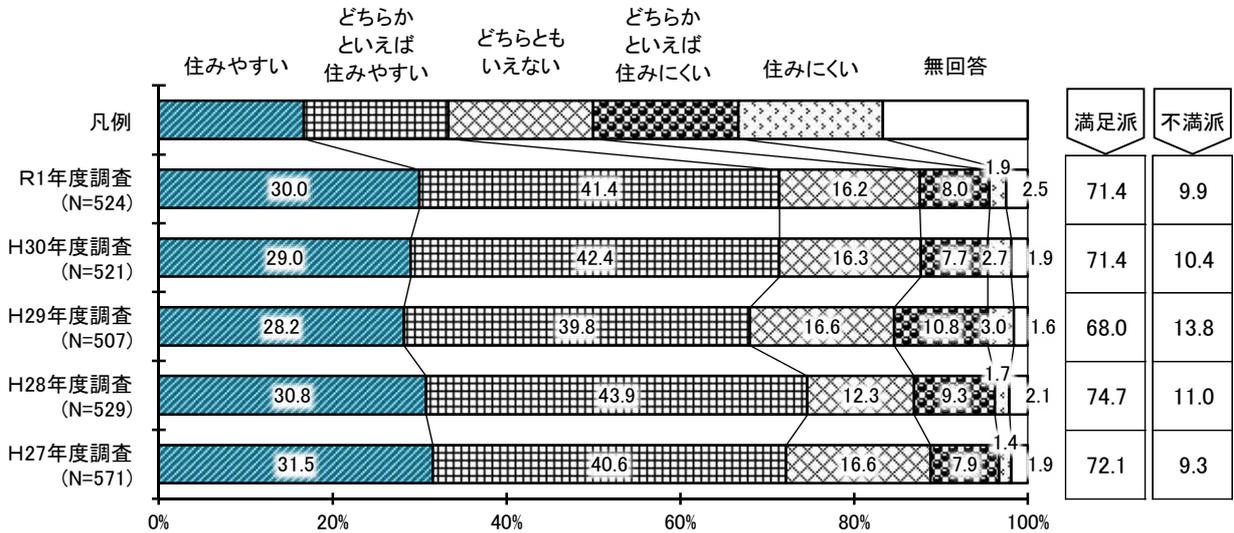
過去の調査結果と比べると、『満足派』は前回調査と同程度（71.4%）となっている。

性別にみると、『満足派』は女性（72.6%）の方が男性（69.7%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が6割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは30歳代（87.2%）となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『満足派』が6割を超えている。『満足派』の割合が最も高いのは水城小学校区（81.4%）となっている。

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全体		524	157	217	85	42	10	13	71.4	9.9
性別	男性	221	31.2	38.5	18.6	6.8	2.3	2.7	69.7	9.1
	女性	288	29.9	42.7	14.9	8.7	1.7	2.1	72.6	10.4
	無回答	15	13.3	60.0	6.7	13.3	-	6.7	73.3	13.3
年代別	20歳代	39	33.3	48.7	15.4	2.6	-	-	82.0	2.6
	30歳代	47	29.8	57.4	6.4	6.4	-	-	87.2	6.4
	40歳代	104	20.2	53.8	16.3	6.7	-	2.9	74.0	6.7
	50歳代	88	30.7	33.0	17.0	12.5	3.4	3.4	63.7	15.9
	60歳代	108	30.6	36.1	20.4	7.4	1.9	3.7	66.7	9.3
	70歳代以上	132	35.6	34.1	16.7	8.3	3.0	2.3	69.7	11.3
	無回答	6	33.3	33.3	-	16.7	16.7	-	66.6	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	28.9	40.8	18.4	5.3	2.6	3.9	69.7	7.9
	太宰府東小学校区	53	20.8	43.4	20.8	11.3	-	3.8	64.2	11.3
	太宰府南小学校区	52	32.7	46.2	7.7	11.5	1.9	-	78.9	13.4
	水城小学校区	86	37.2	44.2	11.6	5.8	-	1.2	81.4	5.8
	水城西小学校区	61	34.4	39.3	13.1	9.8	-	3.3	73.7	9.8
	太宰府西小学校区	79	25.3	44.3	17.7	8.9	2.5	1.3	69.6	11.4
	国分小学校区	76	30.3	38.2	19.7	3.9	3.9	3.9	68.5	7.8
	わからない	31	29.0	29.0	19.4	12.9	6.5	3.2	58.0	19.4
	無回答	10	20.0	40.0	30.0	10.0	-	-	60.0	10.0

2. 継続居住意向(問9)

- 「住み続けたい」は64.3%、「住み続けたくない」は12.2%となっている。

太宰府市への継続居住意向について、今後も「住み続けたい」と答えた人は64.3%、一方、「住み続けたくない」と答えた人は12.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、「住み続けたい」は前回調査から1.0ポイント増加している。

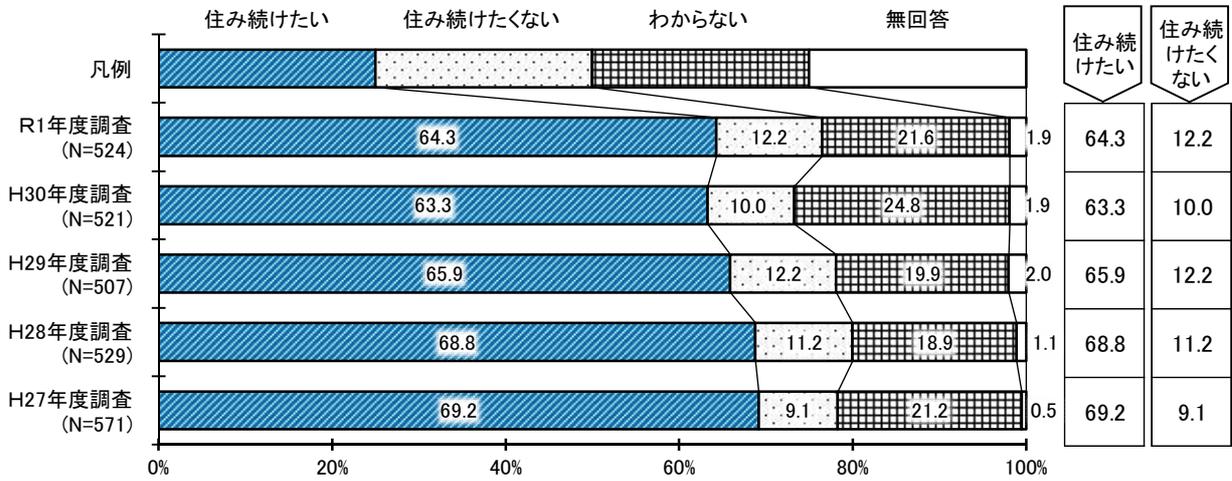
性別にみると、「住み続けたい」は女性(66.0%)の方が男性(63.8%)より高くなっている。

年代別にみると、「住み続けたい」が最も高いのは70歳代以上(74.2%)となっている。一方、「住み続けたくない」が最も高いのは20歳代(17.9%)となっている。

小学校区別にみると、「住み続けたい」が最も高いのは太宰府南小学校区(82.7%)となっている。一方、「住み続けたくない」が最も高いのは太宰府小学校区(14.5%)となっている。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人の約8割が、「住み続けたい」意向を持っている。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	住み続けたい (%)	住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		524	64.3	12.2	21.6	1.9
性別	男性	221	63.8	10.9	24.0	1.4
	女性	288	66.0	12.8	19.4	1.7
	無回答	15	40.0	20.0	26.7	13.3
年代別	20歳代	39	43.6	17.9	35.9	2.6
	30歳代	47	68.1	14.9	17.0	-
	40歳代	104	58.7	12.5	27.9	1.0
	50歳代	88	61.4	14.8	21.6	2.3
	60歳代	108	66.7	9.3	20.4	3.7
	70歳代以上	132	74.2	9.1	15.2	1.5
	無回答	6	50.0	33.3	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	63.2	14.5	18.4	3.9
	太宰府東小学校区	53	66.0	13.2	17.0	3.8
	太宰府南小学校区	52	82.7	7.7	9.6	-
	水城小学校区	86	62.8	11.6	24.4	1.2
	水城西小学校区	61	70.5	6.6	21.3	1.6
	太宰府西小学校区	79	64.6	12.7	21.5	1.3
	国分小学校区	76	63.2	10.5	25.0	1.3
	わからない	31	35.5	25.8	35.5	3.2
	無回答	10	40.0	20.0	40.0	-
住みやすさ別	住みやすい	374	78.3	3.7	17.4	0.5
	どちらともいえない	85	34.1	17.6	43.5	4.7
	住みにくい	52	21.2	59.6	19.2	-
	無回答	13	30.8	30.8	7.7	30.8

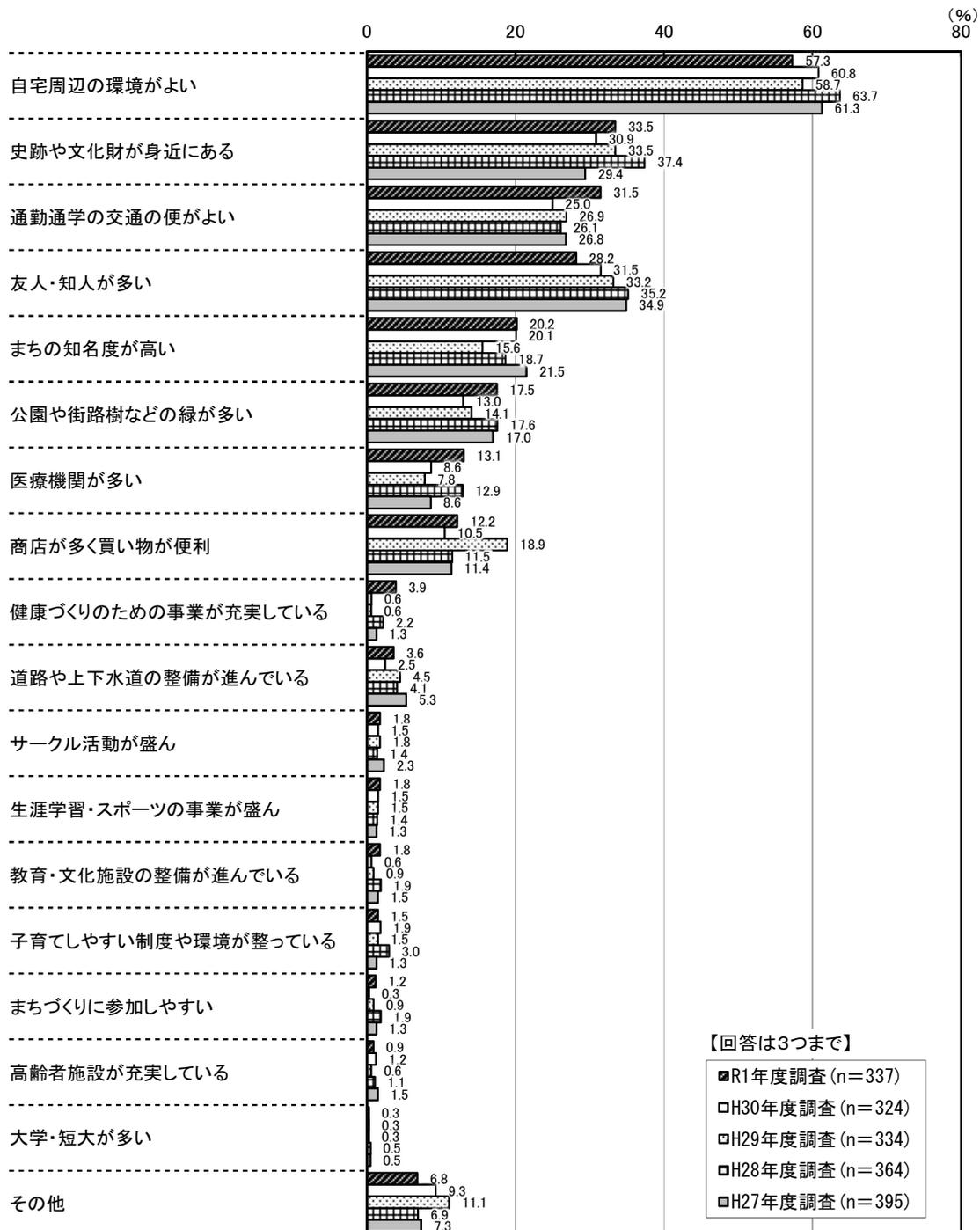
3. 住み続けたい理由(問9付問1)

● 住み続けたい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(57.3%)が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(33.5%)、「通勤通学の便がよい」(31.5%)の順となっている。

太宰府市に住み続けたい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(57.3%)が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(33.5%)、「通勤通学の交通の便がよい」(31.5%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「自宅周辺の環境がよい」は、前回調査から3.5ポイント減少しており、「史跡や文化財が身近にある」は前回調査から2.6ポイント増加している。

問9付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに1位になっている「自宅周辺の環境がよい」は男性57.4%に対して女性57.9%で、男女ともほぼ同程度となっている。また、男性では2位以下が「史跡や文化財が身近にある」(36.9%)、「通勤通学の交通の便がよい」(36.2%)の順となっており、女性では「友人・知人が多い」(33.7%)、「史跡や文化財が身近にある」(31.1%)の順となっている。

年代別にみると、サンプル数が少ない20歳代を除き、すべての年代で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。次いで、30歳代～50歳代は「通勤通学の便がよい」、60歳代～70歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。

(%)

	標本数	自宅周辺の環境がよい	ある史跡や文化財が身近に	よい通勤通学の交通の便が	友人・知人が多い	まちなみの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	医療機関が多い	利商店が多く買い物が便利	健康づくりのための事業が充実している	道路や上下水道の整備が進んでいる	サークル活動が盛ん	生涯学習・スポーツの事業が盛ん	教育・文化施設の整備が進んでいる	子育てしやすい制度や環境が整っている	まちづくりに参加しやすい	高齢者施設が充実している	大学・短大が多い	その他	無回答	
全体	337 100.0	193 57.3	113 33.5	106 31.5	95 28.2	68 20.2	59 17.5	44 13.1	41 12.2	13 3.9	12 3.6	6 1.8	6 1.8	6 1.8	5 1.5	4 1.2	3 0.9	1 0.3	23 6.8	2 0.6	
性別	男性	141	57.4	36.9	36.2	20.6	22.7	16.3	13.5	11.3	3.5	2.1	2.1	1.4	1.4	0.7	-	-	7.8	0.7	
	女性	190	57.9	31.1	27.9	33.7	18.4	18.9	13.2	12.6	4.2	4.7	1.6	2.1	1.6	1.6	1.6	0.5	5.8	0.5	
	無回答	6	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	
年代別	20歳代	17	47.1	23.5	47.1	23.5	41.2	29.4	5.9	5.9	-	11.8	-	5.9	5.9	-	-	-	-	-	
	30歳代	32	59.4	15.6	40.6	25.0	12.5	15.6	9.4	12.5	-	3.1	-	-	3.1	-	-	-	3.1	-	
	40歳代	61	52.5	24.6	41.0	37.7	14.8	18.0	8.2	8.2	-	1.6	1.6	-	4.9	3.3	-	-	11.5	-	
	50歳代	54	59.3	40.7	51.9	24.1	13.0	20.4	5.6	13.0	1.9	-	1.9	1.9	-	-	1.9	1.9	7.4	-	
	60歳代	72	58.3	33.3	20.8	27.8	26.4	11.1	15.3	11.1	5.6	2.8	1.4	-	2.8	-	1.4	-	6.9	-	
	70歳代以上	98	59.2	41.8	16.3	25.5	22.4	19.4	21.4	16.3	8.2	6.1	4.1	4.1	1.0	-	1.0	-	6.1	2.0	
無回答	3	66.7	66.7	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	48	50.0	41.7	33.3	27.1	20.8	20.8	8.3	4.2	2.1	2.1	-	2.1	-	2.1	2.1	-	8.3	-	
	太宰府東小学校区	35	57.1	34.3	28.6	42.9	17.1	8.6	14.3	2.9	8.6	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	-	-	11.4	-	
	太宰府南小学校区	43	76.7	37.2	25.6	25.6	27.9	11.6	4.7	9.3	4.7	2.3	7.0	2.3	-	2.3	-	-	7.0	-	
	水城小学校区	54	46.3	31.5	42.6	24.1	20.4	22.2	11.1	9.3	-	-	-	-	1.9	1.9	-	-	1.9	1.9	
	水城西小学校区	43	65.1	25.6	46.5	37.2	16.3	9.3	7.0	18.6	2.3	2.3	-	-	2.3	-	-	-	4.7	-	
	太宰府西小学校区	51	56.9	33.3	13.7	23.5	15.7	23.5	19.6	29.4	3.9	5.9	-	3.9	3.9	2.0	-	2.0	2.0	2.0	
	国分小学校区	48	50.0	27.1	20.8	25.0	20.8	18.8	18.8	8.3	6.3	8.3	-	4.2	-	2.1	-	2.1	-	16.7	2.1
	わからない	11	63.6	36.4	72.7	-	27.3	27.3	36.4	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	4	75.0	75.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

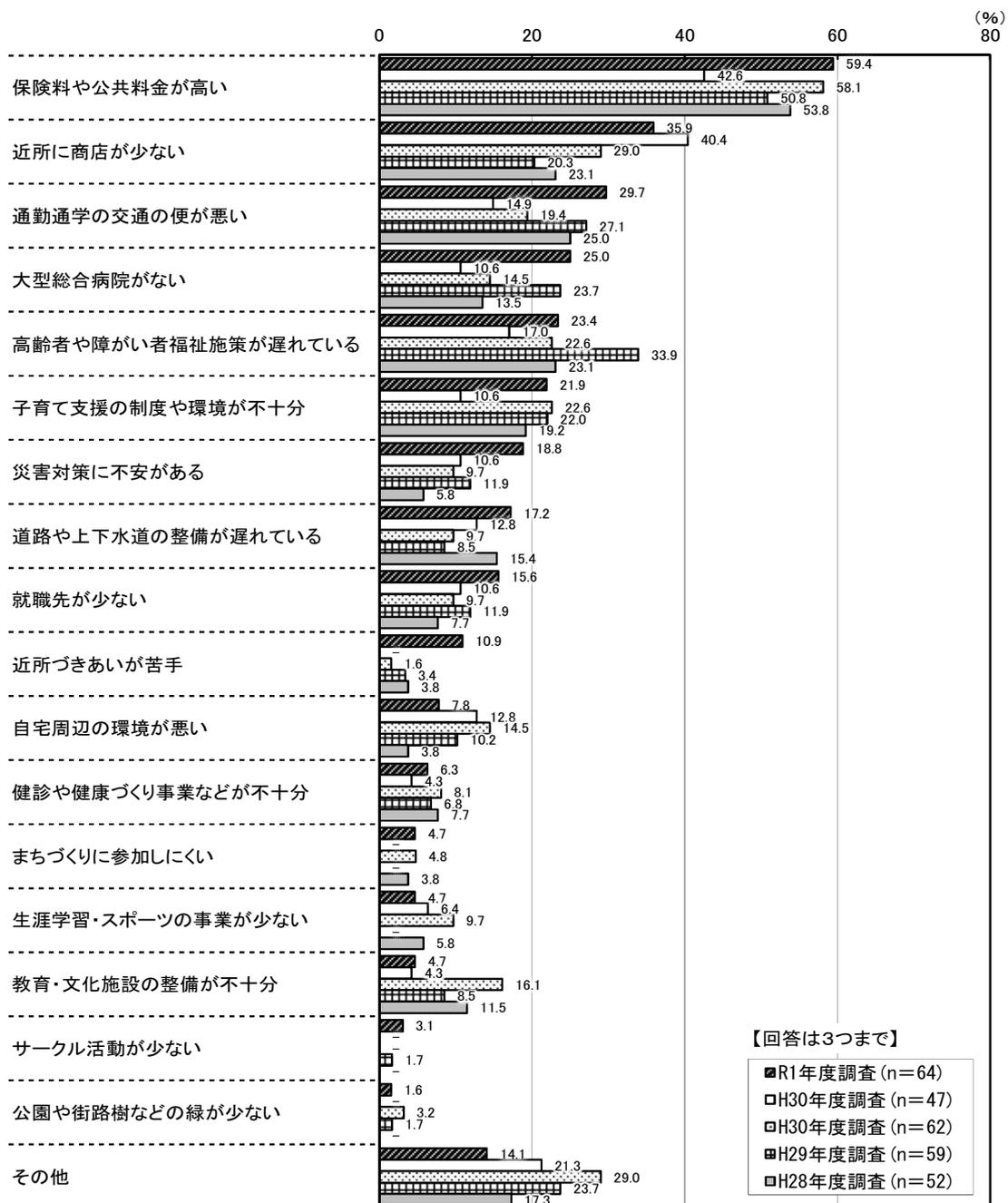
4. 住み続けたくない理由(問9付問2)

- 住み続けたくない理由は、「保険料や公共料金が高い」(59.4%) が最も高い。

太宰府市に住み続けたくない理由について、「保険料や公共料金が高い」(59.4%) が最も高く、次いで「近所に商店が少ない」(35.9%)、「通勤通学の便が悪い」(29.7%)、「大型総合病院がない」(25.0%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「保険料や公共料金が高い」(16.8ポイント増)、「通勤通学の便が悪い」(14.8ポイント増)、「大型総合病院がない」(14.4ポイント増)、「高齢者や障がい者福祉施策が遅れている」(11.3ポイント増)、「子育て支援の制度や環境が不十分」(11.3ポイント増)、「災害対策に不安がある」(8.2ポイント増) が前回調査から大きく増加している。一方「近所に商店が少ない」(4.5ポイント減) が前回調査から減少している。

問9付問2.【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男性では「保険料や公共料金が高い」(54.2%)が最も高くなっている。次いで、「近所に商店が少ない」(29.2%)の順となっている。一方、女性では「保険料や公共料金が高い」(59.5%)が最も高くなっている。次いで、「近所に商店が少ない」と「通勤通学の交通の便が悪い」(ともに35.1%)の順となっている。

		(%)																								
		標本数	い	近	通	大	祉	高	子	災	が	道	就	近	自	な	健	く	ま	生	が	サ	が	公	そ	無
			保	所	勤	型	施	齢	育	害	道	職	所	宅	等	診	ま	業	教	ー	公	園	他	回		
			険	に	通	総	策	者	不	対	路	先	づ	周	が	や	ち	学	育	ク	園	街	無			
			料	商	学	合	が	や	支	策	や	が	き	辺	不	健	づ	習	施	路	路	街	回			
			や	店	の	病	遅	障	援	に	下	あ	環	の	健	く	・	設	樹	の	の	無				
			公	が	交	院	れ	が	の	不	水	い	境	道	康	り	ス	の	の	緑	の	回				
			共	少	通	が	て	環	制	安	道	苦	が	道	づ	ポ	整	整	の	の	の	答				
			料	な	の	い	あ	や	度	が	道	手	不	路	ク	備	備	備	の	の	の	答				
			が	い	便	な	い	あ	や	あ	道	不	不	路	り	備	備	備	の	の	の	答				
			高	い	が	い	い	い	環	い	道	不	不	路	り	備	備	備	の	の	の	答				
			い	い	が	い	い	い	環	い	道	不	不	路	り	備	備	備	の	の	の	答				
全	体	64	38	23	19	16	15	14	12	11	10	7	5	4	3	3	3	2	1	9	2					
		100.0	59.4	35.9	29.7	25.0	23.4	21.9	18.8	17.2	15.6	10.9	7.8	6.3	4.7	4.7	3.1	1.6	14.1	3.1						
性	男	24	54.2	29.2	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	16.7	12.5	8.3	4.2	8.3	4.2	-	4.2	-	-	25.0	4.2					
	女	37	59.5	35.1	35.1	24.3	18.9	21.6	13.5	18.9	10.8	10.8	10.8	-	5.4	8.1	5.4	5.4	2.7	8.1	2.7					
	無回答	3	100.0	100.0	-	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-					
年	20歳代	7	42.9	28.6	42.9	-	-	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	28.6	-				
	30歳代	7	57.1	-	14.3	-	14.3	57.1	-	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-				
	40歳代	13	69.2	23.1	38.5	7.7	30.8	46.2	15.4	23.1	30.8	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	15.4	-				
	50歳代	13	61.5	46.2	23.1	46.2	7.7	7.7	30.8	23.1	7.7	-	15.4	-	-	-	-	7.7	7.7	-	15.4	-				
	60歳代	10	50.0	30.0	50.0	40.0	40.0	10.0	-	20.0	10.0	20.0	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-			
	70歳代以上	12	66.7	58.3	16.7	41.7	33.3	8.3	33.3	8.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	16.7	8.3			
	無回答	2	50.0	100.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小	太宰府小学校区	11	18.2	45.5	45.5	27.3	18.2	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	18.2	-				
	太宰府東小学校区	7	71.4	71.4	42.9	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3	-				
	太宰府南小学校区	4	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-				
	水城小学校区	10	50.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	-	20.0	-				
	水城西小学校区	4	75.0	25.0	-	25.0	25.0	50.0	75.0	75.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-				
	太宰府西小学校区	10	80.0	20.0	20.0	40.0	30.0	40.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0	-	-	-	20.0	-				
	国分小学校区	8	87.5	25.0	62.5	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5				
	わからない	8	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-	12.5	25.0	-	12.5	12.5	-	25.0	-	12.5	-				
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0				

第3節 日頃の暮らし、行動について

1. 子育て支援の推進(問 10)

● 『子育てがしやすい派』は68.0%、『子育てがしにくい派』は32.0%となっている。

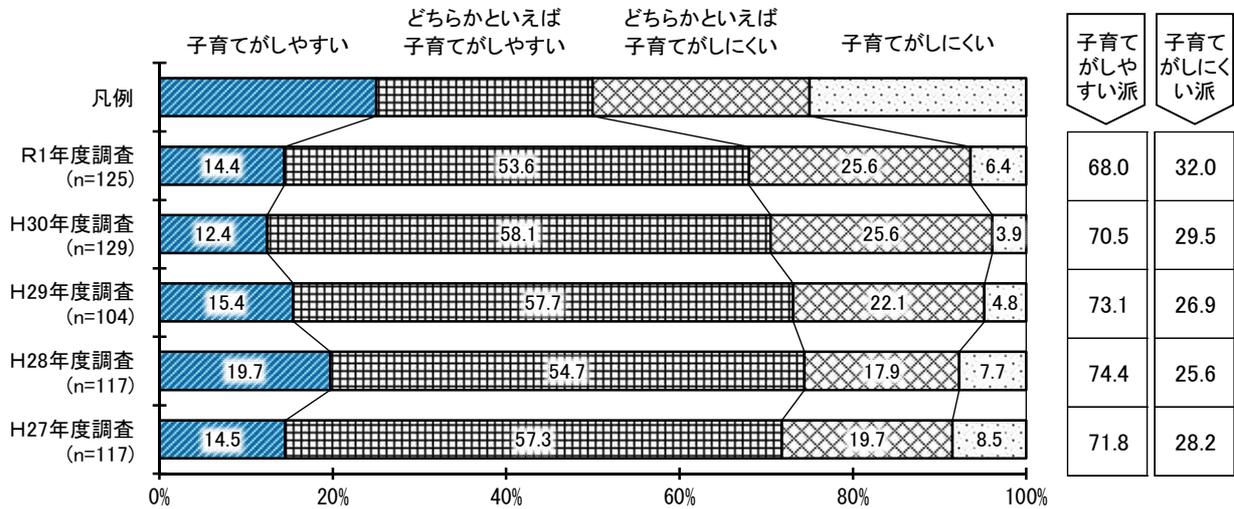
子育て支援の推進について、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかと言えば子育てがしやすい」の合計）は68.0%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかと言えば子育てがしにくい」の合計）は32.0%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも36.0ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『子育てがしやすい派』は前回調査から2.5ポイント減少している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は女性（71.3%）の方が男性（62.5%）より8.8ポイント高くなっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 10. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい (%)	子育てがしやすいか (%)	子育てがしにくい (%)	子育てがしにくい (%)	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		125	18	67	32	8	85	40
		100.0	14.4	53.6	25.6	6.4	68.0	32.0
性別	男性	40	12.5	50.0	30.0	7.5	62.5	37.5
	女性	80	16.3	55.0	22.5	6.3	71.3	28.8
	無回答	5	-	60.0	40.0	-	60.0	40.0
年代別	20歳代	6	-	66.7	-	33.3	66.7	33.3
	30歳代	33	15.2	57.6	21.2	6.1	72.8	27.3
	40歳代	64	10.9	50.0	32.8	6.3	60.9	39.1
	50歳代	10	30.0	50.0	20.0	-	80.0	20.0
	60歳代	4	25.0	50.0	25.0	-	75.0	25.0
	70歳代以上	7	28.6	57.1	14.3	-	85.7	14.3
	無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	19	26.3	57.9	10.5	5.3	84.2	15.8
	太宰府東小学校区	12	16.7	41.7	41.7	-	58.4	41.7
	太宰府南小学校区	12	16.7	41.7	33.3	8.3	58.4	41.6
	水城小学校区	23	21.7	47.8	21.7	8.7	69.5	30.4
	水城西小学校区	18	11.1	55.6	22.2	11.1	66.7	33.3
	太宰府西小学校区	21	4.8	61.9	28.6	4.8	66.7	33.4
	国分小学校区	14	-	57.1	35.7	7.1	57.1	42.8
	わからない	4	-	75.0	25.0	-	75.0	25.0
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	100.0	-

2. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの実感(問 11)

● 生きがいを感じている『充実派』は78.3%となっている。

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は78.3%で、約8割が『充実』と感じている。一方、『不満派』（「全く感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は19.6%となっている。

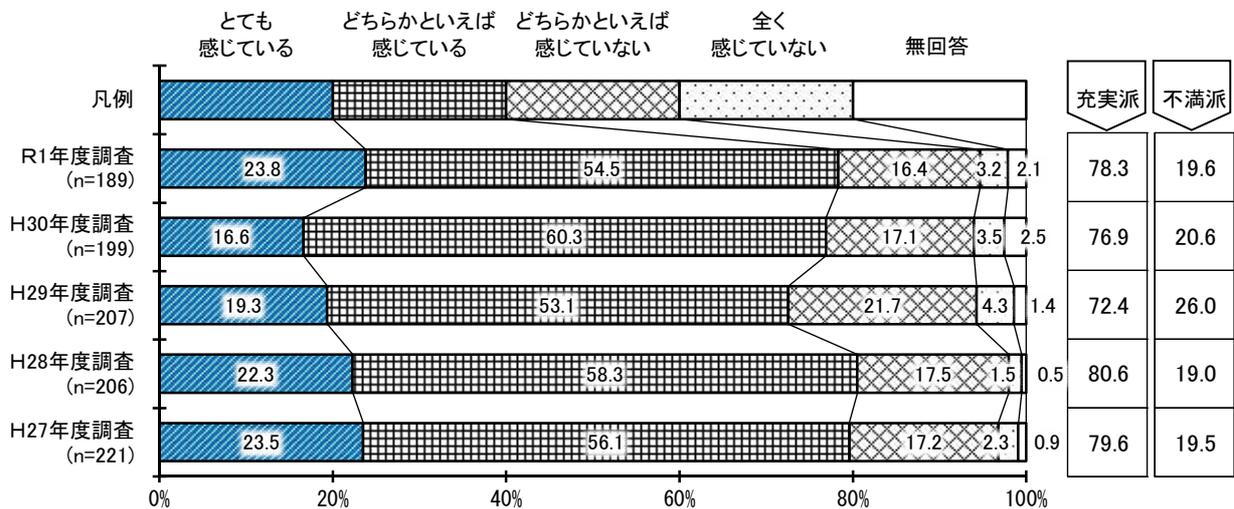
過去の調査結果と比べると、『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は前回調査から1.4ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は女性（81.0%）の方が男性（77.1%）より3.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は、60歳代（84.3%）の方が70歳以上（75.8%）より8.5ポイント高くなっている。

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 11. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(〇は1つ)



		標本数	とても感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		189	45	103	31	6	4	148	37
		100.0	23.8	54.5	16.4	3.2	2.1	78.3	19.6
性別	男性	83	16.9	60.2	18.1	4.8	-	77.1	22.9
	女性	100	30.0	51.0	14.0	2.0	3.0	81.0	16.0
	無回答	6	16.7	33.3	33.3	-	16.7	50.0	33.3
年代別	60歳代	57	21.1	63.2	10.5	3.5	1.8	84.3	14.0
	70歳以上	132	25.0	50.8	18.9	3.0	2.3	75.8	21.9
小学校区別	太宰府小学校区	20	25.0	50.0	5.0	15.0	5.0	75.0	20.0
	太宰府東小学校区	23	30.4	52.2	17.4	-	-	82.6	17.4
	太宰府南小学校区	27	29.6	55.6	11.1	-	3.7	85.2	11.1
	水城小学校区	22	27.3	63.6	4.5	4.5	-	90.9	9.0
	水城西小学校区	13	23.1	61.5	7.7	7.7	-	84.6	15.4
	太宰府西小学校区	42	14.3	54.8	28.6	-	2.4	69.1	28.6
	国分小学校区	33	24.2	54.5	18.2	-	3.0	78.7	18.2
	わからない	5	20.0	20.0	60.0	-	-	40.0	60.0
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0

(2)高齢者福祉サービスの充実度(問 12)

● 高齢者福祉サービスについて『充実派』は 13.8%、『不足派』は 15.1%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 13.8%となっている。一方、『不足派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 15.1%で、『不足派』の方が『充実派』より 1.3 ポイント高くなっている。

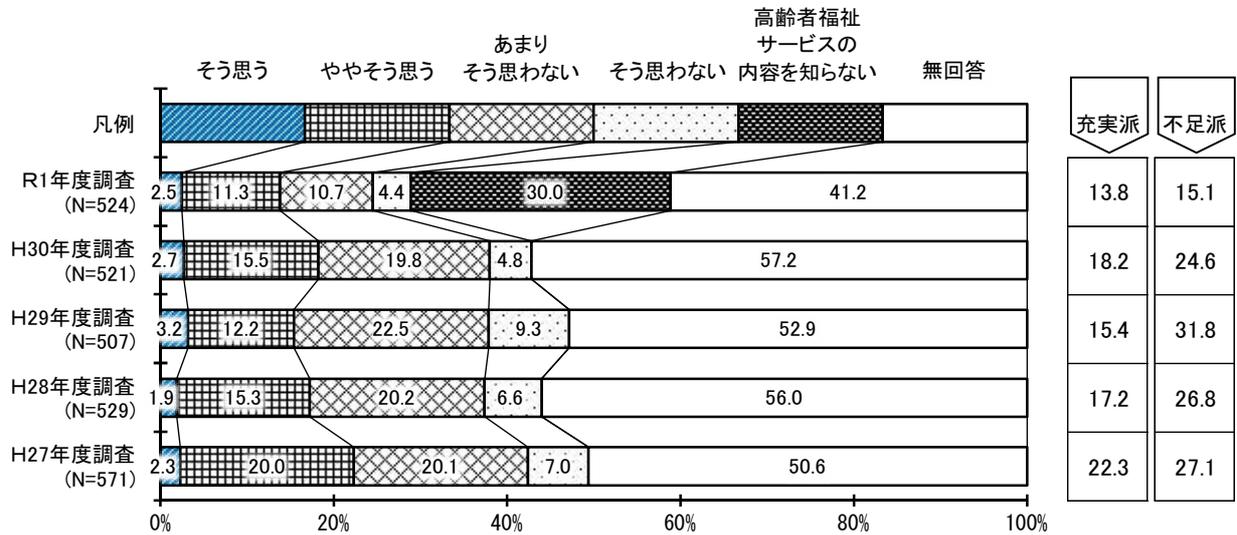
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査から 4.4 ポイント、『不足派』は前回調査から 9.5 ポイント減少している。

性別にみると、『充実派』は女性（16.0%）の方が、男性（11.3%）より 4.7 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は 70 歳代以上（30.7%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』は太宰府東小学校区（24.5%）で最も高くなっており、『不足派』も太宰府東小学校区（20.7%）で最も高くなっている。

問 12. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。（○は 1 つ）



※「高齢者福祉サービスの内容を知らない」は、R1年度調査より追加された項目

		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	内容を知らない	高齢者福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派 (%)	不足派 (%)
全体		524	13	59	56	23	157	216		72	79
		100.0	2.5	11.3	10.7	4.4	30.0	41.2		13.8	15.1
性別	男性	221	2.3	9.0	13.6	4.1	33.0	38.0		11.3	17.7
	女性	288	2.8	13.2	8.3	4.5	27.4	43.8		16.0	12.8
	無回答	15	-	6.7	13.3	6.7	33.3	40.0		6.7	20.0
年代別	20歳代	39	5.1	5.1	-	-	23.1	66.7		10.2	-
	30歳代	47	-	8.5	10.6	2.1	27.7	51.1		8.5	12.7
	40歳代	104	1.0	6.7	8.7	2.9	17.3	63.5		7.7	11.6
	50歳代	88	1.1	4.5	5.7	3.4	14.8	70.5		5.6	9.1
	60歳代	108	2.8	15.7	11.1	5.6	37.0	27.8		18.5	16.7
	70歳代以上	132	4.5	18.9	18.2	7.6	46.2	4.5		23.4	25.8
	無回答	6	-	-	16.7	-	50.0	33.3		-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	6.6	10.5	5.3	26.3	47.4		10.5	15.8
	太宰府東小学校区	53	1.9	22.6	13.2	7.5	24.5	30.2		24.5	20.7
	太宰府南小学校区	52	3.8	11.5	9.6	5.8	44.2	25.0		15.3	15.4
	水城小学校区	86	1.2	16.3	8.1	7.0	22.1	45.3		17.5	15.1
	水城西小学校区	61	3.3	3.3	11.5	1.6	23.0	57.4		6.6	13.1
	太宰府西小学校区	79	-	10.1	13.9	2.5	39.2	34.2		10.1	16.4
	国分小学校区	76	3.9	14.5	9.2	3.9	28.9	39.5		18.4	13.1
	わからない	31	3.2	-	9.7	-	32.3	54.8		3.2	9.7
	無回答	10	-	10.0	10.0	-	50.0	30.0		10.0	10.0

(3)高齢者福祉サービスの充実度に対する理由(問 12 付問 1)

問 12 付問 1. なぜそう思うのか理由を記入してください。

校区	性別	年齢	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していると思う理由 （「そう思う」「ややそう思う」を選択した方の回答）			
太宰府	男性	60代	両親が介護を利用できたから。
太宰府	女性	50代	高齢者と同居しています。介護認定の方はほぼ充実していますが、支援の方は中々福祉が届いていない。車がないと買い物、病院などに1人では行けない人もいます。
太宰府	女性	60代	安心して生活できる。
太宰府	女性	70代以上	病院が固まっている所等への福祉バスの乗り入れをもっとスムーズにしてほしい。
太宰府	女性	70代以上	人が快適に利用していて、不満を漏らしたことがなかった。
太宰府東	男性	20代	高齢者向けの様々な健康促進のための企画を行っているため。
太宰府東	男性	70代以上	サービスを必要としていないから、今のところわからない。
太宰府東	男性	70代以上	高齢者向けの事業がよく行われている。
太宰府東	男性	70代以上	健康作りのためのスポーツイベントが充実している（グランドゴルフ、ペタンク、ダーツ、ゲートボール等）。
太宰府東	女性	60代	トレーニング（いきいき情報センター）や介護予防教室（地域の公民館で月3回ズンバ、ストレッチ）に参加している。
太宰府東	女性	70代以上	歩こう会や地域スポーツ等が盛んだと思う。元気な高齢者は多く参加している。太宰府発見塾等は70歳以上の人が多い。
太宰府東	女性	70代以上	送り迎えをしてもらえるから。
太宰府南	男性	30代	元気ポイントなどがあるので。
太宰府南	女性	30代	デイサービスのような施設がたくさんある。
水城	女性	20代	いきいき情報センターなどで、いろいろサークルなどが盛んそうだから。
水城	女性	20代	入浴がないと国基準のDSにならないなど、事業者にとっては苦しいが、利用する立場なら負担が少なく利用しやすいと思う。
水城	女性	30代	福祉サービスを利用している人が近所に多い。
水城	女性	40代	デイサービス等の施設が多いので良さそうだけど、公共の福祉サービスはどうなっているかわからない。
水城	女性	40代	デイサービスや施設などが多くある。
水城	女性	60代	充実しているかはわからないが、市・地域等の高齢者福祉には力を入れてやっていると思う。
水城	女性	60代	施設等が多いと思う。
水城	女性	70代以上	医療費も減額されている。ルミナスの施設利用、敬老会、老人会、まほろば号のバス賃。
水城	女性	70代以上	今のところ、サービスを受けている感覚がないので。
水城西	女性	60代	年1回の健康診査等、お知らせ等を利用している。
水城西	女性	70代以上	公共施設等、公民館での楽しい日々を過ごせる。
太宰府西	女性	40代	全くないわけではないので。
太宰府西	女性	40代	全ての高齢者がそう思っているかどうか重要だと思うので、「ややそう思う」にした。
太宰府西	女性	50代	周りにそういう施設が多い。
太宰府西	女性	60代	自分が参加しているものが少ないのでよくわからないが、いろいろな情報によると結構サービスはあるのではないかと思う。
太宰府西	女性	60代	デイケア等の施設が充実している。自治会の敬老の日の行事等。
国分	男性	70代以上	福祉施設を多く見かけるから。
国分	女性	60代	施設の送迎の車をよく見かける。

校区	性別	年齢	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していると思う理由 （「そう思う」「ややそう思う」を選択した方の回答）			
国分	女性	70代以上	高齢者福祉サービスは特に現在利用していないが、周囲を見回すと特に不自由はなさそうにしている人が多い。各高齢者が必要に応じてサービスを利用していると思う。
国分	女性	70代以上	いろいろな面で、福祉に関することを知ることができる点。
無回答	女性	70代以上	高齢者に対して健康支援やプール等があり、やや満足。窓口を利用して市の職員が親切丁寧。まほろば号があり非常に便利。
●充実していないと思う理由 （「そう思わない」「あまりそう思わない」を選択した方の回答）			
太宰府	男性	40代	他市に比べると施策が少ないと感じる。地域包括支援センターが相談しにくい雰囲気だった。
太宰府	男性	70代以上	他の行政区と比較して劣っている。コミュニティーセンターがない。
太宰府	女性	40代	近所の高齢者は1時間に1～2本のバスで出かけ、買い物は荷物が多ければタクシーを利用して大変そう。
太宰府	女性	50代	運転免許返納後の交通手段が不足。
太宰府東	男性	60代	市の施設をもっと増やすべき。
太宰府東	男性	70代以上	高齢者福祉サービスで地域包括支援センターと民生委員の活動と地区自治会、隣組の役割の中で、地域包括支援センターの役割が市民にPRされていない。リーダーシップを発揮してほしい。
太宰府東	女性	40代	そういう施設があまりないから。
太宰府東	女性	50代	以前、社会福祉協議会より、訪問入浴サービスを利用（在宅入浴）していましたが、突然終了となり、大野城市からのサービスを利用せざるを得なかった。今はどうなっているのかわかりませんが、当時は太宰府の恥だと思いました。
太宰府東	女性	60代	交通面で心配がある。店が全く近くにない。
太宰府東	女性	70代以上	人材や財政不足。
太宰府南	男性	70代以上	1人暮らしの高齢者に対する安否確認サービス、施策が乏しい。
太宰府南	女性	30代	税金が高い。良いという話を聞かない。
太宰府南	女性	30代	買い物などでタクシーを利用している人が多いので、もっと市の方で買い物をサポートするような仕組みをつくったらどうかと思います。
太宰府南	女性	60代	買い物や役所の出張機関が少ない。
太宰府南	女性	70代以上	施設がバラバラすぎるので、行くのに苦労する。
水城	男性	40代	税収を増やしてサービスを充実させる等、考えが見えない。本当に太宰府市を良くしたい考えが見えない。人口を増やすための動きを全く感じない（サービス充実させるため）。
水城	男性	70代以上	病院が少ない。地域包括支援センターが1ヶ所しかない。
水城	男性	70代以上	私が福祉関係をあまり知らない。親切に教えてもらえるか疑問。
水城	女性	50代	7年前、父の介護の際に要介護5、障害者1級で、私は働いているのにケアマネジャーから、「子どもがいる家庭には支援者は行けない」と言われた。父が亡くなった後に手続きで行くと、市役所担当に「相談にのれた」と言われたが、平日は働いて市役所に行けないので、高齢の母がケアマネジャーと対応していて、もどかしい思いをした。市役所の袋に記載がある高雄の高齢者施設に2泊3日で父を預けたら違う部屋に入室となり、その時に大腿骨を骨折して、それがすぐにわからず、父には痛い思いをさせてしまった。施設には「何があっても責任を取りません」とサインしていたので、そのままにされた。せめて病室にお見舞いくらいあっても良いと思った。
水城	女性	60代	要介護の認定基準が他の市町村に比べて厳しいようだ。自動車免許自主返納後の公共交通機関の割引等が全くない。
水城	女性	70代以上	地域包括支援センターが1つしかない。
水城西	男性	60代	他市と違い、スポーツ施設が充実していない。
水城西	女性	70代以上	高齢者に対する割引がないこと。例えば、車の免許証を返納した後のサービス等。
水城西	女性	70代以上	地域包括支援センターが校区ごとにない。交通網が不十分。手続きがワンストップサービスではない。

校区	性別	年齢	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していないと思う理由 （「そう思わない」「あまりそう思わない」を選択した方の回答）			
太宰府西	男性	70代以上	サービスの内容をよく理解していない。
太宰府西	男性	70代以上	自治体によって差が見られ、将来に不安を感じる。
太宰府西	女性	50代	知らされていないサービスが多いと思う。高齢者となった時、何らかのレクチャーがあってほしい。
太宰府西	女性	70代以上	よく感じていない。わかりません。これからいろいろ話を聞きたいです。
国分	男性	50代	福岡市の方が良い。
国分	男性	60代	年金の支給額の低下。医療費の負担増。福祉サービスの料金が低い。
国分	男性	60代	高齢者情報が聞こえてこない。
国分	男性	60代	新しい住民が参加できることが少ない。
国分	女性	70代以上	市として独自のサービスが少ないと思う。
国分	女性	70代以上	介護認定の基準が不確実（亡くなった実母の介護認定に納得がいかなかったの で）。
わからない	女性	40代	交通の便が良くない。
わからない	女性	50代	バリアフリー、リフォームの助成金制度がない。運転免許返納者へのサービス（助 成）が不十分。
●高齢者福祉サービスの内容を知らない理由			
太宰府東	女性	60代	夫婦とも健康で、まだ福祉サービスを利用する段階ではない。
太宰府南	男性	70代以上	サービスを利用したことがなく、よく知らない。
太宰府南	男性	70代以上	周知徹底が不足しているのではないかと。
太宰府南	女性	20代	あまりわからない。
太宰府南	女性	60代	まだお世話になっていないのでわからない。
太宰府南	女性	70代以上	身近にサービス等を受けた人がいないのでわかりません。
太宰府南	女性	70代以上	利用したことがないのでわかりません。
太宰府南	女性	70代以上	自身が今のところあまり関心がないから。
水城	男性	70代以上	内容を知らないことが一番の原因かもしれない。
水城	男性	70代以上	まだ利用したことがない。
水城西	男性	60代	実際にサービスを受ける年になっていないので、実感が湧かない。
水城西	女性	60代	福祉サービスを利用していない。
太宰府西	男性	70代以上	市役所対応（問うと）がやさしい。
太宰府西	男性	70代以上	興味がない。
太宰府西	女性	20代	身の周りにサービスを必要としている人物が今はいないので。
太宰府西	女性	60代	自分が関わっていないから。
太宰府西	女性	60代	太宰府市の高齢者福祉サービスのPR不足。何をしているのかよくわからない。
太宰府西	女性	70代以上	70歳ですが、まだ福祉サービスを必要としていないから。
国分	男性	60代	サービス内容を知らない。
国分	男性	60代	まだ利用したことがなく今まで興味を持っていませんでしたが、今後はサービスを 少しずつ利用したいと思っています。
国分	女性	70代以上	自分自身以上の高齢の人との交流がなく、利用している人との接点もないので、考 えたことがあまりありません。これから考えていくこととなります。
わからない	男性	50代	利用の機会がないため。
わからない	女性	70代以上	まだ福祉サービスを利用していない。
無回答	男性	70代以上	サービスを受けたことがない。

校区	性別	年齢	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実度 無回答			
水城	女性	70代以上	他の市町村に比べて中身が物足りない。
わからない	男性	60代	まだサービスを受けたことがないのでわからない。

3. 障がい福祉の推進

(1)障がい福祉サービスの充実度(問 13)

● 障がい福祉サービスについて『不足派』は 20.5%で、『充実派』(15.7%) よりも高い。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 15.7%、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 20.5%で、『不足派』の方が『充実派』より高くなっている。

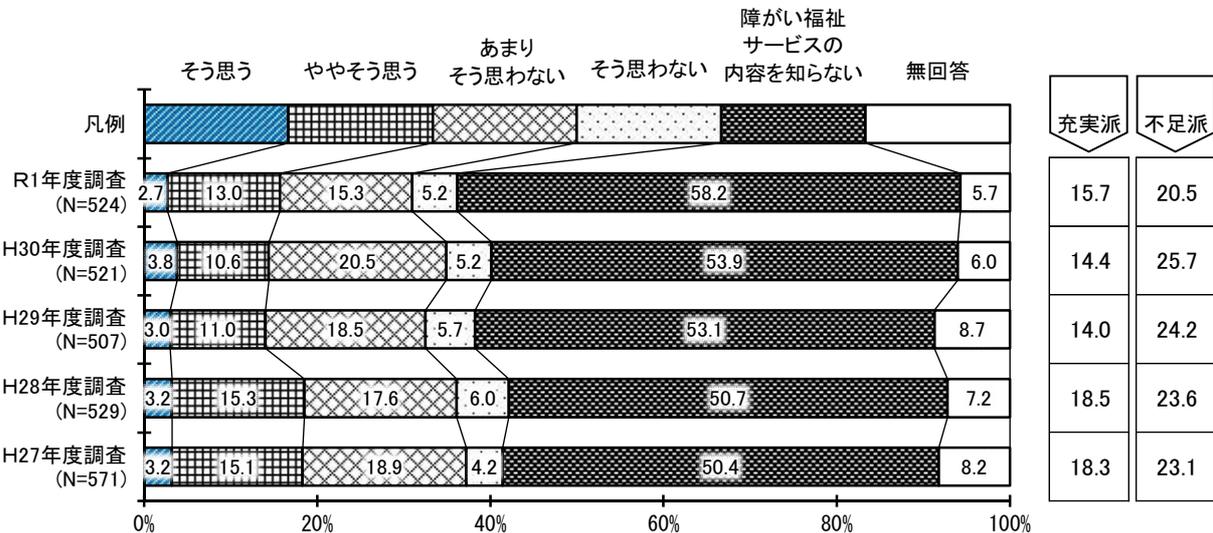
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査から 1.3 ポイント増加しているが、『不足派』は 5.2 ポイント減少している。

性別にみると、『充実派』は女性 (17.3%) の方が男性 (14.5%) より高くなっているが、『不足派』は男性 (25.3%) の方が女性 (17.0%) より高くなっている。

年代別にみると、『不足派』は 20 歳代と 70 歳代を除くすべての年代で、2 割以上となっている。なお、『不足派』が最も高いのは 50 歳代 (23.9%) となっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高くなっているのは太宰府西小学校区 (19.0%) となっている。一方、『不足派』が最も高くなっているのは水城小学校区 (27.9%) となっている。

問 13. あなたは太宰府市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	障がい福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派	不足派
全体		524	14	68	80	27	305	30	82	107
		100.0	2.7	13.0	15.3	5.2	58.2	5.7	15.7	20.5
性別	男性	221	2.3	12.2	19.9	5.4	54.3	5.9	14.5	25.3
	女性	288	3.1	14.2	11.8	5.2	60.4	5.2	17.3	17.0
	無回答	15	-	-	13.3	-	73.3	13.3	-	13.3
年代別	20歳代	39	12.8	12.8	15.4	-	51.3	7.7	25.6	15.4
	30歳代	47	2.1	12.8	14.9	6.4	57.4	6.4	14.9	21.3
	40歳代	104	1.0	14.4	16.3	5.8	57.7	4.8	15.4	22.1
	50歳代	88	1.1	14.8	14.8	9.1	53.4	6.8	15.9	23.9
	60歳代	108	0.9	9.3	17.6	2.8	63.9	5.6	10.2	20.4
	70歳代以上	132	3.8	14.4	12.1	5.3	59.1	5.3	18.2	17.4
	無回答	6	-	-	33.3	-	66.7	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	2.6	13.2	19.7	5.3	53.9	5.3	15.8	25.0
	太宰府東小学校区	53	5.7	7.5	13.2	11.3	58.5	3.8	13.2	24.5
	太宰府南小学校区	52	1.9	15.4	11.5	1.9	65.4	3.8	17.3	13.4
	水城小学校区	86	1.2	12.8	19.8	8.1	51.2	7.0	14.0	27.9
	水城西小学校区	61	1.6	11.5	19.7	6.6	55.7	4.9	13.1	26.3
	太宰府西小学校区	79	1.3	17.7	11.4	2.5	60.8	6.3	19.0	13.9
	国分小学校区	76	5.3	13.2	10.5	2.6	60.5	7.9	18.5	13.1
	わからない	31	3.2	12.9	9.7	3.2	71.0	-	16.1	12.9
	無回答	10	-	-	30.0	-	50.0	20.0	-	30.0

(2)公共施設の弱者への配慮(問 14)

● 公共施設の配慮について『否定派』は29.6%で、『肯定派』(29.0%)よりも高い。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は29.0%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は29.6%となっており、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

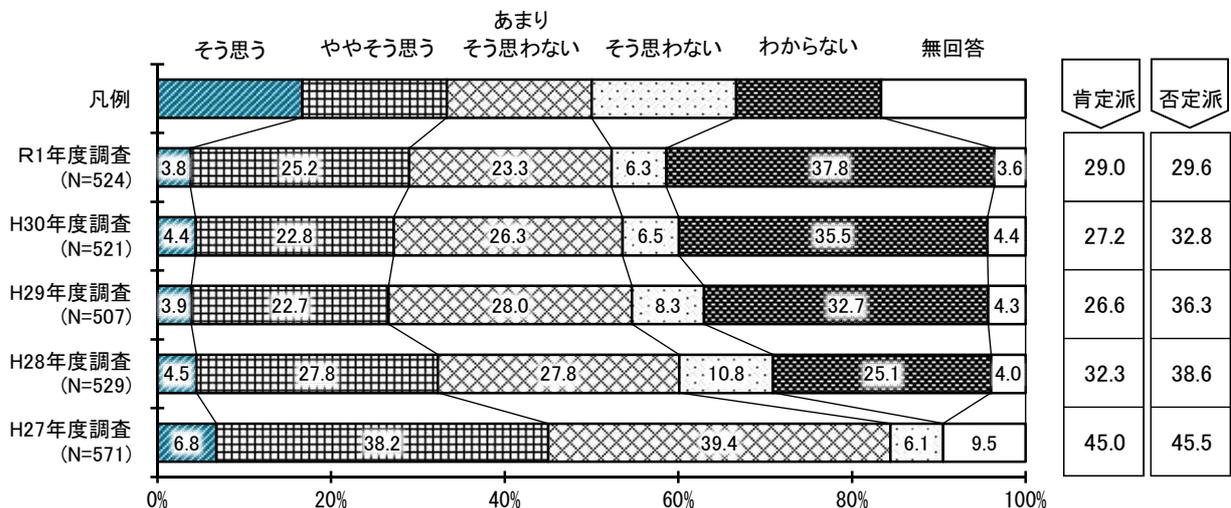
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から2.8ポイント増加しているが、『否定派』は3.2ポイント減少しており減少傾向になっている。

性別にみると、『肯定派』は男性(30.3%)の方が女性(29.2%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代(46.2%)で最も高くなっており、一方、『否定派』は50歳代(34.1%)で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が『否定派』より高くなっているのは、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区、国分小学校区の3小学校区となっている。

問 14. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



※「わからない」は、H28年度調査より追加された項目

		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		524	20	132	122	33	198	19	152	155
		100.0	3.8	25.2	23.3	6.3	37.8	3.6	29.0	29.6
性別	男性	221	3.2	27.1	25.8	5.0	35.7	3.2	30.3	30.8
	女性	288	4.5	24.7	21.2	7.3	38.9	3.5	29.2	28.5
	無回答	15	-	6.7	26.7	6.7	46.7	13.3	6.7	33.4
年代別	20歳代	39	10.3	35.9	10.3	7.7	28.2	7.7	46.2	18.0
	30歳代	47	4.3	29.8	19.1	4.3	40.4	2.1	34.1	23.4
	40歳代	104	2.9	23.1	26.0	4.8	39.4	3.8	26.0	30.8
	50歳代	88	2.3	22.7	27.3	6.8	37.5	3.4	25.0	34.1
	60歳代	108	1.9	19.4	24.1	7.4	43.5	3.7	21.3	31.5
	70歳代以上	132	5.3	28.8	22.7	5.3	34.8	3.0	34.1	28.0
	無回答	6	-	16.7	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	19.7	31.6	6.6	34.2	3.9	23.6	38.2
	太宰府東小学校区	53	-	35.8	18.9	7.5	34.0	3.8	35.8	26.4
	太宰府南小学校区	52	3.8	28.8	13.5	7.7	44.2	1.9	32.6	21.2
	水城小学校区	86	2.3	26.7	23.3	7.0	34.9	5.8	29.0	30.3
	水城西小学校区	61	4.9	19.7	27.9	4.9	41.0	1.6	24.6	32.8
	太宰府西小学校区	79	5.1	24.1	26.6	7.6	32.9	3.8	29.2	34.2
	国分小学校区	76	6.6	28.9	15.8	3.9	40.8	3.9	35.5	19.7
	わからない	31	3.2	16.1	29.0	3.2	48.4	-	19.3	32.2
	無回答	10	-	20.0	20.0	10.0	40.0	10.0	20.0	30.0

(3)民間施設の弱者への配慮(問 15)

● 民間施設の配慮について『否定派』は35.3%で、『肯定派』(17.5%)よりも高い。

民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は17.5%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は35.3%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

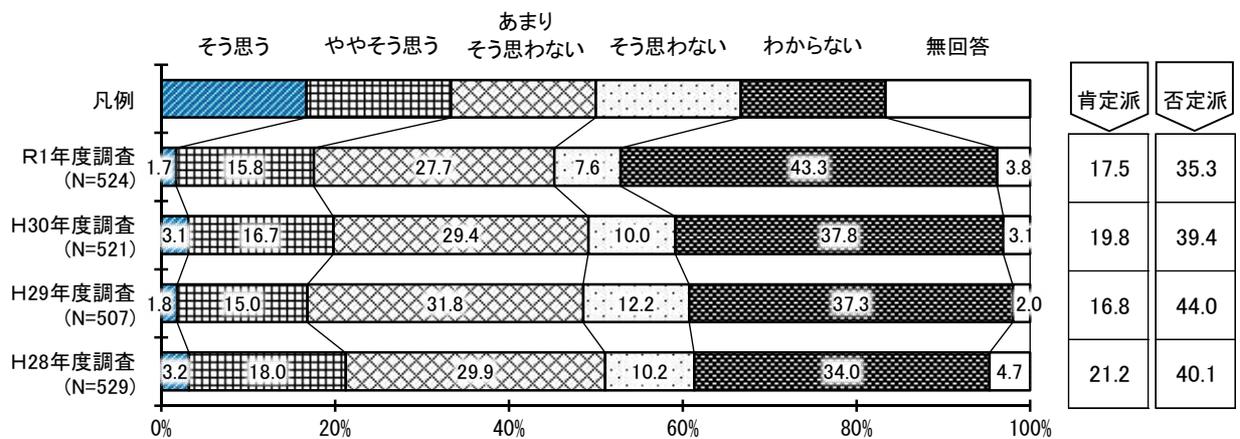
性別にみると、『否定派』は男性(35.7%)の方が女性(35.1%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 15. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		524	9	83	145	40	227	20	17.5	35.3
性別	男性	221	1.8	15.4	28.5	7.2	42.5	4.5	17.2	35.7
	女性	288	1.7	16.7	27.1	8.0	43.8	2.8	18.4	35.1
	無回答	15	-	6.7	26.7	6.7	46.7	13.3	6.7	33.4
年代別	20歳代	39	10.3	30.8	17.9	5.1	30.8	5.1	41.1	23.0
	30歳代	47	2.1	14.9	29.8	6.4	44.7	2.1	17.0	36.2
	40歳代	104	-	14.4	35.6	7.7	41.3	1.0	14.4	43.3
	50歳代	88	2.3	19.3	29.5	8.0	36.4	4.5	21.6	37.5
	60歳代	108	-	13.0	24.1	10.2	49.1	3.7	13.0	34.3
	70歳代以上	132	1.5	13.6	24.2	6.1	48.5	6.1	15.1	30.3
	無回答	6	-	-	50.0	16.7	33.3	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	10.5	31.6	11.8	36.8	5.3	14.4	43.4
	太宰府東小学校区	53	1.9	13.2	35.8	7.5	35.8	5.7	15.1	43.3
	太宰府南小学校区	52	-	26.9	21.2	5.8	40.4	5.8	26.9	27.0
	水城小学校区	86	1.2	12.8	33.7	7.0	39.5	5.8	14.0	40.7
	水城西小学校区	61	1.6	14.8	31.1	8.2	44.3	-	16.4	39.3
	太宰府西小学校区	79	-	17.7	21.5	10.1	48.1	2.5	17.7	31.6
	国分小学校区	76	2.6	19.7	21.1	3.9	50.0	2.6	22.3	25.0
	わからない	31	3.2	16.1	22.6	3.2	54.8	-	19.3	25.8
	無回答	10	-	-	30.0	10.0	50.0	10.0	-	40.0

(4)交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 16)

● 移動手段の確保について『否定派』は52.1%で、『肯定派』(20.0%)よりも高い。

交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は20.0%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は52.1%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

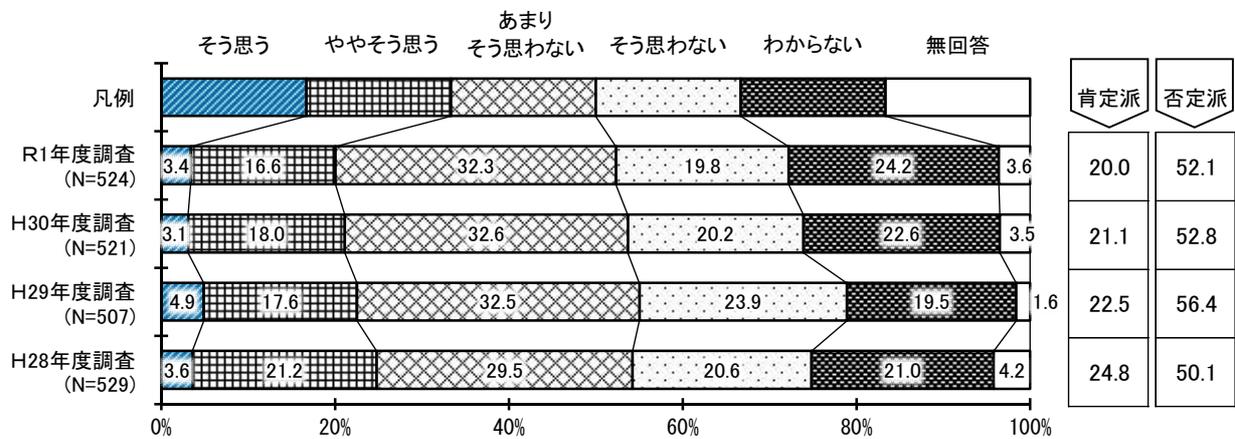
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から1.1ポイント減少しており、『否定派』も0.7ポイント減少している。

性別にみると、『否定派』は女性(52.8%)の方が男性(50.6%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 16. あなたは太宰府市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		524	18	87	169	104	127	19	105	273
		100.0	3.4	16.6	32.3	19.8	24.2	3.6	20.0	52.1
性別	男性	221	3.2	16.3	33.9	16.7	24.9	5.0	19.5	50.6
	女性	288	3.8	17.4	30.2	22.6	24.0	2.1	21.2	52.8
	無回答	15	-	6.7	46.7	13.3	20.0	13.3	6.7	60.0
年代別	20歳代	39	12.8	33.3	25.6	10.3	12.8	5.1	46.1	35.9
	30歳代	47	6.4	19.1	29.8	14.9	27.7	2.1	25.5	44.7
	40歳代	104	1.9	15.4	37.5	20.2	24.0	1.0	17.3	57.7
	50歳代	88	1.1	17.0	31.8	23.9	22.7	3.4	18.1	55.7
	60歳代	108	3.7	13.0	25.0	25.0	29.6	3.7	16.7	50.0
	70歳代以上	132	2.3	15.2	35.6	17.4	23.5	6.1	17.5	53.0
	無回答	6	-	-	66.7	16.7	16.7	-	-	83.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	15.8	32.9	21.1	21.1	5.3	19.7	54.0
	太宰府東小学校区	53	3.8	9.4	47.2	20.8	13.2	5.7	13.2	68.0
	太宰府南小学校区	52	1.9	26.9	25.0	19.2	21.2	5.8	28.8	44.2
	水城小学校区	86	-	14.0	32.6	22.1	27.9	3.5	14.0	54.7
	水城西小学校区	61	8.2	9.8	27.9	16.4	36.1	1.6	18.0	44.3
	太宰府西小学校区	79	2.5	20.3	32.9	17.7	25.3	1.3	22.8	50.6
	国分小学校区	76	5.3	21.1	30.3	19.7	21.1	2.6	26.4	50.0
	わからない	31	3.2	19.4	22.6	25.8	25.8	3.2	22.6	48.4
	無回答	10	-	-	50.0	10.0	30.0	10.0	-	60.0

4. 地域福祉の推進(問 17)

- 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 57.3%で、『肯定派』(37.8%) よりも高い。

地域福祉の促進について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計) は 37.8% となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計) は 57.3% で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

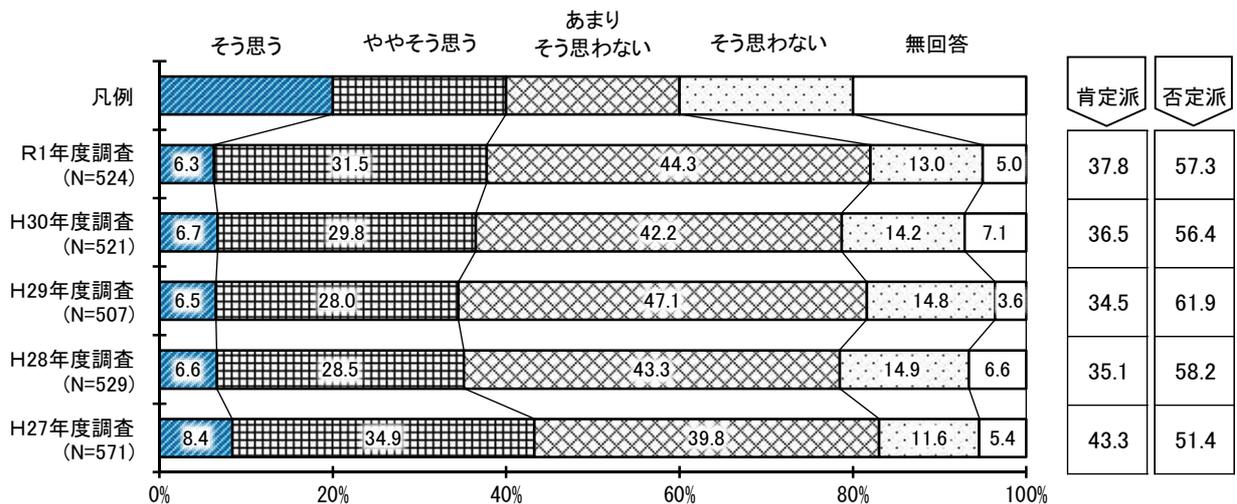
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 1.3 ポイント増加しており、『否定派』も 0.9 ポイント増加している。

性別にみると、男女とも、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』は 30 歳代 (46.8%) で最も低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

問 17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		524	33	165	232	68	26	198	300
		100.0	6.3	31.5	44.3	13.0	5.0	37.8	57.3
性別	男性	221	4.5	26.2	48.9	13.6	6.8	30.7	62.5
	女性	288	7.6	36.5	39.9	12.5	3.5	44.1	52.4
	無回答	15	6.7	13.3	60.0	13.3	6.7	20.0	73.3
年代別	20歳代	39	12.8	23.1	53.8	5.1	5.1	35.9	58.9
	30歳代	47	8.5	38.3	36.2	12.8	4.3	46.8	49.0
	40歳代	104	3.8	28.8	52.9	9.6	4.8	32.6	62.5
	50歳代	88	3.4	31.8	44.3	14.8	5.7	35.2	59.1
	60歳代	108	6.5	28.7	43.5	16.7	4.6	35.2	60.2
	70歳代以上	132	6.8	35.6	38.6	13.6	5.3	42.4	52.2
	無回答	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	50.0	50.0
	小学校区別	太宰府小学校区	76	5.3	27.6	44.7	17.1	5.3	32.9
	太宰府東小学校区	53	11.3	30.2	43.4	7.5	7.5	41.5	50.9
	太宰府南小学校区	52	9.6	46.2	32.7	7.7	3.8	55.8	40.4
	水城小学校区	86	5.8	32.6	48.8	7.0	5.8	38.4	55.8
	水城西小学校区	61	3.3	29.5	45.9	14.8	6.6	32.8	60.7
	太宰府西小学校区	79	6.3	40.5	43.0	8.9	1.3	46.8	51.9
	国分小学校区	76	5.3	25.0	47.4	17.1	5.3	30.3	64.5
	わからない	31	3.2	12.9	48.4	32.3	3.2	16.1	80.7
	無回答	10	10.0	30.0	30.0	20.0	10.0	40.0	50.0

5. 生涯健康づくりの推進

(1)健康状態(問 18)

● ここ数週間の健康状態は『健康』は81.9%、『不調』は15.8%となっている。

ここ数週間の健康状態について、『健康』（「とても健康である」と「健康な方である」の合計）は81.9%となっている。一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は15.8%で、『健康』が約8割となっている。

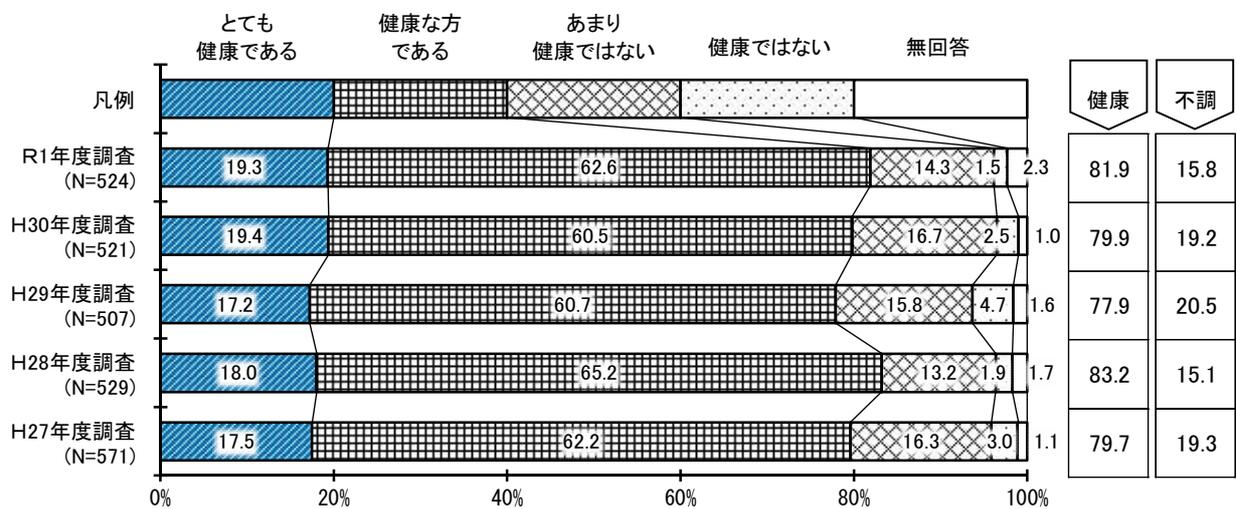
過去の調査結果と比べると、『健康』は前回調査から2.0ポイント増加しており、一方、『不調』は3.4ポイント減少している。

性別にみると、『健康』は女性（87.1%）の方が男性（75.1%）より高くなっている。

年代別にみると、『健康』は70歳代以上を除くすべての年代で8割を超えている。

小学校区別にみると、『健康』は太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で7割を超えている。

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は1つ）



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康 (%)	不調 (%)
全体		524	101	328	75	8	12	81.9	15.8
性別	男性	221	16.7	58.4	20.4	1.4	3.2	75.1	21.8
	女性	288	21.5	65.6	10.1	1.4	1.4	87.1	11.5
	無回答	15	13.3	66.7	6.7	6.7	6.7	80.0	13.4
年代別	20歳代	39	38.5	48.7	10.3	-	2.6	87.2	10.3
	30歳代	47	27.7	57.4	10.6	2.1	2.1	85.1	12.7
	40歳代	104	23.1	64.4	11.5	-	1.0	87.5	11.5
	50歳代	88	19.3	64.8	13.6	1.1	1.1	84.1	14.7
	60歳代	108	15.7	67.6	13.0	1.9	1.9	83.3	14.9
	70歳代以上	132	11.4	59.8	21.2	3.0	4.5	71.2	24.2
	無回答	6	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	21.1	53.9	18.4	2.6	3.9	75.0	21.0
	太宰府東小学校区	53	18.9	60.4	13.2	-	7.5	79.3	13.2
	太宰府南小学校区	52	21.2	65.4	9.6	-	3.8	86.6	9.6
	水城小学校区	86	24.4	64.0	11.6	-	-	88.4	11.6
	水城西小学校区	61	8.2	78.7	13.1	-	-	86.9	13.1
	太宰府西小学校区	79	21.5	48.1	24.1	5.1	1.3	69.6	29.2
	国分小学校区	76	21.1	64.5	10.5	1.3	2.6	85.6	11.8
	わからない	31	16.1	71.0	12.9	-	-	87.1	12.9
	無回答	10	-	90.0	-	10.0	-	90.0	10.0

(2)健康増進の取り組み状況(問 19)

● 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」と答えた人は55.0%となっており、毎年5割以上で推移している。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものについて、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は55.0%、「ない」と答えた割合は42.7%となっている。

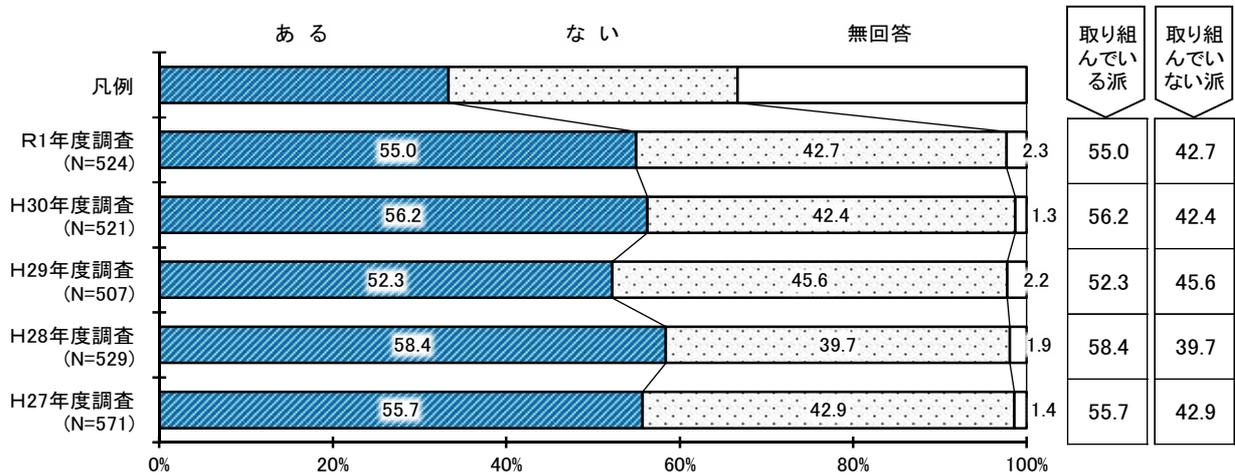
過去の調査結果と比べると、『取り組んでいる派』の割合は、毎年5割以上で推移している。性別にみると、『取り組んでいる派』は女性(55.6%)の方が男性(54.8%)より高くなっている。

年代別にみると、『取り組んでいる派』は70歳代以上(72.0%)で最も高くなっており、一方、『取り組んでいない派』は30歳代(63.8%)で最も高くなっている。

健康状態別にみると、健康な人ほど『取り組んでいる派』の割合が高く、健康状態と健康増進の取り組みで関連性がみられる。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と水城小学校区を除くすべての小学校区で『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』より高くなっている。

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(〇は1つ)



		標本数	(%)		
			ある	ない	無回答
全体		524	288	224	12
		100.0	55.0	42.7	2.3
性別	男性	221	54.8	42.5	2.7
	女性	288	55.6	42.7	1.7
	無回答	15	46.7	46.7	6.7
年代別	20歳代	39	38.5	59.0	2.6
	30歳代	47	34.0	63.8	2.1
	40歳代	104	50.0	50.0	-
	50歳代	88	47.7	50.0	2.3
	60歳代	108	58.3	38.9	2.8
	70歳代以上	132	72.0	24.2	3.8
	無回答	6	83.3	16.7	-
健康状態別	とても健康である	101	60.4	38.6	1.0
	健康な方である	328	57.6	42.1	0.3
	あまり健康でない	75	45.3	54.7	-
	健康ではない	8	37.5	62.5	-
	無回答	12	8.3	8.3	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	46.1	50.0	3.9
	太宰府東小学校区	53	67.9	26.4	5.7
	太宰府南小学校区	52	67.3	26.9	5.8
	水城小学校区	86	48.8	50.0	1.2
	水城西小学校区	61	54.1	45.9	-
	太宰府西小学校区	79	62.0	38.0	-
	国分小学校区	76	51.3	46.1	2.6
	わからない	31	41.9	58.1	-
	無回答	10	60.0	40.0	-

(3)健康診査の受診状況(問 20)

● この一年間の健康診査の受診率は7割となっている。

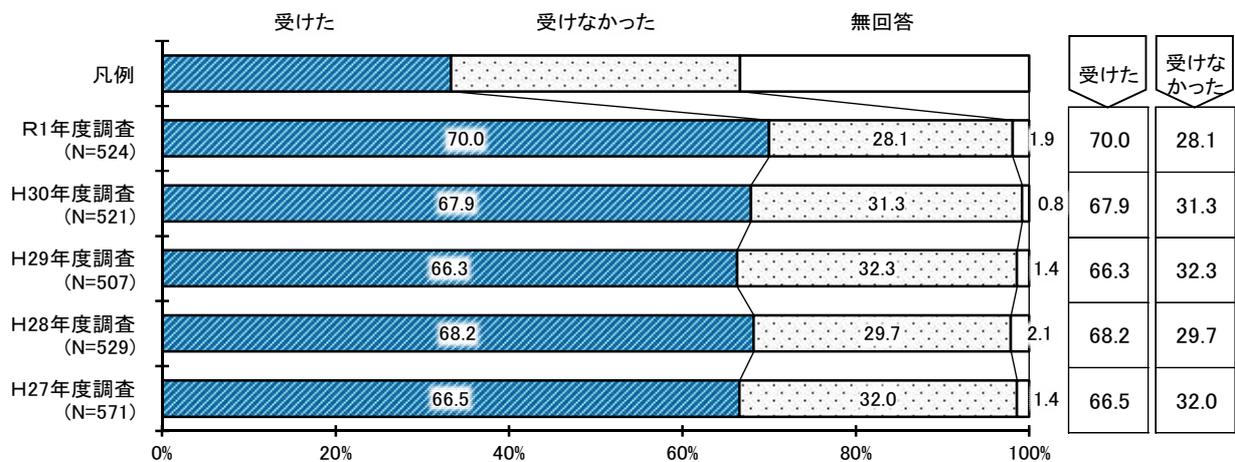
健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が70.0%、「受けなかった」は28.1%となっている。

過去の調査結果と比べると、『受診率』は前回調査から2.1ポイント増加している。

性別・年代別にみると、男女ともにサンプル数の少ない20歳代と30歳代を除き「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康状態に関わらず、いずれも受診率は5割以上となっている。小学校区別にみると、すべての小学校区で、受診率は6割以上となっている。

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドックを含む)を受けましたか。(〇は1つ)



		標本数	受けた	か受つたな	無回答
全体		524	367	147	10
		100.0	70.0	28.1	1.9
性別	男性	221	70.6	26.7	2.7
	女性	288	70.1	28.8	1.0
	無回答	15	60.0	33.3	6.7
性別・年代別	男性:20歳代	13	46.2	53.8	-
	男性:30歳代	16	75.0	18.8	6.3
	男性:40歳代	44	86.4	13.6	-
	男性:50歳代	39	76.9	20.5	2.6
	男性:60歳代	45	64.4	35.6	-
	男性:70歳代以上	64	64.1	29.7	6.3
	女性:20歳代	26	65.4	30.8	3.8
	女性:30歳代	31	48.4	48.4	3.2
	女性:40歳代	57	64.9	35.1	-
	女性:50歳代	49	77.6	22.4	-
	女性:60歳代	60	80.0	18.3	1.7
	女性:70歳代以上	63	71.4	28.6	-
	無回答	17	64.7	29.4	5.9
健康状態別	とても健康である	101	71.3	28.7	-
	健康な方である	328	73.2	26.5	0.3
	あまり健康でない	75	64.0	36.0	-
	健康ではない	8	62.5	37.5	-
	無回答	12	16.7	8.3	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	61.8	34.2	3.9
	太宰府東小学校区	53	69.8	26.4	3.8
	太宰府南小学校区	52	67.3	28.8	3.8
	水城小学校区	86	69.8	30.2	-
	水城西小学校区	61	78.7	21.3	-
	太宰府西小学校区	79	79.7	20.3	-
	国分小学校区	76	65.8	30.3	3.9
	わからない	31	61.3	38.7	-
	無回答	10	80.0	20.0	-

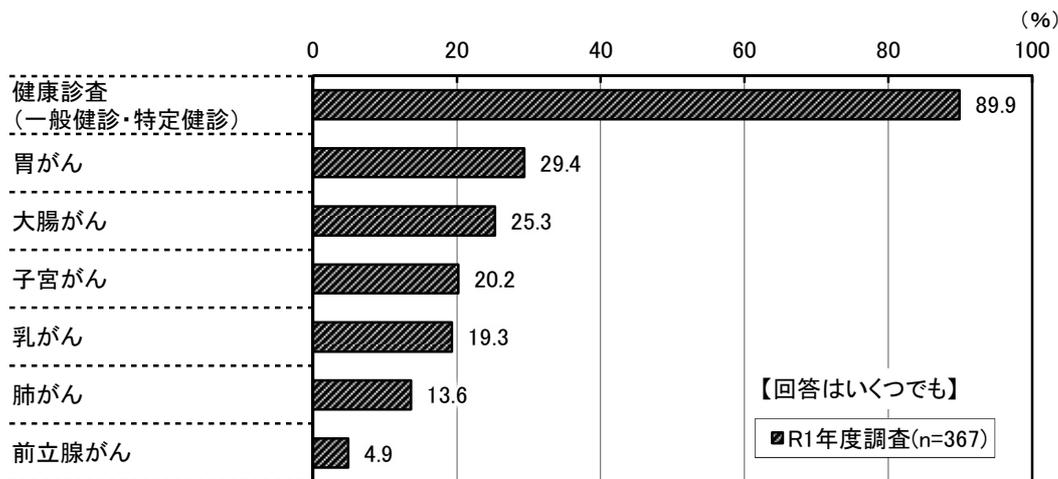
(4)受診した健康診査の項目(問 20 付問1)

● 受診した健康診査は「健康診査（一般健診・特定健診）」が89.9%となっている。

受診した健康診査の項目について、「健康診査（一般健診・特定健診）」(89.9%) が最も高く、次いで「胃がん」(29.4%)、「大腸がん」(25.3%)、「子宮がん」(20.2%) の順となっている。

性別にみると、「健康診査（一般健診・特定健診）」の割合は男性(95.5%)の方が女性(85.1%)より高くなっている。

問 20 付問 1.【受けたと答えた方】におたずねします。あなたがこの一年間に受けた「健康診査」の項目を選んでください。(〇はいくつでも)



		標本数	健康診査(一般健診・特定健診)	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん	前立腺がん	無回答
全体		367	89.9	29.4	25.3	20.2	19.3	13.6	4.9	1.6
性別	男性	156	95.5	23.7	23.1	-	-	14.1	11.5	1.9
	女性	202	85.1	33.7	27.7	36.6	35.1	13.9	-	1.5
	無回答	9	100.0	33.3	11.1	-	-	-	-	-
性別・年代別	男性:20歳代	6	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	男性:30歳代	12	91.7	-	8.3	-	-	-	-	-
	男性:40歳代	38	97.4	26.3	23.7	-	-	15.8	-	2.6
	男性:50歳代	30	93.3	26.7	20.0	-	-	13.3	3.3	3.3
	男性:60歳代	29	100.0	13.8	17.2	-	-	10.3	20.7	-
	男性:70歳代以上	41	92.7	36.6	36.6	-	-	22.0	26.8	2.4
	女性:20歳代	17	58.8	-	-	47.1	-	-	-	-
	女性:30歳代	15	100.0	26.7	20.0	53.3	33.3	-	-	-
	女性:40歳代	37	83.8	37.8	35.1	45.9	56.8	16.2	-	-
	女性:50歳代	38	97.4	31.6	18.4	36.8	47.4	7.9	-	2.6
	女性:60歳代	48	87.5	41.7	35.4	22.9	31.3	20.8	-	2.1
女性:70歳代以上	45	77.8	37.8	33.3	33.3	24.4	17.8	-	2.2	
無回答	11	100.0	36.4	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	
健康状態別	とても健康である	72	91.7	36.1	31.9	20.8	22.2	13.9	4.2	1.4
	健康な方である	240	90.4	28.8	25.0	22.1	20.8	12.5	4.2	1.3
	あまり健康でない	48	87.5	22.9	16.7	10.4	8.3	16.7	6.3	2.1
	健康ではない	5	80.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0
無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	47	89.4	27.7	25.5	23.4	19.1	12.8	2.1	4.3
	太宰府東小学校区	37	97.3	32.4	27.0	24.3	24.3	13.5	8.1	-
	太宰府南小学校区	35	91.4	22.9	28.6	25.7	20.0	11.4	-	-
	水城小学校区	60	93.3	30.0	26.7	23.3	23.3	18.3	3.3	-
	水城西小学校区	48	91.7	27.1	16.7	16.7	20.8	10.4	2.1	-
	太宰府西小学校区	63	79.4	30.2	28.6	19.0	20.6	14.3	9.5	3.2
	国分小学校区	50	90.0	36.0	30.0	18.0	14.0	12.0	10.0	-
	わからない	19	94.7	21.1	15.8	5.3	5.3	15.8	-	5.3
無回答	8	87.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	12.5	

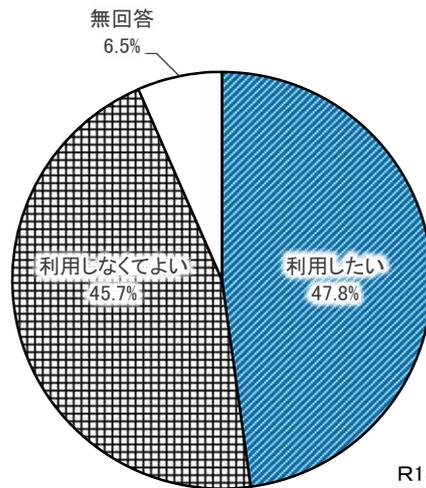
(5)市が健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向(問 21)

● 健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向は47.8%となっている。

市が健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向について、「利用したい」と答えた割合は47.8%、「利用しなくてよい」と答えた割合は45.7%となっている。

性別にみると、「利用したい」と答えた割合は男性(63.6%)の方が女性(30.4%)より高くなっている。

問 21.【75歳以上の方だけにおたずねします。】医療機関が行う健康診査(個別健診)のほかに、市が行う健康診査(集団健診)があれば、そちらを利用したいですか。(○は1つ)



R1年度調査全体(n=46)

		標本数	利用したい (%)	て利用しなくてよい (%)	無回答 (%)
全 体		46	22 47.8	21 45.7	3 6.5
性別	男 性	22	63.6	27.3	9.1
	女 性	23	30.4	65.2	4.3
	無回答	1	100.0	-	-
健康状態別	とても健康である	5	80.0	20.0	-
	健康な方である	29	48.3	51.7	-
	あまり健康でない	10	30.0	50.0	20.0
	健康ではない	1	100.0	-	-
無回答	1	-	-	100.0	
小学校区別	太宰府小学校区	2	50.0	-	50.0
	太宰府東小学校区	5	40.0	60.0	-
	太宰府南小学校区	7	42.9	57.1	-
	水城小学校区	6	50.0	33.3	16.7
	水城西小学校区	3	-	100.0	-
	太宰府西小学校区	8	50.0	50.0	-
	国分小学校区	13	69.2	30.8	-
	わからない	1	-	-	100.0
	無回答	1	-	100.0	-

(6)健康推進事業の認知度(問 22)

● 健康推進事業の認知度は 57.6%となっている。

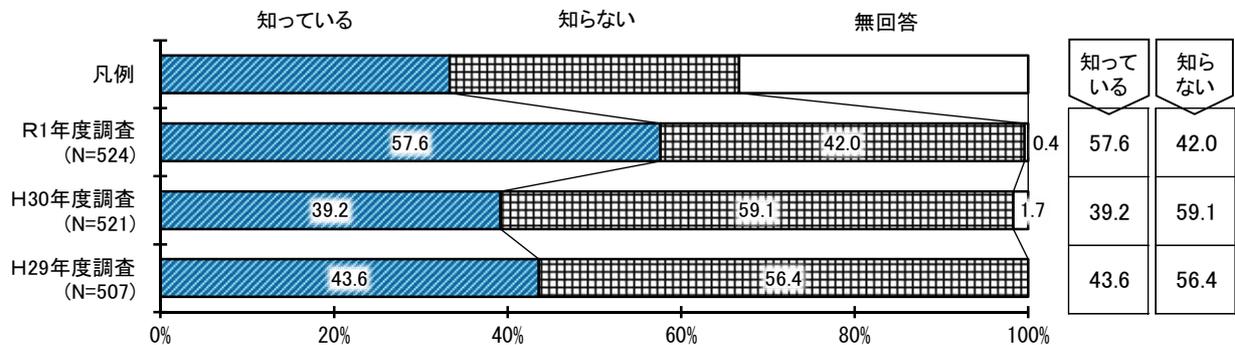
健康推進事業の認知度について、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していることを「知っている」と答えた割合は 57.6%、「知らない」と答えた割合は 42.0%となっている。

性別・年代別にみると、男性は 30 歳代、50 歳代、60 歳代を除く年代で「知っている」の方が「知らない」より高くなっており、女性は全ての年代で「知っている」の方が高くなっている。また、認知度が最も高いのは男性 70 歳代以上 (56.3%)、女性 50 歳代 (77.6%) となっている。

健康状態別に受診率をみると、「とても健康である」、「健康な方である」は「知っている」の方が高くなっており、「あまり健康ではない」は「知らない」の方が高くなっている。

小学校区別にみると、最も認知度が高いのは太宰府南小学校区 (65.4%) となっている。一方、最も認知度が低いのは国分小学校区 (46.1%) となっている。

問 22. 市では、40 歳以上の市民を対象として、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していますが、ご存じですか。(〇は1つ)



		標本数	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		524	302	220	2
		100.0	57.6	42.0	0.4
性別・年代別	男性:20歳代	13	53.8	46.2	-
	男性:30歳代	16	43.8	56.3	-
	男性:40歳代	44	50.0	47.7	2.3
	男性:50歳代	39	43.6	56.4	-
	男性:60歳代	45	44.4	53.3	2.2
	男性:70歳代以上	64	56.3	43.8	-
	女性:20歳代	26	53.8	46.2	-
	女性:30歳代	31	67.7	32.3	-
	女性:40歳代	57	64.9	35.1	-
	女性:50歳代	49	77.6	22.4	-
	女性:60歳代	60	60.0	40.0	-
健康状態別	とても健康である	101	60.4	39.6	-
	健康な方である	328	58.5	41.2	0.3
	あまり健康でない	75	48.0	50.7	1.3
	健康ではない	8	37.5	62.5	-
	無回答	12	83.3	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	61.8	38.2	-
	太宰府東小学校区	53	58.5	41.5	-
	太宰府南小学校区	52	65.4	34.6	-
	水城小学校区	86	57.0	41.9	1.2
	水城西小学校区	61	63.9	34.4	1.6
	太宰府西小学校区	79	58.2	41.8	-
	国分小学校区	76	53.9	46.1	-
	わからない	31	35.5	64.5	-
	無回答	10	40.0	60.0	-

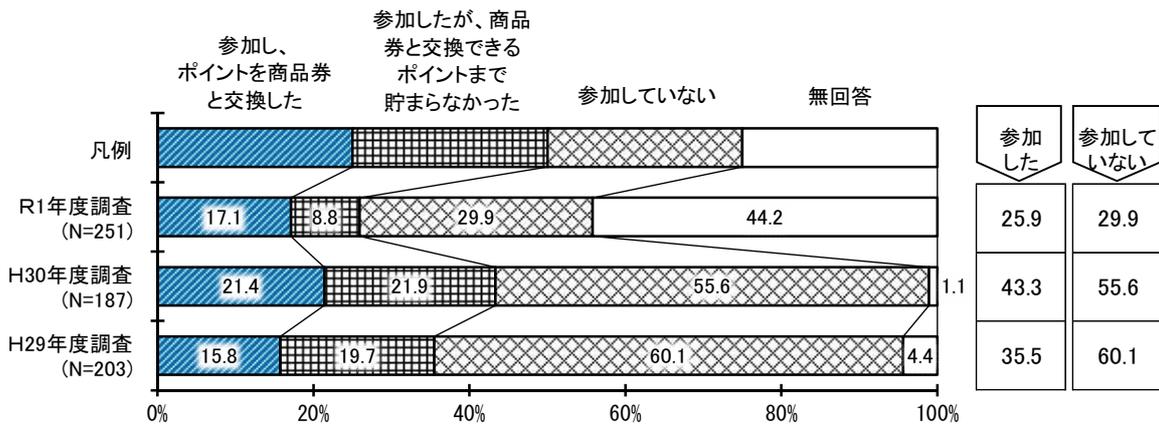
(7)健康推進事業の参加率(問 22 付問1)

● 健康推進事業の参加率は 25.9%となっている。

健康推進事業の参加率について、40 歳以上で元気づくりポイント事業の実施を知っている人のうち、『参加した』（「参加し、ポイントを商品券と交換した」と「参加したが、商品券と交換できるポイントまで貯まらなかった」の合計）と回答した人の割合は 25.9%となっている。

性別・年代別にみると、『参加した』は女性 70 歳代以上（57.9%）が最も高くなっている。

問 22 付問 1. 【知っていると答えた方】で 40 歳以上の方におたずねします。あなたは、令和元年度に元気づくりポイント事業に参加しましたか。（〇は 1 つ）



		標本数	参加し、ポイントを商品券と交換した	参加したが、商品券と交換できるポイントまで貯まらなかった	参加していない	無回答	参加した (%)	参加していない (%)
全体		251	43	22	75	111	25.9	29.9
性別・年代別	男性:40歳代	22	4.5	-	18.2	77.3	4.5	18.2
	男性:50歳代	17	-	-	17.6	82.4	-	17.6
	男性:60歳代	20	5.0	5.0	35.0	55.0	10.0	35.0
	男性:70歳代以上	36	33.3	22.2	19.4	25.0	55.5	19.4
	女性:40歳代	37	2.7	10.8	37.8	48.6	13.5	37.8
	女性:50歳代	38	-	2.6	50.0	47.4	2.6	50.0
	女性:60歳代	36	27.8	8.3	22.2	41.7	36.1	22.2
	女性:70歳代以上	38	47.4	10.5	31.6	10.5	57.9	31.6
無回答	7	-	14.3	14.3	71.4	14.3	14.3	
健康状態別	とても健康である	46	23.9	8.7	28.3	39.1	32.6	28.3
	健康な方である	163	16.0	9.2	31.3	43.6	25.2	31.3
	あまり健康でない	32	15.6	9.4	34.4	40.6	25.0	34.4
	健康ではない	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-
無回答	8	-	-	-	100.0	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	36	8.3	8.3	36.1	47.2	16.6	36.1
	太宰府東小学校区	26	30.8	3.8	23.1	42.3	34.6	23.1
	太宰府南小学校区	26	26.9	11.5	42.3	19.2	38.4	42.3
	水城小学校区	40	-	12.5	37.5	50.0	12.5	37.5
	水城西小学校区	33	12.1	6.1	18.2	63.6	18.2	18.2
	太宰府西小学校区	43	27.9	4.7	32.6	34.9	32.6	32.6
	国分小学校区	35	20.0	17.1	20.0	42.9	37.1	20.0
	わからない	10	10.0	-	30.0	60.0	10.0	30.0
	無回答	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-

6. 防災・消防体制の整備充実

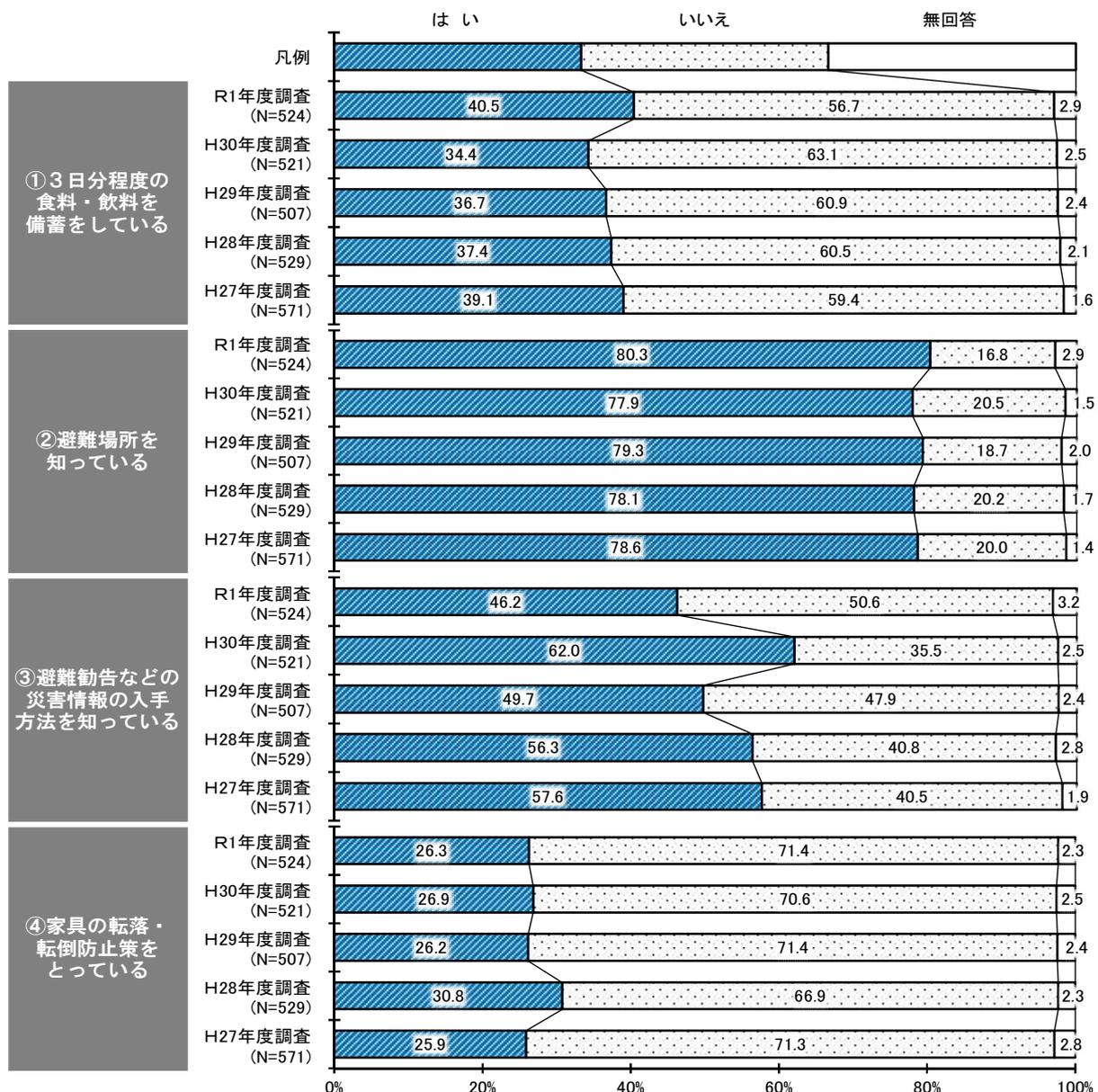
(1) 災害に対する日頃の備え(問 23)

- 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「③災害情報源の認知」、「①食料の備蓄」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（80.3%）が最も高く、次いで「③災害情報源の認知」（46.2%）、「①食料の備蓄」（40.5%）、「④家具の転倒防止策」（26.3%）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」）より高いのは、「①食料の備蓄」（56.7%）、「③災害情報源の認知」（50.6%）、「④家具の転倒防止策」（71.4%）の3項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「①食料の備蓄」で6.1ポイント増加しており、「③災害情報源の認知」で15.8ポイント減少している。

問 23. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）



性別にみると、実施率（「はい」の割合）は、男性の方が「④家具の転倒防止策」（27.6%）で女性より高くなっている。一方、女性は「①食料の備蓄」（42.7%）、「②避難場所を知っている」（87.5%）、「③災害情報源の認知」（50.0%）が男性より高くなっている。

年代別にみると、実施率（「はい」の割合）は、すべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高くなっており、40歳代（86.5%）では他の年代より高くなっている。

小学校区別にみると、「②避難場所を知っている」の実施率（「はい」の割合）は、水城西小学校区（90.2%）では約9割と特に高くなっている。

(%)

	標 本 数	①3日分程度の食料・ 飲料を備蓄をしている			②避難場所を知っている			③避難勧告などの災害情報 の入手方法を知っている			④家具の転落・転倒防 止策をとっている			
		は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答	
全 体	524 100.0	212 40.5	297 56.7	15 2.9	421 80.3	88 16.8	15 2.9	242 46.2	265 50.6	17 3.2	138 26.3	374 71.4	12 2.3	
性 別	男 性	221	38.9	57.5	3.6	72.9	22.6	4.5	43.9	51.1	5.0	27.6	68.3	4.1
	女 性	288	42.7	55.2	2.1	87.5	11.1	1.4	50.0	48.6	1.4	25.7	73.6	0.7
	無回答	15	20.0	73.3	6.7	53.3	40.0	6.7	6.7	80.0	13.3	20.0	73.3	6.7
年 代 別	20歳代	39	33.3	66.7	-	79.5	20.5	-	38.5	61.5	-	30.8	69.2	-
	30歳代	47	21.3	78.7	-	70.2	29.8	-	44.7	55.3	-	29.8	70.2	-
	40歳代	104	35.6	63.5	1.0	86.5	12.5	1.0	56.7	43.3	-	25.0	74.0	1.0
	50歳代	88	35.2	61.4	3.4	80.7	15.9	3.4	48.9	48.9	2.3	25.0	73.9	1.1
	60歳代	108	47.2	50.0	2.8	78.7	17.6	3.7	42.6	54.6	2.8	25.9	72.2	1.9
	70歳代以上	132	50.8	43.2	6.1	80.3	14.4	5.3	42.4	48.5	9.1	27.3	66.7	6.1
	無回答	6	50.0	50.0	-	83.3	16.7	-	33.3	66.7	-	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	42.1	52.6	5.3	82.9	11.8	5.3	48.7	43.4	7.9	22.4	73.7	3.9
	太宰府東小学校区	53	47.2	49.1	3.8	77.4	18.9	3.8	58.5	39.6	1.9	32.1	66.0	1.9
	太宰府南小学校区	52	40.4	57.7	1.9	82.7	13.5	3.8	40.4	53.8	5.8	32.7	65.4	1.9
	水城小学校区	86	33.7	64.0	2.3	81.4	17.4	1.2	44.2	53.5	2.3	30.2	68.6	1.2
	水城西小学校区	61	27.9	70.5	1.6	90.2	9.8	-	52.5	47.5	-	29.5	70.5	-
	太宰府西小学校区	79	49.4	49.4	1.3	81.0	16.5	2.5	41.8	55.7	2.5	19.0	79.7	1.3
	国分小学校区	76	46.1	48.7	5.3	82.9	13.2	3.9	50.0	47.4	2.6	31.6	64.5	3.9
	わからない 無回答	31 10	35.5 30.0	64.5 70.0	- -	51.6 60.0	45.2 40.0	3.2 -	25.8 40.0	71.0 60.0	3.2 -	12.9 -	80.6 100.0	6.5 -

(2)消防団の認知度(問 24)

● 消防団の認知度は84.6%となっている。

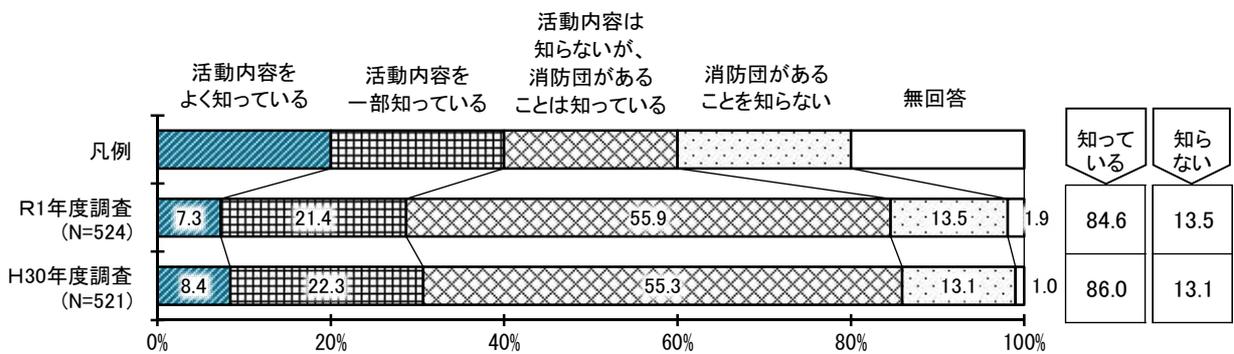
消防団の活動内容の認知度について、『知っている』（「活動をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」と「活動内容は知らないが、消防団があることは知っている」の合計）と答えた割合は84.6%、「知らない」と答えた割合は13.5%となっている。

性別にみると、『知っている』の割合は女性（87.2%）の方が男性（82.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『知っている』が最も高いのは20歳代（89.7%）となっている。

小学校区別にみると、『知っている』の割合が最も高くなっているのは水城西小学校区（88.6%）となっている。一方、『知らない』の割合が最も高くなっているのは太宰府東小学校区（20.8%）となっている。

問 24. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。(○は1つ)



		標本数	活動内容をよく知っている	活動内容を一部知っている	活動内容は知らないが、消防団があることは知っている	消防団があることを知らない	無回答	知っている	知らない
全体		524	38	112	293	71	10	443	71
		100.0	7.3	21.4	55.9	13.5	1.9	84.6	13.5
性別	男性	221	10.4	20.4	51.6	14.9	2.7	82.4	14.9
	女性	288	5.2	22.6	59.4	11.8	1.0	87.2	11.8
	無回答	15	-	13.3	53.3	26.7	6.7	66.6	26.7
年代別	20歳代	39	5.1	20.5	64.1	10.3	-	89.7	10.3
	30歳代	47	2.1	19.1	66.0	12.8	-	87.2	12.8
	40歳代	104	5.8	15.4	64.4	14.4	-	85.6	14.4
	50歳代	88	8.0	18.2	60.2	12.5	1.1	86.4	12.5
	60歳代	108	11.1	15.7	51.9	18.5	2.8	78.7	18.5
	70歳代以上	132	7.6	33.3	44.7	9.8	4.5	85.6	9.8
	無回答	6	-	33.3	33.3	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	9.2	18.4	60.5	7.9	3.9	88.1	7.9
	太宰府東小学校区	53	7.5	13.2	56.6	20.8	1.9	77.3	20.8
	太宰府南小学校区	52	3.8	30.8	46.2	17.3	1.9	80.8	17.3
	水城西小学校区	86	9.3	17.4	60.5	11.6	1.2	87.2	11.6
	水城西小学校区	61	8.2	19.7	60.7	9.8	1.6	88.6	9.8
	太宰府西小学校区	79	5.1	22.8	53.2	17.7	1.3	81.1	17.7
	国分小学校区	76	7.9	26.3	53.9	9.2	2.6	88.1	9.2
	わからない	31	-	22.6	54.8	22.6	-	77.4	22.6
	無回答	10	20.0	30.0	40.0	10.0	-	90.0	10.0

7. 防犯・暴力追放運動の推進

(1)防犯面の安心度(問 25)

● 防犯面について『安心派』は70.0%、『不安派』は28.3%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「とても安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は70.0%となっている。一方、『不安派』（「とても不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は28.3%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

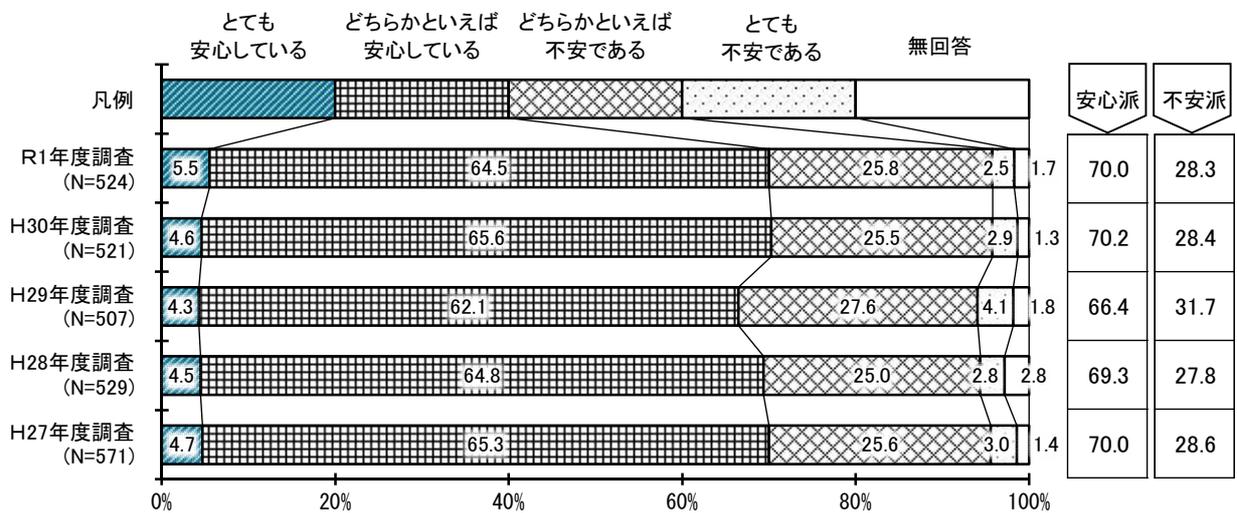
過去の調査結果と比べると、『安心派』は前回調査から0.2ポイント減少しており、『不安派』も0.1ポイント減少している。

性別にみると、『安心派』は男性（73.3%）の方が女性（67.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『安心派』はすべての年代で6割を超えており、20歳代では79.5%と特に高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が7割以上となっているのは太宰府南小学校区、太宰府西小学校区、国分小学校区の3小学校区となっている。

問 25. あなたは市内に住むことについて防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	とても不安である	無回答	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		524	29	338	135	13	9	70.0	28.3
性別	男性	221	5.9	67.4	22.6	1.4	2.7	73.3	24.0
	女性	288	5.6	61.8	28.8	3.1	0.7	67.4	31.9
	無回答	15	-	73.3	13.3	6.7	6.7	73.3	20.0
年代別	20歳代	39	12.8	66.7	17.9	2.6	-	79.5	20.5
	30歳代	47	4.3	72.3	19.1	4.3	-	76.6	23.4
	40歳代	104	5.8	59.6	32.7	1.9	-	65.4	34.6
	50歳代	88	4.5	61.4	30.7	1.1	2.3	65.9	31.8
	60歳代	108	2.8	63.0	28.7	3.7	1.9	65.8	32.4
	70歳代以上	132	6.8	67.4	20.5	1.5	3.8	74.2	22.0
	無回答	6	-	83.3	-	16.7	-	83.3	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	65.8	25.0	1.3	3.9	69.7	26.3
	太宰府東小学校区	53	3.8	52.8	39.6	1.9	1.9	56.6	41.5
	太宰府南小学校区	52	15.4	67.3	13.5	1.9	1.9	82.7	15.4
	水城小学校区	86	5.8	61.6	27.9	3.5	1.2	67.4	31.4
	水城西小学校区	61	4.9	62.3	29.5	1.6	1.6	67.2	31.1
	太宰府西小学校区	79	5.1	68.4	24.1	2.5	-	73.5	26.6
	国分小学校区	76	3.9	69.7	22.4	1.3	2.6	73.6	23.7
	わからない	31	3.2	54.8	32.3	9.7	-	58.0	42.0
無回答	10	-	100.0	-	-	-	100.0	-	

(2)防犯上危険と思う場所(問 25 付問1)

問 25 付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記入してください。

校区	性別	年齢	問25付問1. 家の周囲や市内において防犯上危険と思われるような場所
太宰府	男性	40代	外灯が少ない所が多い。防犯カメラが少ない。
太宰府	男性	40代	三条の裏手の通学路
太宰府	男性	50代	太宰府市民の森のトイレは夜間に電気がついていて、人がいる気配がする。
太宰府	男性	60代	まだ防犯カメラが少ない。
太宰府	男性	70代以上	北谷運動公園周辺と北谷内山工場地帯は防犯も心配ですが、それ以上に火災発生時の初期消火の配水が必要ではないか。防火水槽等の対策を取ってほしい。
太宰府	女性	20代	君畑交差点、3号線高架下は夜間の街灯が暗く、危険。
太宰府	女性	30代	通学路等に防犯カメラがない。
太宰府	女性	30代	公園の時計が一部故障していたが、新しく改築されたようなので良かったと思う。
太宰府	女性	30代	長期入院等で不在の家や空家。居住はしているが荒れた家。
太宰府	女性	40代	安全な場所はないと思っている。
太宰府	女性	40代	街灯が少なすぎる。夜道は歩けない。
太宰府	女性	50代	盲人会館の近くの空き地や竹藪に誰でも入れるようになっていたため、引きずりこまれてもわからないと思います。
太宰府	女性	50代	人気のない裏道があり、電気(外灯)も少ない。
太宰府	女性	60代	農作放棄地や空き地に雑草や樹木があり、不法投棄が見られる。火災等が心配である。
太宰府	女性	70代以上	夜にバイパス下の道路をもっと明るくして、人の顔が少しでもいいので判別できればいいと思います。
太宰府	女性	70代以上	盲人会館の近辺からの上り下りの坂が不安。
太宰府東	男性	30代	太宰府市青山は外灯が暗い。
太宰府東	男性	40代	泉水公園周辺
太宰府東	男性	40代	駅周囲
太宰府東	男性	40代	太宰府高校の裏山の所は暗くて草木が散乱していて、散歩中も怖いと思う。
太宰府東	男性	50代	西鉄五条駅～五条台～青山に向かう坂道が暗く、1人歩きが怖い。娘が怖い目に遭った。
太宰府東	男性	70代以上	太宰府病院の入院患者が、保育所の隣の公園に喫煙しに来ている。病院内に喫煙所を設けてほしい。
太宰府東	女性	20代	五条駅～自宅までに街灯が少なく、1人歩きが怖い。
太宰府東	女性	40代	日中でも人通りが少なく暗い場所を、小学生が1人で登下校するのは良くない。
太宰府東	女性	40代	太宰府東中学校への道が暗くて危なそう。
太宰府東	女性	50代	暗い所が多い。賃貸マンション(若い人の多い)やアパートがあるが、明かりが少ない。女性は怖いと思う。夜中も結構声がする。
太宰府東	女性	50代	どこもかしこも暗い。
太宰府東	女性	60代	丘の上の住宅街だが、空家が目立ってきた。自宅周りは前住居者が手入れをしているし、見通しも良い。自宅の防犯(施錠)に専念すれば良い。他の所はわからない。
太宰府東	女性	60代	青山地区は過去に殺人事件が数件あった。空き巣も多い。要注意。
太宰府東	女性	60代	空家が増えている。
太宰府東	女性	70代以上	昨年、青山(東ヶ丘)でアパート居住の女性が殺された事件があった。その時だろうと思うが、パトカーが何台も行き来した。また、アパートに単身者の住居も増えるようで、誰が住んでいるかわからない居住区も多いのではないと思う。
太宰府南	女性	30代	高雄の交差点に右折信号がない。

校区	性別	年齢	問25付問1. 家の周囲や市内において防犯上危険と思われるような場所
太宰府南	女性	30代	子ども達の通学路の途中で、梅ヶ丘のセブンイレブンから南小に行く川と森のようになっている道は、夕方以降は暗くて危ない。
太宰府南	女性	40代	太宰府東中学校～高雄公園が暗い（高雄交差点ネットカフェ、パチンコ、ATM）。
太宰府南	女性	40代	住んでいる団地は昼間あまり人がいないようです。車は通っていますが、空き巣の心配があります。
太宰府南	女性	50代	高雄郵便局の近く、3号線の高架下トンネル。朝や夕方等に抜け道になっていて、スピードを出す車が多い（知らない車）。
水城	男性	40代	老朽化した空家、街灯が少ない路地が多い。
水城	男性	40代	朱雀大通りの高架下が暗くて道も狭く、危険（小学校の通学路）。筑陽学園の前の道は暗い。
水城	男性	40代	パチンコ店周辺
水城	男性	60代	全体的に防犯灯が少ない。または暗い。
水城	男性	70代以上	神社公園は注意している。
水城	女性	20代	都府楼前や都府楼南の夜が怖い。
水城	女性	30代	通古賀5丁目付近（王城神社周辺）等の細い路地は人通りも少なく、夜は街灯が少なめで暗くて歩くのが怖い（西鉄二日市駅から）。
水城	女性	40代	坂本公園付近が夜は暗くて、1人で歩くのが怖い。
水城	女性	40代	夜、暴走バイクが走っていることがある。
水城	女性	40代	観世音寺の裏通りの道は街灯が少なく、夜は通るのが怖い。
水城	女性	40代	朱雀6丁目西鉄線路沿いにある歩行者専用の細い道。朝は自転車も通っているし、何かあった時の逃げ場がない。
水城	女性	50代	街灯が暗い。街灯が少ない。
水城	女性	60代	ほとんどの道路で（太宰府市内）外灯が暗く、数も少ない。
水城西	男性	40代	橋の下の街灯の明るさ、間隔。
水城西	男性	50代	吉松区のコンビニ（セブンイレブン）の通りの外灯が暗い。
水城西	男性	50代	鷲田川付近の道路
水城西	男性	50代	高速道下の脇道をもっと明るくしてほしい。
水城西	男性	60代	セブンイレブン付近（夜間）。川べり（暗い）。
水城西	男性	60代	外灯が少ないのではないかと（体育館の駐車場入口）。
水城西	女性	30代	雨量が多い時に川が氾濫しないか不安。
水城西	女性	30代	街灯が少なく、道が暗い。御笠川が近く、危険な所がある。
水城西	女性	40代	川沿いの道が暗い。
水城西	女性	40代	道路の高架下
水城西	女性	40代	向佐野のJR沿線の道路
水城西	女性	50代	西鉄都府楼前駅まで、JR水城駅までの道は暗いと思います。
水城西	女性	60代	街灯が暗い所がある。
水城西	女性	70代以上	高架下、地下道
太宰府西	男性	40代	JR都府楼南駅から大佐野方面の田んぼ道が狭くて暗い。
太宰府西	男性	50代	パチンコ屋
太宰府西	男性	60代	隣の小さな公園に無意味にトイレがあり、公園の樹木等を伐採しても死角ができています。早く撤去すべきである。
太宰府西	男性	70代以上	歴史スポーツ公園の周囲の防犯カメラ不足。
太宰府西	女性	40代	ベスト電器の横から大通りへ出る時に、植え込みで右からの車を確認しにくい。
太宰府西	女性	60代	家の付近は土地が低いので、大雨の時に道路や周辺の田畑が水没したことがあります。

校区	性別	年齢	問25付問1. 家の周囲や市内において防犯上危険と思われるような場所
太宰府西	女性	70代以上	お年寄りの1人暮らしの人が多いので、何かあった時に連絡して助けてもらう人がいない。
太宰府西	女性	70代以上	歴史スポーツ公園（暗い）
太宰府西	女性	70代以上	街灯が少ない。公園には特に必要である。
国分	男性	40代	国分団地の裏山は雨の度に不安です。
国分	男性	50代	外灯がなく、夜に暗い所がある。
国分	男性	60代	坂本2丁目交差点から国分寺までに電灯が少ない。
国分	男性	60代	水城台全般が夜は暗い。
国分	男性	70代以上	防災用スピーカーが音（声）が反響して聞き取れない。
国分	女性	20代	自宅駐車場で朝5:00前（通勤時）にも関わらず、無言で近づいて来て車の進行を妨害するようにしてくる男性がいた。
国分	女性	20代	駅から家までの道に外灯が少ないと思う。
国分	女性	50代	空家が散在しているのが気になる。
国分	女性	50代	医師会周辺に街灯が少ない。
国分	女性	50代	道路幅が交通量が多い割に狭く、外灯が暗い（国分寺から坂本交差点までの道）。
国分	女性	50代	遺跡の所は夜暗い。イノシシがいる。今はLEDの人感センサーライトがあるので、設置してほしい。イノシシもいなくなるのではないかな。
国分	女性	70代以上	いろんな場所でよその車が何時間も止まっていて、その中に人が乗っていればとても怖いことです。それも夜間です。
国分	女性	70代以上	空家など心配になる。
国分	無回答	40代	地下道など
国分	無回答	60代	住宅地の外灯が少ないと思う。
わからない	男性	40代	通古賀5～6丁目（都府楼団地）
わからない	女性	30代	家の周りに街灯がない（西鉄二日市駅に向かうまで）。
わからない	女性	40代	ルミエールの近くは歩道がない所があり、危ない。
わからない	女性	50代	自宅に防犯カメラを設置しているが、道路を挟んで斜め前の家が空家で、時々不審者が侵入していると聞きます。
わからない	女性	50代	街灯が少ない場所が多い（朱雀3丁目辺り）。
わからない	女性	60代	西鉄太宰府駅から仕事帰りに歩く時、昔から19時以降は自身以外は歩いておらず、娘の頃から怖かった。暗い（筑紫女学園大学に向かったの歩行）。

8. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況(問 26)

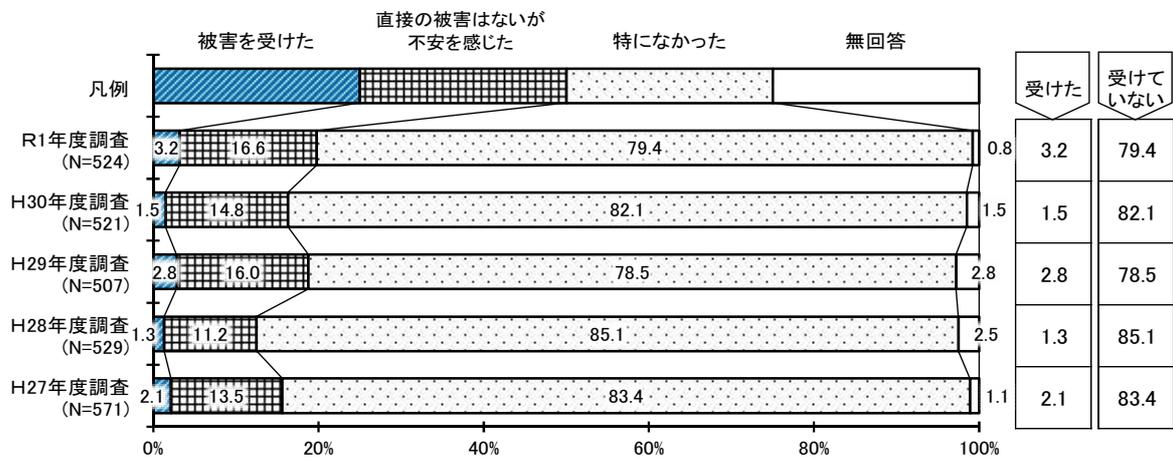
- 不当請求や不適正な取引行為の被害を受けたのは 3.2%、被害はないが不安を感じたのは 16.6%となっている。

不当請求や不適切な取引行為の被害状況について、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」は 3.2%、「直接の被害はないが不安を感じた」は 16.6%となっている。なお、「特になかった」は 79.4%であった。

過去の調査結果と比べると、「被害を受けた」は過去5年間の調査で最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で被害を受けた人がみられる。

問 26. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(〇は1つ)



		標本数	受被害を受けたを	感が害直接 じ不は接 た安なの をい被 った	な特 かに った	無 回 答
全体		524	17	87	416	4
		100.0	3.2	16.6	79.4	0.8
性別	男性	221	5.0	18.1	76.0	0.9
	女性	288	2.1	16.0	81.3	0.7
	無回答	15	-	6.7	93.3	-
性別・年代別	男性:20歳代	13	7.7	15.4	76.9	-
	男性:30歳代	16	-	6.3	93.8	-
	男性:40歳代	44	6.8	18.2	72.7	2.3
	男性:50歳代	39	5.1	20.5	74.4	-
	男性:60歳代	45	4.4	22.2	73.3	-
	男性:70歳代以上	64	4.7	17.2	76.6	1.6
	女性:20歳代	26	-	3.8	96.2	-
	女性:30歳代	31	6.5	12.9	80.6	-
	女性:40歳代	57	-	15.8	84.2	-
	女性:50歳代	49	2.0	18.4	79.6	-
	女性:60歳代	60	1.7	20.0	75.0	3.3
女性:70歳代以上	63	3.2	15.9	81.0	-	
無回答	17	-	11.8	88.2	-	
小学校区別	太宰府小学校区	76	-	25.0	73.7	1.3
	太宰府東小学校区	53	1.9	20.8	75.5	1.9
	太宰府南小学校区	52	3.8	13.5	82.7	-
	水城小学校区	86	2.3	12.8	84.9	-
	水城西小学校区	61	4.9	13.1	82.0	-
	太宰府西小学校区	79	6.3	22.8	70.9	-
	国分小学校区	76	2.6	11.8	84.2	1.3
	わからない	31	6.5	12.9	77.4	3.2
	無回答	10	-	-	100.0	-

(2)被害や不安に感じた内容(問 26 付問1)

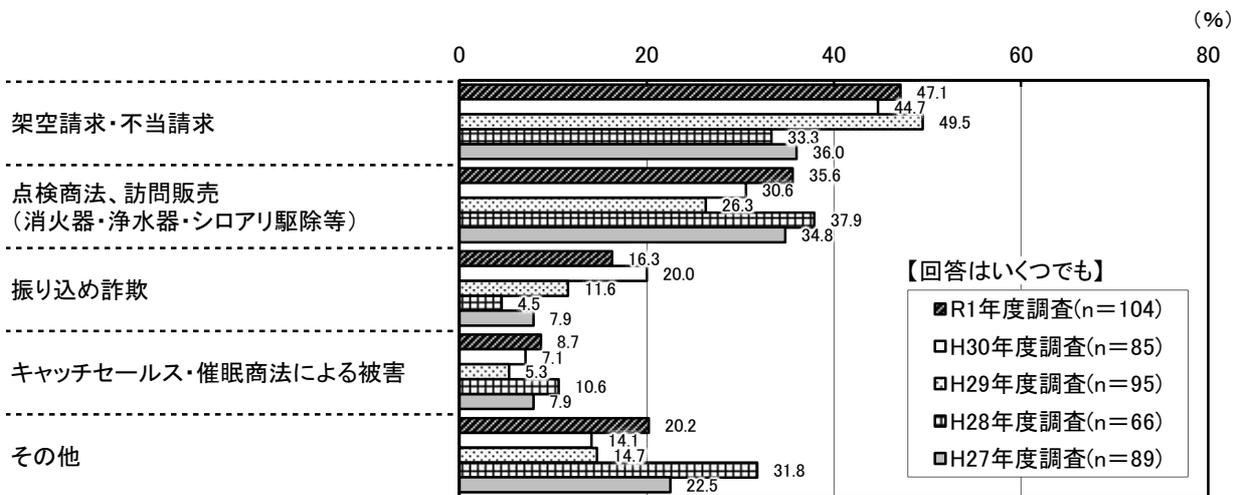
●「架空請求・不当請求」の被害や不安が最も多い。

被害や不安に感じた内容について、「架空請求・不当請求」(47.1%)が最も高く、次いで「点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」(35.6%)、「振り込め詐欺」(16.3%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、前回調査から「架空請求・不当請求」が2.4ポイント、「点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」が5.0ポイント、「キャッチセールス・催眠商法による被害」が1.6ポイント増加している。一方、「振り込め詐欺」は3.7ポイント減少している。

性別にみると、男女とも、「架空請求・不当請求」が最も高くなっている。

問 24 付問 1.【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。
 具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



		標本数	架空請求・不当請求	シロアリ駆除・浄水器・訪問販売	点検商法、消火器・浄水器・訪問販売	振り込め詐欺	催眠商法による被害	キャッチセールスによる被害	その他	無回答
全体		104	49	37	17	9	21	4	3.8	
性別	男性	51	43.1	31.4	19.6	7.8	19.6	3.9		
	女性	52	51.9	40.4	13.5	9.6	21.2	1.9		
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0		
年代別	20歳代	4	50.0	-	-	25.0	-	25.0		
	30歳代	7	71.4	28.6	14.3	-	14.3	-		
	40歳代	20	55.0	35.0	15.0	5.0	20.0	-		
	50歳代	20	35.0	35.0	15.0	10.0	20.0	-		
	60歳代	25	44.0	40.0	24.0	20.0	24.0	4.0		
	70歳以上	27	48.1	37.0	14.8	-	22.2	7.4		
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-		
小学校区別	太宰府小学校区	19	42.1	36.8	5.3	5.3	26.3	-		
	太宰府東小学校区	12	33.3	50.0	16.7	-	8.3	8.3		
	太宰府南小学校区	9	66.7	44.4	11.1	-	11.1	-		
	水城小学校区	13	46.2	46.2	30.8	30.8	38.5	-		
	水城西小学校区	11	36.4	27.3	9.1	27.3	27.3	-		
	太宰府西小学校区	23	65.2	34.8	8.7	4.3	21.7	4.3		
	国分小学校区	11	45.5	9.1	45.5	-	9.1	-		
	わからない	6	16.7	33.3	16.7	-	-	33.3		

9. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1)人権侵害の経験の有無(問 27)

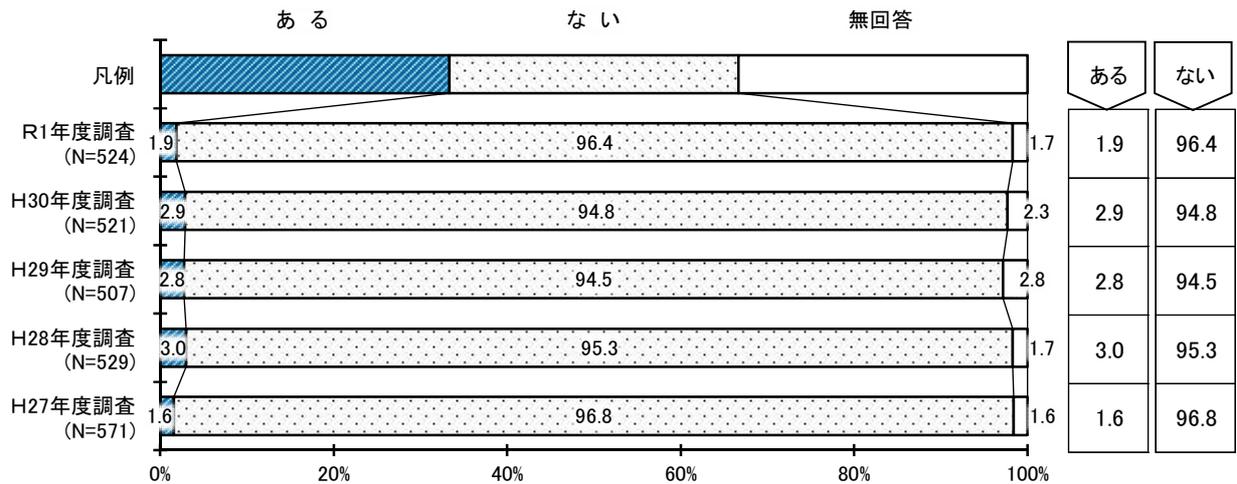
- 人権を侵害されたことが「ある」は 1.9%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が 96.4%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は 1.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ない」と答えた人が9割を超えている傾向は変わらない。

属性別にみると、すべての属性において、「ない」と答えた人が大半を占め、高くなっている。

問 27. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)



		標本数	(%)		
			ある	ない	無回答
全体		524	10	505	9
		100.0	1.9	96.4	1.7
性別	男性	221	0.9	96.8	2.3
	女性	288	2.8	96.2	1.0
	無回答	15	-	93.3	6.7
年代別	20歳代	39	-	100.0	-
	30歳代	47	6.4	93.6	-
	40歳代	104	1.0	97.1	1.9
	50歳代	88	2.3	97.7	-
	60歳代	108	2.8	93.5	3.7
	70歳代以上	132	0.8	97.0	2.3
	無回答	6	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	2.6	96.1	1.3
	太宰府東小学校区	53	-	96.2	3.8
	太宰府南小学校区	52	3.8	96.2	-
	水城小学校区	86	2.3	97.7	-
	水城西小学校区	61	1.6	96.7	1.6
	太宰府西小学校区	79	2.5	97.5	-
	国分小学校区	76	1.3	96.1	2.6
	わからない	31	-	90.3	9.7
	無回答	10	-	100.0	-

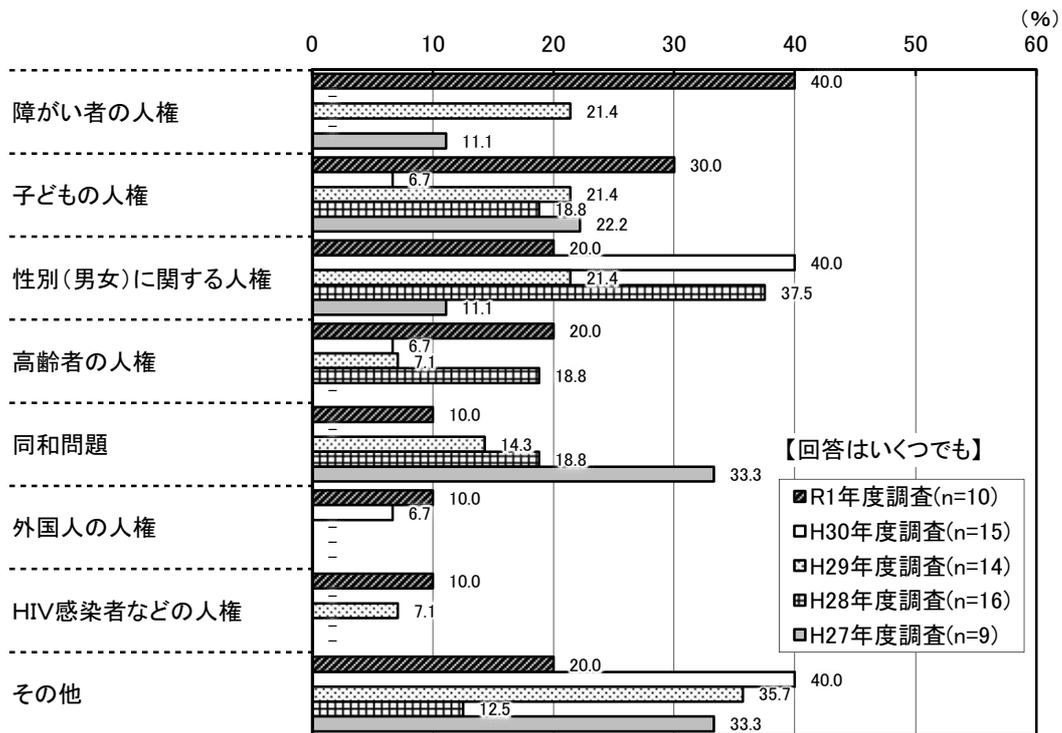
(2)人権侵害の内容(問 27 付問1)

●「障がい者の人権」「子どもの人権」「性別（男女）に関する人権」の人権侵害が高くなっている。。

人権侵害の内容について、「障がい者の人権」（40.0%）が最も高く、次いで「子どもの人権」（30.0%）、「性別（男女）に関する人権」（20.0%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、前回調査から「子どもの人権」が23.3ポイント、「高齢者の人権」が13.3ポイント、「外国人の人権」が3.3ポイント増加しており、「性別（男女）に関する人権」が20.0ポイント減少している。

問 27 付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。
 (○はいくつでも)



		標本数	障がい者の人権	子どもの人権	性別(男女)に関する人権	高齢者の人権	同和問題	外国人の人権	HIV感染者などの人権	その他
全体		10	4	3	2	2	1	1	1	2
		100.0	40.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0
性別	男性	2	-	2.0	-	1.0	-	-	-	-
	女性	8	4.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
年代別	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	3	3.0	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-
	40歳代	1	-	1.0	-	-	-	-	-	-
	50歳代	2	1.0	-	1.0	-	-	-	-	1.0
	60歳代	3	-	-	1.0	-	1.0	-	-	1.0
	70歳以上	1	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	2	1.0	-	1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0
	太宰府東小学校区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	2	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-
	水城小学校区	2	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-
	水城西小学校区	1	-	1.0	-	-	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	2	-	1.0	-	1.0	-	-	-	1.0
	国分小学校区	1	-	-	-	-	1.0	-	-	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3)太宰府市での人権の尊重(問 28)

● 人権が『尊重されている派』は81.3%、『尊重されていない派』は9.4%となっている。

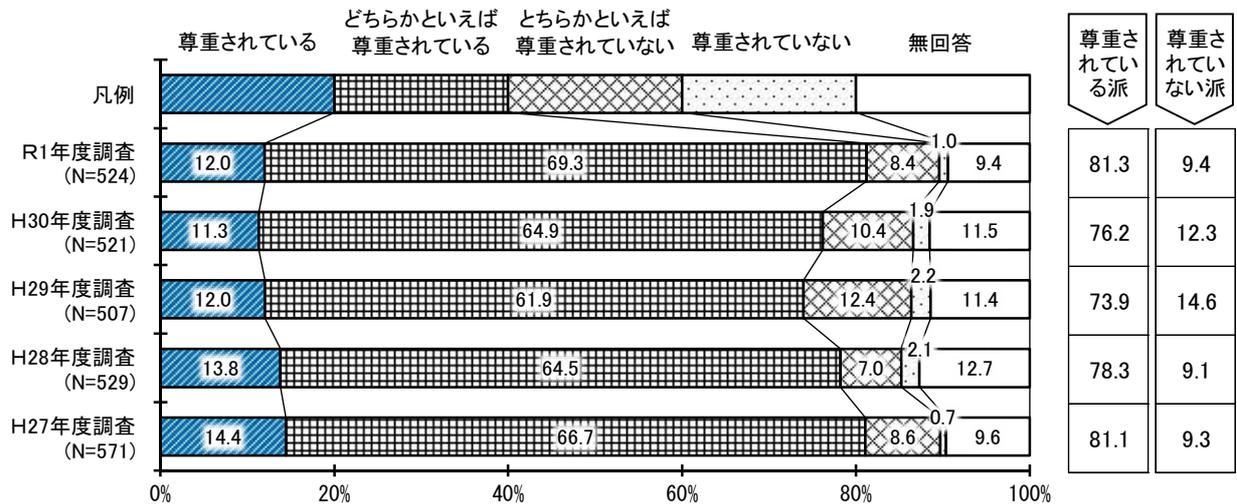
太宰府市での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は81.3%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は9.4%で、『尊重されている派』が8割以上と高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』は前回調査から5.1ポイント増加している。性別にみると、『尊重されている派』は、男性（82.3%）の方が女性（81.2%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『尊重されている派』は7割を超えており、20歳代（89.8%）は、他の年代に比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（92.3%）となっている。一方、『尊重されていない派』が最も高いのは、太宰府小学校区（13.1%）となっている。

問 28. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



	標本数	どちらかといえば					無回答	（%）	
		尊重されている	尊重されている	尊重されていない	尊重されていない	尊重されている派		尊重されていない派	
全体	524	63	363	44	5	49	426	49	
	100.0	12.0	69.3	8.4	1.0	9.4	81.3	9.4	
性別									
男性	221	13.1	69.2	6.8	0.5	10.4	82.3	7.3	
女性	288	11.1	70.1	9.7	1.4	7.6	81.2	11.1	
無回答	15	13.3	53.3	6.7	-	26.7	66.6	6.7	
年代別									
20歳代	39	23.1	66.7	10.3	-	-	89.8	10.3	
30歳代	47	17.0	72.3	10.6	-	-	89.3	10.6	
40歳代	104	6.7	73.1	8.7	-	11.5	79.8	8.7	
50歳代	88	10.2	71.6	9.1	2.3	6.8	81.8	11.4	
60歳代	108	10.2	68.5	7.4	0.9	13.0	78.7	8.3	
70歳代以上	132	13.6	65.9	6.8	0.8	12.9	79.5	7.6	
無回答	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	66.7	33.4	
小学校区別									
太宰府小学校区	76	11.8	67.1	11.8	1.3	7.9	78.9	13.1	
太宰府東小学校区	53	15.1	66.0	7.5	-	11.3	81.1	7.5	
太宰府南小学校区	52	13.5	78.8	3.8	-	3.8	92.3	3.8	
水城小学校区	86	14.0	68.6	10.5	1.2	5.8	82.6	11.7	
水城西小学校区	61	8.2	72.1	8.2	-	11.5	80.3	8.2	
太宰府西小学校区	79	6.3	78.5	6.3	1.3	7.6	84.8	7.6	
国分小学校区	76	14.5	64.5	7.9	-	13.2	79.0	7.9	
わからない	31	12.9	51.6	9.7	6.5	19.4	64.5	16.2	
無回答	10	20.0	60.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0	

10. 男女共同参画の推進

(1) 固定的な役割分担に対する考え方(問 29)

- 固定的な役割分担に『非同感派』(71.2%)の方が、『同感派』(26.5%)よりも高い。

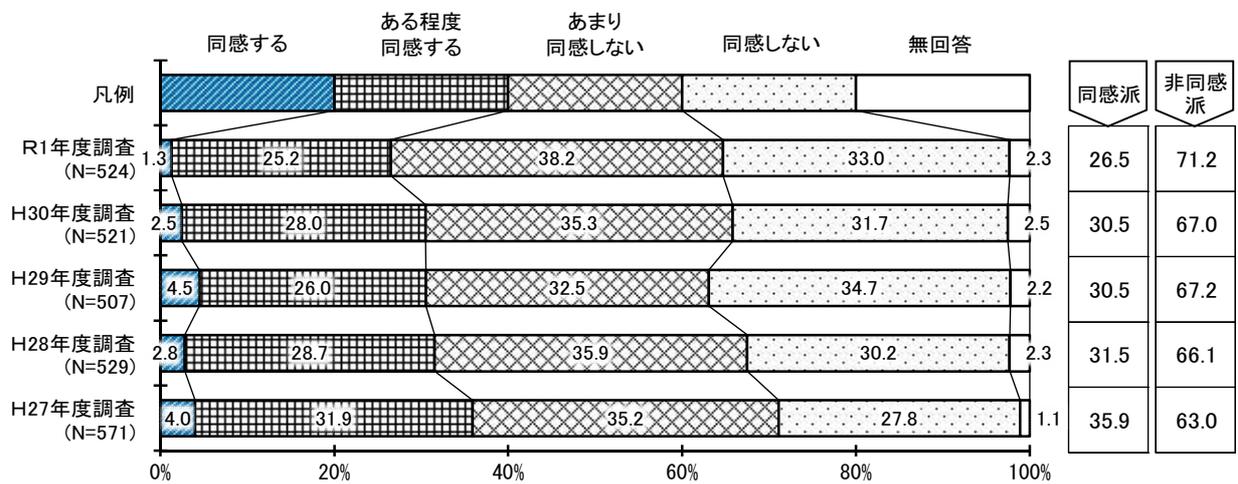
固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は26.5%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は71.2%で、『非同感派』の方が『同感派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『同感派』は前回調査から4.0ポイント減少している。

性別・年代別にみると、『非同感派』は、20歳代と40歳代を除く年代で男性の方が女性より高い傾向がみられる。

小学校区別にみると、『非同感派』が最も高いのは、太宰府小学校区と国分小学校区(ともに75.0%)となっている。

問 29. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	同感する程度	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全体		524	7	132	200	173	12	139	373
		100.0	1.3	25.2	38.2	33.0	2.3	26.5	71.2
性別	男性	221	2.7	24.4	43.4	25.8	3.6	27.1	69.2
	女性	288	0.3	25.3	34.7	38.5	1.0	25.6	73.2
	無回答	15	-	33.3	26.7	33.3	6.7	33.3	60.0
性別・年代別	男性：20歳代	13	-	23.1	46.2	30.8	-	23.1	77.0
	男性：30歳代	16	-	-	50.0	43.8	6.3	-	93.8
	男性：40歳代	44	-	27.3	40.9	27.3	4.5	27.3	68.2
	男性：50歳代	39	2.6	10.3	33.3	53.8	-	12.9	87.1
	男性：60歳代	45	2.2	15.6	62.2	17.8	2.2	17.8	80.0
	男性：70歳以上	64	6.3	43.8	35.9	7.8	6.3	50.1	43.7
	女性：20歳代	26	-	15.4	26.9	53.8	3.8	15.4	80.7
	女性：30歳代	31	3.2	16.1	38.7	41.9	-	19.3	80.6
	女性：40歳代	57	-	19.3	31.6	47.4	1.8	19.3	79.0
	女性：50歳代	49	-	26.5	40.8	32.7	-	26.5	73.5
	女性：60歳代	60	-	26.7	28.3	43.3	1.7	26.7	71.6
女性：70歳以上	63	-	34.9	41.3	23.8	-	34.9	65.1	
無回答	17	-	41.2	23.5	29.4	5.9	41.2	52.9	
小学校区別	太宰府小学校区	76	1.3	21.1	38.2	36.8	2.6	22.4	75.0
	太宰府東小学校区	53	-	35.8	35.8	26.4	1.9	35.8	62.2
	太宰府南小学校区	52	-	34.6	34.6	28.8	1.9	34.6	63.4
	水城小学校区	86	-	22.1	37.2	39.5	1.2	22.1	76.7
	水城西小学校区	61	-	26.2	39.3	34.4	-	26.2	73.7
	太宰府西小学校区	79	5.1	24.1	41.8	27.8	1.3	29.2	69.6
	国分小学校区	76	1.3	18.4	40.8	34.2	5.3	19.7	75.0
	わからない	31	-	22.6	38.7	35.5	3.2	22.6	74.2
	無回答	10	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0	50.0	40.0

(2)DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 30)

● DVの「相談をした」は1.7%、「DVを受けたことはない」は85.1%となっている。

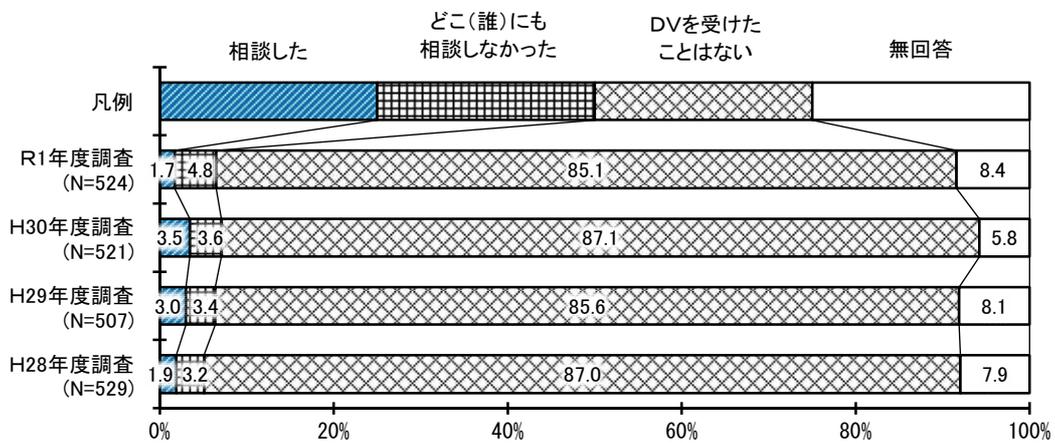
DVを受けた経験がある場合の相談経験について、相談したかについてみると、「DVを受けたことはない」と答えた人が85.1%と大半を占めている。なお、「相談した」と答えた人は1.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、「相談した」は前回調査から1.8ポイント減少している。

性別・年代別にみると、女性では20歳代を除くすべての年代で「相談した」ことがある一方で、男性では「相談した」のと回答した人はいない。

小学校区別にみると、水城小学校区と国分小学校区を除くすべての小学校区で、「相談した」経験があると回答している。

問 30. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)



	標本数	相談経験			DV経験		
		相談した (%)	なにもどこにつ相談した(誰) (%)	いたDVを受けたことを受けない (%)	受けた (%)	は受けたこと (%)	
全体	524	1.7	4.8	85.1	6.5	85.1	
性別・年代別	男性：20歳代	-	-	84.6	-	84.6	
	男性：30歳代	-	6.3	93.8	6.3	93.8	
	男性：40歳代	-	-	90.9	-	90.9	
	男性：50歳代	-	2.6	84.6	2.6	84.6	
	男性：60歳代	-	-	91.1	-	91.1	
	男性：70歳以上	-	-	89.1	-	89.1	
	女性：20歳代	26	-	3.8	84.6	3.8	84.6
	女性：30歳代	31	9.7	9.7	80.6	19.4	80.6
	女性：40歳代	57	1.8	7.0	82.5	8.8	82.5
	女性：50歳代	49	2.0	10.2	79.6	12.2	79.6
女性：60歳代	60	3.3	6.7	81.7	10.0	81.7	
女性：70歳以上	63	3.2	7.9	84.1	11.1	84.1	
無回答	17	-	5.9	82.4	5.9	82.4	
小学校区別	太宰府小学校区	76	3.9	5.3	78.9	9.2	78.9
	太宰府東小学校区	53	1.9	9.4	84.9	11.3	84.9
	太宰府南小学校区	52	1.9	5.8	88.5	7.7	88.5
	水城小学校区	86	-	3.5	86.0	3.5	86.0
	水城西小学校区	61	3.3	1.6	90.2	4.9	90.2
	太宰府西小学校区	79	1.3	7.6	83.5	8.9	83.5
	国分小学校区	76	-	2.6	84.2	2.6	84.2
	わからない	31	3.2	3.2	87.1	6.4	87.1
無回答	10	-	-	90.0	-	90.0	

11. 生涯学習の推進

(1)生涯学習活動の取り組み状況(問 31)

● 生涯学習の『週1回以上の実施率』は21.0%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は21.0%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は51.9%で、5割以上を占めている。

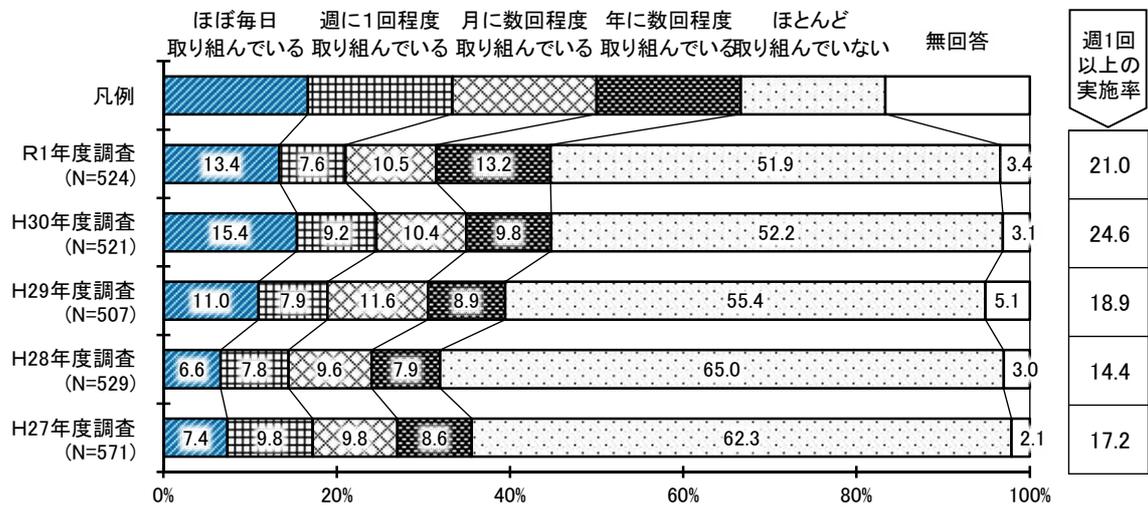
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は前回調査から3.6ポイント減少している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、男性（24.9%）の方が女性（18.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（30.8%）となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（32.0%）となっている。

問 31. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	組 ほ ん ど で 毎 日 の 取 り 組 み	取 組 み に 週 1 回 程 度	取 組 み に 月 に 数 回 程 度	取 組 み に 年 に 数 回 程 度	組 ほ ん ど で い な い	無 回 答	実 週 施 1 回 以 上 の 実 施 率
全体		524	70	40	55	69	272	18	110
性別	男性	221	19.0	5.9	7.7	12.7	52.0	2.7	24.9
	女性	288	9.4	9.4	12.5	13.9	51.4	3.5	18.8
	無回答	15	6.7	-	13.3	6.7	60.0	13.3	6.7
年代別	20歳代	39	23.1	7.7	17.9	20.5	30.8	-	30.8
	30歳代	47	6.4	8.5	12.8	8.5	63.8	-	14.9
	40歳代	104	12.5	6.7	3.8	14.4	60.6	1.9	19.2
	50歳代	88	6.8	5.7	13.6	14.8	56.8	2.3	12.5
	60歳代	108	14.8	7.4	6.5	13.9	53.7	3.7	22.2
	70歳代以上	132	17.4	9.8	14.4	9.8	40.9	7.6	27.2
	無回答	6	-	-	-	16.7	83.3	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	13.2	7.9	13.2	11.8	51.3	2.6	21.1
	太宰府東小学校区	53	22.6	9.4	17.0	7.5	41.5	1.9	32.0
	太宰府南小学校区	52	7.7	11.5	13.5	15.4	50.0	1.9	19.2
	水城小学校区	86	14.0	5.8	4.7	14.0	58.1	3.5	19.8
	水城西小学校区	61	9.8	8.2	19.7	13.1	49.2	-	18.0
	太宰府西小学校区	79	12.7	6.3	3.8	19.0	53.2	5.1	19.0
	国分小学校区	76	14.5	5.3	9.2	13.2	50.0	7.9	19.8
	わからない	31	9.7	12.9	9.7	6.5	58.1	3.2	22.6
	無回答	10	20.0	-	-	10.0	70.0	-	20.0

(2)運動・スポーツの取り組み頻度(問 32)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は45.6%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は45.6%となっている。

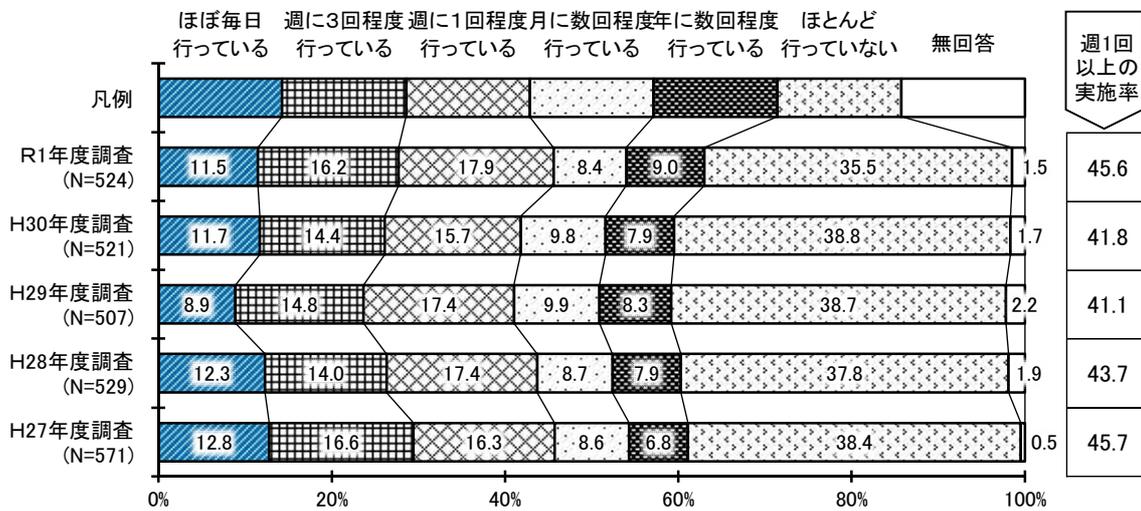
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は前回調査から3.8ポイント増加している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（50.7%）の方が女性（42.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（59.9%）が最も高く、次いで60歳代（47.2%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（60.4%）となっている。一方、最も低いのは国分小学校区（39.5%）となっている。

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に3回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	の週1回以上の実施率以上
全体		524	11.5	16.2	17.9	8.4	9.0	35.5	1.5	45.6
性別	男性	221	13.6	18.1	19.0	10.9	7.7	28.5	2.3	50.7
	女性	288	9.7	15.3	17.4	6.9	9.4	40.6	0.7	42.4
	無回答	15	13.3	6.7	13.3	-	20.0	40.0	6.7	33.3
年代別	20歳代	39	10.3	-	23.1	20.5	10.3	35.9	-	33.4
	30歳代	47	4.3	14.9	12.8	10.6	17.0	40.4	-	32.0
	40歳代	104	5.8	16.3	21.2	8.7	15.4	31.7	1.0	43.3
	50歳代	88	8.0	8.0	22.7	6.8	6.8	46.6	1.1	38.7
	60歳代	108	11.1	18.5	17.6	7.4	4.6	37.0	3.7	47.2
	70歳代以上	132	21.2	25.8	12.9	6.1	4.5	28.0	1.5	59.9
	無回答	6	16.7	-	16.7	-	33.3	33.3	-	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	15.8	13.2	14.5	6.6	9.2	38.2	2.6	43.5
	太宰府東小学校区	53	18.9	15.1	26.4	9.4	1.9	26.4	1.9	60.4
	太宰府南小学校区	52	11.5	23.1	15.4	9.6	11.5	28.8	-	50.0
	水城小学校区	86	9.3	18.6	14.0	10.5	9.3	37.2	1.2	41.9
	水城西小学校区	61	3.3	9.8	31.1	8.2	13.1	34.4	-	44.2
	太宰府西小学校区	79	16.5	21.5	16.5	3.8	10.1	30.4	1.3	54.5
	国分小学校区	76	7.9	15.8	15.8	10.5	7.9	40.8	1.3	39.5
	わからない	31	9.7	9.7	9.7	9.7	3.2	51.6	6.5	29.1
無回答	10	-	10.0	20.0	10.0	20.0	40.0	-	30.0	

12. 文化芸術の振興(問 33)

- 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が約5割を占めており、実施していても「年に数回程度」が中心である。

文化芸術の振興について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は17.7%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は31.1%、「ほとんど行っていない」は49.8%となっている。

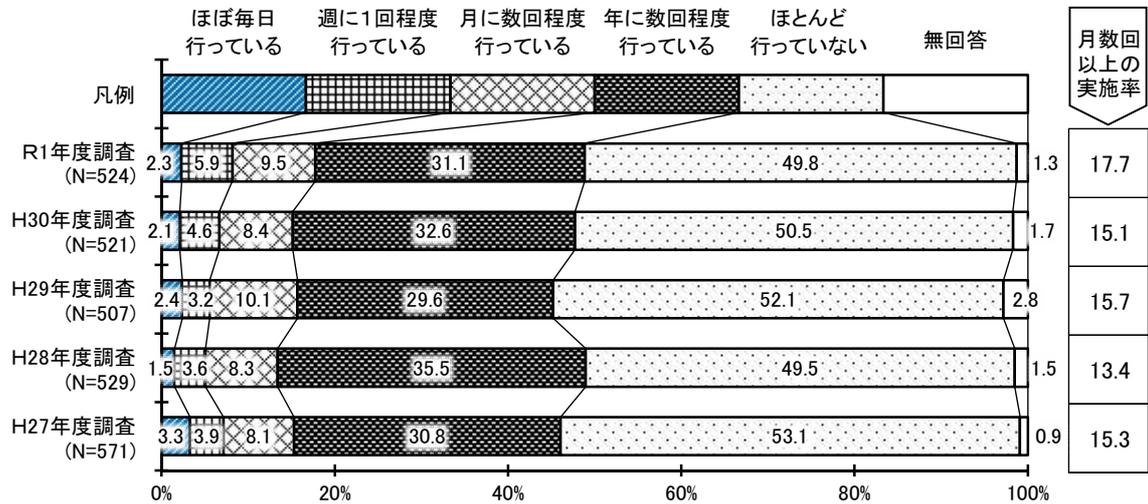
過去の調査結果と比べると、『月数回以上の実施率』は前回調査から2.6ポイント増加している。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は、女性（18.7%）の方が男性（17.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（35.8%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（28.3%）となっている。

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上月の数実施以
全体		524	12	31	50	163	261	7	93
		100.0	2.3	5.9	9.5	31.1	49.8	1.3	17.7
性別	男性	221	3.6	5.0	9.0	23.1	57.5	1.8	17.6
	女性	288	1.4	6.9	10.4	37.5	43.1	0.7	18.7
	無回答	15	-	-	-	26.7	66.7	6.7	-
年代別	20歳代	39	5.1	5.1	25.6	20.5	43.6	-	35.8
	30歳代	47	2.1	-	4.3	25.5	68.1	-	6.4
	40歳代	104	1.0	6.7	7.7	30.8	52.9	1.0	15.4
	50歳代	88	1.1	-	10.2	42.0	46.6	-	11.3
	60歳代	108	0.9	7.4	4.6	32.4	50.9	3.7	12.9
	70歳代以上	132	4.5	9.8	12.1	28.0	43.9	1.5	26.4
	無回答	6	-	16.7	-	33.3	50.0	-	16.7
	小学校区別	太宰府小学校区	76	5.3	3.9	15.8	30.3	43.4	1.3
太宰府東小学校区	53	3.8	13.2	11.3	28.3	41.5	1.9	28.3	
太宰府南小学校区	52	-	1.9	5.8	44.2	48.1	-	7.7	
水城小学校区	86	1.2	4.7	10.5	37.2	45.3	1.2	16.4	
水城西小学校区	61	1.6	4.9	3.3	41.0	49.2	-	9.8	
太宰府西小学校区	79	2.5	3.8	6.3	27.8	57.0	2.5	12.6	
国分小学校区	76	1.3	7.9	9.2	23.7	56.6	1.3	18.4	
わからない	31	3.2	6.5	16.1	9.7	61.3	3.2	25.8	
無回答	10	-	20.0	10.0	20.0	50.0	-	30.0	

13. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境(問 34)

● 自宅周辺の衛生環境について『肯定派』は 85.6%、『否定派』は 13.4%となっている。

自宅周辺の衛生環境について、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 85.6% となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 13.4% で、『肯定派』が 8 割を超えて高くなっている。

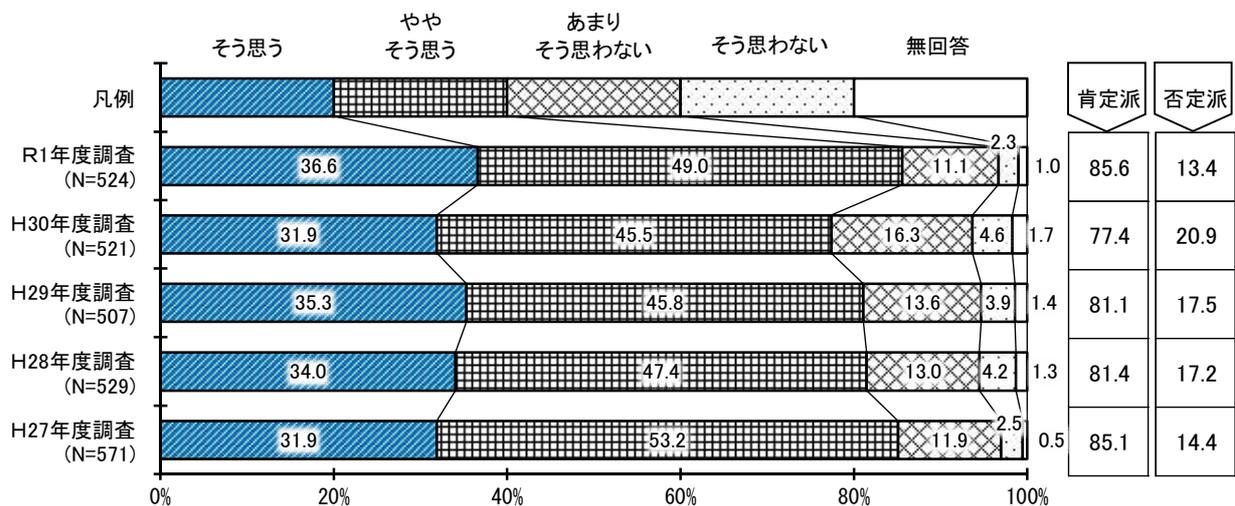
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 8.2 ポイント増加しており、『否定派』は前回調査から 7.5 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性（87.2%）の方が男性（83.7%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 20 歳代（89.7%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 30 歳代（21.2%）となっている。

小学校区別にみると、全ての小学校区で『肯定派』が 7 割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府南小学校区（94.2%）となっており、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（24.6%）となっている。

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		524	192	257	58	12	5	449	70
		100.0	36.6	49.0	11.1	2.3	1.0	85.6	13.4
性別	男性	221	32.6	51.1	11.8	3.2	1.4	83.7	15.0
	女性	288	39.6	47.6	10.4	1.7	0.7	87.2	12.1
	無回答	15	40.0	46.7	13.3	-	-	86.7	13.3
年代別	20歳代	39	35.9	53.8	5.1	5.1	-	89.7	10.2
	30歳代	47	31.9	46.8	19.1	2.1	-	78.7	21.2
	40歳代	104	33.7	51.9	11.5	1.9	1.0	85.6	13.4
	50歳代	88	39.8	45.5	12.5	2.3	-	85.3	14.8
	60歳代	108	35.2	53.7	8.3	1.9	0.9	88.9	10.2
	70歳代以上	132	38.6	47.0	10.6	1.5	2.3	85.6	12.1
	無回答	6	66.7	-	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	42.1	48.7	7.9	1.3	-	90.8	9.2
	太宰府東小学校区	53	41.5	32.1	18.9	5.7	1.9	73.6	24.6
	太宰府南小学校区	52	44.2	50.0	5.8	-	-	94.2	5.8
	水城小学校区	86	32.6	46.5	16.3	4.7	-	79.1	21.0
	水城西小学校区	61	39.3	44.3	14.8	1.6	-	83.6	16.4
	太宰府西小学校区	79	35.4	57.0	7.6	-	-	92.4	7.6
	国分小学校区	76	31.6	53.9	10.5	1.3	2.6	85.5	11.8
	わからない	31	22.6	64.5	3.2	6.5	3.2	87.1	9.7
	無回答	10	40.0	40.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0

(2)地域の環境マナーの順守状況(問 35)

● 地域の環境マナーについて『守られている』は76.9%、『守られていない』は21.9%となっている。

地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「かなり守られている」と「ある程度守られている」の合計）は76.9%となっている。一方、『守られていない』（「ほとんど守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は21.9%で、『守られている』が『守られていない』を55.0ポイント上回っている。

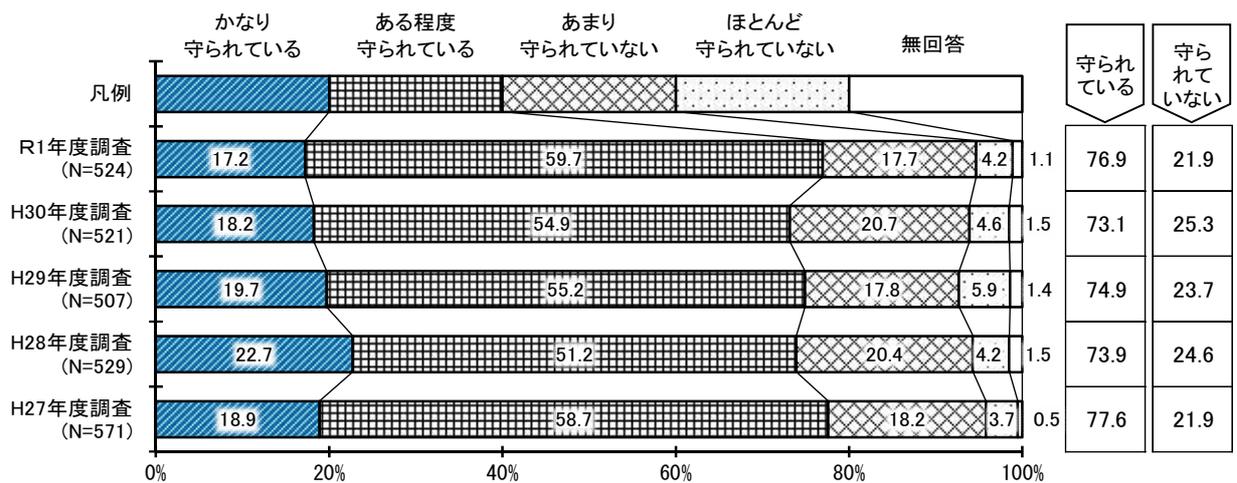
過去の調査結果と比べると、『守られている』は前回調査から3.8ポイント増加している。一方、『守られていない』は3.4ポイント減少している。

性別にみると、『守られている』は、女性（79.5%）の方が男性（73.3%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても『守られている』は7割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、『守られている』は、水城小学校区を除くすべての小学校区で7割を超えている。一方、『守られていない』は、太宰府南小学校区と国分小学校区を除くすべての小学校区で2割を超えている。

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	かなり守られている	ある程度守られている	あまり守られていない	ほとんど守られていない	無回答	守られている	守られていない
全体		524	90	313	93	22	6	403	115
		100.0	17.2	59.7	17.7	4.2	1.1	76.9	21.9
性別	男性	221	14.5	58.8	19.5	5.9	1.4	73.3	25.4
	女性	288	19.1	60.4	16.7	2.8	1.0	79.5	19.5
	無回答	15	20.0	60.0	13.3	6.7	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	39	23.1	61.5	7.7	7.7	-	84.6	15.4
	30歳代	47	14.9	57.4	23.4	4.3	-	72.3	27.7
	40歳代	104	11.5	59.6	22.1	5.8	1.0	71.1	27.9
	50歳代	88	14.8	62.5	17.0	5.7	-	77.3	22.7
	60歳代	108	15.7	63.9	15.7	3.7	0.9	79.6	19.4
	70歳代以上	132	23.5	54.5	18.2	0.8	3.0	78.0	19.0
	無回答	6	16.7	66.7	-	16.7	-	83.4	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	17.1	61.8	14.5	6.6	-	78.9	21.1
	太宰府東小学校区	53	26.4	45.3	17.0	7.5	3.8	71.7	24.5
	太宰府南小学校区	52	25.0	59.6	15.4	-	-	84.6	15.4
	水城小学校区	86	15.1	53.5	26.7	4.7	-	68.6	31.4
	水城西小学校区	61	16.4	59.0	23.0	1.6	-	75.4	24.6
	太宰府西小学校区	79	15.2	64.6	17.7	2.5	-	79.8	20.2
	国分小学校区	76	15.8	65.8	13.2	2.6	2.6	81.6	15.8
	わからない	31	3.2	71.0	9.7	12.9	3.2	74.2	22.6
	無回答	10	20.0	60.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0

(3)地域の美化活動への参加状況(問 36)

● 地域の清掃活動に『参加している派』は72.2%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

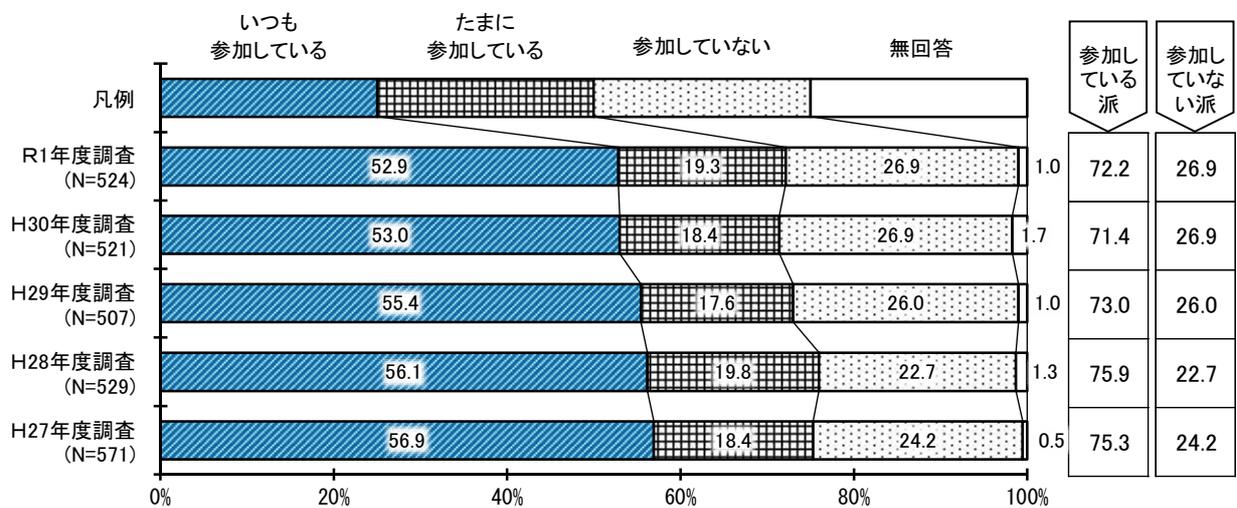
地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は72.2%となっている。一方、「参加していない」は26.9%で、『参加している派』が『参加していない派』を45.3ポイントと大幅に上回っている。

過去の調査結果と比べると、『参加している派』は前回調査から0.8ポイント増加している。性別にみると、『参加している派』は、女性（77.1%）の方が男性（64.3%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ『参加している派』の割合が高くなる傾向がみられる。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（90.4%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは太宰府小学校区（40.8%）となっている。

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	いつも参加している (%)	たまに参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)	参加している派 (%)	参加していない派 (%)
全体		524	52.9	19.3	26.9	1.0	72.2	26.9
性別	男性	221	47.1	17.2	34.4	1.4	64.3	34.4
	女性	288	56.6	20.5	22.2	0.7	77.1	22.2
	無回答	15	66.7	26.7	6.7	-	93.4	6.7
年代別	20歳代	39	12.8	17.9	69.2	-	30.7	69.2
	30歳代	47	40.4	17.0	42.6	-	57.4	42.6
	40歳代	104	41.3	26.0	32.7	-	67.3	32.7
	50歳代	88	53.4	20.5	25.0	1.1	73.9	25.0
	60歳代	108	60.2	17.6	21.3	0.9	77.8	21.3
	70歳代以上	132	71.2	15.9	10.6	2.3	87.1	10.6
	無回答	6	66.7	16.7	16.7	-	83.4	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	43.4	14.5	40.8	1.3	57.9	40.8
	太宰府東小学校区	53	56.6	26.4	17.0	-	83.0	17.0
	太宰府南小学校区	52	67.3	23.1	7.7	1.9	90.4	7.7
	水城小学校区	86	39.5	22.1	37.2	1.2	61.6	37.2
	水城西小学校区	61	59.0	18.0	23.0	-	77.0	23.0
	太宰府西小学校区	79	58.2	22.8	19.0	-	81.0	19.0
	国分小学校区	76	71.1	7.9	18.4	2.6	79.0	18.4
	わからない	31	9.7	22.6	67.7	-	32.3	67.7
	無回答	10	60.0	30.0	10.0	-	90.0	10.0

14. 自然共生社会の構築

(1)市内の自然の豊かさについて(問 37)

● 自然の豊かさについて『肯定派』は92.8%、『否定派』は6.3%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は92.8%、一方、『否定派』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は6.3%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

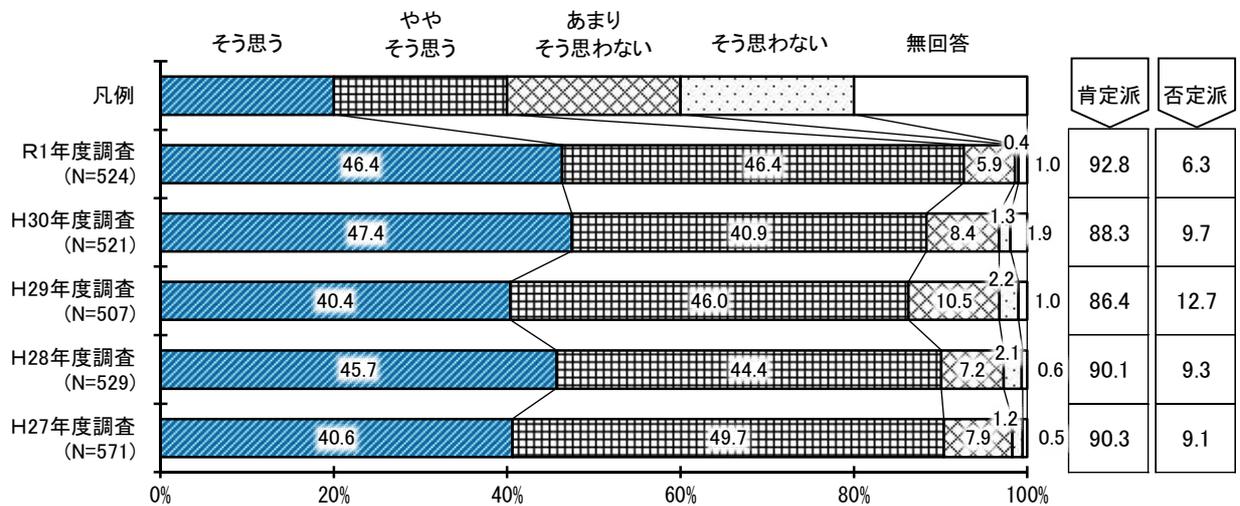
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から4.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性（94.1%）の方が女性（92.0%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』はすべての年代で9割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』が9割を超えている。

問 37. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		524	243	243	31	2	5	486	33
		100.0	46.4	46.4	5.9	0.4	1.0	92.8	6.3
性別	男性	221	41.6	52.5	4.5	-	1.4	94.1	4.5
	女性	288	51.4	40.6	6.9	0.7	0.3	92.0	7.6
	無回答	15	20.0	66.7	6.7	-	6.7	86.7	6.7
年代別	20歳代	39	46.2	48.7	5.1	-	-	94.9	5.1
	30歳代	47	48.9	46.8	2.1	2.1	-	95.7	4.2
	40歳代	104	46.2	48.1	5.8	-	-	94.3	5.8
	50歳代	88	54.5	37.5	6.8	-	1.1	92.0	6.8
	60歳代	108	42.6	48.1	7.4	-	1.9	90.7	7.4
	70歳代以上	132	43.2	48.5	6.1	0.8	1.5	91.7	6.9
	無回答	6	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	47.4	43.4	5.3	1.3	2.6	90.8	6.6
	太宰府東小学校区	53	49.1	43.4	5.7	1.9	-	92.5	7.6
	太宰府南小学校区	52	55.8	40.4	3.8	-	-	96.2	3.8
	水城小学校区	86	54.7	43.0	2.3	-	-	97.7	2.3
	水城西小学校区	61	41.0	52.5	6.6	-	-	93.5	6.6
	太宰府西小学校区	79	36.7	51.9	10.1	-	1.3	88.6	10.1
	国分小学校区	76	46.1	44.7	6.6	-	2.6	90.8	6.6
	わからない	31	32.3	61.3	6.5	-	-	93.6	6.5
	無回答	10	60.0	30.0	10.0	-	-	90.0	10.0

(2)野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について(問 38)

● 市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は46.4%となっている。

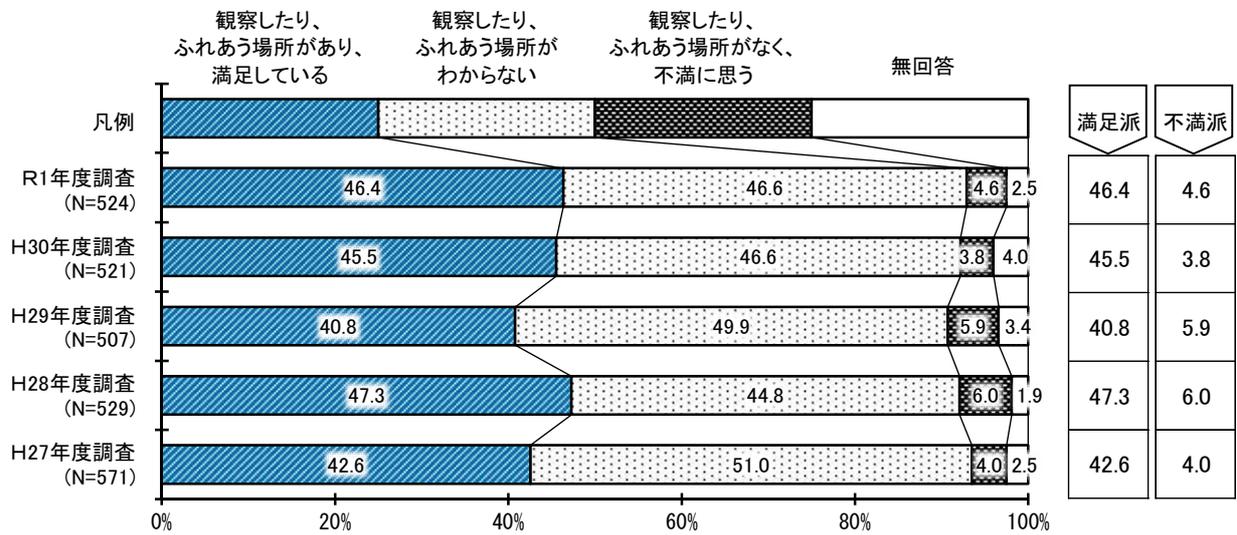
野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）は46.4%となっている。なお、『不満派』（「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」）は4.6%となっている。

性別にみると、『満足派』は、女性（52.1%）の方が男性（39.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）は、70歳代以上（58.3%）で5割を超えて高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）が最も高いのは太宰府西小学校区（57.0%）となっている。

問 38. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。
(○は1つ)



		標本数	観察したり、ふれあう場所があり、満足している (%)	観察したり、ふれあう場所がわからない (%)	観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う (%)	無回答 (%)	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		524	46.4	46.6	4.6	2.5	46.4	4.6
性別	男性	221	39.8	52.0	5.0	3.2	39.8	5.0
	女性	288	52.1	41.3	4.5	2.1	52.1	4.5
	無回答	15	33.3	66.7	-	-	33.3	-
年代別	20歳代	39	35.9	56.4	5.1	2.6	35.9	5.1
	30歳代	47	34.0	61.7	4.3	-	34.0	4.3
	40歳代	104	45.2	46.2	5.8	2.9	45.2	5.8
	50歳代	88	48.9	46.6	3.4	1.1	48.9	3.4
	60歳代	108	39.8	52.8	5.6	1.9	39.8	5.6
	70歳代以上	132	58.3	34.1	3.0	4.5	58.3	3.0
	無回答	6	50.0	33.3	16.7	-	50.0	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	43.4	46.1	5.3	5.3	43.4	5.3
	太宰府東小学校区	53	49.1	43.4	7.5	-	49.1	7.5
	太宰府南小学校区	52	38.5	53.8	5.8	1.9	38.5	5.8
	水城小学校区	86	50.0	46.5	2.3	1.2	50.0	2.3
	水城西小学校区	61	50.8	39.3	6.6	3.3	50.8	6.6
	太宰府西小学校区	79	57.0	39.2	3.8	-	57.0	3.8
	国分小学校区	76	42.1	52.6	-	5.3	42.1	-
	わからない	31	22.6	61.3	12.9	3.2	22.6	12.9
	無回答	10	60.0	40.0	-	-	60.0	-

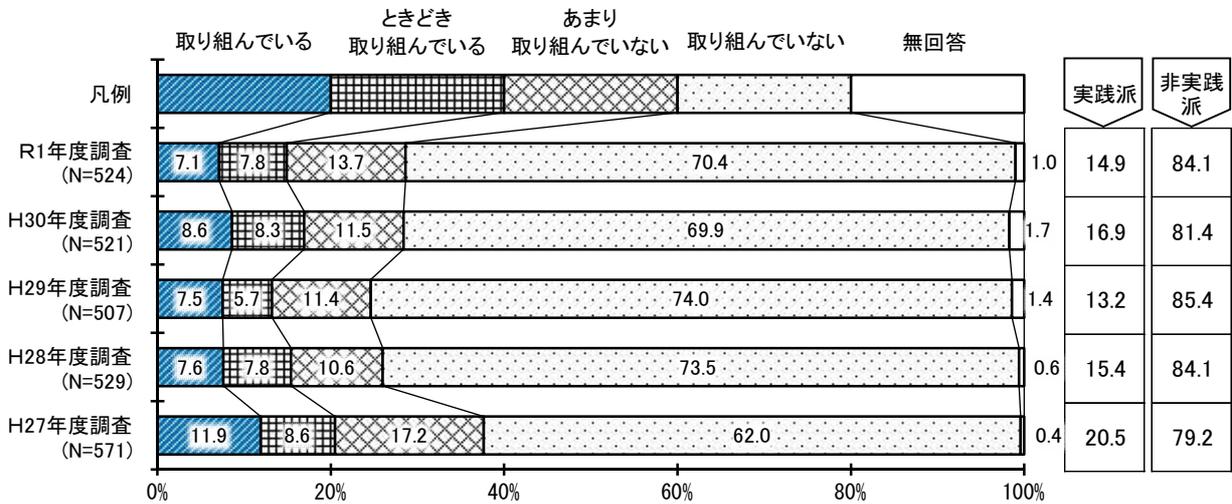
15. 循環型社会の構築

(1) 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 39)

● 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』は 14.9%で、『非実践派』(84.1%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は 14.9%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は 84.1%で、『非実践派』が8割以上を占め、高くなっている。過去の調査結果と比べると、『実践派』は前回調査から 2.0 ポイント減少している。性別にみると、『実践派』は女性(15.9%)の方が男性(13.6%)より高くなっている。年代別にみると、『非実践派』は70歳代以上を除くすべての年代で7割を超えている。小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは太宰府西小学校区(21.5%)となっている。

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	で取 いり る組 ん	で取 いり る組 ん ど ん き	いりあ いな組 まり で取	で取 いり な組 い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		524	37	41	72	369	5	78	441
		100.0	7.1	7.8	13.7	70.4	1.0	14.9	84.1
性別	男性	221	5.9	7.7	17.6	67.4	1.4	13.6	85.0
	女性	288	8.3	7.6	11.1	72.2	0.7	15.9	83.3
	無回答	15	-	13.3	6.7	80.0	-	13.3	86.7
年代別	20歳代	39	2.6	2.6	23.1	71.8	-	5.2	94.9
	30歳代	47	2.1	6.4	10.6	80.9	-	8.5	91.5
	40歳代	104	3.8	7.7	11.5	76.9	-	11.5	88.4
	50歳代	88	3.4	5.7	15.9	73.9	1.1	9.1	89.8
	60歳代	108	6.5	6.5	11.1	75.0	0.9	13.0	86.1
	70歳代以上	132	15.9	12.9	15.2	53.8	2.3	28.8	69.0
無回答		6	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	11.8	9.2	11.8	65.8	1.3	21.0	77.6
	太宰府東小学校区	53	5.7	11.3	20.8	62.3	-	17.0	83.1
	太宰府南小学校区	52	1.9	9.6	11.5	76.9	-	11.5	88.4
	水城小学校区	86	4.7	4.7	15.1	74.4	1.2	9.4	89.5
	水城西小学校区	61	4.9	6.6	9.8	78.7	-	11.5	88.5
	太宰府西小学校区	79	11.4	10.1	8.9	68.4	1.3	21.5	77.3
	国分小学校区	76	9.2	6.6	19.7	61.8	2.6	15.8	81.5
	わからない	31	3.2	6.5	12.9	77.4	-	9.7	90.3
	無回答	10	-	-	10.0	90.0	-	-	100.0

(2)不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況(問 40)

● 地域の緑化活動の参加状況について『利用している派』は 91.0%、『利用していない派』は 8.4%となっている。

不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について、『利用している派』（「いつも利用している」と「たまに利用している」の合計）は 91.0%となっている。一方、『利用していない派』は 8.4%で『利用している派』が9割以上を占め、高くなっている。

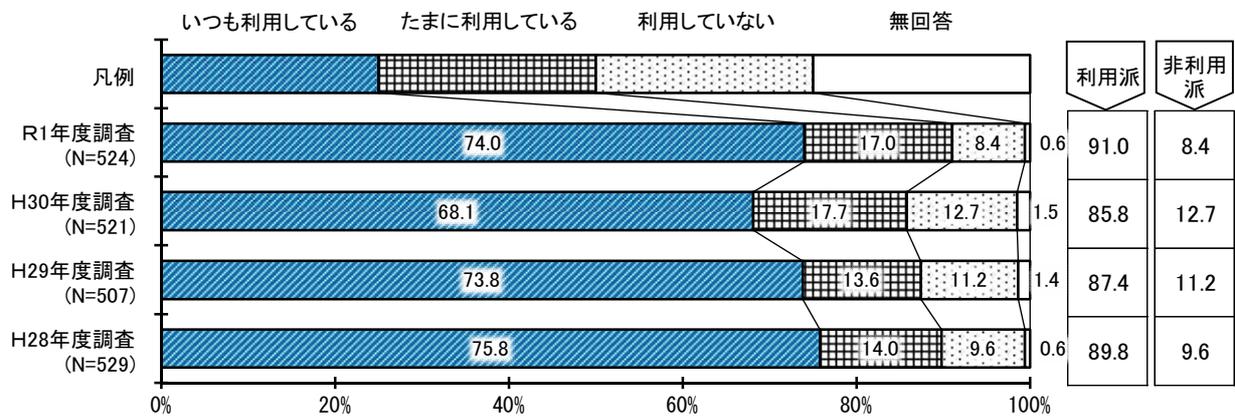
過去調査結果と比較すると、『利用派』は前回調査から 5.2 ポイント増加している。

性別にみると、『利用している派』は、女性（94.1%）の方が男性（88.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『利用している派』が最も高いのは、70歳代以上（96.2%）となっている。

小学校区別にみると、『利用している派』は太宰府西小学校区（98.8%）が最も高く、次いで、水城西小学校区（93.5%）、太宰府小学校区（93.4%）の順となっている。

問 40. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。（○は1つ）



		標本数	いつも利用している	たまに利用している	利用していない	無回答	利用派	非利用派
全体		524	74.0	17.0	8.4	0.6	91.0	8.4
性別	男性	221	68.8	19.5	10.9	0.9	88.3	10.9
	女性	288	79.5	14.6	5.6	0.3	94.1	5.6
	無回答	15	46.7	26.7	26.7	-	73.4	26.7
年代別	20歳代	39	56.4	33.3	10.3	-	89.7	10.3
	30歳代	47	61.7	21.3	17.0	-	83.0	17.0
	40歳代	104	69.2	23.1	7.7	-	92.3	7.7
	50歳代	88	70.5	17.0	11.4	1.1	87.5	11.4
	60歳代	108	76.9	13.9	8.3	0.9	90.8	8.3
	70歳代以上	132	87.9	8.3	3.0	0.8	96.2	3.0
	無回答	6	66.7	16.7	16.7	-	83.4	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	76.3	17.1	5.3	1.3	93.4	5.3
	太宰府東小学校区	53	79.2	13.2	7.5	-	92.4	7.5
	太宰府南小学校区	52	76.9	15.4	7.7	-	92.3	7.7
	水城西小学校区	86	72.1	18.6	9.3	-	90.7	9.3
	水城西小学校区	61	68.9	24.6	6.6	-	93.5	6.6
	太宰府西小学校区	79	86.1	12.7	1.3	-	98.8	1.3
	国分小学校区	76	71.1	15.8	10.5	2.6	86.9	10.5
	わからない	31	45.2	25.8	29.0	-	71.0	29.0
	無回答	10	80.0	-	20.0	-	80.0	20.0

16. 低炭素社会の構築(問 41)

● 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 87.8%、『非実践派』は 11.6%となっている。

低炭素社会の構築について、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）の『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 87.8%となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」）の合計は 11.6%で、『実践派』が8割を超え、高くなっている。

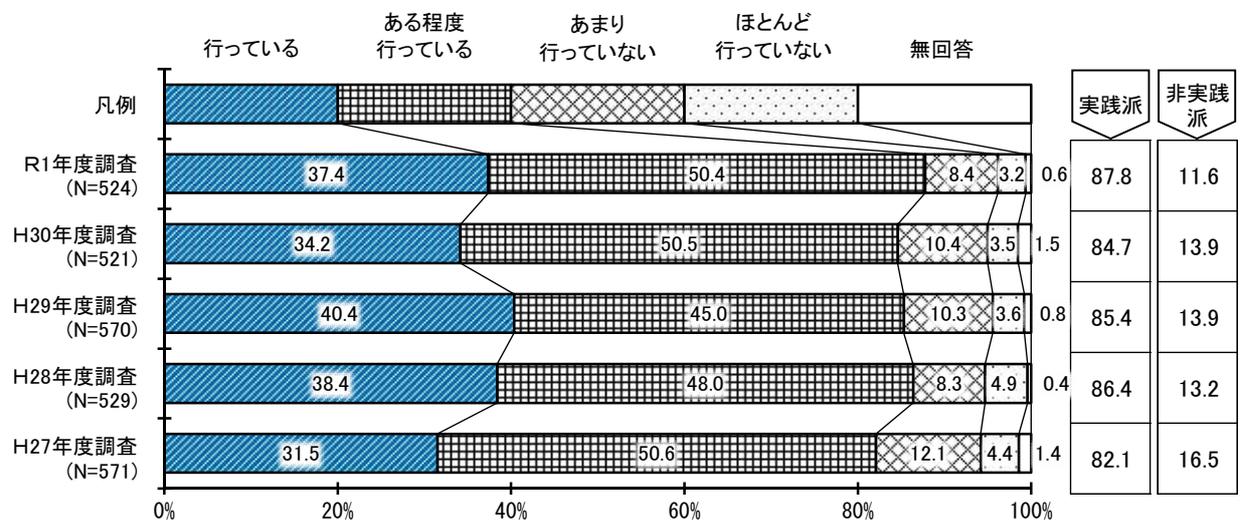
過去の調査結果と比べると、『実践派』は前回調査から 3.1 ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は、女性（93.7%）の方が男性（81.0%）より高くなっている。

年代別にみると、『実践派』が最も高いのは、70歳代以上（94.0%）となっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは、太宰府西小学校区（94.9%）となっている。

問 41. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



(%)

		標本数	行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派	非実践派
全体		524	37.4	50.4	8.4	3.2	0.6	87.8	11.6
性別	男性	221	33.9	47.1	12.7	5.4	0.9	81.0	18.1
	女性	288	41.3	52.4	4.2	1.7	0.3	93.7	5.9
	無回答	15	13.3	60.0	26.7	-	-	73.3	26.7
年代別	20歳代	39	41.0	51.3	7.7	-	-	92.3	7.7
	30歳代	47	19.1	55.3	19.1	6.4	-	74.4	25.5
	40歳代	104	27.9	55.8	11.5	4.8	-	83.7	16.3
	50歳代	88	34.1	54.5	8.0	2.3	1.1	88.6	10.3
	60歳代	108	39.8	49.1	5.6	4.6	0.9	88.9	10.2
	70歳代以上	132	52.3	41.7	4.5	0.8	0.8	94.0	5.3
	無回答	6	-	66.7	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	36.8	46.1	10.5	5.3	1.3	82.9	15.8
	太宰府東小学校区	53	49.1	39.6	7.5	3.8	-	88.7	11.3
	太宰府南小学校区	52	36.5	50.0	13.5	-	-	86.5	13.5
	水城小学校区	86	30.2	55.8	8.1	5.8	-	86.0	13.9
	水城西小学校区	61	31.1	57.4	9.8	1.6	-	88.5	11.4
	太宰府西小学校区	79	44.3	50.6	5.1	-	-	94.9	5.1
	国分小学校区	76	38.2	48.7	9.2	1.3	2.6	86.9	10.5
	わからない	31	35.5	51.6	-	12.9	-	87.1	12.9
	無回答	10	30.0	60.0	10.0	-	-	90.0	10.0

17. 環境教育・学習の推進(問 42)

● 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 16.1%となっている。

環境教育・学習の推進について、環境に関する学習会や講習会に参加したことがある、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 16.1%となっている。一方、「参加したことはない」は 83.2%で、8割を超え、高くなっている。

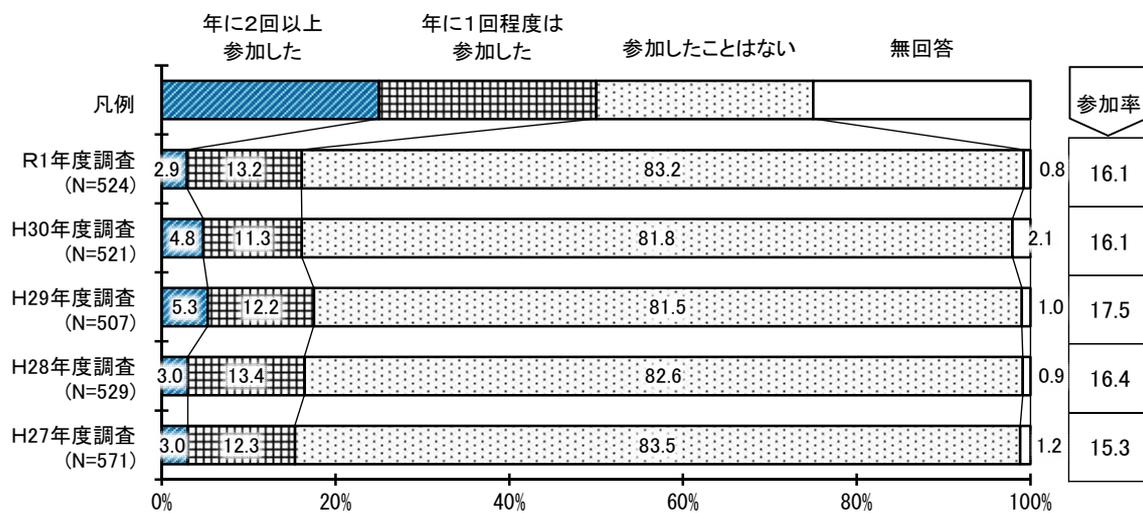
過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で『参加率』は1割台で推移している。

性別にみると、『参加率』は、男性（16.3%）の方が女性（16.0%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70歳代以上（26.5%）となっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、太宰府小学校区（22.4%）となっており、次いで、太宰府東小学校区（20.8%）、水城西小学校区（18.1%）の順となっている。

問 42. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベント(環境フェスタ等)に参加したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	上年に 参加2 し回 た以	た 度年 はに 参1 加回 し程	と参 は加 なし いた こ	無 回 答	参 加 率
全体		524	15	69	436	4	84
		100.0	2.9	13.2	83.2	0.8	16.1
性別	男性	221	3.2	13.1	82.4	1.4	16.3
	女性	288	2.8	13.2	83.7	0.3	16.0
	無回答	15	-	13.3	86.7	-	13.3
年代別	20歳代	39	-	5.1	92.3	2.6	5.1
	30歳代	47	2.1	6.4	91.5	-	8.5
	40歳代	104	2.9	8.7	88.5	-	11.6
	50歳代	88	3.4	15.9	79.5	1.1	19.3
	60歳代	108	1.9	10.2	87.0	0.9	12.1
	70歳代以上	132	4.5	22.0	72.7	0.8	26.5
	無回答	6	-	16.7	83.3	-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	7.9	14.5	76.3	1.3	22.4
	太宰府東小学校区	53	3.8	17.0	79.2	-	20.8
	太宰府南小学校区	52	1.9	9.6	88.5	-	11.5
	水城西小学校区	86	1.2	10.5	88.4	-	11.7
	水城西小学校区	61	3.3	14.8	80.3	1.6	18.1
	太宰府西小学校区	79	3.8	13.9	82.3	-	17.7
	国分小学校区	76	-	15.8	81.6	2.6	15.8
	わからない	31	-	6.5	93.5	-	6.5
	無回答	10	-	10.0	90.0	-	10.0

18. 未来に伝える景観づくり

(1)市内の自然の美しさに対する評価(問 43)

● 市内の自然が美しいと感じている人は89.3%となっている。

市内の自然の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は89.3%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は9.4%で、『肯定派』が9割近くを占め、高くなっている。

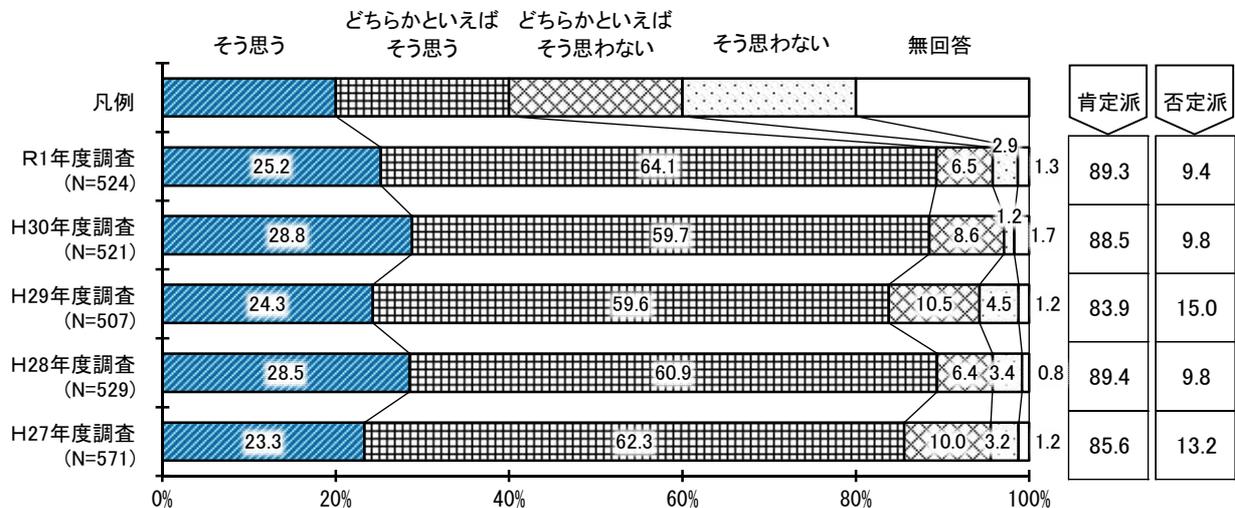
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から0.8ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は、女性（91.4%）の方が男性（87.3%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が8割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府西小学校区と国分小学校区を除くすべての小学校区で9割を超えている。

問 43. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(〇は1つ)



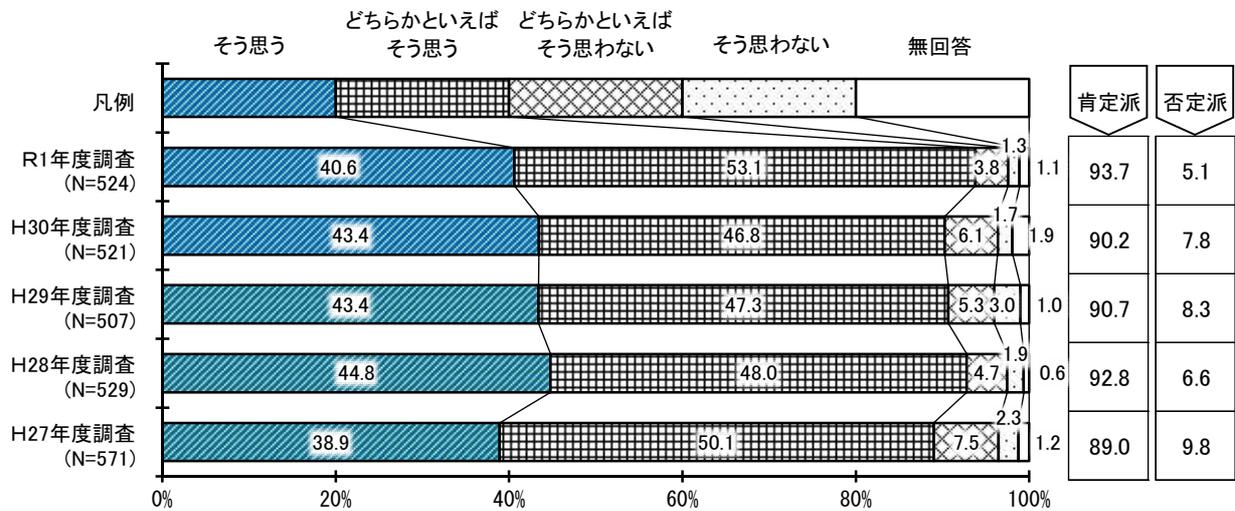
		標本数	そう思う	思いど うえち ばらそ うと	思いど わえち なばら そかと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		524	132	336	34	15	7	468	49
			100.0	25.2	64.1	6.5	2.9	89.3	9.4
性別	男性	221	19.9	67.4	6.8	3.6	2.3	87.3	10.4
	女性	288	29.9	61.5	5.6	2.4	0.7	91.4	8.0
	無回答	15	13.3	66.7	20.0	-	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	39	35.9	59.0	5.1	-	-	94.9	5.1
	30歳代	47	23.4	72.3	-	4.3	-	95.7	4.3
	40歳代	104	21.2	71.2	5.8	1.9	-	92.4	7.7
	50歳代	88	33.0	56.8	5.7	2.3	2.3	89.8	8.0
	60歳代	108	21.3	62.0	9.3	6.5	0.9	83.3	15.8
	70歳代以上	132	24.2	64.4	7.6	0.8	3.0	88.6	8.4
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	25.0	68.4	3.9	1.3	1.3	93.4	5.2
	太宰府東小学校区	53	26.4	66.0	1.9	3.8	1.9	92.4	5.7
	太宰府南小学校区	52	38.5	53.8	3.8	1.9	1.9	92.3	5.7
	水城小学校区	86	33.7	58.1	5.8	2.3	-	91.8	8.1
	水城西小学校区	61	24.6	67.2	4.9	3.3	-	91.8	8.2
	太宰府西小学校区	79	13.9	74.7	10.1	1.3	-	88.6	11.4
	国分小学校区	76	22.4	63.2	6.6	3.9	3.9	85.6	10.5
	わからない	31	16.1	54.8	16.1	9.7	3.2	70.9	25.8
無回答	10	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0	

(2)市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 44)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は93.7%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は93.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は5.1%で、『肯定派』が9割を占め、高くなっている。
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から3.5ポイント増加している。
性別にみると、『肯定派』は、女性（96.5%）の方が男性（90.5%）より高くなっている。
年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が9割以上を占めている。
小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が9割以上を占めている。

問 44. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そか うと	思いど わえち なばら いそ か	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524 100.0	213 40.6	278 53.1	20 3.8	7 1.3	6 1.1	491 93.7	27 5.1
性 別	男 性	221	37.6	52.9	5.4	1.8	2.3	90.5	7.2
	女 性	288	44.4	52.1	2.1	1.0	0.3	96.5	3.1
	無回答	15	13.3	73.3	13.3	-	-	86.6	13.3
年 代 別	20歳代	39	53.8	46.2	-	-	-	100.0	-
	30歳代	47	44.7	55.3	-	-	-	100.0	-
	40歳代	104	41.3	51.9	4.8	1.9	-	93.2	6.7
	50歳代	88	40.9	53.4	4.5	-	1.1	94.3	4.5
	60歳代	108	34.3	56.5	3.7	3.7	1.9	90.8	7.4
	70歳代以上	132	41.7	51.5	4.5	-	2.3	93.2	4.5
	無回答	6	-	66.7	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	43.4	50.0	3.9	1.3	1.3	93.4	5.2
	太宰府東小学校区	53	39.6	56.6	1.9	1.9	-	96.2	3.8
	太宰府南小学校区	52	46.2	50.0	1.9	1.9	-	96.2	3.8
	水城小学校区	86	41.9	52.3	4.7	-	1.2	94.2	4.7
	水城西小学校区	61	42.6	54.1	3.3	-	-	96.7	3.3
	太宰府西小学校区	79	39.2	55.7	5.1	-	-	94.9	5.1
	国分小学校区	76	40.8	50.0	3.9	1.3	3.9	90.8	5.2
	わからない	31	29.0	54.8	3.2	9.7	3.2	83.8	12.9
	無回答	10	20.0	70.0	10.0	-	-	90.0	10.0

(3)居住地区のまちなみに対する評価(問 45)

● 住んでいる地区のまちなみが良好だと思う人は 87.9%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 87.9%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は 10.9%で、『肯定派』が 8割以上を占め、高くなっている。

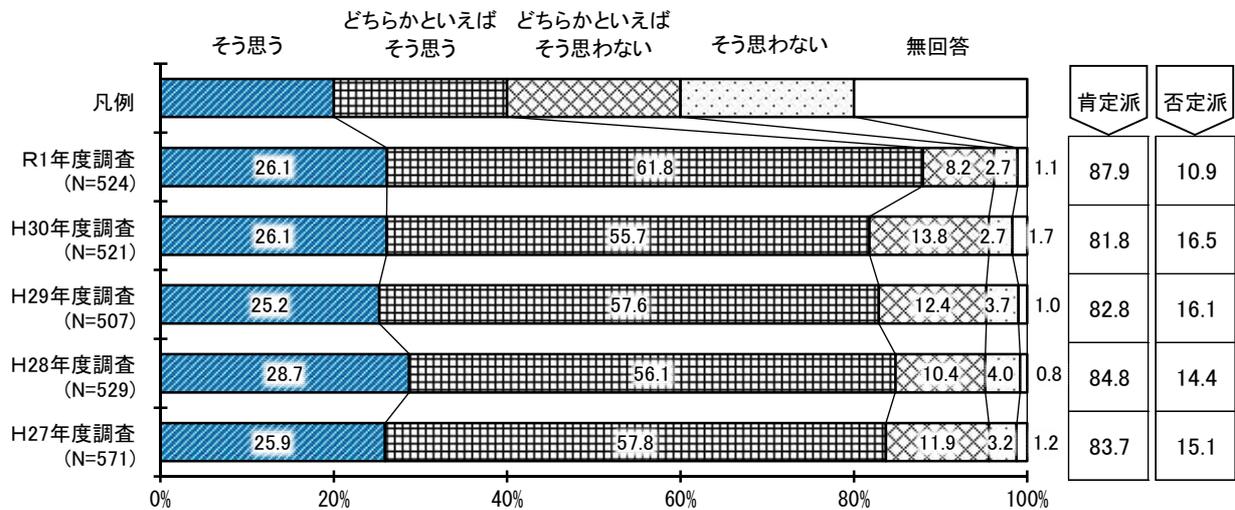
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 6.1ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（89.3%）の方が男性（86.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は、30歳代（97.9%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で、『肯定派』が 8割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（94.2%）となっている。

問 45. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら さか うと	思いど わえち ばら いさ か うと	い そ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524	137	324	43	14	6	461	57
		100.0	26.1	61.8	8.2	2.7	1.1	87.9	10.9
性 別	男 性	221	22.6	63.8	10.0	2.3	1.4	86.4	12.3
	女 性	288	29.2	60.1	6.6	3.1	1.0	89.3	9.7
	無回答	15	20.0	66.7	13.3	-	-	86.7	13.3
年 代 別	20歳代	39	43.6	51.3	5.1	-	-	94.9	5.1
	30歳代	47	23.4	74.5	2.1	-	-	97.9	2.1
	40歳代	104	26.0	61.5	9.6	2.9	-	87.5	12.5
	50歳代	88	33.0	51.1	10.2	3.4	2.3	84.1	13.6
	60歳代	108	18.5	61.1	13.9	3.7	2.8	79.6	17.6
	70歳代以上	132	24.2	68.9	3.8	2.3	0.8	93.1	6.1
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	66.7	33.4
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	27.6	57.9	9.2	3.9	1.3	85.5	13.1
	太宰府東小学校区	53	34.0	58.5	3.8	3.8	-	92.5	7.6
	太宰府南小学校区	52	28.8	65.4	5.8	-	-	94.2	5.8
	水城小学校区	86	31.4	61.6	5.8	1.2	-	93.0	7.0
	水城西小学校区	61	26.2	60.7	13.1	-	-	86.9	13.1
	太宰府西小学校区	79	20.3	68.4	6.3	3.8	1.3	88.7	10.1
	国分小学校区	76	25.0	64.5	6.6	1.3	2.6	89.5	7.9
	わからない	31	12.9	48.4	19.4	12.9	6.5	61.3	32.3
	無回答	10	10.0	70.0	20.0	-	-	80.0	20.0

19. 計画的なまちづくりの推進

(1)住環境の快適さに対する評価(問 46)

● 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 69.1%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 69.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 30.1%で、『肯定派』が約7割を占め、高くなっている。

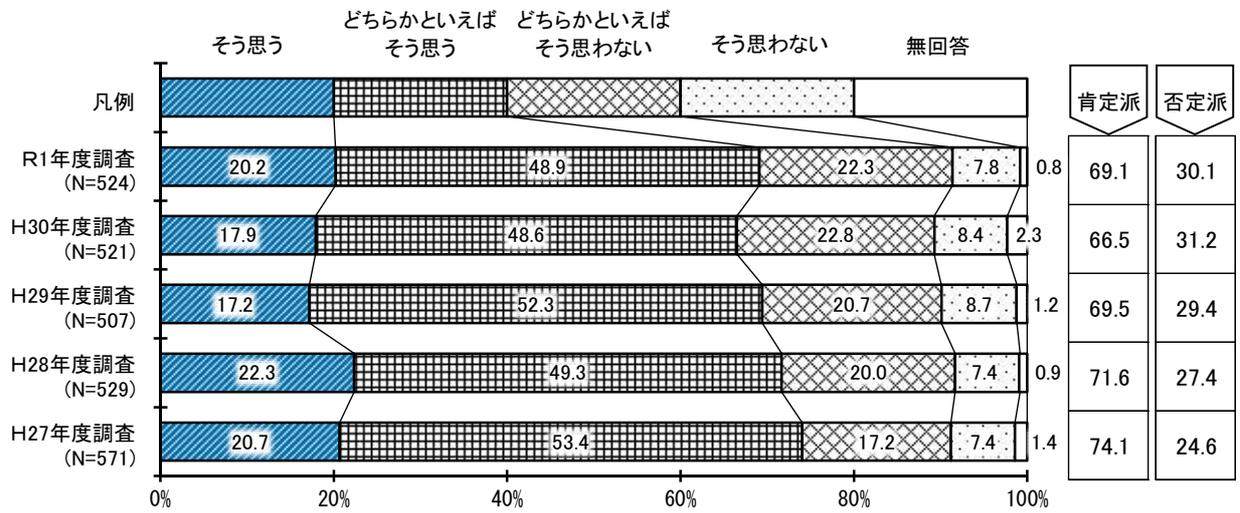
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 2.6 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は、女性（72.2%）の方が男性（65.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 70 歳代以上（75.8%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 40 歳代（36.6%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府南小学校区（84.6%）、太宰府西小学校区（86.0%）で8割を超え高くなっている。

問 46. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そか うと	思いど わえち ばら いそ か うと	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524	106	256	117	41	4	362	158
		100.0	20.2	48.9	22.3	7.8	0.8	69.1	30.1
性別	男 性	221	17.6	48.0	24.9	8.6	0.9	65.6	33.5
	女 性	288	22.2	50.0	19.4	7.6	0.7	72.2	27.0
	無回答	15	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0
年代別	20歳代	39	20.5	51.3	28.2	-	-	71.8	28.2
	30歳代	47	23.4	46.8	25.5	4.3	-	70.2	29.8
	40歳代	104	15.4	48.1	30.8	5.8	-	63.5	36.6
	50歳代	88	21.6	42.0	23.9	11.4	1.1	63.6	35.3
	60歳代	108	17.6	52.8	16.7	12.0	0.9	70.4	28.7
	70歳代以上	132	25.0	50.8	15.9	6.8	1.5	75.8	22.7
無回答	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	76	14.5	42.1	28.9	13.2	1.3	56.6	42.1
	太宰府東小学校区	53	22.6	43.4	20.8	13.2	-	66.0	34.0
	太宰府南小学校区	52	32.7	51.9	9.6	5.8	-	84.6	15.4
	水城小学校区	86	18.6	52.3	25.6	3.5	-	70.9	29.1
	水城西小学校区	61	21.3	52.5	18.0	6.6	1.6	73.8	24.6
	太宰府西小学校区	79	27.8	58.2	7.6	6.3	-	86.0	13.9
	国分小学校区	76	13.2	46.1	34.2	3.9	2.6	59.3	38.1
	わからない	31	16.1	32.3	35.5	16.1	-	48.4	51.6
無回答	10	-	60.0	30.0	10.0	-	60.0	40.0	

(2)商業施設等の利便性に対する評価(問 47)

● 商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は66.2%となっている。

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は66.2%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は33.2%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

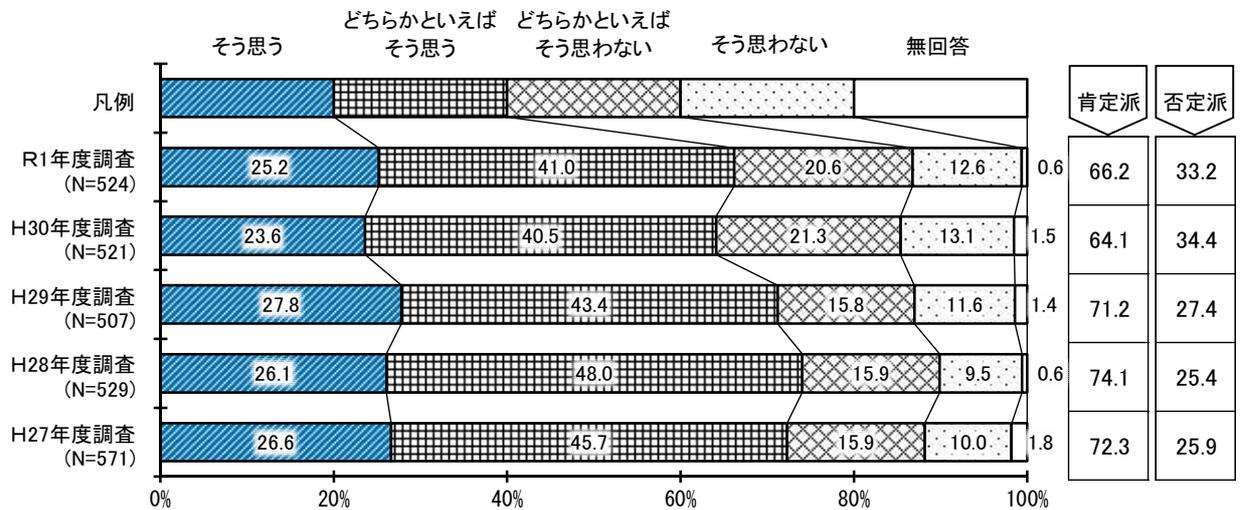
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から2.1ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は、女性（67.4%）の方が男性（65.1%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は30歳代（76.6%）が最も高く、次いで20歳代（71.8%）の順となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（87.3%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区（48.7%）となっている。

問 47. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		524	132	215	108	66	3	66.2	33.2
性別	男性	221	21.7	43.4	19.9	14.0	0.9	65.1	33.9
	女性	288	28.5	38.9	20.5	11.8	0.3	67.4	32.3
	無回答	15	13.3	46.7	33.3	6.7	-	60.0	40.0
年代別	20歳代	39	38.5	33.3	10.3	17.9	-	71.8	28.2
	30歳代	47	31.9	44.7	19.1	4.3	-	76.6	23.4
	40歳代	104	24.0	45.2	22.1	8.7	-	69.2	30.8
	50歳代	88	21.6	34.1	26.1	17.0	1.1	55.7	43.1
	60歳代	108	21.3	40.7	18.5	18.5	0.9	62.0	37.0
	70歳代以上	132	26.5	43.2	20.5	9.1	0.8	69.7	29.6
	無回答	6	-	50.0	33.3	16.7	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	27.6	25.0	25.0	21.1	1.3	52.6	46.1
	太宰府東小学校区	53	18.9	39.6	24.5	17.0	-	58.5	41.5
	太宰府南小学校区	52	13.5	48.1	25.0	13.5	-	61.6	38.5
	水城小学校区	86	27.9	47.7	14.0	10.5	-	75.6	24.5
	水城西小学校区	61	27.9	47.5	14.8	9.8	-	75.4	24.6
	太宰府西小学校区	79	44.3	43.0	10.1	2.5	-	87.3	12.6
	国分小学校区	76	15.8	32.9	32.9	15.8	2.6	48.7	48.7
	わからない	31	19.4	41.9	22.6	16.1	-	61.3	38.7
	無回答	10	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0

(3)近くにありと便利だと思ふ施設(問 47 付問1)

問 47 付問 1. あなたの家の近くにありと便利だと思ふ施設がありましたら、具体的に記入してください。

家の近くにありと便利だと思ふ施設	計	男性計								女性計								無回答計	
		計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	60代
商業施設	122	44	2	6	9	12	6	9	77	4	9	7	13	26	15	3	1		1
医療施設	25	11			2	4	1	4	14	2	2	3	1	6					
公園・スポーツ施設	23	8			2	2	4		14	2	2	4	2	1	3		1		1
文化施設	22	7			3	1		3	15		2	4	2	4	3				
公共交通関連	16	6	1		2			3	10			1	3	3	3				
飲食関連	13	6			3	3			6	2	2	1			1		1		1
行政・金融機関等	12	4					2	2	8				2	3	3				
福祉関連施設	3	1					1		2			1		1					
その他	16	6	1		1	1		3	10	1	3	1	2		3				

(件)

家の近くにありと便利だと思ふ施設	計	男性計								女性計								無回答計	
		計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	60代
商業施設	122	44	2	6	9	12	6	9	77	4	9	7	13	26	15	3	1		1
スーパー	44	13	1	1	1	5	3	2	31	1	2	5	6	9	8				
コンビニ	18	7		1	2	2	1	1	11	1			2	7	1				
商店	11	5			1			4	5					3	2		1		1
大型商業施設・ショッピングモール	6	3	1		1			1	3	1					1	1			
ドラッグストア	5	1			1				4		2		1		1				
食料品店・食料品スーパー	5	3				1	2		2					1	1				
クリーニング店	3								3					3					
ルミエール	3	1		1					2		1		1						
本屋	3	1			1				2	1			1						
ディスカウントストア	2	1				1			1		1								
24時間営業のスーパー	1	1		1															
24時間営業のディスカウントストア	1	1		1															
イオンモール	1								1			1							
エネオスのガソリンスタンド	1	1			1														
コストコ	1								1				1						
ジュンク堂	1	1		1															
ドラッグストア(食品を置いてある)	1								1		1								
パン屋	1								1					1					
マミーズ以外のスーパー	1	1				1													
マミーズ跡にスーパーがほしい	1	1						1											
レンタルビデオ	1								1				1						
安いスーパー	1								1		1								
商業施設	1	1			1														
商店(鮮魚、肉、野菜)	1								1						1				
商店(歩いて行ける所)	1	1				1													
商店(野菜、食品)	1								1			1							
小さな商店	1								1					1					
日常生活用品スーパー	1	1				1													
買い物ができる所	1								1					1					
薬局	1								1		1								
薬局(コスモス)	1								1								1		
薬局(ドラッグストアもり)	1								1							1			
医療施設	25	11			2	4	1	4	14	2	2	3	1	6					
病院	11	5			2	1		2	6			1		5					
総合病院	2	2				1	1												
眼科	1								1	1									

(件)

家の近くにあると便利だと思う施設	計	男性計								女性計								無回答計		
		計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	60代	無回答
医療施設	25	11			2	4	1	4		14	2	2	3	1	6					
歯科	1								1					1						
耳鼻科	1								1		1									
信頼できる病院	1	1				1														
誠愛病院のようなりハビリに力を入れている大きい病院	1								1	1										
総合病院（信頼できる）	1								1					1						
遅くまで開いている医療機関（歯医者など仕事帰りに行ける所）	1								1			1								
皮膚科	1								1		1									
病院（外科）	1	1						1												
病院（大きな）	1	1				1														
病院（内科）	1	1						1												
病児保育施設	1								1			1								
公園・スポーツ施設	23	8			2	2	4		14	2	2	4	2	1	3		1		1	
公園	2	1					1		1		1									
サイクリングロード	1								1				1							
サッカーや球技などができる公園	1								1			1								
ジム	1								1	1										
フィットネス	1								1	1										
プール	1								1						1					
ペットと遊べる公園	1	1					1													
運動ができる場所	1	1					1													
屋内体育館（子ども達がボルダリングやバドミントン等ができる）	1								1			1								
各地区ごと（または中学校区）に高齢者が気軽に利用できて、卓球やダンス等で体を動かすことのできるミニ体育館のようなもの	1								1					1						
公共の体育館	1								1						1					
散歩やジョギング等ができる広大な公園	1																1			1
子どもが雨でも遊べる施設	1	1			1															
子どもが外で楽しく遊べる場所	1								1			1								
子どもが学校の休みの時に見て遊んでくれる所	1								1						1					
市のジム	1								1				1							
孫と遊ぶ小さな公園	1	1					1													
多目的な公園	1								1			1								
多目的な公園（イベントなどを行えるような）	1	1				1														
大きな公園（球技等、サッカー、野球）	1	1			1															
歩ける公園（遊歩道）	1	1				1														
夜でも安全に歩ける公園	1								1		1									
文化施設	22	7			3	1	3		15	2	4	2	4	3						
図書館	6	1			1				5			2	1	1	1					
いきいき情報センター	1								1					1						
いろいろな活動（ダンス、音楽、いろんな教室や勉強会）ができるコミュニティルームのような所	1								1				1							
コミュニティセンター	1	1			1															
レクリエーション施設	1								1					1						
安く利用できる集会所	1								1			1								
音楽スタジオ	1								1		1									
学習ルームがある図書館	1	1					1													

(件)

家の近くにあると 便利だと思う施設	計	男性計							女性計							無回答計				
		計	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	無回答	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	無回答	計	60代	無回答
文化施設	22	7			3	1		3	15	2	4	2	4	3						
図書館	6	1			1				5			2	1	1	1					
いきいき情報センター	1								1					1						
いろいろな活動（ダンス、音楽、いろいろな教室や勉強会）ができるコミュニティルームのような所	1								1				1							
コミュニティセンター	1	1			1															
レクリエーション施設	1								1					1						
安く利用できる集会所	1								1			1								
音楽スタジオ	1								1		1									
学習ルームがある図書館	1	1				1														
簡易図書室	1	1						1												
公民館	1								1		1									
高齢者が学べる勉強の場所のようなもの	1								1					1						
高齢者向けのコミュニケーション会館（囲碁、将棋、カラオケ等）	1	1						1												
市の公共施設（文化施設）	1								1						1					
図書館（カフェと同居しているような）	1	1						1												
総合的な市民の憩いの場	1								1						1					
大佐野公民館	1	1			1															
大野城にあるようなコミュニティ施設	1								1			1								
公共交通関連	16	6	1		2			3	10			1	3	3	3					
駅	3	2			2				1				1							
JRの駅	2	1						1	1					1						
JR都府楼南駅にエレベーターを付けてほしい	1								1			1								
バスの便が少ないため、重い物、大きくかさばるものを購入した場合に困ると思う。バスの便がもう少し多いといいたのですが。	1								1						1					
バス停	1	1	1																	
バス路線	1								1						1					
急行が停まる駅	1	1						1												
交通機関	1								1					1						
市役所直通のコミュニティバス	1	1						1												
西鉄の駅（都府楼前から下大利までの間に駅があった方がよい）	1								1				1							
西鉄大牟田線	1								1					1						
太宰府市内に行けるバス	1								1						1					
本数の多いバス停	1								1				1							
飲食関連	13	6			3	3			6	2	2	1			1			1	1	
飲食店	7	2			1	1			4		2	1			1			1	1	
居酒屋	2	1				1			1	1										
飲食店（ファストフード）	1								1	1										
定食屋	1	1				1														
夜間営業（22時頃まで）のある喫茶店	1	1			1															
夜間営業（22時頃まで）のある軽食店	1	1			1															
行政・金融機関等	12	4						2	2				2	3	3					
郵便局・ポスト	4	1						1	3				1	1	1					
金融	1								1					1						
銀行	1								1					1						
市の公共施設（健康施設）	1								1						1					
市役所	1								1						1					
市役所の支所	1	1						1												
市役所まで行かずに住民票等を受け渡してもらえる施設	1								1				1							
選挙を投票する場所	1	1					1													
派出所・交番	1	1					1													
福祉関連施設	3	1						1	2			1		1						
介護施設	1								1					1						
福祉施設	1								1			1								
保育園	1	1					1													

家の近くにあると便利だと思う施設	計	男性計							女性計							無回答計				
		計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計	60代	無回答
その他	16	6	1		1	1		3	10	1	3	1	2		3					
移動販売車	2								2				1		1					
ベンチ	1	1						1												
メルチャリ	1	1				1														
一時保護できる施設（子ども）	1								1	1										
温泉	1								1				1							
観世音寺前に車用の信号がほしい。交通量が多いのに歩行者の押しボタン式信号しかなく、いつまでも右折できず困る。	1								1		1									
給食センター	1								1			1								
魚釣りの場所（釣り堀）	1								1							1				
広い駐車場スペース	1								1							1				
子ども、老人が共にふれあう場所	1	1						1												
集合施設	1	1			1															
信号	1								1	1										
大浴場	1	1						1												
駐輪場	1	1	1																	
都府楼前駅（西鉄）利用者のための立体駐車場	1								1	1										

20. 地域交通体系の整備

(1)市内のバスの利便性に対する評価(問 48)

● バスの利便性について『肯定派』は43.5%、『否定派』は28.4%となっている。

市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は43.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は28.4%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は26.5%となっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から2.6ポイント増加している。

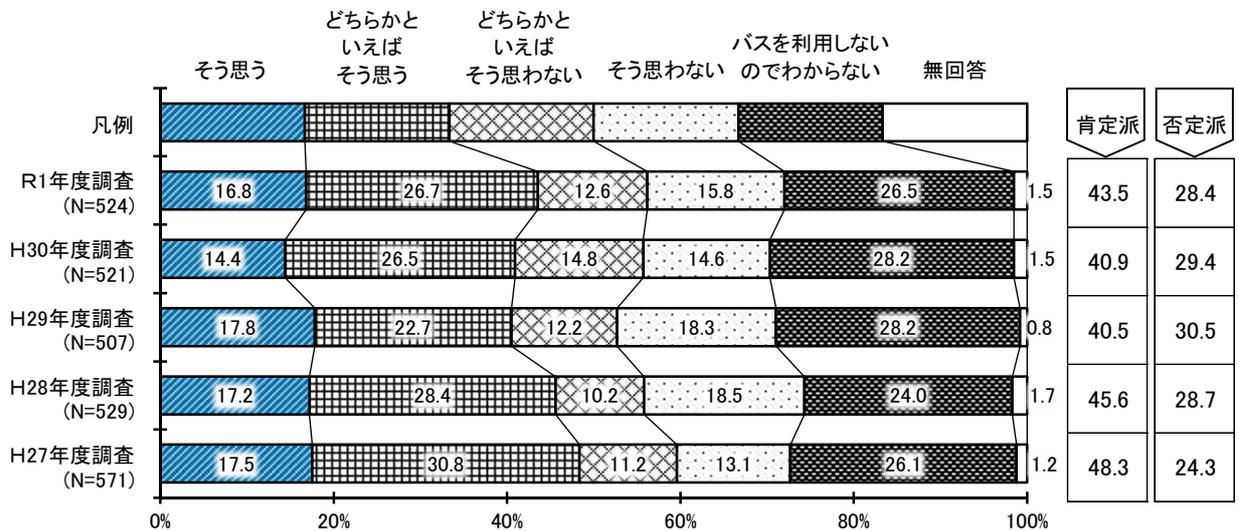
性別にみると、『肯定派』は女性（45.1%）の方が男性（42.6%）より2.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は70歳代以上（53.0%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府南小学校区（57.7%）が最も高くなっている。

問 48. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	バスを利用しないのでわからない	無回答	肯定派	否定派
全体		524	88	140	66	83	139	8	228	149
		100.0	16.8	26.7	12.6	15.8	26.5	1.5	43.5	28.4
性別	男性	221	14.5	28.1	14.5	13.6	28.1	1.4	42.6	28.1
	女性	288	19.1	26.0	11.1	17.0	25.7	1.0	45.1	28.1
	無回答	15	6.7	20.0	13.3	26.7	20.0	13.3	26.7	40.0
年代別	20歳代	39	25.6	25.6	17.9	12.8	15.4	2.6	51.2	30.7
	30歳代	47	19.1	23.4	12.8	21.3	23.4	-	42.5	34.1
	40歳代	104	5.8	29.8	15.4	17.3	30.8	1.0	35.6	32.7
	50歳代	88	9.1	29.5	11.4	21.6	28.4	-	38.6	33.0
	60歳代	108	21.3	22.2	13.0	13.0	28.7	1.9	43.5	26.0
	70歳代以上	132	24.2	28.8	9.1	11.4	24.2	2.3	53.0	20.5
	無回答	6	-	-	16.7	33.3	33.3	16.7	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	18.4	25.0	10.5	17.1	27.6	1.3	43.4	27.6
	太宰府東小学校区	53	15.1	30.2	18.9	13.2	20.8	1.9	45.3	32.1
	太宰府南小学校区	52	19.2	38.5	17.3	19.2	5.8	-	57.7	36.5
	水城小学校区	86	14.0	25.6	8.1	9.3	43.0	-	39.6	17.4
	水城西小学校区	61	19.7	21.3	14.8	16.4	24.6	3.3	41.0	31.2
	太宰府西小学校区	79	20.3	32.9	11.4	10.1	24.1	1.3	53.2	21.5
	国分小学校区	76	13.2	27.6	10.5	22.4	25.0	1.3	40.8	32.9
	わからない	31	12.9	6.5	12.9	29.0	35.5	3.2	19.4	41.9
	無回答	10	20.0	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	30.0	30.0

(2)コミュニティバスの利便性に対する評価(問 48 付問 1)

● コミュニティバスの利便性について『肯定派』は 47.5%、『否定派』は 19.5%となっている。

コミュニティバスの利便性に対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 47.5%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 19.5%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

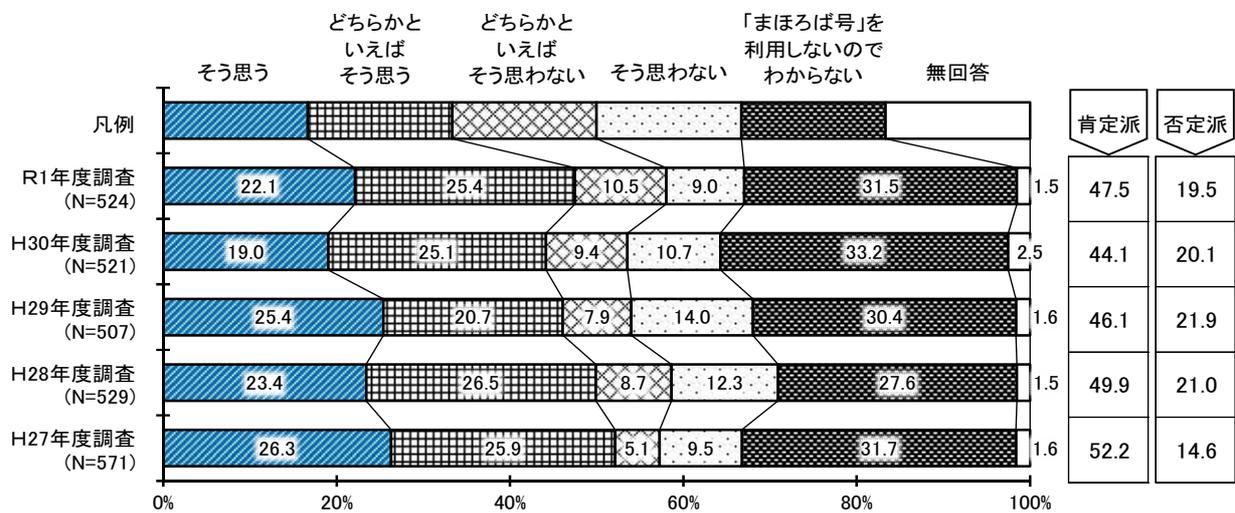
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 3.4 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性 (50.4%) の方が男性 (44.8%) より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が『否定派』より高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは 30 歳代 (55.3%) となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府小学校区 (60.5%) である。

問 48 付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についてお尋ねします。
まほろば号は便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	「まほろば号」を利用しないのでわからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		524	116	133	55	47	165	8	47.5	19.5
性別	男性	221	21.3	23.5	10.0	10.4	33.0	1.8	44.8	20.4
	女性	288	22.6	27.8	10.4	8.0	30.2	1.0	50.4	18.4
	無回答	15	26.7	6.7	20.0	6.7	33.3	6.7	33.4	26.7
年代別	20歳代	39	25.6	17.9	15.4	5.1	33.3	2.6	43.5	20.5
	30歳代	47	21.3	34.0	17.0	2.1	25.5	-	55.3	19.1
	40歳代	104	9.6	30.8	10.6	13.5	34.6	1.0	40.4	24.1
	50歳代	88	18.2	25.0	6.8	15.9	34.1	-	43.2	22.7
	60歳代	108	29.6	21.3	9.3	7.4	29.6	2.8	50.9	16.7
	70歳代以上	132	28.8	24.2	9.8	6.1	29.5	1.5	53.0	15.9
	無回答	6	-	16.7	16.7	-	50.0	16.7	16.7	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	26.3	34.2	9.2	3.9	25.0	1.3	60.5	13.1
	太宰府東小学校区	53	9.4	24.5	9.4	11.3	45.3	-	33.9	20.7
	太宰府南小学校区	52	13.5	36.5	15.4	7.7	26.9	-	50.0	23.1
	水城小学校区	86	20.9	25.6	5.8	5.8	39.5	2.3	46.5	11.6
	水城西小学校区	61	24.6	23.0	11.5	11.5	27.9	1.6	47.6	23.0
	太宰府西小学校区	79	32.9	21.5	12.7	10.1	22.8	-	54.4	22.8
	国分小学校区	76	25.0	19.7	13.2	14.5	26.3	1.3	44.7	27.7
	わからない	31	9.7	12.9	6.5	9.7	54.8	6.5	22.6	16.2
	無回答	10	30.0	30.0	10.0	-	20.0	10.0	60.0	10.0

(3)市内の鉄道の利便性に対する評価(問 49)

● 鉄道の利便性について『肯定派』は70.6%、『否定派』は18.7%となっている。

市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は70.6%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は18.7%で、『肯定派』が7割を占め、高くなっている。

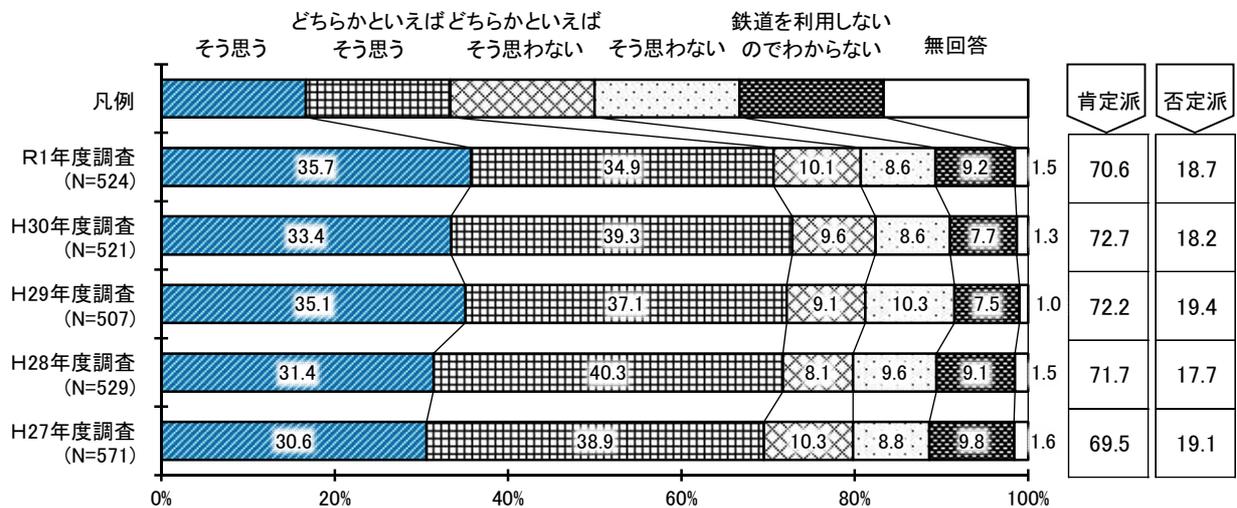
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から2.1ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性(71.9%)の方が男性(70.1%)より1.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』はいずれも6割を超えている。なお『肯定派』が最も高いのは、30歳代(85.1%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府小学校区(80.2%)である。

問 49. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち らう か 思 と う い	な え ど ち ら か 思 と わ い	そ う 思 わ な い	ら な い の を で 利 用 か し	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524	187	183	53	45	48	8	370	98
		100.0	35.7	34.9	10.1	8.6	9.2	1.5	70.6	18.7
性別	男 性	221	36.2	33.9	12.7	8.6	7.2	1.4	70.1	21.3
	女 性	288	36.8	35.1	8.0	8.7	10.1	1.4	71.9	16.7
	無回答	15	6.7	46.7	13.3	6.7	20.0	6.7	53.4	20.0
年代別	20歳代	39	48.7	25.6	10.3	10.3	2.6	2.6	74.3	20.6
	30歳代	47	44.7	40.4	6.4	6.4	2.1	-	85.1	12.8
	40歳代	104	26.9	37.5	15.4	9.6	9.6	1.0	64.4	25.0
	50歳代	88	38.6	30.7	12.5	10.2	6.8	1.1	69.3	22.7
	60歳代	108	39.8	33.3	5.6	6.5	12.0	2.8	73.1	12.1
	70歳代以上	132	31.8	37.9	9.8	8.3	11.4	0.8	69.7	18.1
	無回答	6	-	33.3	-	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	52.6	27.6	6.6	5.3	5.3	2.6	80.2	11.9
	太宰府東小学校区	53	37.7	35.8	7.5	9.4	7.5	1.9	73.5	16.9
	太宰府南小学校区	52	26.9	46.2	11.5	3.8	11.5	-	73.1	15.3
	水城小学校区	86	46.5	31.4	7.0	4.7	9.3	1.2	77.9	11.7
	水城西小学校区	61	39.3	41.0	4.9	8.2	4.9	1.6	80.3	13.1
	太宰府西小学校区	79	15.2	34.2	17.7	13.9	17.7	1.3	49.4	31.6
	国分小学校区	76	31.6	35.5	13.2	11.8	6.6	1.3	67.1	25.0
	わからない	31	35.5	25.8	16.1	16.1	6.5	-	61.3	32.2
	無回答	10	20.0	50.0	-	-	20.0	10.0	70.0	-

(4)市内の道路の円滑性に対する評価(問 50)

● 道路の円滑性について『肯定派』が48.7%で、『否定派』(46.4%)より高い。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は48.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は46.4%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

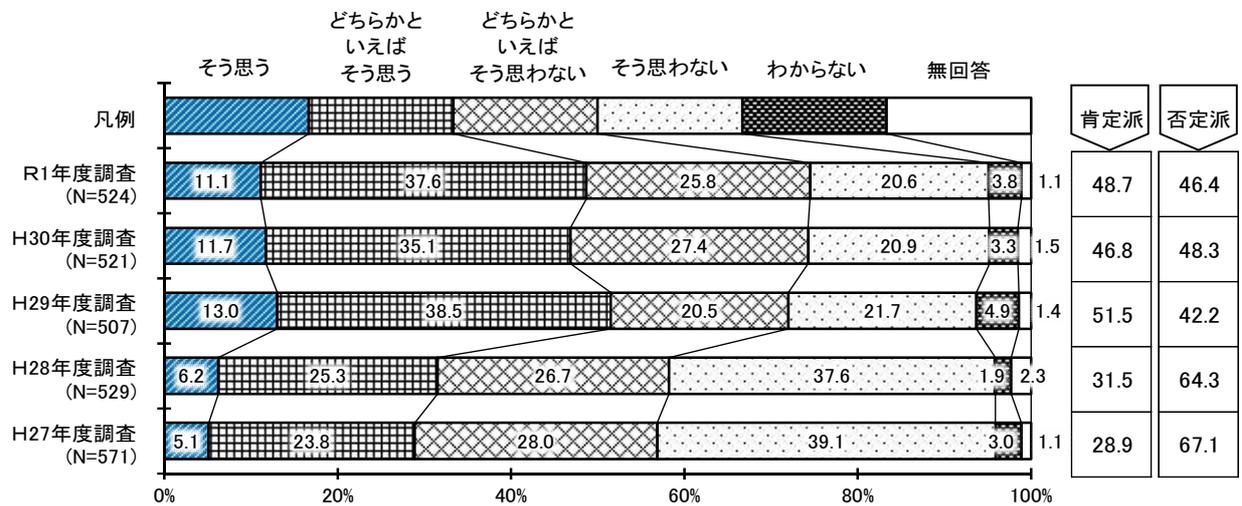
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から1.9ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性(51.7%)の方が男性(44.8%)より高くなっている。

年代別にみると、40歳代、50歳代を除くすべての年代で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは20歳代(58.9%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府南小学校区(63.4%)である。

問 50. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ば ち ら か と い え ば そ う お も う	えど ち ら か と い え ば そ う お も わ な い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524 100.0	58 11.1	197 37.6	135 25.8	108 20.6	20 3.8	6 1.1	255 48.7	243 46.4
性 別	男 性	221	10.9	33.9	31.2	20.4	2.7	0.9	44.8	51.6
	女 性	288	11.1	40.6	21.5	21.2	4.5	1.0	51.7	42.7
	無回答	15	13.3	33.3	26.7	13.3	6.7	6.7	46.6	40.0
年 代 別	20歳代	39	25.6	33.3	12.8	17.9	7.7	2.6	58.9	30.7
	30歳代	47	12.8	40.4	29.8	17.0	-	-	53.2	46.8
	40歳代	104	6.7	40.4	33.7	18.3	1.0	-	47.1	52.0
	50歳代	88	15.9	28.4	25.0	28.4	2.3	-	44.3	53.4
	60歳代	108	11.1	39.8	20.4	21.3	4.6	2.8	50.9	41.7
	70歳代以上	132	6.8	40.2	26.5	18.9	6.8	0.8	47.0	45.4
	無回答	6	-	33.3	33.3	16.7	-	16.7	33.3	50.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	13.2	18.4	25.0	39.5	2.6	1.3	31.6	64.5
	太宰府東小学校区	53	7.5	30.2	28.3	28.3	5.7	-	37.7	56.6
	太宰府南小学校区	52	9.6	53.8	25.0	7.7	3.8	-	63.4	32.7
	水城小学校区	86	11.6	40.7	23.3	18.6	4.7	1.2	52.3	41.9
	水城西小学校区	61	13.1	39.3	29.5	14.8	1.6	1.6	52.4	44.3
	太宰府西小学校区	79	7.6	48.1	25.3	15.2	2.5	1.3	55.7	40.5
	国分小学校区	76	14.5	39.5	23.7	18.4	2.6	1.3	54.0	42.1
	わからない	31	9.7	32.3	25.8	19.4	12.9	-	42.0	45.2
	無回答	10	10.0	20.0	40.0	20.0	-	10.0	30.0	60.0

(5)歩行者環境に対する評価(問 50 付問 1)

● 歩行者環境に対する評価について『肯定派』が51.1%で、『否定派』(44.3%)より高い。

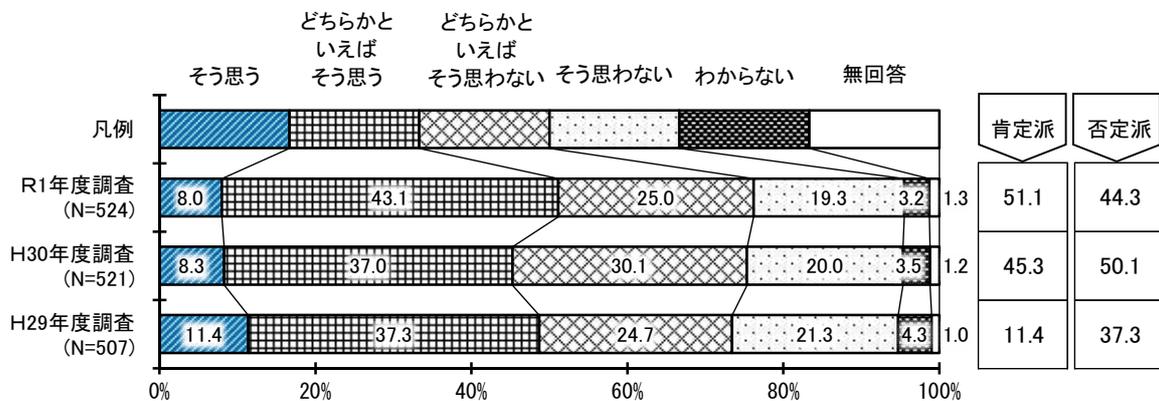
歩行者環境に対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は51.1%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は44.3%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(53.5%)の方が男性(48.8%)より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代(69.2%)となっている。一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(54.8%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府東小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府西小学校区(62.0%)である。

問 50 付問 1. 歩行者環境についてお尋ねします。安全に歩ける環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 う	な え ど ち な ら ば そ う か 思 わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		524	42	226	131	101	17	7	268	232
		100.0	8.0	43.1	25.0	19.3	3.2	1.3	51.1	44.3
性別	男性	221	5.4	43.4	25.3	20.8	4.1	0.9	48.8	46.1
	女性	288	10.4	43.1	24.0	18.8	2.8	1.0	53.5	42.8
	無回答	15	-	40.0	40.0	6.7	-	13.3	40.0	46.7
年代別	20歳代	39	17.9	51.3	10.3	12.8	5.1	2.6	69.2	23.1
	30歳代	47	14.9	51.1	21.3	12.8	-	-	66.0	34.1
	40歳代	104	1.0	41.3	24.0	30.8	2.9	-	42.3	54.8
	50歳代	88	10.2	38.6	25.0	21.6	4.5	-	48.8	46.6
	60歳代	108	7.4	39.8	30.6	16.7	1.9	3.7	47.2	47.3
	70歳代以上	132	7.6	45.5	26.5	15.2	4.5	0.8	53.1	41.7
	無回答	6	-	33.3	33.3	16.7	-	16.7	33.3	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	9.2	34.2	23.7	28.9	1.3	2.6	43.4	52.6
	太宰府東小学校区	53	3.8	37.7	26.4	26.4	5.7	-	41.5	52.8
	太宰府南小学校区	52	9.6	48.1	26.9	13.5	1.9	-	57.7	40.4
	水城小学校区	86	10.5	44.2	20.9	22.1	1.2	1.2	54.7	43.0
	水城西小学校区	61	4.9	45.9	32.8	14.8	-	1.6	50.8	47.6
	太宰府西小学校区	79	7.6	54.4	16.5	13.9	7.6	-	62.0	30.4
	国分小学校区	76	7.9	42.1	28.9	15.8	2.6	2.6	50.0	44.7
	わからない	31	9.7	32.3	29.0	19.4	9.7	-	42.0	48.4
	無回答	10	10.0	40.0	30.0	10.0	-	10.0	50.0	40.0

(6) 自転車環境に対する評価(問 50 付問 2)

● 自転車環境に対する評価について『否定派』が65.5%で、『肯定派』(19.8%)より高い。

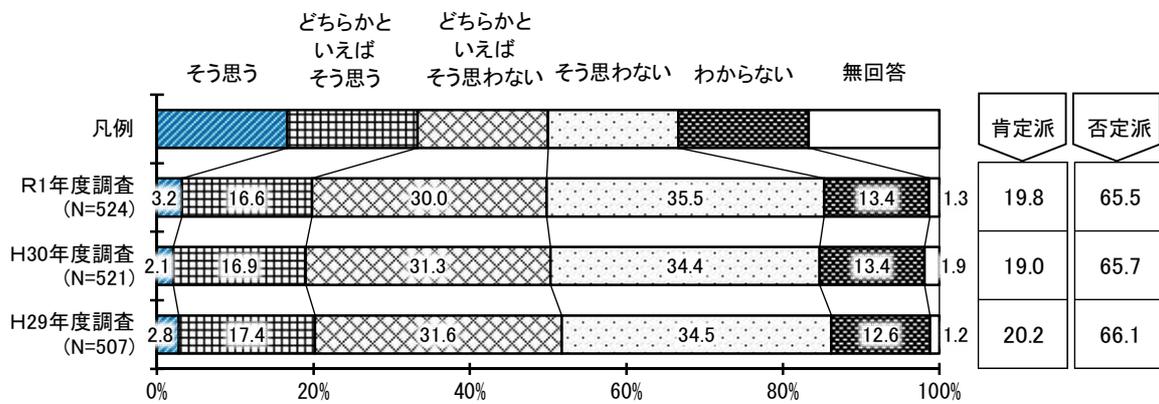
自転車環境に対する評価について『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は19.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は65.5%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(20.2%)の方が男性(19.9%)より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、20歳代(48.7%)となっている。一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(74.0%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。なお、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区(75.5%)である。

問 50 付問 2. 自転車環境についてお尋ねします。安全に自転車を運転できる環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら か 思 と う	な えど い ば ち そ ら か 思 と わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		524	17	87	157	186	70	7	104	343
		100.0	3.2	16.6	30.0	35.5	13.4	1.3	19.8	65.5
性 別	男 性	221	3.2	16.7	28.1	38.9	12.2	0.9	19.9	67.0
	女 性	288	3.5	16.7	30.6	34.4	13.9	1.0	20.2	65.0
	無回答	15	-	13.3	46.7	6.7	20.0	13.3	13.3	53.4
年 代 別	20歳代	39	12.8	35.9	17.9	23.1	7.7	2.6	48.7	41.0
	30歳代	47	10.6	19.1	29.8	25.5	14.9	-	29.7	55.3
	40歳代	104	-	14.4	31.7	42.3	11.5	-	14.4	74.0
	50歳代	88	3.4	10.2	33.0	37.5	15.9	-	13.6	70.5
	60歳代	108	1.9	17.6	31.5	37.0	9.3	2.8	19.5	68.5
	70歳代以上	132	1.5	14.4	29.5	35.6	17.4	1.5	15.9	65.1
	無回答	6	-	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	33.4
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	6.6	13.2	18.4	50.0	9.2	2.6	19.8	68.4
	太宰府東小学校区	53	3.8	7.5	30.2	45.3	13.2	-	11.3	75.5
	太宰府南小学校区	52	5.8	19.2	38.5	21.2	15.4	-	25.0	59.7
	水城小学校区	86	4.7	18.6	31.4	30.2	15.1	-	23.3	61.6
	水城西小学校区	61	-	16.4	41.0	31.1	9.8	1.6	16.4	72.1
	太宰府西小学校区	79	-	20.3	29.1	34.2	16.5	-	20.3	63.3
	国分小学校区	76	2.6	19.7	27.6	38.2	7.9	3.9	22.3	65.8
	わからない	31	-	12.9	29.0	32.3	25.8	-	12.9	61.3
	無回答	10	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	30.0	40.0

(7)外出時の移動手段(問 51)

● 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(54.4%)が最も高い。

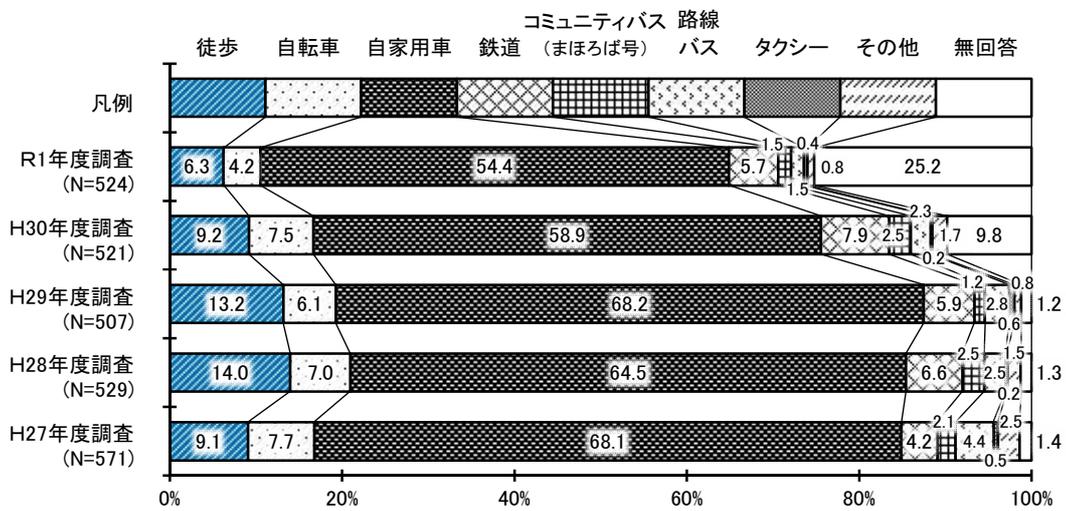
外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(54.4%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」(6.3%)、「鉄道」(5.7%)、「自転車」(4.2%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「自家用車」が最も高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは、50歳代(68.2%)である。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは、太宰府東小学校区(64.2%)である。

問 51. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	バス (まほろば号)	コミュニティバス (まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		524	33	22	285	30	8	8	2	4	132	
100.0			6.3	4.2	54.4	5.7	1.5	1.5	0.4	0.8	25.2	
性別	男性	221	5.9	5.0	55.2	5.4	1.4	1.4	0.5	0.5	24.9	
	女性	288	6.9	3.8	54.2	5.9	1.4	1.4	0.3	0.7	25.3	
	無回答	15	-	-	46.7	6.7	6.7	6.7	-	6.7	26.7	
年代別	20歳代	39	10.3	15.4	41.0	17.9	-	-	-	-	15.4	
	30歳代	47	6.4	6.4	44.7	6.4	-	2.1	-	-	34.0	
	40歳代	104	2.9	3.8	60.6	7.7	1.0	1.0	-	1.0	22.1	
	50歳代	88	5.7	2.3	68.2	5.7	-	-	-	-	18.2	
	60歳代	108	4.6	5.6	51.9	3.7	1.9	0.9	-	0.9	30.6	
	70歳代以上	132	9.8	0.8	50.0	2.3	3.8	3.8	1.5	1.5	26.5	
	無回答	6	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	76	7.9	3.9	51.3	11.8	1.3	-	-	-	23.7	
	太宰府東小学校区	53	5.7	1.9	64.2	5.7	-	-	3.8	1.9	17.0	
	太宰府南小学校区	52	1.9	3.8	50.0	1.9	-	7.7	-	1.9	32.7	
	水城小学校区	86	7.0	7.0	55.8	4.7	-	-	-	-	25.6	
	水城西小学校区	61	8.2	4.9	44.3	4.9	3.3	1.6	-	-	32.8	
	太宰府西小学校区	79	3.8	2.5	57.0	2.5	3.8	3.8	-	2.5	24.1	
	国分小学校区	76	5.3	3.9	61.8	3.9	1.3	-	-	-	23.7	
	わからない	31	16.1	3.2	45.2	16.1	-	-	-	-	19.4	
	無回答	10	-	10.0	50.0	-	10.0	-	-	-	30.0	

21. 産業の振興(問 52)

- 日頃買い物する場所は「太宰府市」(56.9%) が最も高い。

日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」(56.9%) が最も高く、全体の半数以上を占めている。次いで「筑紫野市」(21.9%)、「福岡市」「大野城市」(ともに 5.2%) の順となっている。

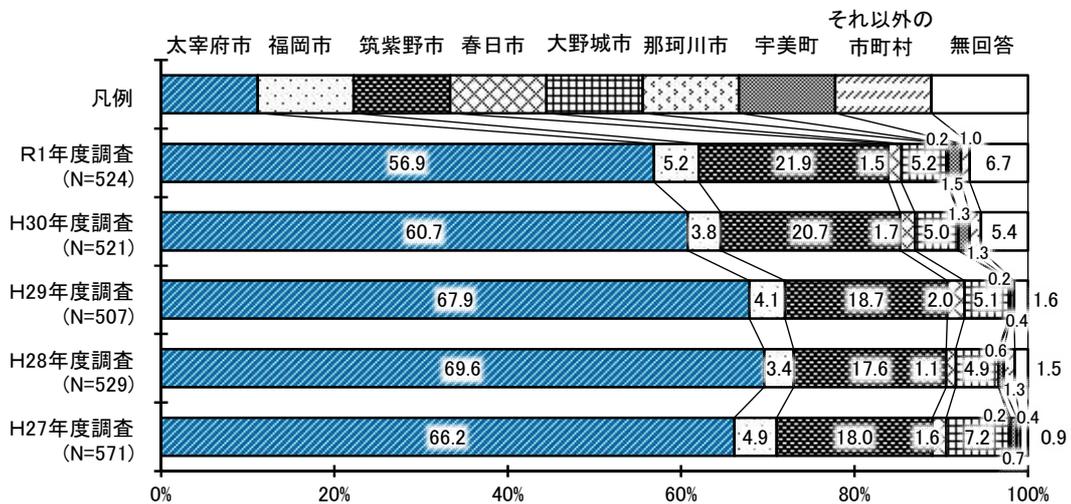
過去の調査結果と比べると、前回調査から「太宰府市」が 3.8 ポイント減少している。

性別でみると、「太宰府市」は、男性(57.0%)の方が女性(56.3%)より高くなっている。一方、「筑紫野市」は女性(24.3%)の方が男性(19.5%)より高くなっている。

年代別でみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっている。また、20歳代を除くすべての年代で「筑紫野市」が2番目に高くなっている。なお、20歳代は「福岡市」が2番目に高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(65.4%)が最も高くなっている。

問 52. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	宇美町	のそ市町以村外	無回答
全体		524	298	27	115	8	27	1	8	5	35
		100.0	56.9	5.2	21.9	1.5	5.2	0.2	1.5	1.0	6.7
性別	男性	221	57.0	4.1	19.5	1.8	6.8	-	2.3	1.8	6.8
	女性	288	56.3	6.3	24.3	1.4	3.8	0.3	1.0	0.3	6.3
	無回答	15	66.7	-	13.3	-	6.7	-	-	-	13.3
年代別	20歳代	39	35.9	25.6	20.5	2.6	-	2.6	-	5.1	7.7
	30歳代	47	55.3	4.3	27.7	2.1	2.1	-	-	2.1	6.4
	40歳代	104	58.7	1.9	24.0	1.9	4.8	-	1.0	-	7.7
	50歳代	88	55.7	5.7	21.6	2.3	4.5	-	3.4	-	6.8
	60歳代	108	49.1	3.7	26.9	1.9	8.3	-	1.9	-	8.3
	70歳代以上	132	69.7	3.0	15.9	-	6.1	-	1.5	0.8	3.0
	無回答	6	50.0	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	60.5	3.9	19.7	-	1.3	-	6.6	-	7.9
	太宰府東小学校区	53	50.9	5.7	32.1	-	-	-	-	3.8	7.5
	太宰府南小学校区	52	26.9	1.9	65.4	-	-	-	-	-	5.8
	水城小学校区	86	54.7	8.1	23.3	-	1.2	1.2	1.2	2.3	8.1
	水城西小学校区	61	63.9	1.6	8.2	8.2	6.6	-	-	-	11.5
	太宰府西小学校区	79	73.4	2.5	6.3	-	13.9	-	1.3	-	2.5
	国分小学校区	76	59.2	7.9	14.5	3.9	13.2	-	-	-	1.3
	わからない	31	48.4	12.9	22.6	-	-	-	3.2	3.2	9.7
	無回答	10	70.0	-	10.0	-	-	-	-	-	20.0

22. 文化遺産の保存と活用

(1) 歴史文化遺産に対する評価(問 53)

● 市の歴史文化遺産を誇りに思っている人は91.2%となっている。

歴史文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は91.2%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は7.1%となっており、『肯定派』が9割以上を占め、高くなっている。

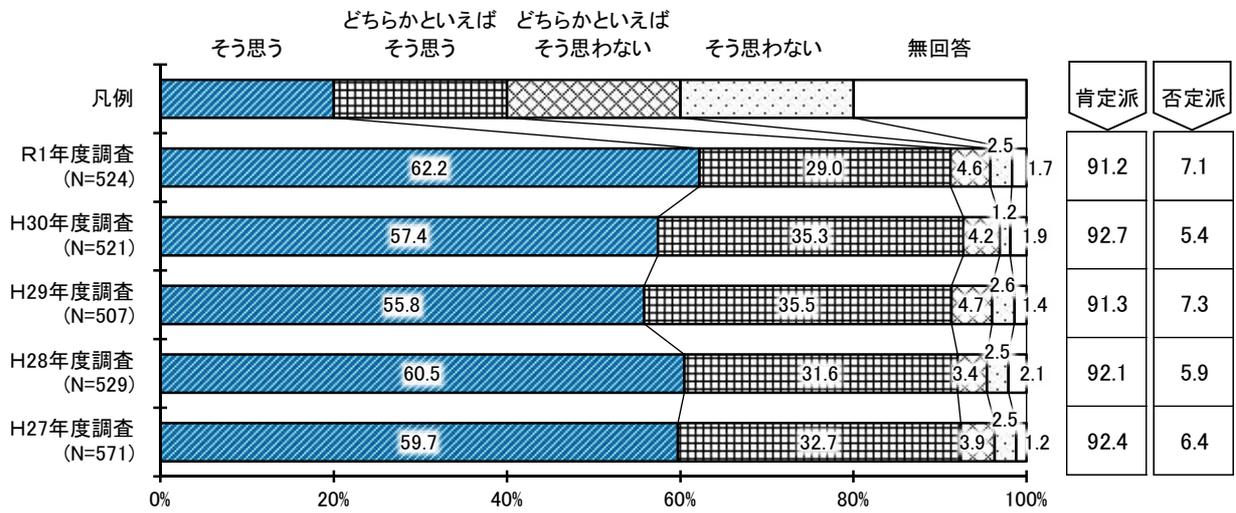
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が9割以上を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は男女とも9割以上を占めている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が8割を超えており、50歳代（95.4%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府南小学校区（96.2%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区と国分小学校区（ともに7.9%）となっている。

問 53. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そうと	思いど わえち なばら いそと	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		524	326	152	24	13	9	478	37
性別	男性	221	61.5	29.9	4.1	3.2	1.4	91.4	7.3
	女性	288	63.9	27.8	4.9	1.7	1.7	91.7	6.6
	無回答	15	40.0	40.0	6.7	6.7	6.7	80.0	13.4
年代別	20歳代	39	64.1	20.5	5.1	7.7	2.6	84.6	12.8
	30歳代	47	53.2	38.3	6.4	2.1	-	91.5	8.5
	40歳代	104	61.5	32.7	2.9	1.9	1.0	94.2	4.8
	50歳代	88	69.3	26.1	4.5	-	-	95.4	4.5
	60歳代	108	61.1	25.9	5.6	3.7	3.7	87.0	9.3
	70歳代以上	132	62.9	30.3	3.8	1.5	1.5	93.2	5.3
	無回答	6	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	33.4
小学校区別	太宰府小学校区	76	60.5	30.3	6.6	1.3	1.3	90.8	7.9
	太宰府東小学校区	53	54.7	39.6	3.8	1.9	-	94.3	5.7
	太宰府南小学校区	52	57.7	38.5	1.9	1.9	-	96.2	3.8
	水城小学校区	86	70.9	22.1	4.7	2.3	-	93.0	7.0
	水城西小学校区	61	75.4	18.0	4.9	-	1.6	93.4	4.9
	太宰府西小学校区	79	67.1	22.8	3.8	3.8	2.5	89.9	7.6
	国分小学校区	76	51.3	39.5	2.6	5.3	1.3	90.8	7.9
	わからない	31	54.8	22.6	9.7	3.2	9.7	77.4	12.9
	無回答	10	50.0	30.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0

(2)歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度(問 54)

● 太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることを知っている人は60.3%となっている。

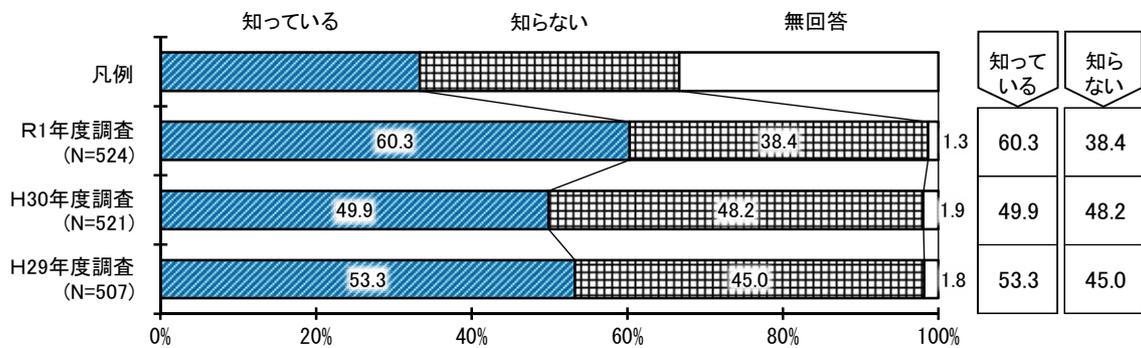
歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度について、「知っている」(60.3%)の方が、「知らない」(38.4%)より高くなっている。

性別にみると、「知っている」は女性(61.5%)の方が男性(59.3%)より高くなっている。

年代別にみると、30歳代と40歳代を除くすべての年代で「知っている」の方が高くなっている。なお「知っている」が最も高いのは、70歳代以上(78.0%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「知っている」が高くなっている。なお、「知っている」が最も高いのは、太宰府南小学校区(75.0%)となっている。

問 54. あなたは太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることをご存じですか。(〇は1つ)



		標本数	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		524	60.3	38.4	1.3
性別	男性	221	59.3	39.8	0.9
	女性	288	61.5	37.2	1.4
	無回答	15	53.3	40.0	6.7
年代別	20歳代	39	53.8	43.6	2.6
	30歳代	47	42.6	57.4	-
	40歳代	104	49.0	50.0	1.0
	50歳代	88	62.5	37.5	-
	60歳代	108	59.3	38.9	1.9
	70歳代以上	132	78.0	20.5	1.5
	無回答	6	33.3	50.0	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	53.9	44.7	1.3
	太宰府東小学校区	53	66.0	34.0	-
	太宰府南小学校区	52	75.0	25.0	-
	水城小学校区	86	60.5	39.5	-
	水城西小学校区	61	63.9	34.4	1.6
	太宰府西小学校区	79	58.2	40.5	1.3
	国分小学校区	76	59.2	38.2	2.6
	わからない	31	48.4	48.4	3.2
	無回答	10	40.0	50.0	10.0

23. 観光基盤の整備充実

(1)観光客の来訪に対する評価(問 55)

● 観光客の来訪について好ましいと思っている人は73.6%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は73.6%で7割以上を占めている。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」と「どちらかといえば好ましくない」の合計）は24.1%となっている。

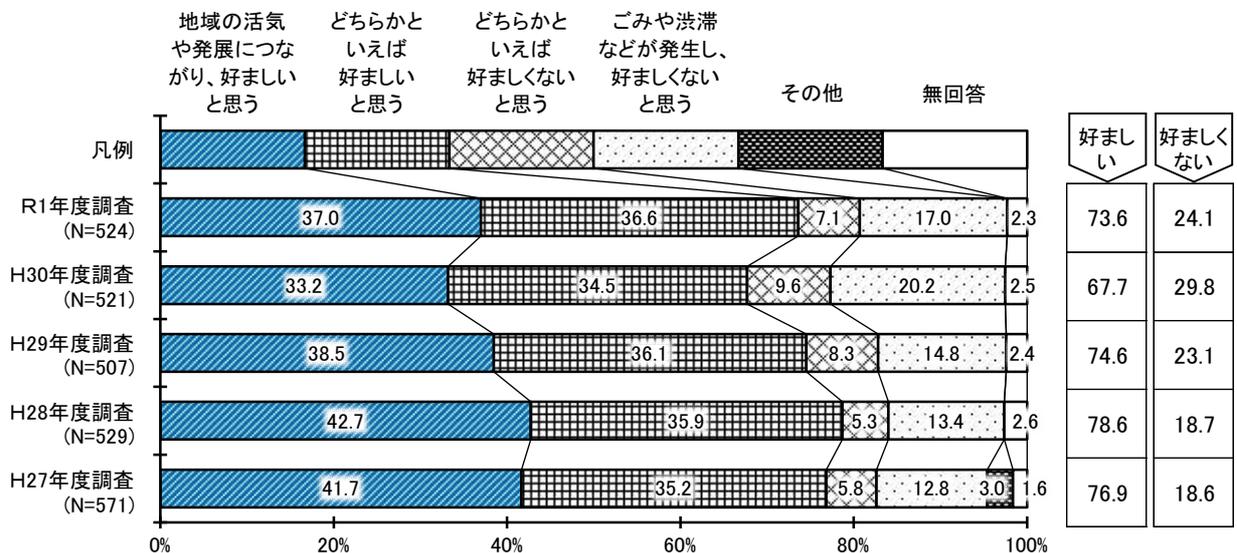
過去の調査結果と比べると、『好ましい』は前回調査から5.9ポイント増加している。

性別にみると、『好ましい』は、女性73.6%に対して男性73.8%とほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代で『好ましい』が6割以上を占めており、40歳代（81.7%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは、太宰府南小学校区（80.8%）となっている。

問 55. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)



※「その他」は、H28年度調査より除外された項目

	標本数	ごみや渋滞などが発生し、好ましくない					無回答	好ましい	
		どちらかといえば好ましくない	どちらかといえば好ましい	その他	好ましい	好ましくない			
全体	524	194	192	37	89	12	386	126	
	100.0	37.0	36.6	7.1	17.0	2.3	73.6	24.1	
性別									
男性	221	37.1	36.7	5.9	18.1	2.3	73.8	24.0	
女性	288	37.8	35.8	8.0	16.3	2.1	73.6	24.3	
無回答	15	20.0	53.3	6.7	13.3	6.7	73.3	20.0	
年代別									
20歳代	39	43.6	33.3	5.1	15.4	2.6	76.9	20.5	
30歳代	47	36.2	40.4	2.1	21.3	-	76.6	23.4	
40歳代	104	34.6	47.1	6.7	10.6	1.0	81.7	17.3	
50歳代	88	43.2	26.1	10.2	19.3	1.1	69.3	29.5	
60歳代	108	37.0	35.2	5.6	17.6	4.6	72.2	23.2	
70歳代以上	132	34.1	35.6	9.1	18.9	2.3	69.7	28.0	
無回答	6	16.7	50.0	-	16.7	16.7	66.7	16.7	
小学校区別									
太宰府小学校区	76	36.8	27.6	9.2	22.4	3.9	64.4	31.6	
太宰府東小学校区	53	28.3	34.0	9.4	26.4	1.9	62.3	35.8	
太宰府南小学校区	52	40.4	40.4	5.8	11.5	1.9	80.8	17.3	
水城小学校区	86	38.4	39.5	3.5	17.4	1.2	77.9	20.9	
水城西小学校区	61	44.3	34.4	11.5	8.2	1.6	78.7	19.7	
太宰府西小学校区	79	32.9	41.8	7.6	16.5	1.3	74.7	24.1	
国分小学校区	76	40.8	36.8	3.9	17.1	1.3	77.6	21.0	
わからない	31	35.5	41.9	9.7	9.7	3.2	77.4	19.4	
無回答	10	20.0	30.0	-	30.0	20.0	50.0	30.0	

(2)太宰府観光に必要なこと(問 56)

● 太宰府観光に必要なことは、「道路整備」(53.1%)が最も高い

太宰府観光に必要なことについて、「道路整備」(53.1%)が最も高くなっている。次いで、「宿泊施設」(44.3%)、「駐車場整備」(35.5%)、「飲食施設」(30.0%)の順となっている。

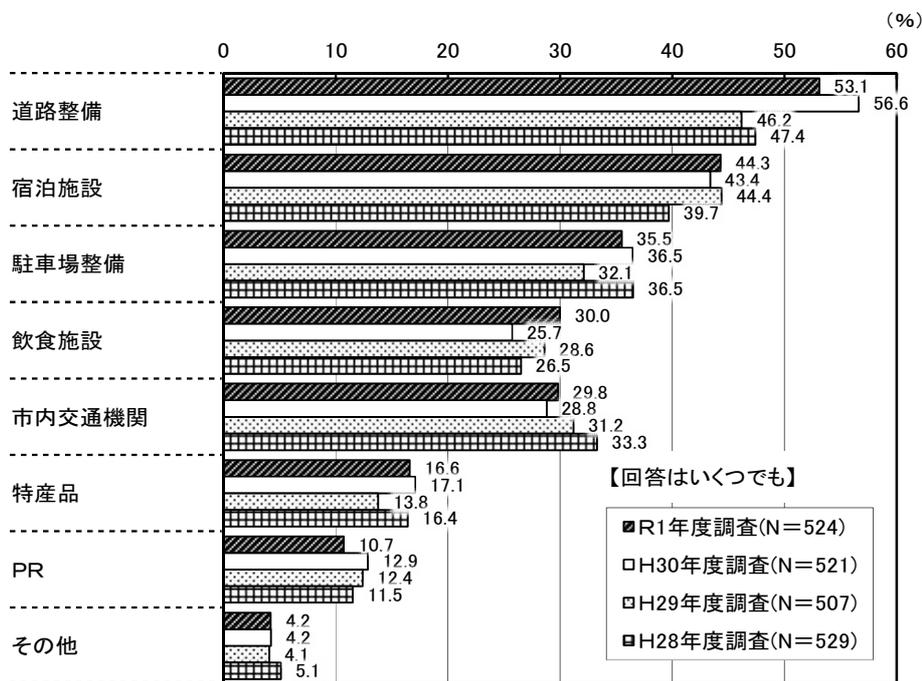
過去調査結果と比べると、「道路整備」は、前回調査から3.5ポイント減少している。

性別にみると、「宿泊施設」は男性(52.0%)の方が女性(38.9%)よりも13.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代において「道路整備」が最も高くなっている。なお、20歳代は「宿泊施設」(56.4%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区において「道路整備」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「駐車場整備」(42.3%)が最も高くなっている。

問 56. 今後の太宰府観光に何が必要だと思いますか (〇はいくつでも)



		標本数	道路整備	宿泊施設	駐車場整備	飲食施設	市内交通機関	特産品	PR	その他	無回答
全体		524	278	232	186	157	156	87	56	22	18
性別	男性	221	56.6	52.0	33.5	31.7	26.2	16.3	9.5	5.0	2.3
	女性	288	51.0	38.9	37.5	29.5	32.3	16.7	12.2	3.8	4.2
	無回答	15	40.0	33.3	26.7	13.3	33.3	20.0	-	-	6.7
年代別	20歳代	39	43.6	56.4	43.6	38.5	48.7	15.4	10.3	5.1	2.6
	30歳代	47	53.2	42.6	38.3	38.3	27.7	23.4	17.0	6.4	-
	40歳代	104	56.7	43.3	28.8	40.4	34.6	14.4	9.6	3.8	4.8
	50歳代	88	50.0	47.7	33.0	28.4	34.1	20.5	14.8	2.3	2.3
	60歳代	108	58.3	38.0	35.2	20.4	20.4	15.7	9.3	3.7	7.4
	70歳代以上	132	51.5	43.9	40.2	24.2	27.3	14.4	8.3	5.3	0.8
	無回答	6	33.3	66.7	16.7	50.0	-	16.7	-	-	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	67.1	43.4	32.9	38.2	28.9	15.8	6.6	2.6	2.6
	太宰府東小学校区	53	67.9	52.8	35.8	28.3	28.3	9.4	17.0	5.7	5.7
	太宰府南小学校区	52	40.4	38.5	42.3	25.0	34.6	19.2	11.5	3.8	-
	水城小学校区	86	50.0	40.7	39.5	36.0	25.6	24.4	12.8	4.7	3.5
	水城西小学校区	61	57.4	45.9	36.1	34.4	32.8	13.1	9.8	-	4.9
	太宰府西小学校区	79	45.6	41.8	36.7	19.0	31.6	19.0	7.6	6.3	2.5
	国分小学校区	76	50.0	42.1	31.6	28.9	32.9	10.5	11.8	6.6	3.9
	わからない	31	48.4	54.8	29.0	25.8	29.0	22.6	12.9	3.2	3.2
無回答	10	30.0	60.0	20.0	30.0	-	10.0	-	-	10.0	

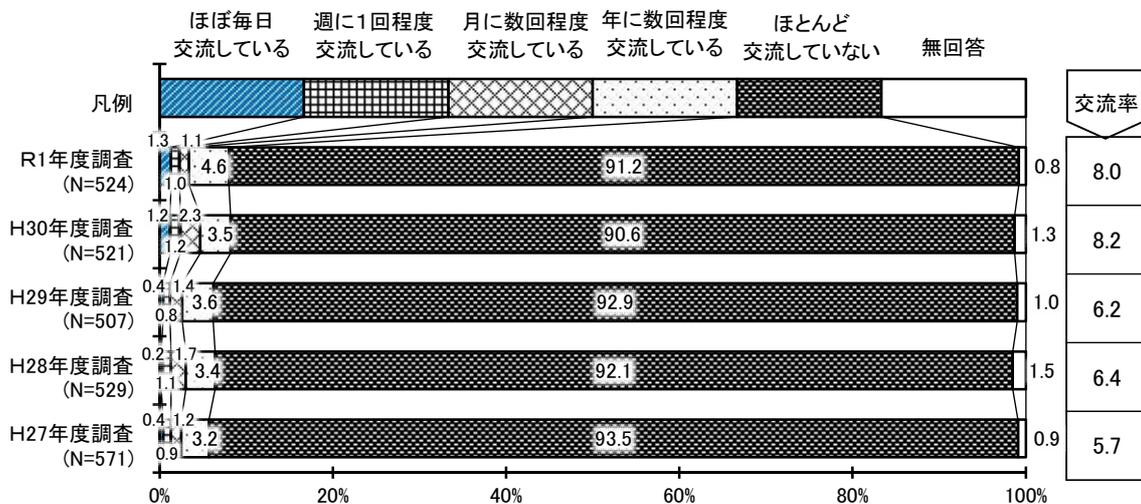
24. 国際交流・友好都市交流の推進

(1)市内在住外国人との交流頻度(問 57)

- 市内在住の外国人との交流は、9割以上が「ほとんど交流していない」。

市内在住の外国人との交流頻度について、『交流率』（「年に数回程度交流している」以上の交流頻度の合計）は8.0%と低く、「ほとんど交流していない」が91.2%と高くなっている。過去の調査結果と比べると、『交流率』は5～8%で推移しており、特に変化はみられない。性別にみると、『交流率』は男性8.7%、女性7.9%で、ともに1割未満となっている。年代別にみると、『交流率』が最も高いのは、30歳代（10.7%）となっている。小学校区別にみると、『交流率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（24.6%）となっている。

問 57. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(〇は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率
全体		524	7	5	6	24	478	4	42
		100.0	1.3	1.0	1.1	4.6	91.2	0.8	8.0
性別	男性	221	2.3	0.9	1.4	4.1	91.4	-	8.7
	女性	288	0.7	1.0	1.0	5.2	91.0	1.0	7.9
	無回答	15	-	-	-	-	93.3	6.7	-
年代別	20歳代	39	2.6	-	2.6	2.6	89.7	2.6	7.8
	30歳代	47	-	4.3	-	6.4	89.4	-	10.7
	40歳代	104	1.0	1.0	-	5.8	92.3	-	7.8
	50歳代	88	1.1	-	1.1	6.8	90.9	-	9.0
	60歳代	108	0.9	1.9	0.9	2.8	91.7	1.9	6.5
	70歳代以上	132	2.3	-	2.3	3.8	91.7	-	8.4
	無回答	6	-	-	-	-	83.3	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	2.6	-	1.3	1.3	93.4	1.3	5.2
	太宰府東小学校区	53	3.8	3.8	1.9	15.1	75.5	-	24.6
	太宰府南小学校区	52	-	-	-	3.8	96.2	-	3.8
	水城小学校区	86	3.5	2.3	-	4.7	89.5	-	10.5
	水城西小学校区	61	-	-	1.6	3.3	93.4	1.6	4.9
	太宰府西小学校区	79	-	-	1.3	3.8	94.9	-	5.1
	国分小学校区	76	-	-	1.3	3.9	93.4	1.3	5.2
	わからない	31	-	3.2	-	3.2	93.5	-	6.4
無回答	10	-	-	10.0	-	80.0	10.0	10.0	

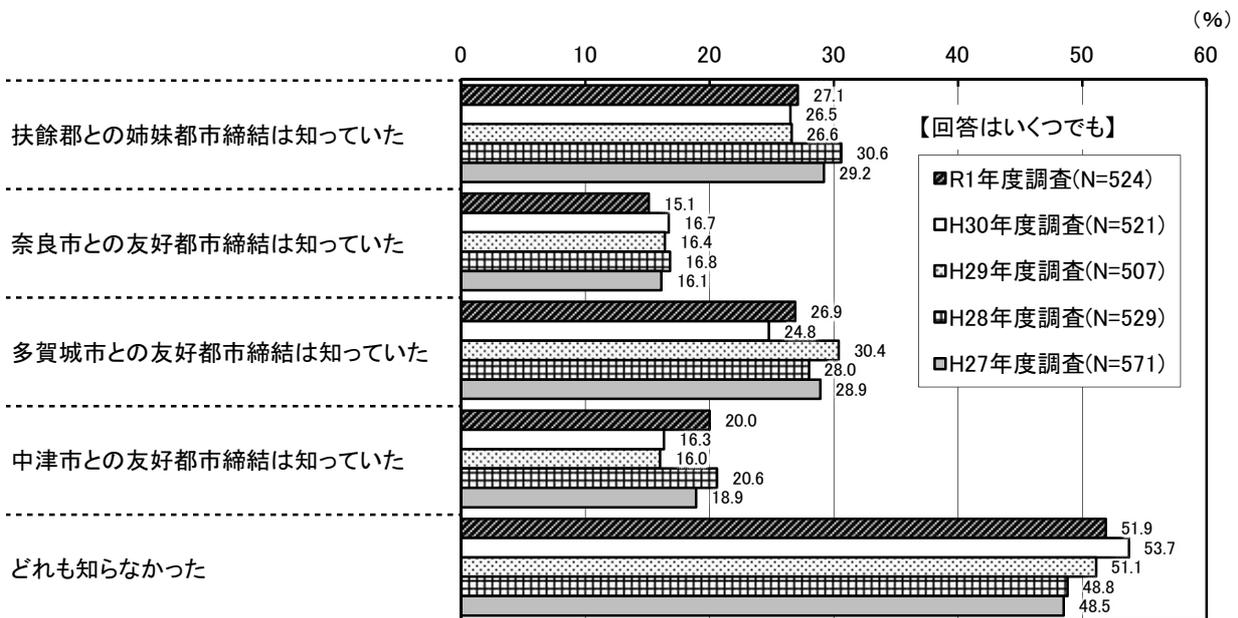
(2) 姉妹都市、友好都市の認知度(問 58)

● 太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約5割が「どれも知らなかった」と回答している。

太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(27.1%)が最も高く、次いで「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(26.9%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(20.0%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(15.1%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は51.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は前回調査から 2.1ポイント、「中津市との友好都市締結は知っていた」は前回調査から 3.7ポイント増加している。

問 58. あなたは太宰府市が^{フヨウケン}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男性は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(26.7%)が、女性は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(30.6%)が最も高くなっている。

年代別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は70歳代(35.6%)が最も高くなっている。また「奈良市との友好都市締結は知っていた」は20歳代(25.6%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は太宰府西小学校区(46.8%)が最も高くなっており、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は太宰府小学校区(38.2%)が最も高くなっている。

(%)

		標 本 数	知妹扶 つ都餘 て市郡 い締と た結の は姉	知好奈 つ都良 て市市 い締と た結の は友	は友多 知好賀 つ都城 て市市 い締と た結の	知好中 つ都津 て市市 い締と た結の は友	かど つれ たも 知ら な	無 回 答
全 体		524 100.0	142 27.1	79 15.1	141 26.9	105 20.0	272 51.9	7 1.3
性 別	男 性	221	23.5	14.9	26.7	19.0	57.9	1.4
	女 性	288	30.6	15.6	27.8	20.8	46.5	1.4
	無回答	15	13.3	6.7	13.3	20.0	66.7	-
年 代 別	20歳代	39	15.4	25.6	20.5	12.8	64.1	-
	30歳代	47	14.9	6.4	12.8	17.0	72.3	-
	40歳代	104	25.0	15.4	31.7	15.4	55.8	1.0
	50歳代	88	22.7	14.8	21.6	21.6	52.3	-
	60歳代	108	31.5	15.7	29.6	18.5	51.9	1.9
	70歳代以上	132	35.6	15.2	32.6	25.8	37.9	3.0
	無回答	6	33.3	-	-	50.0	50.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	25.0	19.7	38.2	30.3	43.4	-
	太宰府東小学校区	53	22.6	24.5	32.1	22.6	54.7	3.8
	太宰府南小学校区	52	23.1	13.5	21.2	7.7	51.9	1.9
	水城小学校区	86	22.1	12.8	31.4	12.8	55.8	3.5
	水城西小学校区	61	31.1	14.8	26.2	29.5	50.8	-
	太宰府西小学校区	79	46.8	11.4	22.8	12.7	43.0	-
	国分小学校区	76	23.7	15.8	23.7	23.7	53.9	1.3
	わからない	31	9.7	9.7	12.9	19.4	74.2	-
無回答	10	30.0	-	10.0	30.0	60.0	-	

(3)国際交流・友好都市交流で希望する具体的な取り組み(問 59)

① 外国人や留学生との交流

● 外国人や留学生との交流で希望する取り組みは、「語学講座」(20.4%)、「意見交換会」(12.0%)の順となっている。

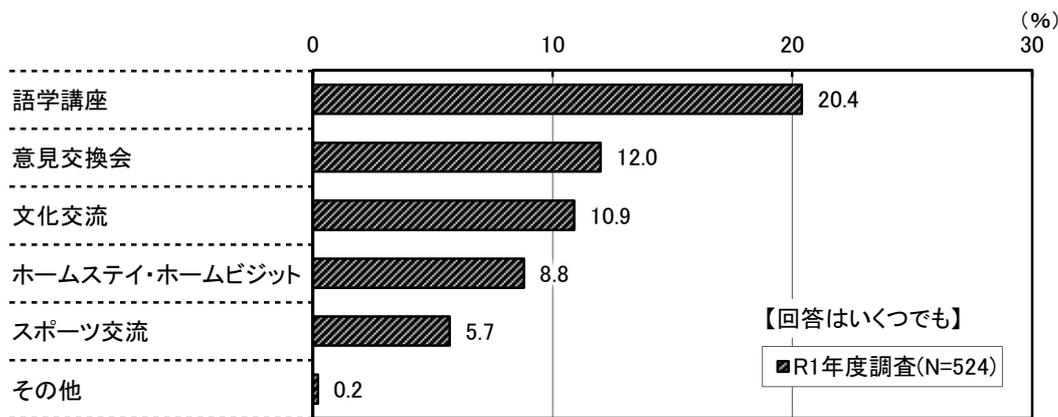
外国人や留学生との交流で希望する取り組みは、「語学講座」(20.4%)が最も高くなっており、次いで「意見交換会」(12.0%)、「文化交流」(10.9%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「語学講座」が1位となっており、女性(23.6%)の方が男性(17.2%)より6.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「語学講座」は50歳代(36.4%)が最も高くなっており、次いで20歳代(30.8%)となっている。また「意見交換会」は30歳代(17.0%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で「語学講座」が最も高くなっている。

問 59. あなたは外国人や留学生、海外の姉妹都市、国内の友好都市とどのような交流がしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	語学講座	意見交換会	文化交流	ホームステイ・ホームビジット	スポーツ交流	その他	無回答
全体		524	107	63	57	46	30	1	306
		100.0	20.4	12.0	10.9	8.8	5.7	0.2	58.4
性別	男性	221	17.2	14.9	7.2	10.4	5.9	-	58.8
	女性	288	23.6	10.1	14.2	7.6	5.6	0.3	56.9
	無回答	15	6.7	6.7	-	6.7	6.7	-	80.0
年代別	20歳代	39	30.8	15.4	10.3	12.8	5.1	-	51.3
	30歳代	47	25.5	17.0	17.0	17.0	12.8	-	42.6
	40歳代	104	26.0	11.5	8.7	14.4	5.8	-	50.0
	50歳代	88	36.4	8.0	10.2	8.0	4.5	-	50.0
	60歳代	108	12.0	16.7	13.0	6.5	8.3	-	58.3
	70歳代以上	132	7.6	9.1	9.8	2.3	1.5	0.8	78.0
	無回答	6	16.7	-	-	16.7	16.7	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	18.4	19.7	15.8	9.2	7.9	-	51.3
	太宰府東小学校区	53	24.5	15.1	13.2	7.5	5.7	-	60.4
	太宰府南小学校区	52	17.3	5.8	15.4	13.5	3.8	-	57.7
	水城小学校区	86	16.3	15.1	5.8	7.0	5.8	-	58.1
	水城西小学校区	61	27.9	8.2	13.1	11.5	6.6	-	57.4
	太宰府西小学校区	79	24.1	10.1	10.1	5.1	5.1	-	55.7
	国分小学校区	76	18.4	10.5	7.9	9.2	2.6	1.3	61.8
	わからない	31	19.4	9.7	9.7	9.7	9.7	-	67.7
	無回答	10	10.0	-	-	10.0	10.0	-	80.0

スポーツ交流（種目）	件数
サッカー	4
テニス	2
野球	2
バレーボール・ソフトバレーボール	2
スケート	1
ソフトボール	1
バスケットボール	1
バラスポーツ	1
ラグビー	1
国技	1
市民運動会	1
柔道	1
卓球	1

文化交流（内容）	件数
料理・料理教室	6
食	3
芸術	2
踊り	2
歴史	2
アリーナで他国の食品や民芸品の販売などしてほしい （万国博覧会のように。1国でも。イタリア博他等）	1
ファッション	1
衣食住	1
史跡	1
子ども同士の交流	1
小学生の子ども達にほしい	1
日本と出身国との	1
文化財	1
民族衣装	1
歴史的文化遺産	1

② 海外の姉妹都市との交流

● 海外の姉妹都市との交流で希望する取り組みは、「市民訪問団への参加」(13.7%)、「文化交流」(12.8%)の順となっている。

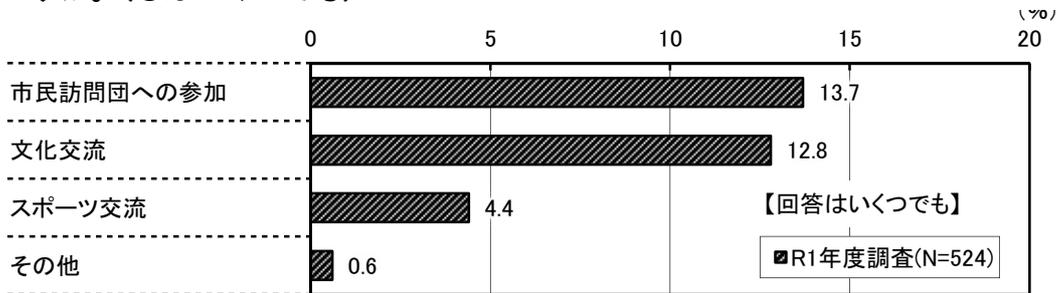
海外の姉妹都市との交流で希望する取り組みは、「市民訪問団への参加」(13.7%)が最も高くなっており、次いで「文化交流」(12.8%)、「スポーツ交流」(4.4%)の順となっている。

性別にみると、男性は「市民訪問団への参加」(16.7%)が女性は「文化交流」(15.3%)が最も高くなっており、

年代別にみると、「市民訪問団への参加」は50歳代(18.2%)が最も高くなっており、次いで60歳代(16.7%)となっている。

小学校区別にみると、「市民訪問団への参加」は太宰府小学校区(17.1%)が最も高くなっており、次いで水城西小学校区(16.4%)の順となっている。

問 59. あなたは外国人や留学生、海外の姉妹都市、国内の友好都市とどのような交流がしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	の市 参加 訪問 団へ	文 化 交 流	ス ポ ー ツ 交 流	そ の 他	無 回 答
全 体		524	72	67	23	3	376
		100.0	13.7	12.8	4.4	0.6	71.8
性 別	男 性	221	16.7	10.4	3.6	0.5	70.6
	女 性	288	11.5	15.3	4.9	0.7	71.9
	無回答	15	13.3	-	6.7	-	86.7
年 代 別	20歳代	39	15.4	7.7	5.1	2.6	71.8
	30歳代	47	14.9	14.9	10.6	2.1	66.0
	40歳代	104	12.5	14.4	2.9	1.0	70.2
	50歳代	88	18.2	14.8	5.7	-	63.6
	60歳代	108	16.7	14.8	5.6	-	67.6
	70歳代以上	132	8.3	9.8	0.8	-	83.3
	無回答	6	16.7	-	16.7	-	83.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	76	17.1	15.8	5.3	2.6	63.2
	太宰府東小学校区	53	15.1	20.8	1.9	-	67.9
	太宰府南小学校区	52	7.7	17.3	1.9	1.9	75.0
	水城西小学校区	86	15.1	7.0	3.5	-	75.6
	水城西小学校区	61	16.4	16.4	9.8	-	68.9
	太宰府西小学校区	79	11.4	12.7	7.6	-	68.4
	国分小学校区	76	14.5	9.2	1.3	-	75.0
	わからない	31	9.7	6.5	-	-	83.9
	無回答	10	10.0	-	10.0	-	90.0

スポーツ交流（種目）	件数
サッカー	3
テニス・テニス（ジュニア）	3
バスケットボール	2
野球・少年野球	2
お互いの国独特のもの	1
キックベース	1
ソフトボール	1
パラスポーツ	1
バレーボール	1
国技	1

文化交流（内容）	件数
歴史	5
食	4
料理・料理教室	3
観光・都市観光	2
芸術	2
キムチづくり	1
ファッション	1
衣食住	1
学生交流	1
語学コミュニケーション	1
史跡	1
定期的なイベント開催	1
伝統芸能	1
特産品の紹介や販売会	1
文化	1
文化財	1
民族衣装	1
歴史的関わりについて	1
歴史的文化遺産	1

③ 国内の友好都市との交流

● 国内の友好都市との交流で希望する取り組みは、「市民訪問団への参加」(16.4%)、「スポーツ交流」(11.8%)の順となっている。

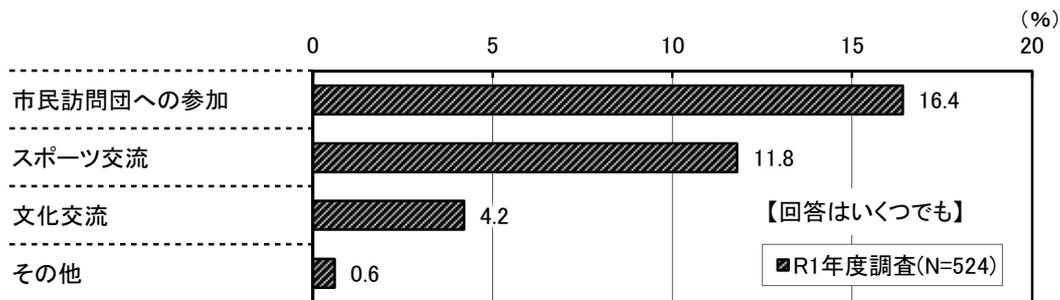
国内の友好都市との交流で希望する取り組みは、「市民訪問団への参加」(16.4%)が最も高くなっており、次いで「スポーツ交流」(11.8%)、「文化交流」(4.2%)の順となっている。

性別にみると、「市民訪問団への参加」は男性(19.0%)の方が女性(14.6%)より高くなっている。

年代別にみると、「市民訪問団への参加」は20歳代(25.6%)が最も高くなっており、次いで30歳代(21.3%)の順となっている。また、「文化交流」は40歳代(16.3%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「市民訪問団への参加」が最も高くなっている。

問 59. あなたは外国人や留学生、海外の姉妹都市、国内の友好都市とどのような交流がしたいですか。(〇はいくつでも)



		標本数	市民訪問団への参加 (%)	文化交流 (%)	スポーツ交流 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		524	86	62	22	3	371
		100.0	16.4	11.8	4.2	0.6	70.8
性別	男性	221	19.0	9.5	3.6	0.5	69.2
	女性	288	14.6	14.2	4.5	0.7	71.2
	無回答	15	13.3	-	6.7	-	86.7
年代別	20歳代	39	25.6	2.6	2.6	-	69.2
	30歳代	47	21.3	14.9	10.6	-	66.0
	40歳代	104	14.4	16.3	1.9	-	68.3
	50歳代	88	18.2	12.5	4.5	-	67.0
	60歳代	108	17.6	13.9	5.6	0.9	67.6
	70歳代以上	132	11.4	8.3	2.3	1.5	79.5
	無回答	6	16.7	-	16.7	-	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	22.4	19.7	3.9	1.3	59.2
	太宰府東小学校区	53	22.6	13.2	1.9	3.8	66.0
	太宰府南小学校区	52	11.5	19.2	3.8	-	69.2
	水城小学校区	86	15.1	5.8	2.3	-	77.9
	水城西小学校区	61	19.7	18.0	6.6	-	65.6
	太宰府西小学校区	79	13.9	10.1	8.9	-	67.1
	国分小学校区	76	14.5	6.6	2.6	-	77.6
	わからない	31	9.7	3.2	-	-	87.1
	無回答	10	10.0	-	10.0	-	90.0

スポーツ交流（種目）	件数
サッカー	3
テニス・テニス（ジュニア）	3
バレーボール・ソフトバレーボール	3
ソフトボール	1
バスケットボール	1
パラスポーツ	1
国技	1
少年野球	1

文化交流（内容）	件数
食	6
歴史	4
観光・都市観光	2
芸術	2
ファッション	1
衣食住	1
花の学習	1
史跡	1
市民交互旅行会	1
太宰府市民政庁まつりの催し会場などで	1
定期的なイベント開催	1
特産品の交流	1
特産品の紹介や販売会	1
特産品交換会（市民参加型で）	1
文化財	1
民族衣装	1
歴史的文化遺産	1

25. コミュニティ活動等への参加

(1)自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況(問 60)

- 自治会活動に参加しているのは 29.8%となっている。
- 20 歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況について、『参加派』（「積極的に参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 29.8%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 69.7%で、『不参加派』の方が『参加派』より高くなっている。

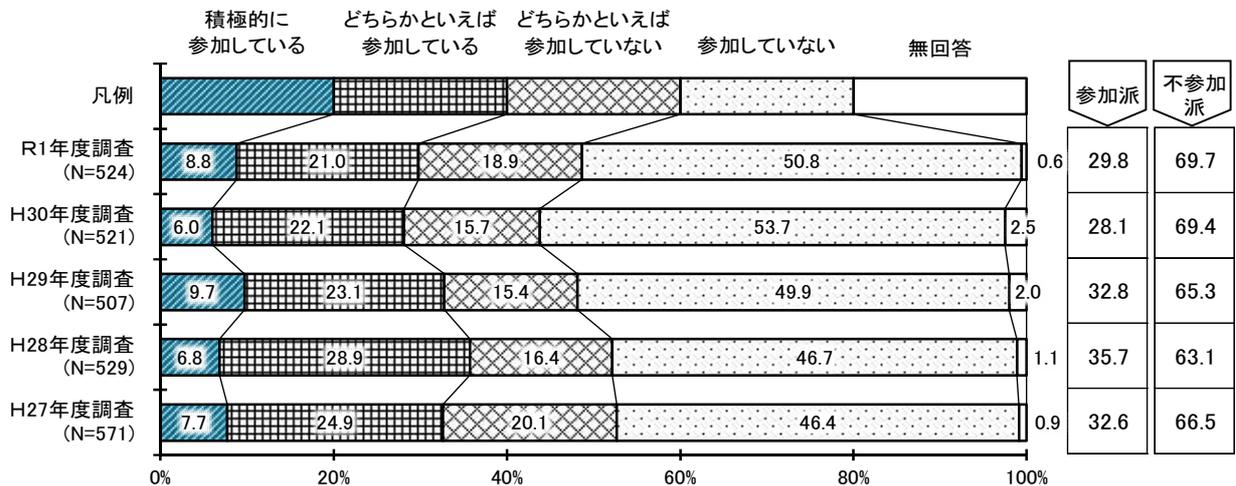
過去の調査結果と比べると、『参加派』は前回調査から 1.7 ポイント増加している。

性別にみると、『参加派』は女性（32.7%）の方が男性（24.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（37.9%）が最も高くなっている。また、20 歳代は『参加派』（2.6%）が極めて低くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』は太宰府南小学校区（50.0%）が最も高くなっている。一方、『不参加派』が最も高くなっているのは、水城小学校区（79.1%）となっている。

問 60. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか（○は1つ）



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		524	46	110	99	266	3	156	365
		100.0	8.8	21.0	18.9	50.8	0.6	29.8	69.7
性別	男性	221	8.1	16.7	18.6	56.1	0.5	24.8	74.7
	女性	288	9.4	23.3	19.1	47.6	0.7	32.7	66.7
	無回答	15	6.7	40.0	20.0	33.3	-	46.7	53.3
年代別	20歳代	39	-	2.6	7.7	89.7	-	2.6	97.4
	30歳代	47	10.6	19.1	19.1	51.1	-	29.7	70.2
	40歳代	104	10.6	22.1	21.2	46.2	-	32.7	67.4
	50歳代	88	5.7	18.2	26.1	50.0	-	23.9	76.1
	60歳代	108	6.5	23.1	20.4	49.1	0.9	29.6	69.5
	70歳代以上	132	12.1	25.8	15.2	45.5	1.5	37.9	60.7
	無回答	6	33.3	33.3	-	33.3	-	66.6	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	13.2	13.2	22.4	51.3	-	26.4	73.7
	太宰府東小学校区	53	7.5	26.4	20.8	43.4	1.9	33.9	64.2
	太宰府南小学校区	52	17.3	32.7	15.4	34.6	-	50.0	50.0
	水城小学校区	86	8.1	11.6	16.3	62.8	1.2	19.7	79.1
	水城西小学校区	61	3.3	26.2	23.0	47.5	-	29.5	70.5
	太宰府西小学校区	79	8.9	26.6	20.3	44.3	-	35.5	64.6
	国分小学校区	76	6.6	25.0	18.4	48.7	1.3	31.6	67.1
	わからない	31	-	-	12.9	87.1	-	-	100.0
	無回答	10	20.0	30.0	10.0	40.0	-	50.0	50.0

(2) ボランティア活動への参加状況(問 61)

● ボランティア活動に参加しているのは 14.2%となっている。

ボランティア活動への参加状況について、『参加派』（「積極的に参加している」と「どちらかと言えば参加している」の合計）は 14.2%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかと言えば参加していない」の合計）は 84.9%で、『不参加派』が 8割以上となっている。

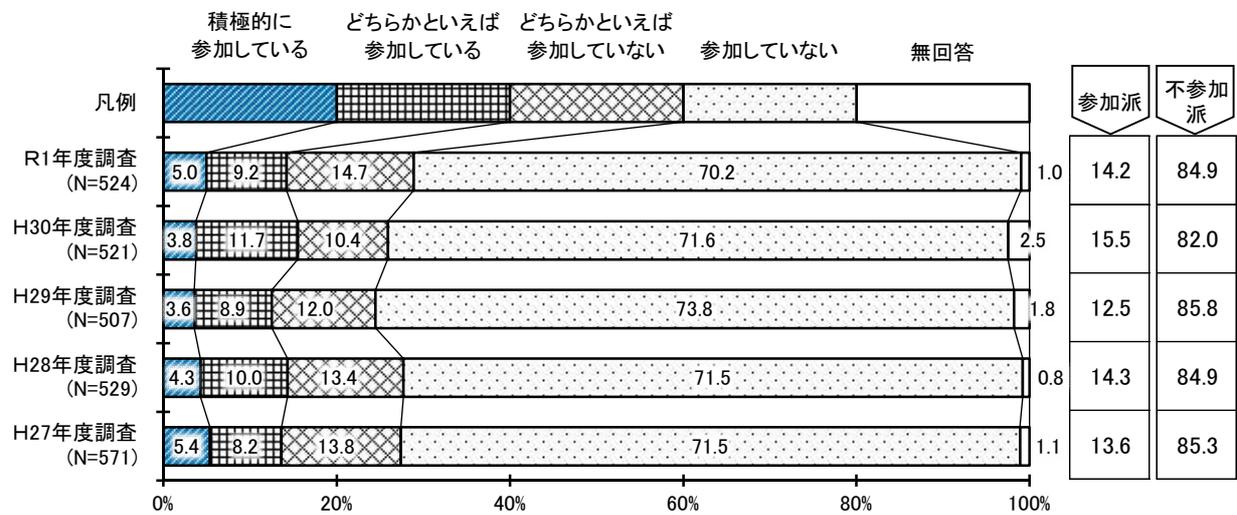
過去の調査結果と比べると、『参加派』は、前回調査から 1.3 ポイント減少している。

性別にみると、『参加派』は、男性（17.6%）の方が女性（11.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（23.5%）で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府東小学校区（32.0%）となっている。

問 61. あなたは自治会活動以外(問 60 以外)のボランティア活動に参加していますか。
(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかと言えば参加している	どちらかと言えば参加していない	参加していない	無回答	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		524	26	48	77	368	5	14.2	84.9
性別	男性	221	6.3	11.3	16.7	64.7	0.9	17.6	81.4
	女性	288	4.2	7.6	13.5	74.0	0.7	11.8	87.5
	無回答	15	-	6.7	6.7	80.0	6.7	6.7	86.7
年代別	20歳代	39	-	5.1	5.1	89.7	-	5.1	94.8
	30歳代	47	4.3	10.6	8.5	76.6	-	14.9	85.1
	40歳代	104	1.0	9.6	21.2	68.3	-	10.6	89.5
	50歳代	88	4.5	3.4	21.6	70.5	-	7.9	92.1
	60歳代	108	6.5	8.3	10.2	73.1	1.9	14.8	83.3
	70歳代以上	132	9.1	14.4	14.4	59.8	2.3	23.5	74.2
	無回答	6	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	7.9	7.9	21.1	61.8	1.3	15.8	82.9
	太宰府東小学校区	53	9.4	22.6	15.1	50.9	1.9	32.0	66.0
	太宰府南小学校区	52	7.7	15.4	15.4	61.5	-	23.1	76.9
	水城小学校区	86	8.1	3.5	5.8	81.4	1.2	11.6	87.2
	水城西小学校区	61	3.3	8.2	18.0	70.5	-	11.5	88.5
	太宰府西小学校区	79	1.3	5.1	20.3	73.4	-	6.4	93.7
	国分小学校区	76	1.3	10.5	13.2	72.4	2.6	11.8	85.6
	わからない	31	-	3.2	6.5	90.3	-	3.2	96.8
	無回答	10	-	10.0	10.0	80.0	-	10.0	90.0

26. 情報の共有化と活用

(1) 市民と行政との情報共有(問 62)

● 市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が65.5%で、『肯定派』(30.9%)より多い。

市民と行政の情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は30.9%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は65.5%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

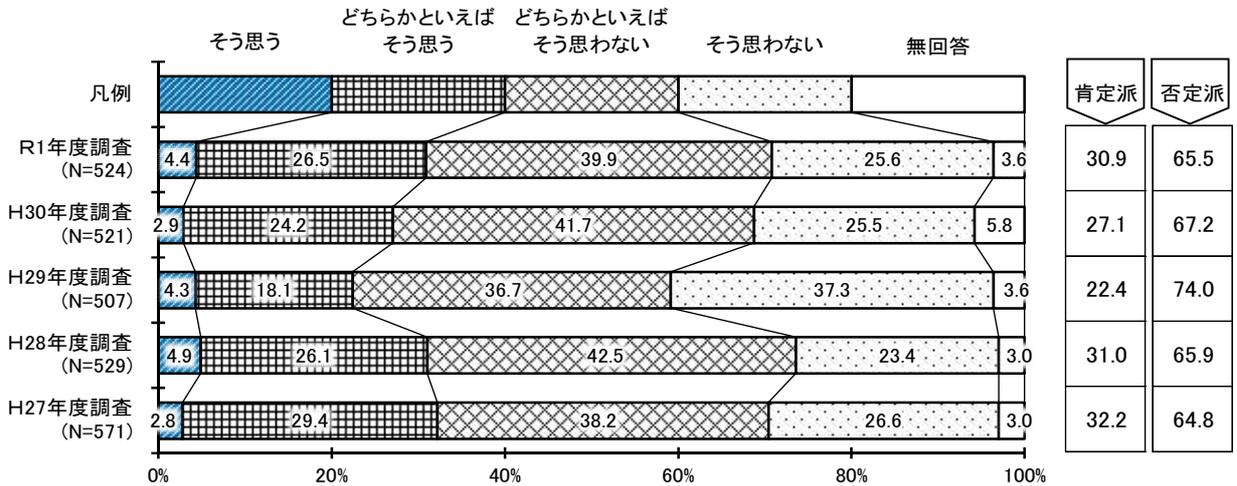
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から3.8ポイント高くなっている。

性別にみると、男女とも『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。なお、『肯定派』は女性(34.8%)の方が男性(27.6%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、『否定派』が最も高いのは30歳代(74.5%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区(73.6%)となっている。

問 62. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ば そ ら か 思 う い	な え ど ち ら か 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	肯定派	否定派
全体		524	23	139	209	134	19	162	343
			4.4	26.5	39.9	25.6	3.6	30.9	65.5
性別	男性	221	3.6	24.0	42.1	27.6	2.7	27.6	69.7
	女性	288	4.9	29.9	37.8	23.3	4.2	34.8	61.1
	無回答	15	6.7	-	46.7	40.0	6.7	6.7	86.7
年代別	20歳代	39	12.8	25.6	28.2	30.8	2.6	38.4	59.0
	30歳代	47	-	25.5	44.7	29.8	-	25.5	74.5
	40歳代	104	1.9	26.0	44.2	26.0	1.9	27.9	70.2
	50歳代	88	3.4	20.5	40.9	33.0	2.3	23.9	73.9
	60歳代	108	4.6	23.1	44.4	24.1	3.7	27.7	68.5
	70歳代以上	132	6.1	35.6	33.3	17.4	7.6	41.7	50.7
	無回答	6	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	5.3	21.1	46.1	23.7	3.9	26.4	69.8
	太宰府東小学校区	53	3.8	18.9	45.3	28.3	3.8	22.7	73.6
	太宰府南小学校区	52	9.6	30.8	40.4	15.4	3.8	40.4	55.8
	水城小学校区	86	7.0	23.3	34.9	30.2	4.7	30.3	65.1
	水城西小学校区	61	-	37.7	37.7	24.6	-	37.7	62.3
	太宰府西小学校区	79	3.8	35.4	43.0	13.9	3.8	39.2	56.9
	国分小学校区	76	2.6	26.3	39.5	30.3	1.3	28.9	69.8
	わからない	31	3.2	16.1	22.6	45.2	12.9	19.3	67.8
	無回答	10	-	10.0	50.0	40.0	-	10.0	90.0

(2)行政情報の接触状況(問 63)

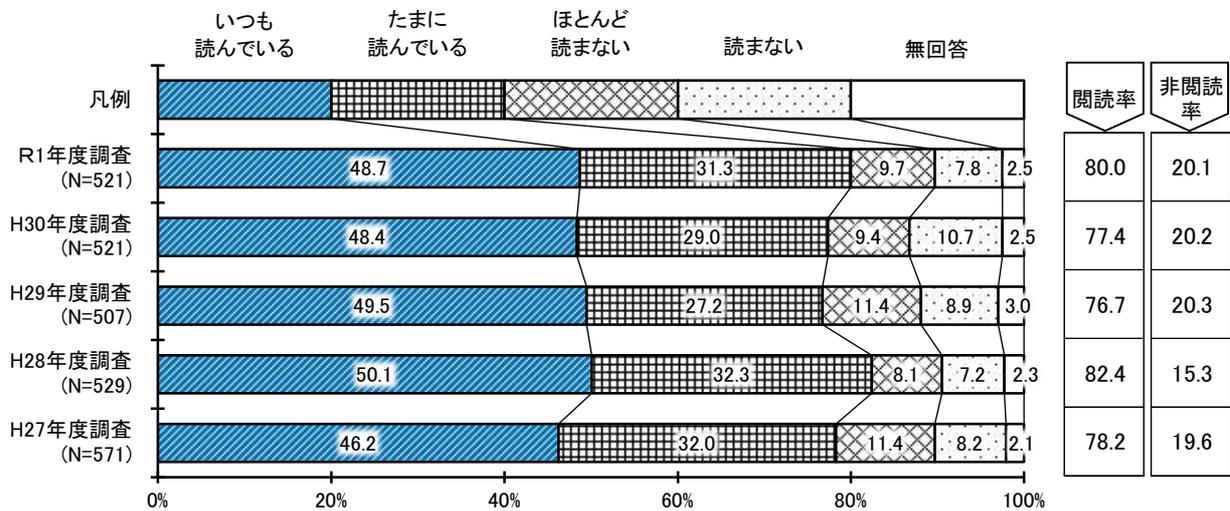
①「広報だざいふ」

●「広報だざいふ」の閲読率は80.0%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は80.0%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は20.1%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査から2.6ポイント増加している。
性別にみると、『閲読率』は、女性（85.8%）の方が男性（72.9%）より高くなっている。
年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『閲読率』は7割を超えている。
小学校区別にみると、すべての小学校区で『閲読率』は7割を超えている。

問 63. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		524	255	164	51	41	13	419	92
		100.0	48.7	31.3	9.7	7.8	2.5	80.0	17.5
性別	男性	221	41.2	31.7	13.6	11.3	2.3	72.9	24.9
	女性	288	54.5	31.3	6.9	5.2	2.1	85.8	12.1
	無回答	15	46.7	26.7	6.7	6.7	13.3	73.4	13.4
年代別	20歳代	39	17.9	33.3	15.4	30.8	2.6	51.2	46.2
	30歳代	47	25.5	48.9	10.6	14.9	-	74.4	25.5
	40歳代	104	46.2	33.7	12.5	5.8	1.9	79.9	18.3
	50歳代	88	50.0	31.8	11.4	5.7	1.1	81.8	17.1
	60歳代	108	56.5	23.1	8.3	7.4	4.6	79.6	15.7
	70歳代以上	132	59.1	29.5	6.1	2.3	3.0	88.6	8.4
	無回答	6	83.3	16.7	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	50.0	25.0	11.8	9.2	3.9	75.0	21.0
	太宰府東小学校区	53	45.3	28.3	9.4	11.3	5.7	73.6	20.7
	太宰府南小学校区	52	53.8	25.0	13.5	5.8	1.9	78.8	19.3
	水城小学校区	86	51.2	24.4	11.6	10.5	2.3	75.6	22.1
	水城西小学校区	61	52.5	37.7	6.6	1.6	1.6	90.2	8.2
	太宰府西小学校区	79	46.8	36.7	10.1	5.1	1.3	83.5	15.2
	国分小学校区	76	52.6	36.8	3.9	5.3	1.3	89.4	9.2
	わからない	31	22.6	41.9	16.1	19.4	-	64.5	35.5
	無回答	10	50.0	30.0	-	10.0	10.0	80.0	10.0

②「議会だより」

●「議会だより」の閲読率は54.8%となっている。

「議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は54.8%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は34.7%となっている。

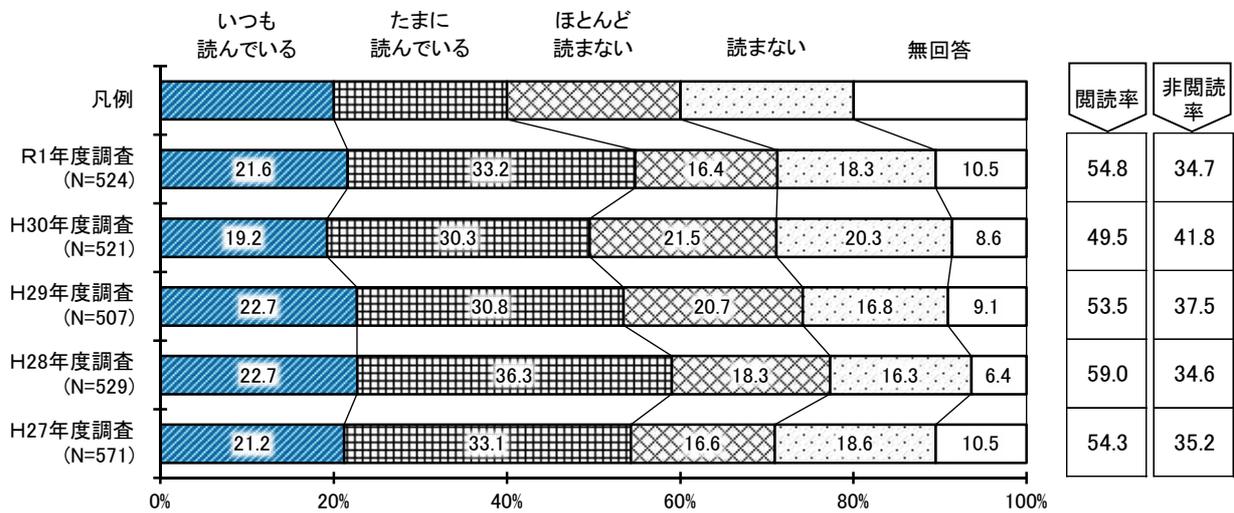
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査から5.3ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は女性（59.1%）の方が男性（48.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70歳代以上（65.1%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、国分小学校区（63.2%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、太宰府南小学校区（40.4%）となっている。

問 63. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		524	113	174	86	96	55	287	182
		100.0	21.6	33.2	16.4	18.3	10.5	54.8	34.7
性別	男性	221	18.1	30.8	18.6	21.7	10.9	48.9	40.3
	女性	288	24.0	35.1	15.3	15.6	10.1	59.1	30.9
	無回答	15	26.7	33.3	6.7	20.0	13.3	60.0	26.7
年代別	20歳代	39	2.6	17.9	20.5	51.3	7.7	20.5	71.8
	30歳代	47	12.8	31.9	8.5	40.4	6.4	44.7	48.9
	40歳代	104	15.4	35.6	26.9	14.4	7.7	51.0	41.3
	50歳代	88	20.5	36.4	20.5	11.4	11.4	56.9	31.9
	60歳代	108	28.7	31.5	13.9	15.7	10.2	60.2	29.6
	70歳代以上	132	30.3	34.8	9.8	10.6	14.4	65.1	20.4
	無回答	6	16.7	50.0	-	16.7	16.7	66.7	16.7
小学校区別	太宰府小学校区	76	23.7	34.2	17.1	15.8	9.2	57.9	32.9
	太宰府東小学校区	53	20.8	35.8	11.3	26.4	5.7	56.6	37.7
	太宰府南小学校区	52	21.2	32.7	25.0	15.4	5.8	53.9	40.4
	水城小学校区	86	20.9	29.1	14.0	19.8	16.3	50.0	33.8
	水城西小学校区	61	23.0	31.1	27.9	11.5	6.6	54.1	39.4
	太宰府西小学校区	79	17.7	39.2	10.1	17.7	15.2	56.9	27.8
	国分小学校区	76	31.6	31.6	13.2	18.4	5.3	63.2	31.6
	わからない	31	3.2	35.5	19.4	25.8	16.1	38.7	45.2
無回答	10	20.0	20.0	10.0	20.0	30.0	40.0	30.0	

④ 「太宰府市ホームページ」

● 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は31.4%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は31.4%となっている。一方、『非閲覧率』（「見ていない」と「ほとんど見ていない」、「見ることができない」の合計）は57.3%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は前回調査から3.4ポイント増加している。

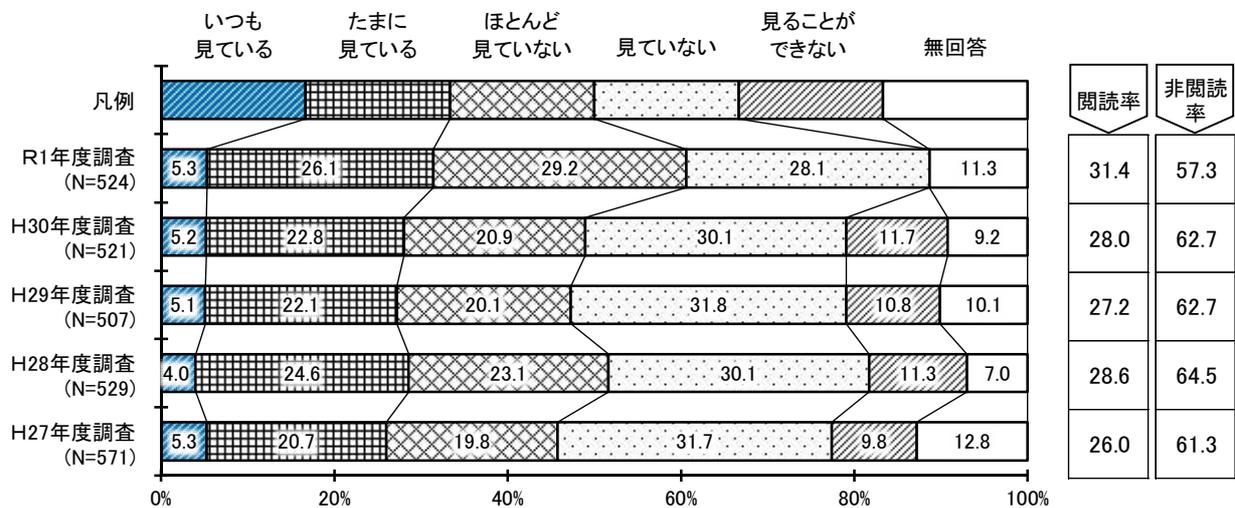
性別にみると、『閲覧率』は、男性（32.1%）の方が女性（30.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は70歳代以上（37.9%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府小学校区（36.9%）となっている。

一方、『非閲覧率』が最も高いのは太宰府東小学校区（66.0%）となっている。

問 63. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



※「見ることができない」は、R1年度調査より除外された項目

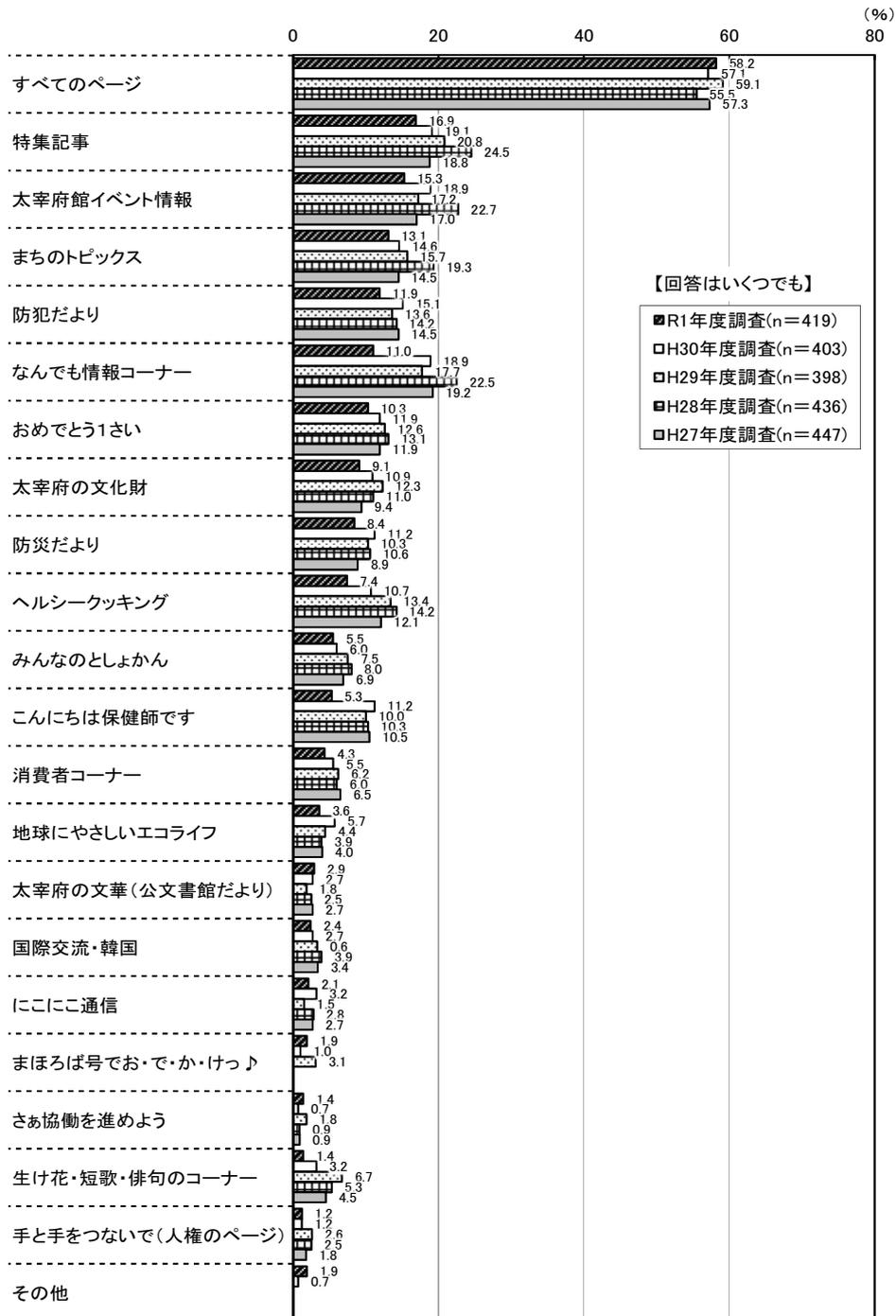
		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		524	28	137	153	147	59	165	300
		100.0	5.3	26.1	29.2	28.1	11.3	31.4	57.3
性別	男性	221	5.0	27.1	29.9	28.1	10.0	32.1	58.0
	女性	288	5.6	25.0	28.5	28.8	12.2	30.6	57.3
	無回答	15	6.7	33.3	33.3	13.3	13.3	40.0	46.6
年代別	20歳代	39	2.6	12.8	33.3	43.6	7.7	15.4	76.9
	30歳代	47	4.3	25.5	38.3	23.4	8.5	29.8	61.7
	40歳代	104	1.0	31.7	41.3	18.3	7.7	32.7	59.6
	50歳代	88	2.3	31.8	34.1	21.6	10.2	34.1	55.7
	60歳代	108	9.3	16.7	25.9	37.0	11.1	26.0	62.9
	70歳代以上	132	9.1	28.8	14.4	31.1	16.7	37.9	45.5
	無回答	6	-	50.0	33.3	-	16.7	50.0	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	76	5.3	31.6	26.3	27.6	9.2	36.9	53.9
	太宰府東小学校区	53	5.7	20.8	30.2	35.8	7.5	26.5	66.0
	太宰府南小学校区	52	7.7	25.0	28.8	32.7	5.8	32.7	61.5
	水城小学校区	86	3.5	27.9	26.7	25.6	16.3	31.4	52.3
	水城西小学校区	61	6.6	21.3	44.3	18.0	9.8	27.9	62.3
	太宰府西小学校区	79	2.5	32.9	26.6	24.1	13.9	35.4	50.7
	国分小学校区	76	10.5	19.7	28.9	31.6	9.2	30.2	60.5
	わからない	31	-	25.8	25.8	38.7	9.7	25.8	64.5
	無回答	10	-	30.0	10.0	20.0	40.0	30.0	30.0

(3)「広報だざいふ」の閲読内容(問 63 付問 1)

- 「広報だざいふ」のすべてのページを閲読している人は58.2%となっている。
- 「特集記事」、「太宰府館イベント情報」、「まちのトピックス」、「防犯だより」などの内容が多く読まれている。

「広報だざいふ」の閲読内容について、最も高いものは、「すべてのページ」(58.2%)となっている。内容別では「特集記事」(16.9%)、「太宰府館イベント情報」(15.3%)、「まちのトピックス」(13.1%)、「防犯だより」(11.9%)の順となっている。

問 63 付問 1. 「広報だざいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方にお尋ねします。どのページを読みますか。(〇はいくつでも)



※「まほろば号でお・で・か・けっ♪」は、H29年度調査より追加された項目

※「その他」は、H30年度調査より追加された項目

性別にみると、「すべてのページ」は男女ともに最も高くなっており、女性（60.3%）の方が男性（55.3%）より高くなっている。なお、男性は「特集記事」（21.1%）や「まちのトピックス」（16.8%）など、女性は「太宰府館イベント情報」（15.8%）、「特集記事」（14.6%）などの割合がそれぞれ高くなっている。

年代別にみると、「すべてのページ」は60歳代（66.3%）が最も高くなっており、次いで40歳代（65.1%）の順となっている。

小学校区別にみると、「すべてのページ」は、すべての小学校区で5割を超えて高くなっており、太宰府小学校区（70.2%）が最も高くなっている。

		(%)																							
		標本数	すべてのページ	特集記事	太宰府館イベント情報	まちのトピックス	防犯だより	なんでも情報コーナー	おめでとうーさい	太宰府の文化財	防災だより	ヘルシークッキング	みんなのとしよかん	こんにちは保健師です	消費者コーナー	地球にやさしいエコライフ	より	国際交流・韓国	にこにこ通信	まほろば号でお・で・か・けつ	さあ協働を進めよう	生け花・短歌・俳句のコーナー	手と手をつないで（人権のページ）	その他	無回答
全体		419 100.0	244 58.2	71 16.9	64 15.3	55 13.1	50 11.9	46 11.0	43 10.3	38 9.1	35 8.4	31 7.4	23 5.5	22 5.3	18 4.3	15 3.6	12 2.9	10 2.4	9 2.1	8 1.9	6 1.4	6 1.4	5 1.2	8 1.9	8 1.9
性別	男性	161	55.3	21.1	14.3	16.8	14.3	8.7	10.6	11.2	9.9	2.5	3.1	3.1	3.1	1.9	3.1	1.2	3.1	1.9	1.2	0.6	-	1.9	1.2
	女性	247	60.3	14.6	15.8	10.5	10.9	13.0	9.7	7.7	7.7	10.5	7.3	6.9	5.3	4.9	2.8	3.2	1.6	2.0	1.6	2.0	2.0	2.0	2.0
	無回答	11	54.5	9.1	18.2	18.2	-	-	18.2	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
年代別	20歳代	20	30.0	20.0	15.0	30.0	20.0	15.0	50.0	20.0	20.0	10.0	5.0	5.0	5.0	15.0	5.0	5.0	10.0	5.0	-	-	5.0	-	5.0
	30歳代	35	40.0	20.0	20.0	11.4	11.4	20.0	25.7	8.6	8.6	5.7	17.1	8.6	8.6	2.9	2.9	2.9	8.6	5.7	-	-	5.7	2.9	-
	40歳代	83	65.1	15.7	12.0	13.3	7.2	9.6	6.0	3.6	6.0	4.8	7.2	3.6	1.2	1.2	1.2	4.8	-	-	2.4	-	-	3.6	2.4
	50歳代	72	63.9	16.7	18.1	16.7	11.1	12.5	6.9	8.3	9.7	1.4	-	2.8	5.6	2.8	4.2	1.4	2.8	2.8	1.4	1.4	1.4	4.2	1.4
	60歳代	86	66.3	12.8	14.0	8.1	9.3	10.5	3.5	8.1	7.0	7.0	2.3	4.7	2.3	2.3	-	1.2	1.2	2.3	-	1.2	1.2	1.2	1.2
	70歳代以上	117	54.7	20.5	14.5	12.0	16.2	8.5	7.7	12.0	8.5	12.0	6.8	7.7	6.0	5.1	5.1	1.7	0.9	0.9	2.6	3.4	-	-	-
	無回答	6	50.0	-	33.3	16.7	16.7	-	33.3	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	57	70.2	8.8	19.3	8.8	8.8	12.3	5.3	10.5	7.0	10.5	8.8	7.0	3.5	7.0	5.3	3.5	-	1.8	3.5	1.8	1.8	1.8	1.8
	太宰府東小学校区	39	66.7	12.8	12.8	7.7	10.3	5.1	2.6	10.3	2.6	2.6	2.6	2.6	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6
	太宰府南小学校区	41	53.7	19.5	22.0	17.1	19.5	12.2	17.1	9.8	9.8	4.9	7.3	12.2	7.3	9.8	4.9	2.4	4.9	2.4	2.4	4.9	4.9	-	-
	水城小学校区	65	55.4	13.8	15.4	10.8	10.8	12.3	9.2	7.7	12.3	4.6	3.1	3.1	4.6	1.5	-	1.5	-	3.1	1.5	-	1.5	3.1	1.5
	水城西小学校区	55	63.6	18.2	9.1	12.7	3.6	9.1	14.5	5.5	5.5	3.6	9.1	3.6	1.8	1.8	1.8	-	1.8	1.8	-	-	-	-	1.8
	太宰府西小学校区	66	56.1	19.7	13.6	15.2	13.6	10.6	9.1	13.6	10.6	12.1	3.0	4.5	4.5	3.0	4.5	6.1	3.0	1.5	1.5	4.5	-	-	-
	国分小学校区	68	52.9	17.6	13.2	14.7	11.8	14.7	11.8	2.9	4.4	7.4	4.4	4.4	-	1.5	2.9	2.9	2.9	1.5	-	-	-	1.5	2.9
	わからない	20	40.0	40.0	20.0	25.0	30.0	10.0	10.0	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	10.0	-	-	10.0	5.0	5.0	5.0	10.0	5.0
	無回答	8	50.0	12.5	25.0	12.5	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-

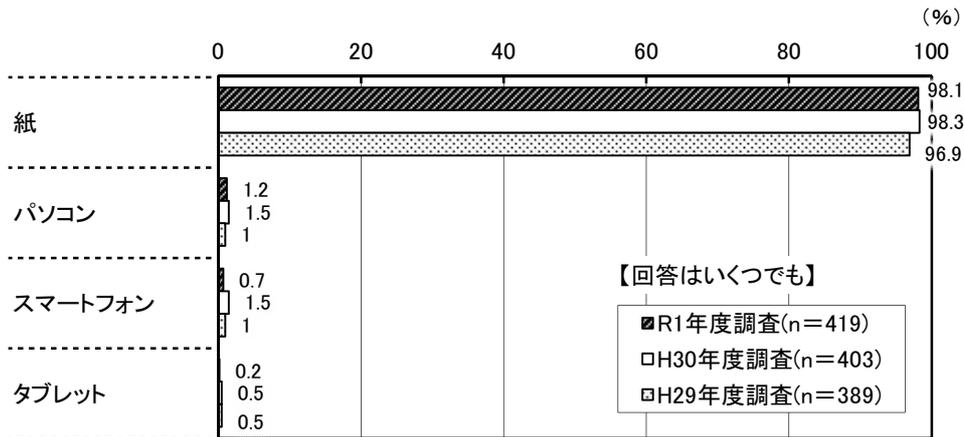
(4)「広報だざいふ」の閲読媒体(問 63 付問 2)

●「広報だざいふ」を閲読している媒体は「紙」が98.1%となっている

「広報だざいふ」を閲読している媒体について、「紙」(98.1%)が最も高く、次いで「パソコン」(1.2%)、「スマートフォン」(0.7%)、「タブレット」(0.2%)の順となっている。ほとんどの回答者が「紙」で閲読している。

属性別にみると、「紙」はすべての属性で9割を超えている。

問 63 付問 2. 「広報だざいふ」はどの媒体で読みますか。(〇はいくつでも)



		標本数	紙	パソコン	スマートフォン	タブレット	無回答
全体		419	98.1	1.2	0.7	0.2	1.7
性別	男性	161	98.1	1.9	-	0.6	1.9
	女性	247	98.4	0.8	1.2	-	1.2
	無回答	11	90.9	-	-	-	9.1
年代別	20歳代	20	100.0	-	-	-	-
	30歳代	35	97.1	-	2.9	-	-
	40歳代	83	100.0	1.2	1.2	-	-
	50歳代	72	100.0	2.8	1.4	1.4	-
	60歳代	86	100.0	1.2	-	-	-
	70歳代以上	117	94.0	0.9	-	-	6.0
	無回答	6	100.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	57	100.0	1.8	-	-	-
	太宰府東小学校区	39	97.4	-	2.6	-	2.6
	太宰府南小学校区	41	97.6	-	-	-	2.4
	水城小学校区	65	95.4	1.5	3.1	-	3.1
	水城西小学校区	55	98.2	-	-	-	1.8
	太宰府西小学校区	66	97.0	-	-	-	3.0
	国分小学校区	68	100.0	4.4	-	1.5	-
	わからない	20	100.0	-	-	-	-
	無回答	8	100.0	-	-	-	-

(5)インターネットの利用状況(問 64)

● インターネットの利用率は71.4%となっている。

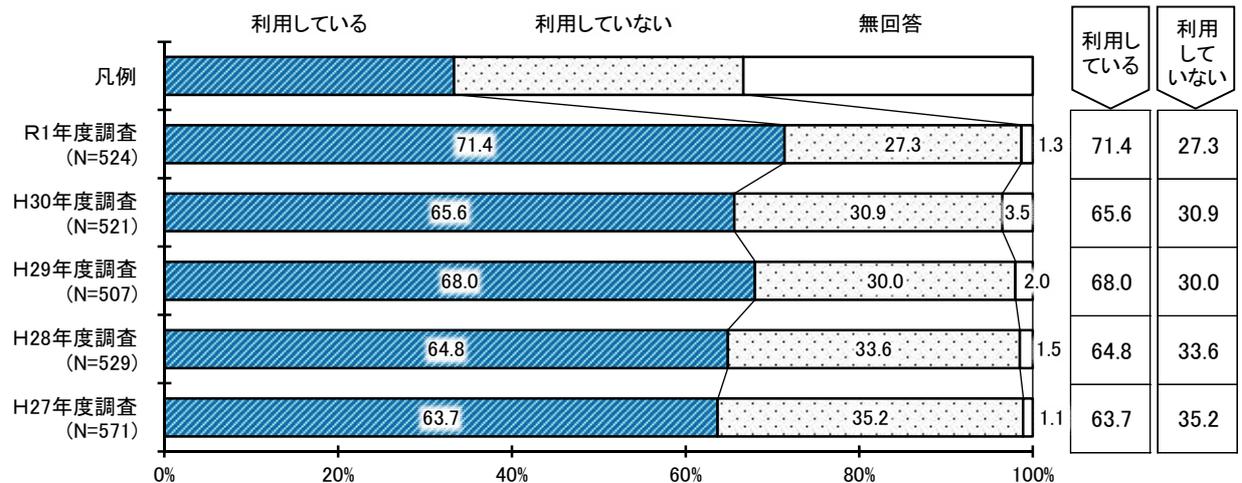
インターネットの利用について、「利用している」は71.4%となっている。一方、「利用していない」は27.3%となっている。

性別にみると、利用率は男性(76.5%)の方が女性(68.4%)より高くなっている。

年代別にみると、利用率が最も高いのは40歳代(95.2%)となっている。一方、最も低いのは70歳代以上(42.4%)となっている。

小学校区別にみると、利用率はすべての小学校区で6割以上となっており、水城西小学校区(78.7%)が最も高くなっている。

問 64. あなたはインターネットを利用していますか。(〇は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		524	71.4	27.3	1.3
性別	男性	221	76.5	22.6	0.9
	女性	288	68.4	30.2	1.4
	無回答	15	53.3	40.0	6.7
年代別	20歳代	39	94.9	-	5.1
	30歳代	47	93.6	6.4	-
	40歳代	104	95.2	4.8	-
	50歳代	88	88.6	11.4	-
	60歳代	108	52.8	45.4	1.9
	70歳代以上	132	42.4	55.3	2.3
	無回答	6	50.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	76	76.3	21.1	2.6
	太宰府東小学校区	53	69.8	28.3	1.9
	太宰府南小学校区	52	65.4	32.7	1.9
	水城小学校区	86	77.9	20.9	1.2
	水城西小学校区	61	78.7	21.3	-
	太宰府西小学校区	79	65.8	34.2	-
	国分小学校区	76	65.8	31.6	2.6
	わからない	31	77.4	22.6	-
	無回答	10	40.0	60.0	-

27. 市民のための行政運営

(1)効果的な行政運営に対する評価(問 65)

● 効果的な行政運営について『肯定派』は51.7%、『否定派』は42.9%となっている。

太宰府市の効果的な行政運営について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は51.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は42.9%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から6.6ポイント増加しており、過去5回で最も高くなっている。

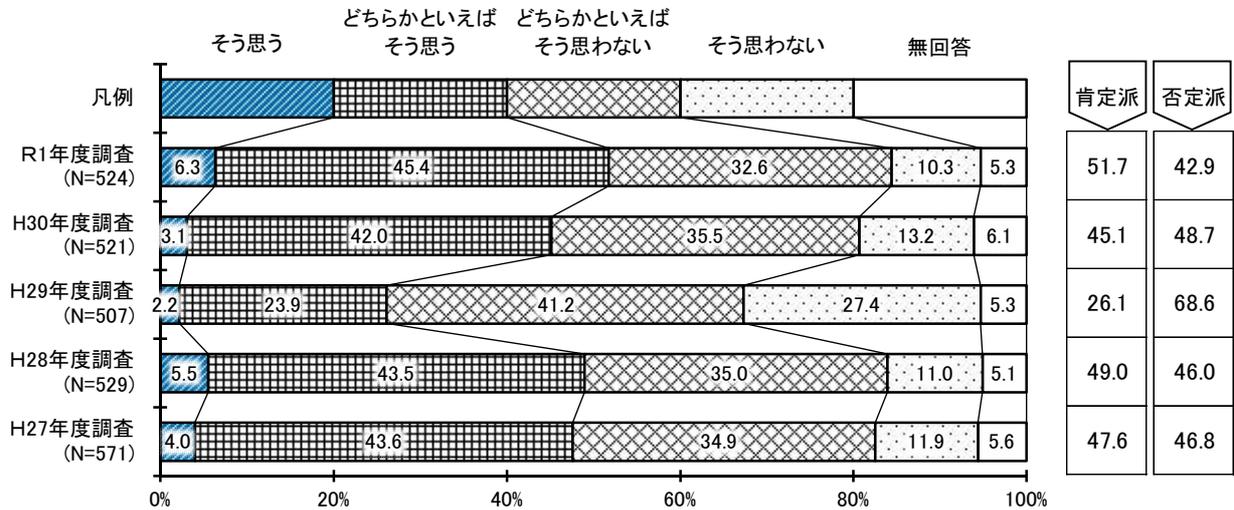
性別にみると、『肯定派』は女性（58.3%）の方が男性（46.2%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは30歳代（59.6%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府南小学校区（59.6%）となっている。

一方、『否定派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（58.5%）となっている。

問 65. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	えど ば ど ち ら か と い え ば そ う お も う い	な い ど ち ら か と い え ば そ う お も わ な い	そ う お も わ な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		524	33	238	171	54	28	271	225
		100.0	6.3	45.4	32.6	10.3	5.3	51.7	42.9
性別	男性	221	5.0	41.2	35.3	14.9	3.6	46.2	50.2
	女性	288	7.6	50.7	28.5	7.3	5.9	58.3	35.8
	無回答	15	-	6.7	73.3	-	20.0	6.7	73.3
年代別	20歳代	39	7.7	48.7	28.2	15.4	-	56.4	43.6
	30歳代	47	6.4	53.2	36.2	4.3	-	59.6	40.5
	40歳代	104	3.8	46.2	32.7	11.5	5.8	50.0	44.2
	50歳代	88	5.7	35.2	43.2	12.5	3.4	40.9	55.7
	60歳代	108	5.6	46.3	29.6	11.1	7.4	51.9	40.7
	70歳代以上	132	9.1	49.2	25.8	7.6	8.3	58.3	33.4
	無回答	6	-	-	83.3	16.7	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	2.6	47.4	39.5	6.6	3.9	50.0	46.1
	太宰府東小学校区	53	1.9	35.8	52.8	5.7	3.8	37.7	58.5
	太宰府南小学校区	52	11.5	48.1	26.9	11.5	1.9	59.6	38.4
	水城小学校区	86	8.1	47.7	25.6	15.1	3.5	55.8	40.7
	水城西小学校区	61	4.9	54.1	29.5	8.2	3.3	59.0	37.7
	太宰府西小学校区	79	3.8	49.4	31.6	7.6	7.6	53.2	39.2
	国分小学校区	76	13.2	39.5	27.6	10.5	9.2	52.7	38.1
	わからない	31	3.2	45.2	16.1	25.8	9.7	48.4	41.9
無回答	10	-	10.0	80.0	-	10.0	10.0	80.0	

(2)市職員の対応・姿勢に対する満足度(問 66)

● 市職員の対応や行動などの仕事への取り組みについて『満足派』は 75.4%、『不満派』は 21.9%となっている。

市職員の対応や行動に対する満足度について、『満足派』(「満足している」と「ある程度満足している」の合計)は 75.4%となっている。一方、『不満派』(「満足していない」と「あまり満足していない」の合計)は 21.9%で、『満足派』の方が『不満派』より高くなっている。

過去の調査結果を比べると、『満足派』は前回調査から 2.0 ポイント減少している。

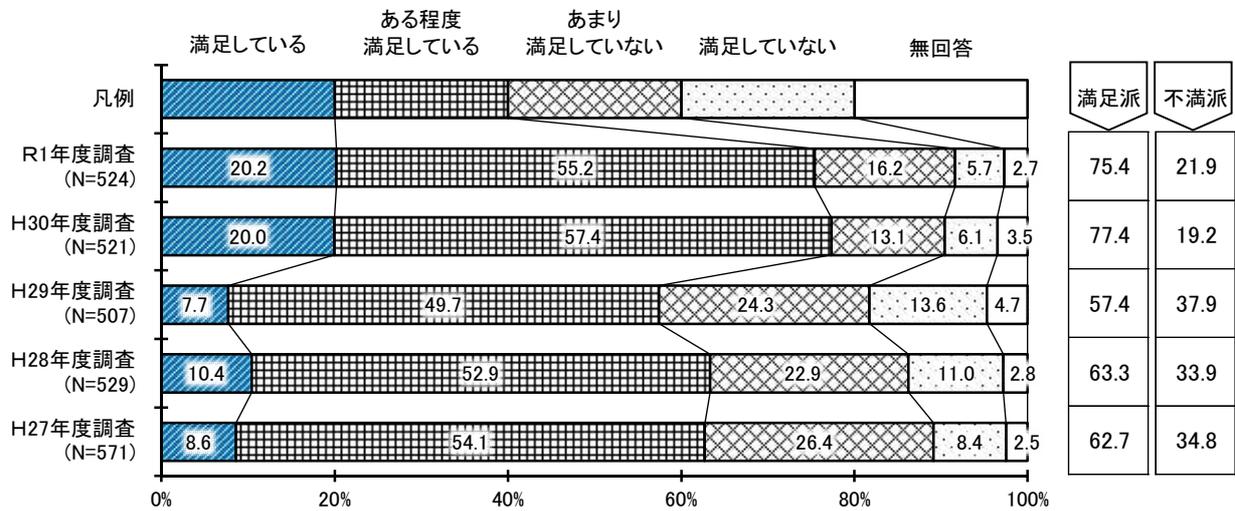
性別にみると、『満足派』は女性 (79.9%) の方が男性 (70.1%) より高くなっている

年代別にみると、すべての年代で『満足派』が 7 割を超えており、70 歳代以上 (87.1%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府南小学校区 (84.7%) となっている。

一方、『不満派』が最も高いのは国分小学校区 (28.9%) となっている。

問 66. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取組について、満足していますか。
(○は 1 つ)



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派	不満派
全体		524	106	289	85	30	14	395	115
		100.0	20.2	55.2	16.2	5.7	2.7	75.4	21.9
性別	男性	221	19.9	50.2	19.0	7.2	3.6	70.1	26.2
	女性	288	20.5	59.4	13.5	4.9	1.7	79.9	18.4
	無回答	15	20.0	46.7	26.7	-	6.7	66.7	26.7
年代別	20歳代	39	33.3	41.0	17.9	5.1	2.6	74.3	23.0
	30歳代	47	12.8	57.4	21.3	8.5	-	70.2	29.8
	40歳代	104	16.3	53.8	20.2	8.7	1.0	70.1	28.9
	50歳代	88	23.9	48.9	19.3	5.7	2.3	72.8	25.0
	60歳代	108	14.8	58.3	17.6	5.6	3.7	73.1	23.2
	70歳代以上	132	23.5	63.6	6.8	2.3	3.8	87.1	9.1
	無回答	6	33.3	-	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	76	26.3	50.0	18.4	2.6	2.6	76.3	21.0
	太宰府東小学校区	53	13.2	54.7	20.8	5.7	5.7	67.9	26.5
	太宰府南小学校区	52	21.2	63.5	7.7	5.8	1.9	84.7	13.5
	水城小学校区	86	18.6	59.3	12.8	8.1	1.2	77.9	20.9
	水城西小学校区	61	19.7	50.8	23.0	3.3	3.3	70.5	26.3
	太宰府西小学校区	79	20.3	62.0	13.9	3.8	-	82.3	17.7
	国分小学校区	76	15.8	52.6	19.7	9.2	2.6	68.4	28.9
	わからない	31	25.8	51.6	6.5	9.7	6.5	77.4	16.2
	無回答	10	40.0	20.0	30.0	-	10.0	60.0	30.0

28. 太宰府市が行っている施策について

(1)重要度(33 施策)(問 67)

- 「施策 25 良質な水道水の安定供給」「施策 07 防災・消防体制の整備充実」「施策 02 高齢者福祉の推進」などで「重要」の割合が高い。

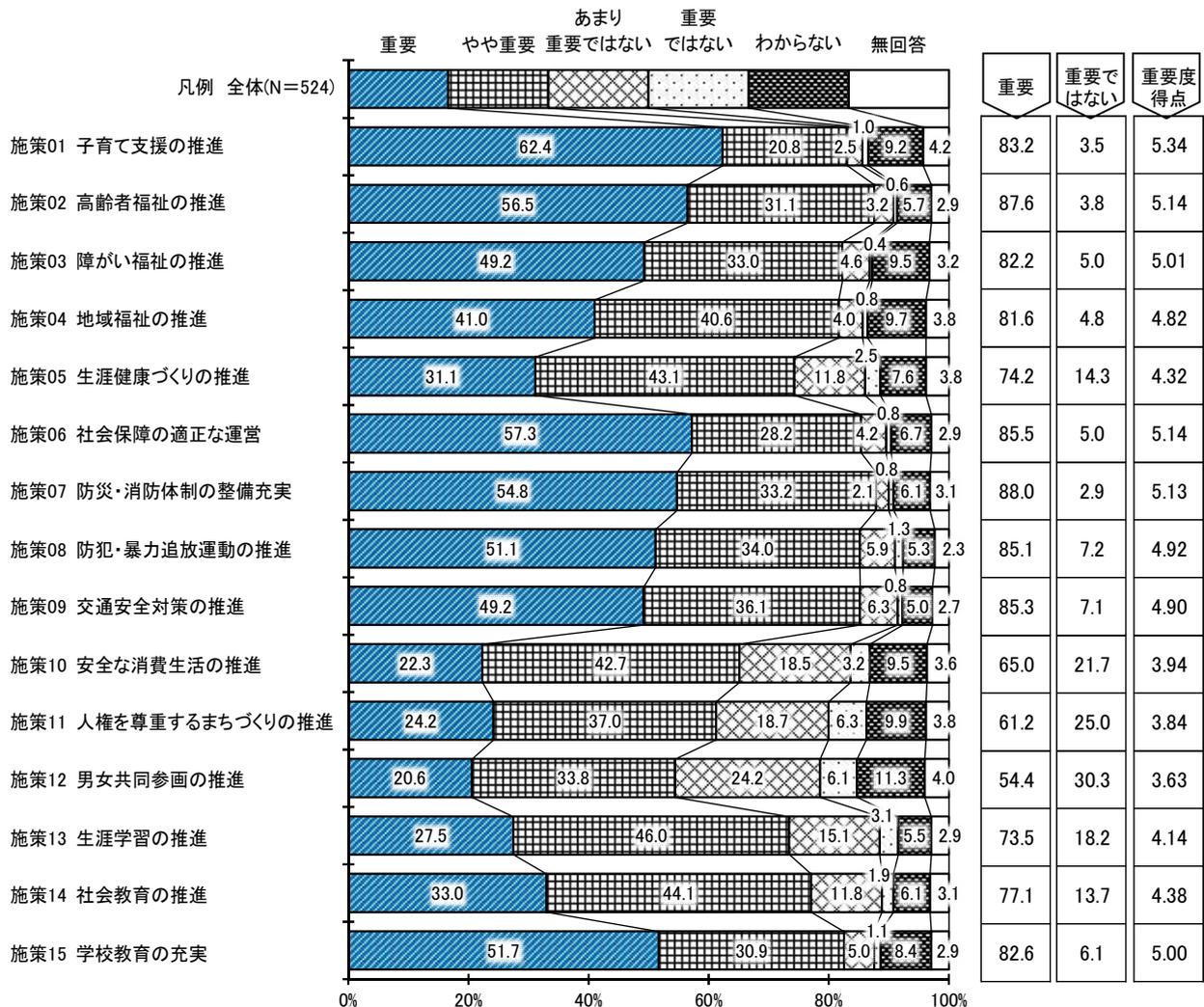
第五次太宰府市総合計画後期基本計画の施策に掲げた 33 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは、「25. 良質な水道水の安定供給」（89.1%）、「07. 防災・消防体制の整備充実」（88.0%）、「02. 高齢者福祉の推進」（87.6%）、「26. 下水道の整備と普及促進」（87.0%）、「19. 循環型社会の構築」（86.7%）などがある。

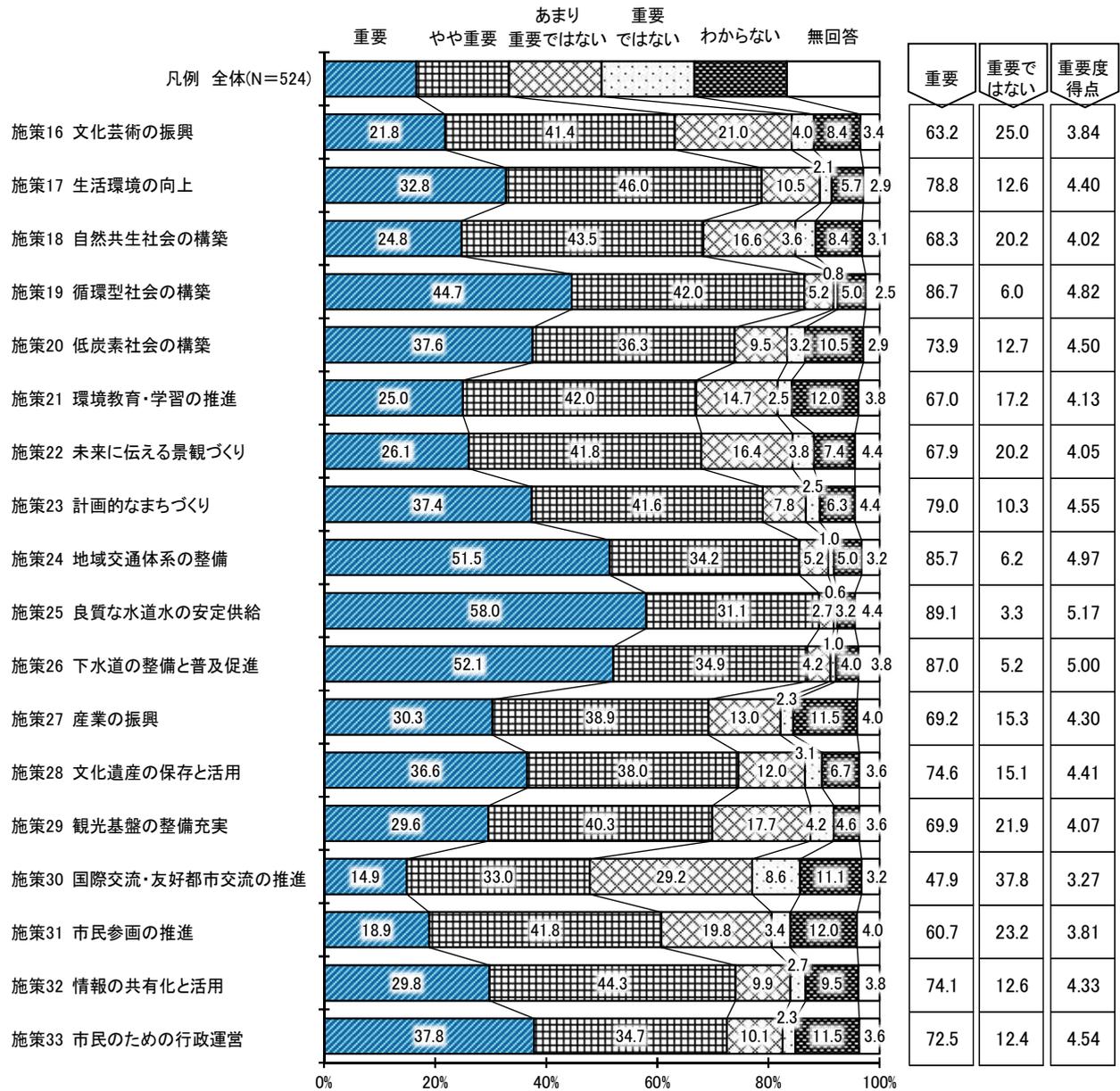
一方、『重要度』が低い施策としては、「30. 国際交流・友好都市交流の推進」（47.9%）や「12. 男女共同参画の推進」（54.4%）などがあげられる。

問 67. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～33 の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	→ 6点
2. やや重要	→ 4点
3. あまり重要ではない	→ 2点
4. 重要ではない	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

重要度得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$
-------	---	--

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策01 子育て支援の推進	83.2	3.5	9.2	5.34	1
施策25 良質な水道水の安定供給	89.1	3.3	3.2	5.17	2
施策02 高齢者福祉の推進	87.6	3.8	5.7	5.14	3
施策06 社会保障の適正な運営	85.5	5.0	6.7	5.14	3
施策07 防災・消防体制の整備充実	88.0	2.9	6.1	5.13	5
施策03 障がい福祉の推進	82.2	5.0	9.5	5.01	6
施策15 学校教育の充実	82.6	6.1	8.4	5.00	7
施策26 下水道の整備と普及促進	87.0	5.2	4.0	5.00	7
施策24 地域交通体系の整備	85.7	6.2	5.0	4.97	9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	85.1	7.2	5.3	4.92	10
施策09 交通安全対策の推進	85.3	7.1	5.0	4.90	11
施策04 地域福祉の推進	81.6	4.8	9.7	4.82	12
施策19 循環型社会の構築	86.7	6.0	5.0	4.82	12
施策23 計画的なまちづくり	79.0	10.3	6.3	4.55	14
施策33 市民のための行政運営	72.5	12.4	11.5	4.54	15
施策20 低炭素社会の構築	73.9	12.7	10.5	4.50	16
施策28 文化遺産の保存と活用	74.6	15.1	6.7	4.41	17
施策17 生活環境の向上	78.8	12.6	5.7	4.40	18
施策14 社会教育の推進	77.1	13.7	6.1	4.38	19
施策32 情報の共有化と活用	74.1	12.6	9.5	4.33	20
施策05 生涯健康づくりの推進	74.2	14.3	7.6	4.32	21
施策27 産業の振興	69.2	15.3	11.5	4.30	22
施策13 生涯学習の推進	73.5	18.2	5.5	4.14	23
施策21 環境教育・学習の推進	67.0	17.2	12.0	4.13	24
施策29 観光基盤の整備充実	69.9	21.9	4.6	4.07	25
施策22 未来に伝える景観づくり	67.9	20.2	7.4	4.05	26
施策18 自然共生社会の構築	68.3	20.2	8.4	4.02	27
施策10 安全な消費生活の推進	65.0	21.7	9.5	3.94	28
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	61.2	25.0	9.9	3.84	29
施策16 文化芸術の振興	63.2	25.0	8.4	3.84	29
施策31 市民参画の推進	60.7	23.2	12.0	3.81	31
施策12 男女共同参画の推進	54.4	30.3	11.3	3.63	32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	47.9	37.8	11.1	3.27	33

重要度
【平均値】
4.48

『重要』 = 「重要」 + 「やや重要」

『重要ではない』 = 「あまり重要ではない」 + 「重要ではない」

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

① 性別

重要度の平均値は 4.48 となり、その内訳をみると男性が 4.24 に対し女性は 4.67 で、女性の方が高くなっている。

女性は、すべての項目において男性より重要度得点が高くなっており、男女差が 0.5 以上ある項目は「02. 高齢者福祉の推進」「03. 障害福祉の推進」「04. 地域福祉の推進」「10. 安全な消費生活の推進」「11. 人権を尊重するまちづくりの推進」「31. 市民参画の推進」「12. 男女共同参画の推進」がある。

② 年齢別

第1位をみると、20歳代と30歳代と40歳代と60歳代は「01. 子育て支援の推進」、50歳代は「02. 高齢者福祉の推進」、70歳代以上は「25. 良質な水道水の安定供給」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、太宰府東小学校区と国分小学校区を除き、すべての小学校区で「01. 子育て支援の推進」となっている。なお、太宰府東小学校区は「06. 社会保障の適正な運営」、国分小学校区は「25. 良質な水道水の安定供給」が第1位の得点となっている。

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策01 子育て支援の推進	5.34 1	5.08 1	5.52 1	5.35 1	5.73 1	5.38 1	5.10 3	5.43 1	5.21 6
施策25 良質な水道水の安定供給	5.17 2	4.98 2	5.31 5	4.94 7	5.02 7	5.05 5	5.14 2	5.08 6	5.46 1
施策02 高齢者福祉の推進	5.14 3	4.85 5	5.36 2	5.14 2	5.10 4	5.13 3	5.16 1	5.23 2	5.04 12
施策06 社会保障の適正な運営	5.14 3	4.87 4	5.32 3	5.03 5	5.14 3	4.92 8	4.94 7	5.20 3	5.40 3
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.13 5	4.88 3	5.32 3	5.12 4	5.02 7	5.08 4	5.10 3	5.11 5	5.23 5
施策03 障がい福祉の推進	5.01 6	4.67 11	5.26 6	4.91 9	5.02 7	4.83 10	5.00 5	5.13 4	5.05 11
施策15 学校教育の充実	5.00 7	4.77 6	5.16 8	5.14 2	5.18 2	5.20 2	4.55 12	4.84 9	5.16 8
施策26 下水道の整備と普及促進	5.00 7	4.74 8	5.20 7	4.57 16	4.98 11	4.69 12	5.00 5	4.93 7	5.42 2
施策24 地域交通体系の整備	4.97 9	4.76 7	5.13 9	4.92 8	4.84 12	4.96 6	4.84 9	4.81 11	5.24 4
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	4.92 10	4.70 10	5.06 10	4.91 9	5.05 6	4.85 9	4.93 8	4.73 13	5.08 10
施策09 交通安全対策の推進	4.90 11	4.72 9	5.02 12	5.00 6	5.07 5	4.95 7	4.42 14	4.82 10	5.12 9
施策04 地域福祉の推進	4.82 12	4.52 13	5.04 11	4.59 15	5.02 7	4.77 11	4.81 10	4.87 8	4.79 16
施策19 循環型社会の構築	4.82 12	4.62 12	4.97 13	4.70 12	4.73 14	4.60 13	4.73 11	4.74 12	5.18 7
施策23 計画的なまちづくり	4.55 14	4.35 15	4.73 15	4.57 16	4.84 12	4.40 15	4.15 21	4.52 16	4.85 15
施策33 市民のための行政運営	4.54 15	4.48 14	4.61 17	4.30 23	4.62 15	4.20 17	4.29 18	4.62 14	5.02 13
施策20 低炭素社会の構築	4.50 16	4.14 19	4.77 14	4.69 13	4.30 22	4.00 24	4.39 15	4.54 15	4.91 14
施策28 文化遺産の保存と活用	4.41 17	4.29 16	4.55 19	4.74 11	4.33 20	4.02 22	4.55 12	4.32 21	4.68 17
施策17 生活環境の向上	4.40 18	4.15 17	4.63 16	4.44 20	4.44 17	4.37 16	4.34 16	4.29 22	4.56 20
施策14 社会教育の推進	4.38 19	4.11 21	4.59 18	4.51 19	4.41 18	4.41 14	4.02 22	4.36 19	4.56 20
施策32 情報の共有化と活用	4.33 20	4.15 17	4.50 20	4.06 25	4.38 19	4.13 18	4.18 20	4.43 18	4.64 18
施策05 生涯健康づくりの推進	4.32 21	4.06 22	4.50 20	4.63 14	4.30 22	4.00 24	4.31 17	4.44 17	4.42 25
施策27 産業の振興	4.30 22	4.14 19	4.45 22	4.38 21	4.31 21	4.09 19	4.26 19	4.34 20	4.44 24
施策13 生涯学習の推進	4.14 23	3.87 25	4.33 24	4.06 25	4.22 24	4.04 21	3.90 24	4.14 23	4.34 26
施策21 環境教育・学習の推進	4.13 24	3.78 26	4.38 23	4.34 22	4.55 16	4.02 22	3.58 29	3.83 27	4.57 19
施策29 観光基盤の整備充実	4.07 25	4.03 23	4.13 29	4.56 18	3.95 28	4.06 20	4.02 22	3.74 29	4.32 27
施策22 未来に伝える景観づくり	4.05 26	3.89 24	4.18 26	4.11 24	4.14 25	3.94 26	3.67 27	3.85 26	4.50 22
施策18 自然共生社会の構築	4.02 27	3.77 27	4.24 25	3.83 32	3.90 29	3.90 27	3.80 25	3.94 24	4.46 23
施策10 安全な消費生活の推進	3.94 28	3.63 29	4.17 27	4.06 25	4.10 26	3.87 28	3.61 28	3.93 25	4.13 29
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.84 29	3.44 31	4.17 27	3.94 30	4.09 27	3.82 29	3.56 30	3.74 29	3.98 31
施策16 文化芸術の振興	3.84 29	3.65 28	3.98 31	4.06 25	3.44 32	3.74 30	3.80 25	3.68 32	4.11 30
施策31 市民参画の推進	3.81 31	3.45 30	4.10 30	4.06 25	3.79 31	3.64 31	3.38 31	3.78 28	4.22 28
施策12 男女共同参画の推進	3.63 32	3.26 32	3.93 32	3.89 31	3.90 29	3.40 32	3.30 32	3.71 31	3.81 32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.27 33	2.99 33	3.47 33	3.31 33	3.14 33	3.09 33	2.89 33	3.12 33	3.75 33
平均	4.48	4.24	4.67	4.51	4.52	4.35	4.29	4.43	4.72

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策01 子育て支援の推進	5.34 1	5.29 1	4.98 7	5.47 1	5.51 1	5.50 1	5.22 1	5.26 2	5.65 1
施策25 良質な水道水の安定供給	5.17 2	4.87 9	5.13 2	5.22 5	5.18 6	5.21 2	5.18 2	5.40 1	5.23 6
施策02 高齢者福祉の推進	5.14 3	5.15 2	5.08 4	5.33 3	5.23 3	5.20 4	4.79 11	5.10 7	5.36 3
施策06 社会保障の適正な運営	5.14 3	4.96 4	5.18 1	5.35 2	5.22 4	5.05 6	4.96 7	5.18 4	5.33 4
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.13 5	5.03 3	5.13 2	5.04 9	5.29 2	5.21 2	4.97 5	5.12 5	5.33 4
施策03 障がい福祉の推進	5.01 6	4.90 8	4.96 8	5.24 4	5.15 7	5.02 7	4.61 13	5.03 8	5.44 2
施策15 学校教育の充実	5.00 7	4.72 12	5.02 5	5.16 7	5.12 9	5.19 5	5.07 3	4.92 9	4.64 15
施策26 下水道の整備と普及促進	5.00 7	4.82 10	4.96 8	5.10 8	4.85 13	5.00 8	5.05 4	5.22 3	5.04 7
施策24 地域交通体系の整備	4.97 9	4.94 5	5.02 5	5.04 9	4.99 11	4.72 13	4.97 5	5.11 6	4.85 9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	4.92 10	4.93 7	4.85 11	5.02 11	5.19 5	4.88 9	4.70 12	4.87 11	4.86 8
施策09 交通安全対策の推進	4.90 11	4.82 10	4.90 10	5.22 5	5.13 8	4.77 11	4.82 9	4.75 14	4.67 13
施策04 地域福祉の推進	4.82 12	4.94 5	4.65 14	5.02 11	4.96 12	4.82 10	4.46 14	4.88 10	4.77 11
施策19 循環型社会の構築	4.82 12	4.59 13	4.78 12	4.90 13	5.05 10	4.55 14	4.96 7	4.80 13	4.81 10
施策23 計画的なまちづくり	4.55 14	4.57 14	4.64 16	4.41 18	4.66 15	4.73 12	4.41 16	4.41 17	4.69 12
施策33 市民のための行政運営	4.54 15	4.41 16	4.77 13	4.40 20	4.69 14	4.23 23	4.38 17	4.86 12	4.56 17
施策20 低炭素社会の構築	4.50 16	4.12 21	4.49 19	4.57 15	4.60 16	4.34 18	4.81 10	4.41 17	4.67 13
施策28 文化遺産の保存と活用	4.41 17	4.32 18	4.65 14	4.45 17	4.37 20	4.29 20	4.32 20	4.52 15	4.46 18
施策17 生活環境の向上	4.40 18	4.36 17	4.44 20	4.33 22	4.56 18	4.36 17	4.31 21	4.38 19	4.62 16
施策14 社会教育の推進	4.38 19	4.03 23	4.55 18	4.57 15	4.60 16	4.47 16	4.45 15	4.09 24	4.38 19
施策32 情報の共有化と活用	4.33 20	4.23 20	4.40 21	4.41 18	4.47 19	4.11 25	4.38 17	4.42 16	4.15 24
施策05 生涯健康づくりの推進	4.32 21	4.29 19	4.21 23	4.58 14	4.21 23	4.48 15	4.33 19	4.27 20	4.31 20
施策27 産業の振興	4.30 22	4.43 15	4.64 16	4.33 22	4.20 24	4.30 19	4.22 22	4.06 25	4.24 21
施策13 生涯学習の推進	4.14 23	4.06 22	4.04 26	4.36 21	4.13 28	4.29 20	4.21 23	3.97 28	3.84 27
施策21 環境教育・学習の推進	4.13 24	3.91 25	4.27 22	4.18 24	4.12 29	4.15 24	4.18 24	4.06 25	4.17 23
施策29 観光基盤の整備充実	4.07 25	3.89 26	4.04 26	4.13 25	4.18 26	3.93 27	4.11 25	4.17 23	3.92 26
施策22 未来に伝える景観づくり	4.05 26	3.83 28	4.04 26	4.04 26	4.11 30	4.26 22	4.00 26	4.18 21	3.69 31
施策18 自然共生社会の構築	4.02 27	3.89 26	4.13 24	3.83 29	4.32 22	4.00 26	3.94 27	4.06 25	4.00 25
施策10 安全な消費生活の推進	3.94 28	3.71 30	3.70 30	3.87 28	4.16 27	3.92 28	3.78 29	4.18 21	4.22 22
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.84 29	3.76 29	3.79 29	3.68 30	4.37 20	3.88 29	3.58 31	3.74 30	3.78 30
施策16 文化芸術の振興	3.84 29	4.03 23	3.51 32	3.65 31	4.19 25	3.78 30	3.83 28	3.58 32	3.84 27
施策31 市民参画の推進	3.81 31	3.62 31	4.05 25	4.00 27	4.00 31	3.65 32	3.69 30	3.81 29	3.83 29
施策12 男女共同参画の推進	3.63 32	3.48 32	3.61 31	3.52 32	4.00 31	3.69 31	3.55 32	3.67 31	3.15 32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.27 33	3.13 33	3.24 33	3.35 33	3.56 33	3.13 33	3.07 33	3.27 33	3.15 32
平均	4.48	4.36	4.48	4.54	4.62	4.46	4.40	4.48	4.47

(2)満足度(33 施策)(問 67)

● 「施策 26 下水道の整備と普及促進」「施策 28 文化遺産の保存と活用」「施策 13 生涯学習の推進」などで『満足派』の割合が高い。

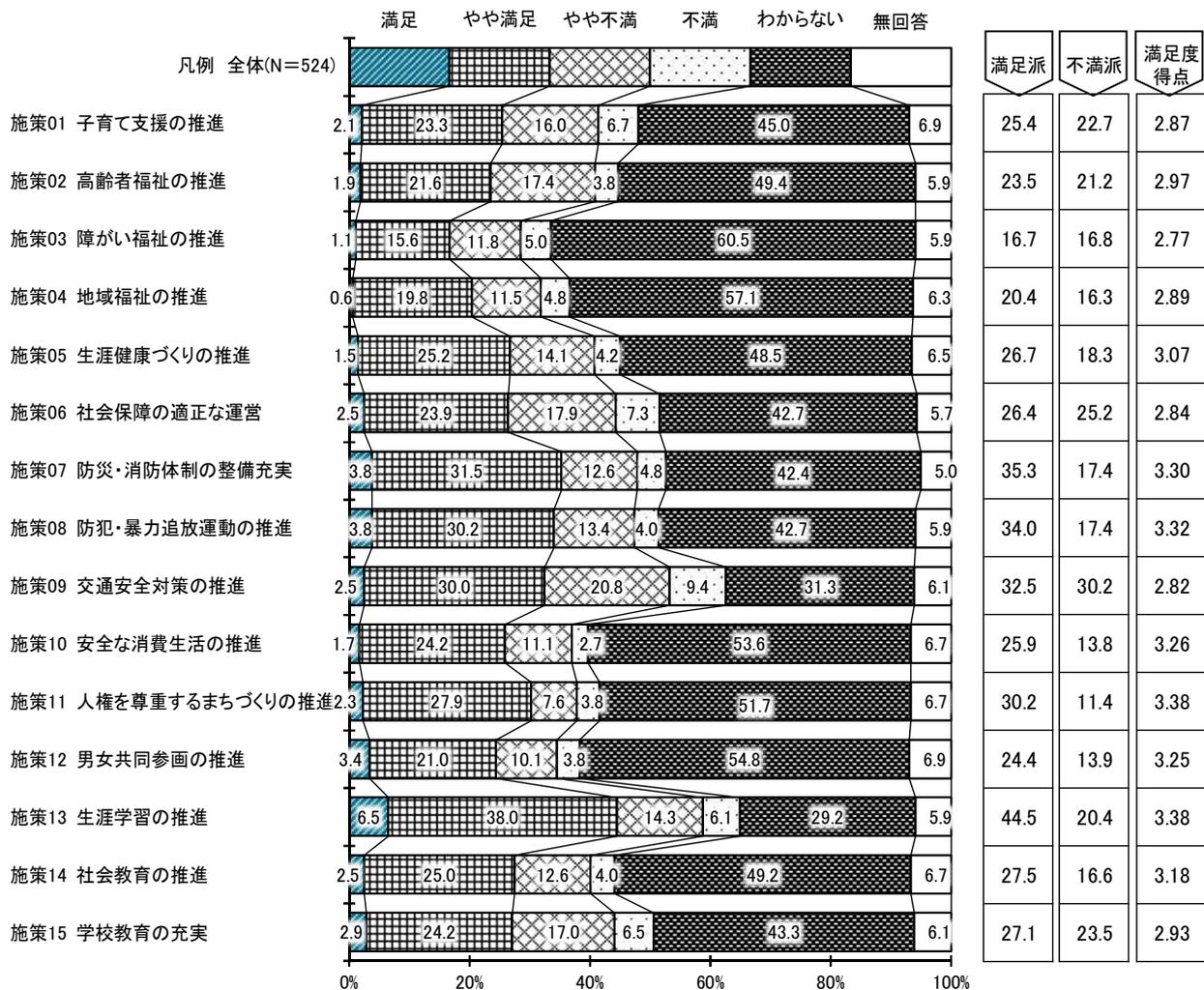
第五次太宰府市総合計画後期基本計画の施策に掲げた 33 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「26. 下水道の整備と普及促進」（48.8%）、「28. 文化遺産の保存と活用」（44.8%）、「13. 生涯学習の推進」（44.5%）、「19. 循環型社会の構築」（42.9%）、「25. 良質な水道水の安定供給」（41.6%）などがある。

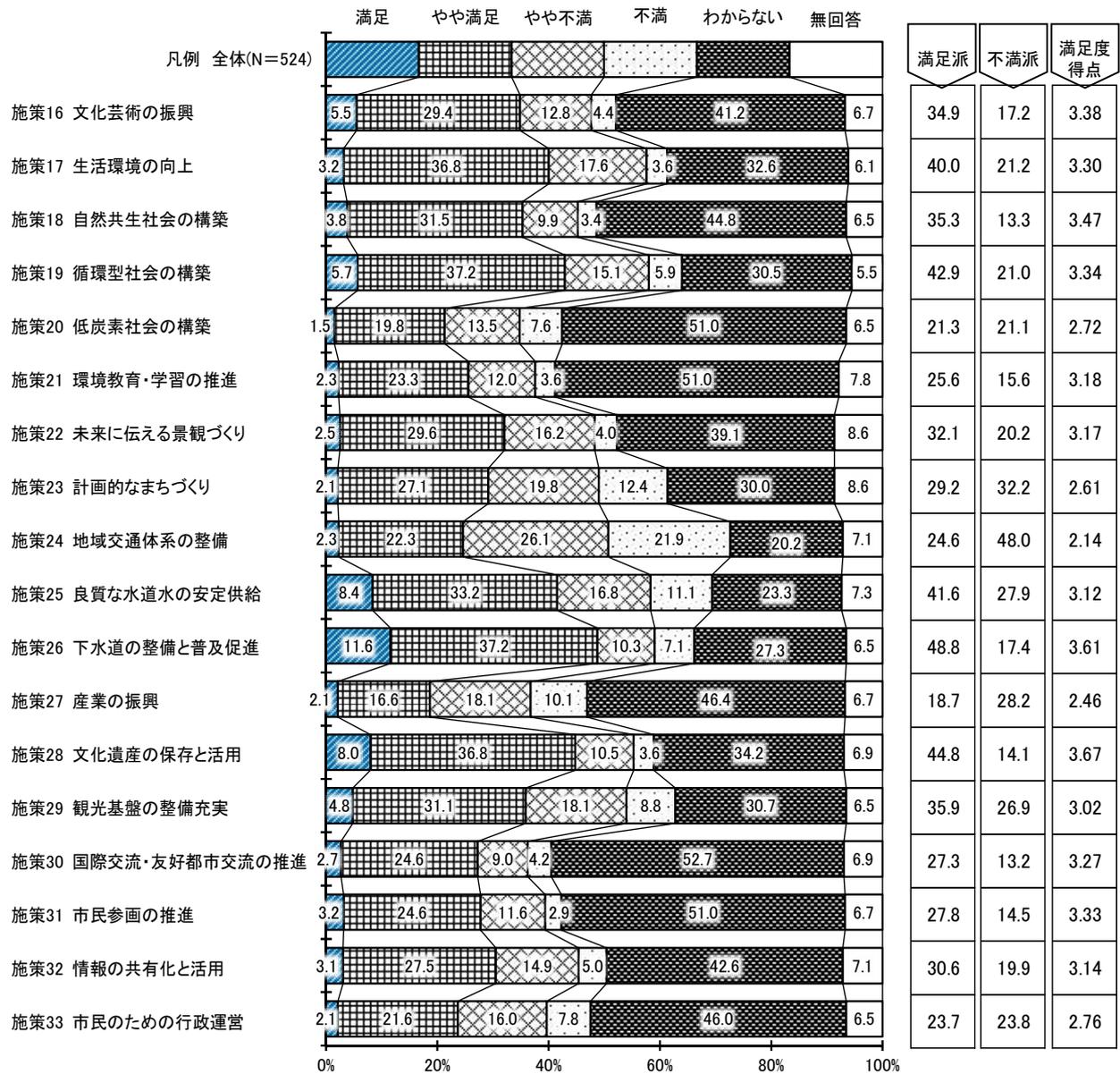
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「27. 産業の振興」（18.7%）や「03. 障がい福祉の推進」（16.7%）、「04. 地域福祉の推進」（20.4%）、「20. 低炭素社会の構築」（21.3%）などがあげられる。

問 67. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～33 の施策についてお尋ねします。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■ 満足度の得点化の手順

満足度	得点
1. 満足	→ 6点
2. やや満足	→ 4点
3. やや不満	→ 2点
4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

$$\text{満足度得点} = \frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$$

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策24 地域交通体系の整備	24.6	48.0	20.2	2.14	33
施策27 産業の振興	18.7	28.2	46.4	2.46	32
施策23 計画的なまちづくり	29.2	32.2	30.0	2.61	31
施策20 低炭素社会の構築	21.3	21.1	51.0	2.72	30
施策33 市民のための行政運営	23.7	23.8	46.0	2.76	29
施策03 障がい福祉の推進	16.7	16.8	60.5	2.77	28
施策09 交通安全対策の推進	32.5	30.2	31.3	2.82	27
施策06 社会保障の適正な運営	26.4	25.2	42.7	2.84	26
施策01 子育て支援の推進	25.4	22.7	45.0	2.87	25
施策04 地域福祉の推進	20.4	16.3	57.1	2.89	24
施策15 学校教育の充実	27.1	23.5	43.3	2.93	23
施策02 高齢者福祉の推進	23.5	21.2	49.4	2.97	22
施策29 観光基盤の整備充実	35.9	26.9	30.7	3.02	21
施策05 生涯健康づくりの推進	26.7	18.3	48.5	3.07	20
施策25 良質な水道水の安定供給	41.6	27.9	23.3	3.12	19
施策32 情報の共有化と活用	30.6	19.9	42.6	3.14	18
施策22 未来に伝える景観づくり	32.1	20.2	39.1	3.17	17
施策14 社会教育の推進	27.5	16.6	49.2	3.18	15
施策21 環境教育・学習の推進	25.6	15.6	51.0	3.18	15
施策12 男女共同参画の推進	24.4	13.9	54.8	3.25	14
施策10 安全な消費生活の推進	25.9	13.8	53.6	3.26	13
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	27.3	13.2	52.7	3.27	12
施策07 防災・消防体制の整備充実	35.3	17.4	42.4	3.30	10
施策17 生活環境の向上	40.0	21.2	32.6	3.30	10
施策08 防犯・暴力団追放運動の推進	34.0	17.4	42.7	3.32	9
施策31 市民参画の推進	27.8	14.5	51.0	3.33	8
施策19 循環型社会の構築	42.9	21.0	30.5	3.34	7
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	30.2	11.4	51.7	3.38	4
施策13 生涯学習の推進	44.5	20.4	29.2	3.38	4
施策16 文化芸術の振興	34.9	17.2	41.2	3.38	4
施策18 自然共生社会の構築	35.3	13.3	44.8	3.47	3
施策26 下水道の整備と普及促進	48.8	17.4	27.3	3.61	2
施策28 文化遺産の保存と活用	44.8	14.1	34.2	3.67	1

満足度
【平均値】
3.09

『満足』 = 「満足」 + 「やや満足」

『不満』 = 「やや不満」 + 「不満」

●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

① 性別

満足度の平均値は 3.09 となり、その内訳をみると男性が 2.91 に対し女性は 3.26 で、女性の方が高い。

女性は、すべての項目において男性より満足度得点が高くなっており、男女差が 0.5 以上ある項目は「18. 自然共生社会の構築」「31. 市民参画の推進」「08. 防犯・暴力団追放運動の推進」「30. 国際交流・友好都市交流の推進」「22. 未来に伝える景観づくり」「32. 情報の共有化と活用」「02. 高齢者福祉の推進」「33. 市民のための行政運営」「27. 産業の振興」がある。

② 年齢別

第 1 位をみると、20 歳代は「32. 情報の共有化と活用」、30 歳代と 40 歳代と 50 歳代は「28. 文化遺産の保存と活用」、60 歳代と 70 歳代以上は「26. 下水道の整備と普及促進用」となっている。

③ 地域別

第 1 位をみると、太宰府小学校区は「10. 安全な消費生活の推進」、太宰府東小学校区は「30. 国際交流・友好都市交流の推進」、太宰府南小学校区と水城小学校区と水城西小学校区では「28. 文化遺産の保存と活用」、太宰府西小学校区では「26. 下水道の整備と普及促進」、国分小学校区では「16. 文化芸術の振興」となっている。

(左列:満足度得点/右列:順位)

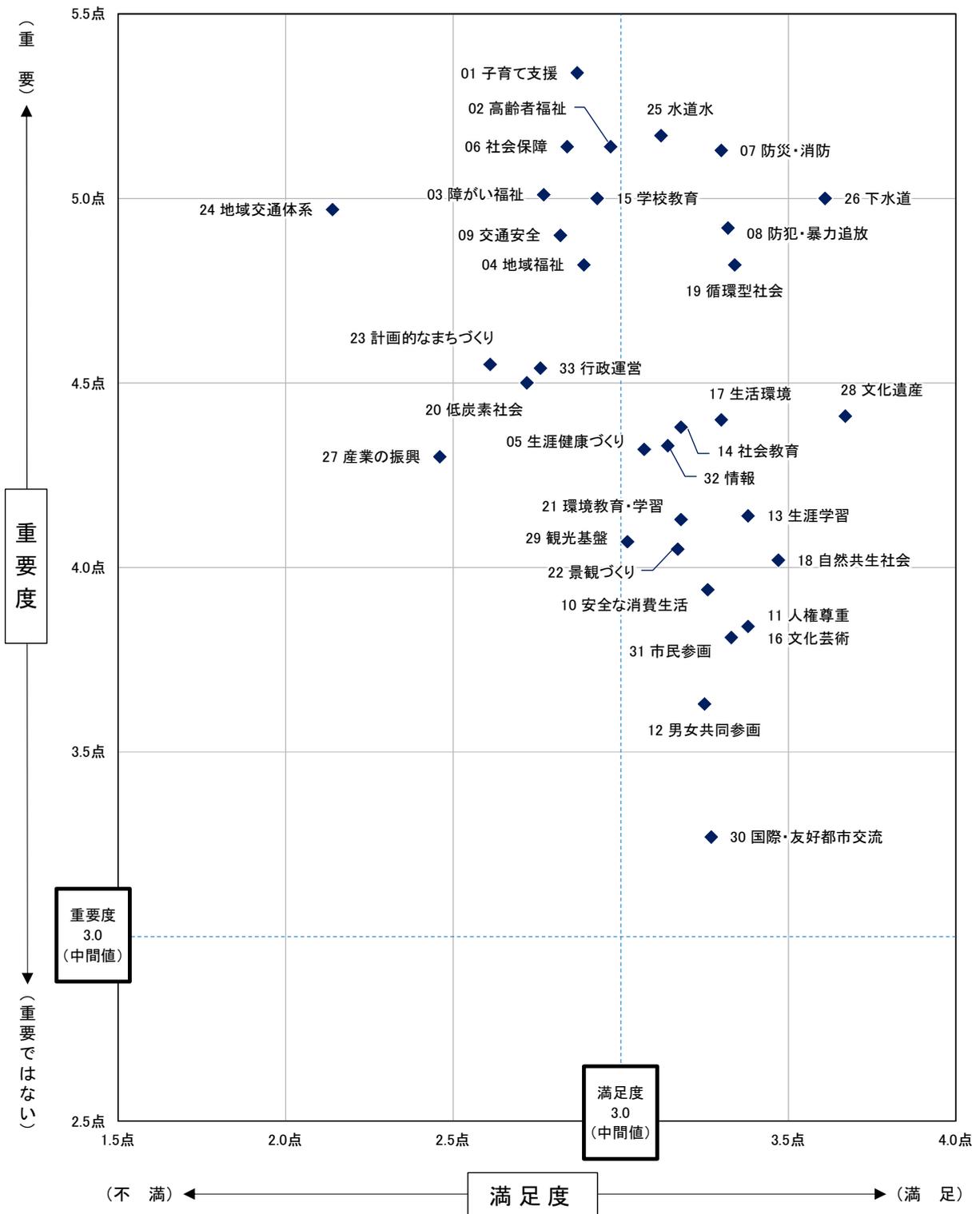
	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
施策28 文化遺産の保存と活用	3.67 1	3.49 2	3.85 1	4.08 3	3.87 1	3.77 1	3.60 1	3.36 2	3.72 2
施策26 下水道の整備と普及促進	3.61 2	3.58 1	3.65 3	3.91 6	2.84 23	3.38 6	3.59 2	3.67 1	3.98 1
施策18 自然共生社会の構築	3.47 3	3.11 9	3.77 2	4.10 2	3.30 7	3.35 7	3.56 3	3.33 3	3.49 10
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.38 4	3.31 3	3.46 11	3.70 15	2.53 28	3.67 2	3.24 10	3.20 10	3.53 6
施策13 生涯学習の推進	3.38 4	3.14 7	3.56 6	3.59 19	3.59 3	3.49 3	3.36 4	3.03 16	3.47 11
施策16 文化芸術の振興	3.38 4	3.28 4	3.48 9	3.76 11	3.00 16	3.30 8	3.36 4	3.29 5	3.53 6
施策19 循環型社会の構築	3.34 7	3.20 6	3.45 12	3.33 25	3.12 14	3.17 12	3.34 6	3.21 9	3.63 4
施策31 市民参画の推進	3.33 8	3.03 15	3.64 4	3.88 8	3.79 2	3.40 4	2.98 18	3.27 6	3.34 18
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.32 9	3.04 14	3.56 6	3.78 10	3.16 11	3.17 12	3.29 7	3.09 14	3.56 5
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.30 10	3.13 8	3.48 9	3.90 7	3.05 15	3.13 15	2.91 21	3.19 11	3.71 3
施策17 生活環境の向上	3.30 10	3.05 13	3.49 8	3.76 11	3.43 5	3.21 10	3.27 8	3.03 16	3.43 12
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.27 12	2.98 17	3.61 5	3.87 9	3.53 4	3.07 18	3.13 13	3.08 15	3.52 9
施策10 安全な消費生活の推進	3.26 13	3.07 11	3.45 12	3.65 16	3.13 13	3.22 9	3.26 9	2.97 21	3.42 13
施策12 男女共同参画の推進	3.25 14	3.27 5	3.29 17	4.00 4	2.62 24	3.39 5	3.21 11	3.25 7	3.18 22
施策14 社会教育の推進	3.18 15	3.02 16	3.32 16	3.76 11	2.95 17	3.13 15	3.17 12	2.87 22	3.38 15
施策21 環境教育・学習の推進	3.18 15	3.10 10	3.28 18	3.76 11	2.52 29	3.20 11	3.00 16	3.33 3	3.37 16
施策22 未来に伝える景観づくり	3.17 17	2.98 17	3.37 15	3.57 20	3.19 9	3.16 14	3.02 14	3.24 8	3.20 21
施策32 情報の共有化と活用	3.14 18	2.86 20	3.41 14	4.24 1	3.15 12	3.00 19	2.96 19	2.98 20	3.25 20
施策25 良質な水道水の安定供給	3.12 19	3.06 12	3.20 22	3.52 21	2.91 18	2.63 26	3.00 16	3.17 12	3.53 6
施策05 生涯健康づくりの推進	3.07 20	2.86 20	3.26 19	3.23 27	3.18 10	2.68 24	2.94 20	3.00 18	3.41 14
施策29 観光基盤の整備充実	3.02 21	2.78 22	3.24 20	3.41 24	3.31 6	3.00 19	2.91 21	2.83 24	3.04 27
施策02 高齢者福祉の推進	2.97 22	2.67 25	3.23 21	3.43 23	3.23 8	3.10 17	2.78 25	2.70 27	3.13 25
施策15 学校教育の充実	2.93 23	2.89 19	2.97 28	3.30 26	2.50 30	2.85 22	2.55 30	3.15 13	3.32 19
施策04 地域福祉の推進	2.89 24	2.69 24	3.06 24	3.63 17	2.88 20	2.62 29	2.67 26	2.75 25	3.14 24
施策01 子育て支援の推進	2.87 25	2.74 23	2.98 27	2.75 31	2.86 21	2.67 25	2.67 26	3.00 18	3.35 17
施策06 社会保障の適正な運営	2.84 26	2.66 26	3.01 25	4.00 4	2.90 19	2.72 23	2.57 29	2.40 32	3.12 26
施策09 交通安全対策の推進	2.82 27	2.57 29	3.01 25	2.64 32	2.59 25	2.63 26	3.02 14	2.65 28	3.16 23
施策03 障がい福祉の推進	2.77 28	2.65 27	2.84 30	2.83 30	2.13 33	2.63 26	2.80 24	2.84 23	3.04 27
施策33 市民のための行政運営	2.76 29	2.44 31	3.16 23	3.60 18	2.85 22	2.43 30	2.90 23	2.56 30	2.88 29
施策20 低炭素社会の構築	2.72 30	2.57 29	2.88 29	2.89 28	2.57 27	2.92 21	2.51 31	2.64 29	2.81 30
施策23 計画的なまちづくり	2.61 31	2.58 28	2.66 32	2.88 29	2.59 25	2.39 31	2.63 28	2.52 31	2.81 30
施策27 産業の振興	2.46 32	2.20 32	2.72 31	3.47 22	2.24 31	2.37 32	2.32 32	2.71 26	2.37 33
施策24 地域交通体系の整備	2.14 33	2.02 33	2.24 33	2.55 33	2.21 32	1.87 33	2.00 33	2.03 33	2.41 32
平均	3.09	2.91	3.26	3.54	2.96	2.99	2.99	2.98	3.28

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからない
施策28 文化遺産の保存と活用	3.67 1	3.37 4	3.61 2	3.92 1	3.61 1	4.15 1	3.49 6	3.86 2	3.54 1
施策26 下水道の整備と普及促進	3.61 2	3.49 2	3.39 6	3.71 5	3.52 2	3.55 4	3.96 1	3.76 4	3.20 2
施策18 自然共生社会の構築	3.47 3	3.29 7	3.17 15	3.76 3	3.45 4	3.58 3	3.49 6	3.82 3	2.67 13
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.38 4	3.21 9	3.45 5	3.50 10	3.26 8	3.52 6	3.66 2	3.48 11	2.22 25
施策13 生涯学習の推進	3.38 4	3.30 6	3.19 14	3.39 14	3.06 15	3.64 2	3.54 4	3.66 6	2.92 5
施策16 文化芸術の振興	3.38 4	3.35 5	3.26 12	3.30 19	3.10 13	3.53 5	3.53 5	4.11 1	1.80 29
施策19 循環型社会の構築	3.34 7	3.08 15	3.28 11	3.76 3	3.17 10	3.51 8	3.41 12	3.42 15	2.93 4
施策31 市民参画の推進	3.33 8	3.21 9	3.33 8	3.82 2	3.06 15	3.52 6	3.45 9	3.50 8	2.89 7
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.32 9	3.02 18	3.52 4	3.42 11	3.07 14	3.50 10	3.47 8	3.50 8	2.73 10
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.30 10	3.13 12	3.30 10	3.60 8	3.49 3	3.14 17	3.43 11	3.40 17	2.36 23
施策17 生活環境の向上	3.30 10	3.07 16	3.24 13	3.33 18	3.29 7	3.24 15	3.65 3	3.39 18	2.71 12
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.27 12	3.20 11	3.68 1	3.11 21	3.21 9	3.48 11	3.22 18	3.43 14	2.50 18
施策10 安全な消費生活の推進	3.26 13	3.56 1	3.05 19	3.38 16	3.06 15	3.04 18	3.44 10	3.33 19	2.44 19
施策12 男女共同参画の推進	3.25 14	3.39 3	3.33 8	3.71 5	2.79 27	3.48 11	3.20 20	3.44 13	1.71 32
施策14 社会教育の推進	3.18 15	3.00 19	3.13 16	3.41 12	3.35 5	3.29 14	3.07 24	3.23 22	2.57 17
施策21 環境教育・学習の推進	3.18 15	2.83 23	3.09 18	3.22 20	3.35 5	2.89 24	3.40 13	3.70 5	2.44 19
施策22 未来に伝える景観づくり	3.17 17	2.98 20	3.53 3	3.11 21	2.85 23	3.37 13	3.09 23	3.47 12	2.91 6
施策32 情報の共有化と活用	3.14 18	3.09 14	2.88 21	3.08 24	3.16 11	3.15 16	3.13 22	3.42 15	3.00 3
施策25 良質な水道水の安定供給	3.12 19	3.13 12	3.12 17	3.06 26	3.04 18	2.98 21	3.32 16	3.31 20	2.67 13
施策05 生涯健康づくりの推進	3.07 20	2.79 24	3.36 7	3.68 7	2.80 25	2.92 22	3.05 25	3.50 8	2.00 27
施策29 観光基盤の整備充実	3.02 21	2.68 26	2.56 26	3.39 14	2.83 24	3.51 8	3.26 17	3.14 24	2.67 13
施策02 高齢者福祉の推進	2.97 22	2.56 28	2.86 22	3.09 23	3.14 12	2.73 27	3.21 19	3.28 21	2.44 19
施策15 学校教育の充実	2.93 23	3.05 17	2.59 25	2.70 29	3.02 20	3.03 19	3.15 21	2.85 29	2.67 13
施策04 地域福祉の推進	2.89 24	2.91 22	3.05 19	3.56 9	2.65 29	2.56 30	2.97 26	3.04 26	1.75 31
施策01 子育て支援の推進	2.87 25	3.23 8	2.75 23	3.36 17	2.86 22	2.47 32	2.84 29	2.82 31	1.67 33
施策06 社会保障の適正な運営	2.84 26	2.92 21	2.71 24	2.55 30	2.80 25	2.80 26	2.96 27	3.14 24	2.00 27
施策09 交通安全対策の推進	2.82 27	2.47 29	2.19 29	2.85 27	2.67 28	2.91 23	3.36 14	3.16 23	1.78 30
施策03 障がい福祉の推進	2.77 28	2.19 31	2.44 28	3.07 25	2.44 31	2.57 29	3.35 15	3.62 7	2.29 24
施策33 市民のための行政運営	2.76 29	2.79 24	2.48 27	2.55 30	2.57 30	3.00 20	2.87 28	3.03 27	2.73 10
施策20 低炭素社会の構築	2.72 30	2.67 27	2.00 31	3.40 13	3.03 19	2.81 25	2.63 32	2.64 32	2.44 19
施策23 計画的なまちづくり	2.61 31	2.08 32	2.19 29	2.74 28	3.00 21	2.48 31	2.77 30	2.84 30	2.77 9
施策27 産業の振興	2.46 32	2.34 30	1.84 33	2.00 33	2.38 32	2.59 28	2.71 31	3.03 27	2.80 8
施策24 地域交通体系の整備	2.14 33	1.79 33	1.95 32	2.21 32	2.13 33	2.29 33	2.41 33	2.26 33	2.13 26
平均	3.09	2.94	2.96	3.23	3.01	3.13	3.23	3.32	2.50

(3)重要度と満足度の相関関係

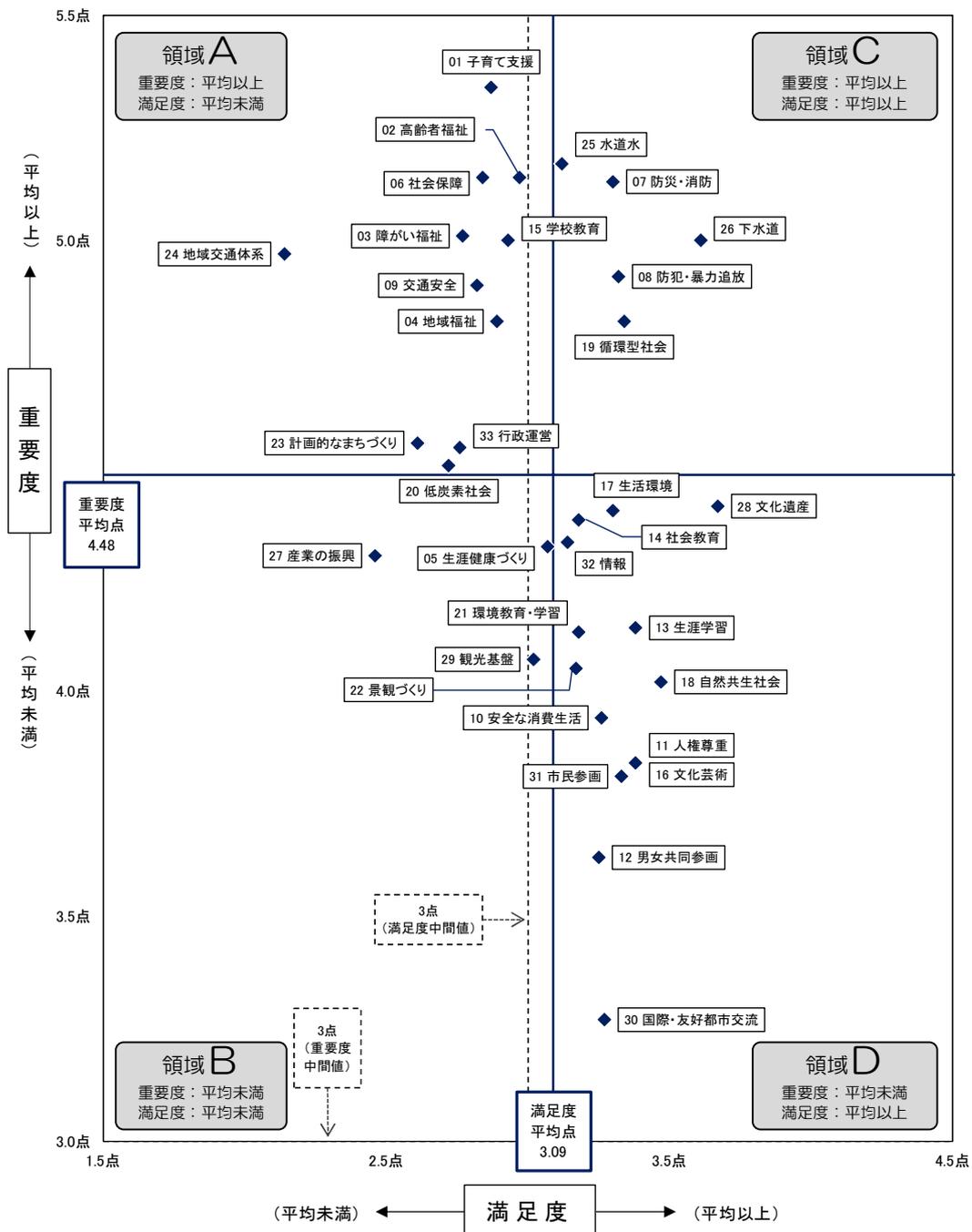
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、「25 水道水」「07 防災・消防」「26 下水道」「08 防犯・暴力追放」「19 循環型社会」「17 生活環境」「28 文化遺産」「14 社会教育」「05 生涯健康づくり」「32 情報」「21 環境教育・学習」「13 生涯学習」「29 観光基盤」「22 景観づくり」「18 自然共生社会」「10 安全な消費生活」「11 人権尊重」「16 文化芸術」「31 市民参画」「12 男女共同参画」「30 国際・友好都市交流」の21施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

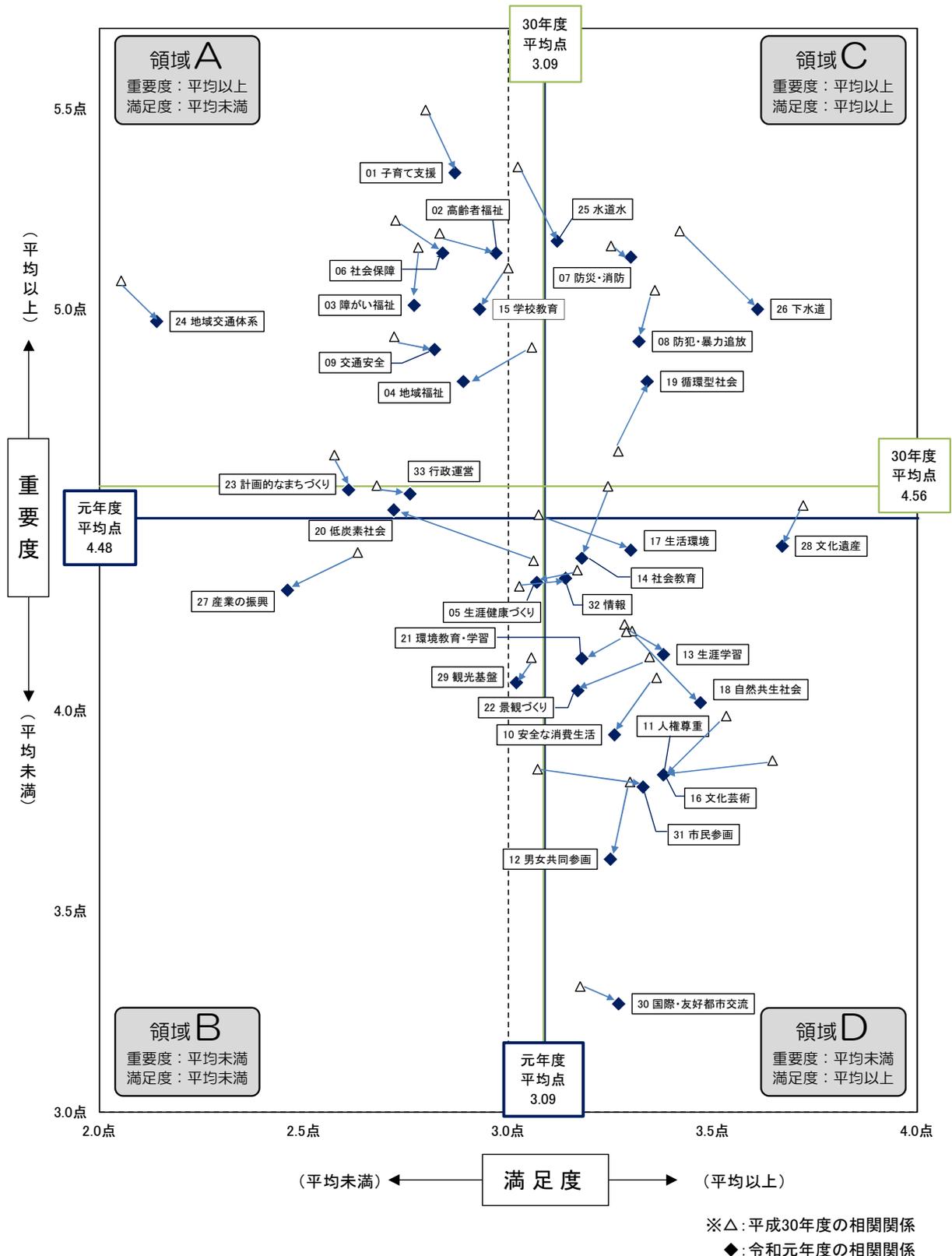
重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「01 子育て支援」「02 高齢者福祉」「06 社会保障」「24 地域交通体系」「03 障がい者福祉」「15 学校教育」「09 交通安全」「04 地域福祉」「23 計画的なまちづくり」「33 行政運営」「20 低炭素社会」の11施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



(5)平成 30 年度の重要度と満足度の相関関係との比較

平成 30 年度の重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高い一方、満足度が低い【領域A】に入る、早急に対応が必要と考えられる施策としては「01 子育て支援」「02 高齢者福祉」「06 社会保障」「24 地域交通体系」「03 障がい者福祉」「15 学校教育」「09 交通安全」「04 地域福祉」「23 計画的なまちづくり」「33 行政運営」「20 低炭素社会」の 11 施策となっている。このうち、「20 低炭素社会」は平成 30 年度から重要度が増加【領域A】に入っている。



重要度と満足度による相関領域（重要度×満足度）

	重要度			満足度			重要度 × 満足度
	重要度 得点	全体平均 との差	順位	満足得点	全体平均 との差	順位	
施策24 地域交通体系の整備	4.97	0.49	9	2.14	▲0.95	33	A
施策01 子育て支援の推進	5.34	0.86	1	2.87	▲0.22	25	A
施策03 障がい福祉の推進	5.01	0.53	6	2.77	▲0.32	28	A
施策06 社会保障の適正な運営	5.14	0.66	3	2.84	▲0.25	26	A
施策09 交通安全対策の推進	4.90	0.42	11	2.82	▲0.27	27	A
施策02 高齢者福祉の推進	5.14	0.66	3	2.97	▲0.12	22	A
施策15 学校教育の充実	5.00	0.52	7	2.93	▲0.16	23	A
施策04 地域福祉の推進	4.82	0.34	12	2.89	▲0.20	24	A
施策23 計画的なまちづくり	4.55	0.07	14	2.61	▲0.48	31	A
施策33 市民のための行政運営	4.54	0.06	15	2.76	▲0.33	29	A
施策20 低炭素社会の構築	4.50	0.02	16	2.72	▲0.37	30	A
施策27 産業の振興	4.30	▲0.18	22	2.46	▲0.63	32	B
施策05 生涯健康づくりの推進	4.32	▲0.16	21	3.07	▲0.02	20	B
施策29 観光基盤の整備充実	4.07	▲0.41	25	3.02	▲0.07	21	B
施策25 良質な水道水の安定供給	5.17	0.69	2	3.12	0.03	19	C
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.13	0.65	5	3.30	0.21	10	C
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	4.92	0.44	10	3.32	0.23	9	C
施策19 循環型社会の構築	4.82	0.34	12	3.34	0.25	7	C
施策26 下水道の整備と普及促進	5.00	0.52	7	3.61	0.52	2	C
施策14 社会教育の推進	4.38	▲0.10	19	3.18	0.09	15	D
施策17 生活環境の向上	4.40	▲0.08	18	3.30	0.21	10	D
施策32 情報の共有化と活用	4.33	▲0.15	20	3.14	0.05	18	D
施策28 文化遺産の保存と活用	4.41	▲0.07	17	3.67	0.58	1	D
施策13 生涯学習の推進	4.14	▲0.34	23	3.38	0.29	4	D
施策21 環境教育・学習の推進	4.13	▲0.35	24	3.18	0.09	15	D
施策22 未来に伝える景観づくり	4.05	▲0.43	26	3.17	0.08	17	D
施策18 自然共生社会の構築	4.02	▲0.46	27	3.47	0.38	3	D
施策10 安全な消費生活の推進	3.94	▲0.54	28	3.26	0.17	13	D
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.84	▲0.64	29	3.38	0.29	4	D
施策16 文化芸術の振興	3.84	▲0.64	29	3.38	0.29	4	D
施策31 市民参画の推進	3.81	▲0.67	31	3.33	0.24	8	D
施策12 男女共同参画の推進	3.63	▲0.85	32	3.25	0.16	14	D
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.27	▲1.21	33	3.27	0.18	12	D
【全体平均】	4.48			3.09			

*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

- A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満
- B：【重要度】【満足度】ともに平均未満
- C：【重要度】【満足度】ともに平均以上
- D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》

33施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

第4節 まちづくりに対する自由意見

校区	性別	年齢	まちづくりについてのご意見
【施策01 子育て支援の推進：12件】			
太宰府	男性	50代	子育てしやすい環境、若い人が安定して働ける職場環境整備、企業誘致、高齢者も働きやすい環境づくりが実現できると税収が上がり、活気ある行政活動が可能になる。他国や他県の行政では既に取り組んでいる移住者への引っ越し祝い金支給、市民や市民以外の子育て世代は誰でも利用可能な子ども園・保育施設整備。北欧のように、生まれた子どもには誕生してすぐにお祝いセット（オムツ・育児用品）の支給から始まる18歳までの育児支援金制度。独身者向けお見合いパーティーや参加しやすい婚活イベントの実施。学生やUターン就職希望者、再就職希望者を含む就活希望者向け就活コンサルタント、リクルートナビ等。パーソナリティーに富んだ行政のサービスが太宰府市の未来を変えられるか。前記の内容の結果、進捗状況は市政日より等で公開願います。
太宰府東	女性	40代	保育料が全国でワースト1位、有り得ないです（子育てしにくい）。
太宰府南	女性	40代	子育て支援に力を入れてほしい。中学校の完全給食を早く実現してもらいたい。働くママにとってのお弁当づくり（買い物、献立）の負担を少しでも減らしてください。医療費の助成拡大、最低中学生までに引き延ばしてほしい。太宰府市に住んで良かったと思えるような魅力ある市にしてください。
水城	女性	50代	子育て、仕事等、日常生活にいっぱい、アンケートの内容について大切だと思うことも、実際にどのように行われているか関心がないということに気付いた。項目ごとに再認識する機会となり、今後は市報等をしっかり見ていきたいと思う。子どもは未来なので、子どもを育てやすい環境、母子を支え、学ぶ内容の充実が更に深まることを希望する。
水城	女性	30代	他市に比べて子育て支援が充実していない。もっと充実させてほしい。
水城	女性	20代	中学校学校給食の実現。子育てしやすいように、多胎等にも助成や優遇をお願いします。
水城西	女性	40代	子どもの医療補助を中学生までにしてほしいです。
太宰府西	女性	40代	太宰府市は歴史と文化の町ということで、高齢者世帯が退職後に移り住む人が多いのではないかと。高齢者サービスの必要性（要望）を訴える声が多いのかもしれないが、もっと未来やこれからの太宰府市を支えてくれる（税収的な面も）若い世代の流入が必要なのではないかと。子育て、児童福祉にもっと力を入れるべきだと感じる。私が子育てをしていた頃は、乳幼児医療等においても近隣市と比較して必要最低限であった気がする。女性の社会進出、安心して働くことができるように、保育所の充実、子育てサポートサービスを充実してほしい。
国分	女性	30代	子どもの医療費の無償化。
国分	男性	30代	福岡市に比べて、太宰府市は子どもの医療が良くないと感じる。子どもが育てやすい環境をつくってもらいたい。
国分	男性	60代	少子化対策。子どもを安心して産めて、安心して育てられる環境づくり。
国分	女性	40代	福岡市などに比べて、子育てするには厳しい環境だと思う（特に共働きやシングルマザー）。中学校の給食提供や病児保育施設などを増やさないと、安心して子育てをしながら働けないと思います。高齢者福祉も大事ですが、それを支える子ども達や若者のことも考えた政策をしてほしい。
【施策02 高齢者福祉の推進：6件】			
太宰府	男性	60代	運転免許の自主返納で受ける特典を設けてほしい（タクシー乗車運賃10%OFF等）。
太宰府西	女性	60代	予算の関係もあると思うが、福祉関係ももっと向上させてほしい。
太宰府西	男性	60代	太宰府市は全国的にも貴重な文化施設が多く、観光客も多い。商工業は人口の割に振るっていないので、観光客からの収入が重要。従って税金の用途は収入増大のための交通網の整備、安全対策、将来の投資として児童の教育（無償化、給食完備、低料金の追加教育（音楽・運動・語学・ICT等）の整備（市内より講師を募る））を重視して下さい。過去からの政策である同和、高齢者重視は自助の考えを入れて、前記2策のために削減してはいかげでしょうか。
太宰府西	男性	60代	健康な65歳以上の高齢者を地域で採用し、半分ボランティア活動をする場を設けてほしい。
国分	女性	50代	地域包括ケアがよく見えない。第2層協議体の動きが見えず、住民の自助努力がいかされているのが見えない。
無回答	女性	70歳代以上	太宰府市は宿泊施設がなくてとても困っています。市運営の高齢者住宅介護付き等を希望します。

【施策03 障がい福祉の推進：4件】			
太宰府	女性	30代	乳がん検査があるのか、ちょっと気になり始めました。良かったらお聞かせ下さい。
国分	女性	50代	障害者等の施設が少ないが、バリアフリー化がもう少し進んでほしい。
国分	女性	30代	小中学校の通級や特別支援の充実。もっと柔軟な対応をしていくべきだと思う。全体的に通級や特別支援対応児童が増えているにも関わらず、受け皿や相談機関が不足している。
国分	女性	50代	太宰府市に家を買って、住み始めて8年になります。大野城市から引っ越してきました。女性は市からの健康診断のクーポンをもらえて感謝しています。クーポンが届くと、受けようという気持ちに促されます。市長が変わり、頻繁にくる健康診断の受診は有り難いと思います。市長の意識の問題でしょう。このような人が市長で良かったと思います。いろんな能書き（公約）を言われるより、私達のために実践してもらおうことが市長のあり方だと思います。
【施策04 地域福祉の推進：2件】			
水城	女性	60代	福祉にもっと力を入れてもらいたい。弱者にやさしいまちづくり、人づくりをしてもらいたい。
水城	女性	50代	民生委員が本来の業務をしていない。民生委員が2年以上同じ人なのは問題がある。独居の借家の人に対して対応をしていないのに（近所で孤独死した人がいる）、親子で住んでいる一戸建ての人に（子は働いておらず家にいるのに）子どもの連絡先を聞く。
【施策05 生涯健康づくりの推進：1件】			
国分	女性	20代	20～60代の働く世代のがん検診なども、少し手厚くしてほしい。
【施策07 防災・消防体制の整備充実：4件】			
太宰府東	男性	40代	防災無線が聞こえないのでラジオの支給など、市民のためにいろいろやってください。
水城西	男性	40代	避難場所の拡充を希望します。特に水害の際の避難場所までが徒歩では遠く、大きな川があるため未就学児を連れての避難に不安がある。
太宰府西	女性	60代	災害もこれからは増えてくると思う。個人個人の自覚も必要だが、災害に対しての市民への連携、柔軟な対策、敏速な対応を行ってほしい。
わからない	女性	50代	河川の雑草が酷すぎる。川幅が狭くなり、大雨の際の被害につながるのではないかと疑問に思う。たまに草を刈るのではなく、コンクリートにしてしまった方が安全で、コストも長い目でみると安いのではないかと。最近の雨の被害を考えると、一体何をしているのだろうと理解できない。
【施策08 防犯・暴力追放運動の推進：2件】			
太宰府西	男性	70歳代以上	防犯対策のためにも、環境美化のためにも樹木の剪定、雑草の除去等、きめ細かく対応してほしい（公園）。
わからない	女性	50代	街灯が少なく、不審者が多い割にパトロールが見受けられない。
【施策09 交通安全対策の推進：4件】			
太宰府東	女性	60代	自宅近くに高校があります。自動車で通勤していますが、とても危ないです。スクールゾーンを設置してほしいです。
太宰府南	女性	30代	太宰府市は学園都市ですが、通学時の自転車のマナー、自転車用の走行通路をつくってほしい。高雄の交差点の事故も度々目撃するので、対策を取ってほしい（信号の時間の短さ）。道路にはみ出している木等は、市の方から注意を促してほしい。ゴミ置場などに違法駐車などを行っているのをよく見かける。車が停められるような場所には、市から駐車禁止等の看板を立ててほしい。
水城西	男性	40代	歩道を走る自転車がが多く、歩行者が危険です。特に高校生の無灯火、横並びでの走行が多い。
国分	女性	70歳代以上	自宅からはみ出した樹木で「止まれ」の標識が見え隠れしている道路があります。何度か広報にも記載されていましたが、関心がなさそうです。ぜひ気付いてほしいです。
【施策11 人権を尊重するまちづくりの推進：1件】			
太宰府西	男性	60代	太宰府市は全国的にも貴重な文化施設が多く、観光客も多い。商工業は人口の割に振るっていないので、観光客からの収入が重要。従って税金の用途は収入増大のための交通網の整備、安全対策、将来の投資として児童の教育（無償化、給食完備、低料金の追加教育（音楽・運動・語学・ICT等）の整備（市内より講師を募る））を重視して下さい。過去からの政策である同和、高齢者重視は自助の考えを入れて、前記2策のために削減してはいかがでしょうか。

【施策13 生涯学習の推進：6件】			
太宰府東	男性	30代	いきいき情報センターを改装して、より良いものにしてほしい。ただの箱物になってもらいたくない。
太宰府東	女性	60代	各施策とも重要だと思います。子育ても済んで、健康なのでわからないことが多い。いきいき情報センターの1階の活用はどうなっていますか。声を出して話し合える少人数用の会議室、勉強室があれば便利です（安価か無料で）。
水城西	男性	60代	市内のスポーツ施設の充実（例、安価で施設利用（器具等の充実））。他市（春日市など）を見習ってもらいたい。
太宰府西	男性	70歳代以上	強行し（一部の市議）、建設されたとびうめアリーナは多額の市民税を使ったにも関わらず、市民が活用しにくい施設になっていないか。スポーツとカルチャーにも情報提供をしてほしい（日頃の活動募集）。市民プール内のアスレチックジムをとびうめアリーナに移してほしい。
国分	女性	30代	とびうめアリーナの充実した利用方法（子ども向け教室の月謝を安く、敷居の低いものにする）。
わからない	女性	70歳代以上	漁釣りをしたいので、釣り堀などがあればいいと思う。
【施策15 学校教育の充実：15件】			
水城	女性	70歳代以上	お母様方が子育てしやすく、子どもさんが不安なく過ごせて、平等に教育ができますように。
水城	女性	40代	太宰府市は地域とのつながりもあり、世代間の交流がまだあるので住みやすいと思っています。福岡市とも近いので、ここ最近に住民が増えてきていると思うので、学校の設備の充実を検討してもらいたいです。
水城	女性	40代	水城小学校が古いので、建て替えてほしい。クラスの人数を減らしてほしい。小1のクラスは2人担任にして、手厚く見てほしい。
水城	女性	20代	中学校も給食がほしい。もっと太宰府に元気になってほしい。
水城	男性	40代	子どもが安全に安心して通学できる、教育を受けられる環境をつくってください。
水城西	女性	50代	中学校の完全給食。ランチサービスならもう50円負担を願いたい。
水城西	女性	30代	中学校に給食室をつくってください。
水城西	男性	50代	中学校給食の早期導入。
太宰府西	女性	40代	中学校給食は結局どうなったのか。太宰府西小では給食ができるので、一緒に作ってもらえないのか。
太宰府西	男性	40代	他市町村の小学校に行く機会があるが、太宰府市は教育にお金を使っているのかと思う（備品が古い、備品が少ない）。
太宰府東	女性	40代	早急に中学校の給食化を行うべき。他に予算を使う前にそちらに取り組むべきだと、多くの同じ意見を聞きます。
国分	女性	40代	中学校に給食施設をつくって下さい。業者が無理なら各学校で作れば良い（小学校でできるのだから）。予算がないなら、見た目（美観）や観光ばかりに使わず、市民のために使って下さい。
国分	女性	30代	中学校の給食施設。
国分	男性	70歳代以上	財源を理由にして、中学校給食の実施に明確な態度を示さない姿勢は問題がある。他のことより優先して早期に実現すべき。市民の暮らしと健康に最も重点を置き、誰もが安心して暮らせるように自治体としての責務を果たすこと。市政でできることは県や国に声を大にして意見し、実現のために全力をつくしてほしい。
わからない	女性	無回答	学校（幼、小、中、高）でしたらいけないことやルールをきちんと教えてほしい。道場で遊ぶなどは危険なことだということも、子どもの内から教育してほしい。
【施策16 文化芸術の振興：3件】			
太宰府	男性	30代	道真公を題材にした歌舞伎等があるので、その上演会を行って市民に文化的な教育をしてほしい。太宰府に縁のある芸術家の情報をもっと広げてほしい。市在住のマンガ家もいるので、もっといろいろできることがあると思う。

【施策16 文化芸術の振興：つづき】			
太宰府南	女性	30代	まほろば衆など娯楽の発展。
国分	女性	70歳代以上	「文化都市」と言われているが、文化施設の質、量が不足していると思います。ホール、コミュニティ施設の充実に力を入れてほしい。体育施設に比べ、文化施設への力の入れ方が足りないように感じます。
【施策17 生活環境の向上：12件】			
太宰府	女性	40代	交通マナーの悪さ、ペットのフン、筑女大の学生さんの奇声、西鉄太宰府駅周辺でのたばこ、この4点に大変怒りを覚えます。国立博物館駐車場前の県道で、信号無視の車に子どもがはねられそうになったこともあります。信号機のない横断歩道では、どれだけ待っても車は止まってくれません。ペットのフンも多く見ると気分が悪いです。福岡市や県外から来た友人、身内も駅周辺のタバコのポイ捨てなど、マナーの悪さに驚いていました。それに駅周辺は子ども達の通学路でもあるので、健康被害も心配です。令和ばかりに目を向けずもっと市民の声を聞き、対応をお願いします。
太宰府東	男性	40代	太宰府病院の敷地内の禁煙に伴い、入口の泉水公園等での喫煙が見られます。通行する人、特に通学、登校中の子ども達の脅威になっています。子ども達が公園で遊んでいる時も、喫煙している姿が見えます。太宰府病院に喫煙所を設置してもらう等はできないのでしょうか。
太宰府東	女性	70歳代以上	近所の人のネコの飼い方に困っている家庭が多いです。家の中で飼ってもらえるように、広報で繰り返し指導してもらいたいです。
水城	男性	70歳代以上	観世音寺や戒壇院とその周辺を犬と一緒に歩いているのですが、観光客のゴミ捨てが実に多い。12年間、毎日コンビニの袋に拾ってきたが、大体10日～2週間でいっぱいになる。政庁通りの歩道でシルバーの人が手分けして拾っているのをたまに見る程度である。コスモス畑まで投げ込んでいるのを見るが、「そこまで踏み込めるか」と腹立たしく思いながら通り過ぎていく。タバコの吸い殻は日本人も捨てていると思うが、大きなゴミはおそらく中国人や韓国人であろう。コスモス畑をよく見る。観世音寺の宝蔵の前から延びる木道はよく整備されていると思う。園児達が喜び、走る声を年中聞いている。そして思うのだが、秋のコスモスが咲く頃、なんとまあ貧弱なコスモス畑であろうかと毎年思う。「甘木のキンピールのコスモス畑と競え」とは言わないが、もう少し田起こししてから丁寧にやれないものかと思う。費用はかかるだろうが、もう少し上等な種を購入してもいいのではないかと思う。季節になると子どもだけでなく、素人カメラマンがいっぱい来ているから。
水城	男性	50代	御笠川の堤防の整備。通古賀1丁目の納骨堂（墓）付近は春や秋に枯葉が散乱しています。また、付近の草も手入れされていません（毎年です）。管理は寺だと思えますが、近隣の人が清掃しています。
水城	男性	50代	各行政区に設置されている大スピーカーの使用方法が間違っているのではないですか。あのスピーカーでの放送は、災害の緊急時だと思います。都府楼団地区は数年前から、「今から公民館でカラオケ教室をします」などいろんな催し物のこと、古紙廃品回収等、回覧板で連絡していることを大音量で放送し、放送内容が長い。放送時間が日曜日の朝7:30、8:00、8:30などで、平日の朝にもあります。日曜日の朝に大音量で放送されると、せっかくの休みなのに眠ることもできません。私の友人は「夜勤明けなのに眠れない」と言っていますし、赤ちゃんのいる友人は「夜泣きをしてやっと朝になって眠ったのに、大音量の放送でまた泣き出す」と言っています。隣の通古賀区にまで放送が大音量で聞こえます。行政から都府楼団地区自治会に、スピーカー放送は緊急時のみに使用するよう強く指導して下さい。
水城	女性	50代	坂本八幡宮の観光客のマナーが悪い。道の真ん中で写真撮影。車が来ても平気な顔で「早く行け」と催促される。
水城西	男性	60代	天満宮においての外国人のマナーが悪く、改善が必要だと思います（ゴミのポイ捨て、食べ歩き等）。
太宰府西	女性	30代	ボランティアで使用できる透明のゴミ袋を、各公民館などで良いので配布してほしい。自宅前の歩道の街路樹の落ち葉清掃を秋冬は週1で行っていますが、市役所まで受け取りに行くのが大変。渋滞しているし、駐車場が狭くて、市役所に行くことが苦痛なので、自費で赤い可燃ゴミ袋を使用しています。「ボランティアなのになぜ」と憤りながらも、近所の迷惑になるのは避けたいので嫌々ながら毎年やっています。ここ数年、落ち葉より早い時期に剪定してもらっていますので、量はかなり減っています。とても助かります。自宅前の歩道に犬のフンがよく落ちています。自宅周りに野良ネコ（外飼い）が多数います。近所の人達も大変迷惑しています。野良でいいのです。去勢手術はできないのでしょうか。私の知る限り、1匹のメスが4回出産（計22匹）しています。殺処分は断固反対です。我が庭、近所の周りにネコがたくさんいます。このメス猫の子ども達がほとんどです。世話をしている人がいますが、近所なので何も言えないのです。手術さえすればいいのに。自治会も把握はしてるのですが、回覧板で案内しても効果なしです。

【施策17 生活環境の向上：つづき】			
国分	女性	70歳代以上	いまだにネコの放し飼いで困ります。寒い時は車の下やボンネットの上にも乗っています。大変不愉快です。どうしたら良いのでしょうか。
国分	女性	20代	太宰府市の気象観測地点は太宰府市の平均的な気温、気候が観測できる所なのですか。2019年度は異常だったとはいえ、ズレが大きいような気がしました。近所の人に野良ネコに餌付けをする人がいて、大変迷惑です。ネコを捨てた人がまず問題ですが、迷惑です。変死体が見つかったこともあり、ネコが悪くないとはいえ困ります。
わからない	女性	無回答	泉水公園という名の喫煙所は見た目も悪いし、とても恐いです。どうにかありませんか（たばこを吸う場所ならばガラスで覆ってください）。ゴミのポイ捨てがとても多いです。
【施策18 自然共生社会の構築：2件】			
太宰府東	女性	70歳代以上	緑に憧れ、太宰府に住み10年。田畑はなくなり、宅地に駐車場とどんどん自然は消えていきます。緑豊かに、心豊かに余生を過ごしたいものです。文明の前には森林があり、文明の後には砂漠が残る。
水城	男性	70歳代以上	私の家の前に5m程の道路があります。その向こうに小さな公園があります。バスが通る程の道路ができたからです。私の家の道路側の公園に植木が5～6本植えられています。その中に桜の木が2本あります。1本は隣の木の葉っぱにかぶさり、半分以上が死に桜になっています。せっかく桜の花が咲いているのにかわいそうでなりません。どうにかありませんか。
【施策19 循環型社会の構築：6件】			
太宰府	男性	50代	松川区の山林へ産業廃棄物の不法投棄が起こっている。松川大原山は歴史のある自然豊かな山々です。不法投棄の抑止として、監視カメラの設置をお願いします。
太宰府	女性	50代	ゴミ出し、プラスチックの捨て方について（減らす方法）、プラスチックを燃えるゴミに入れて捨てるようになって、ゴミ袋がパンパンで袋2つで出すこともある。ゴミを減らす、リサイクル、いい方法を考えてもらいたい。ゴミ（生ごみ）がお金になる→肥料→野菜→市民が食べる（給食）。エネルギー、ガス、火力、風力、電気、太宰府市はこれをやるべき。
太宰府東	男性	50代	不燃ゴミの処理を休日（土日）でもできるようにしてほしい。
水城	女性	50代	畑を持っている人が堆肥で生ゴミを溜めているが、夏はゴキブリ、臭いで2～3年困っているが、そのままである。
水城	女性	40代	道路のゴミが多い。プラスチックフリーなど、もう少し環境問題を意識した施策がほしい。
太宰府西	女性	40代	紙やプラスチック等の回収は、利用しやすいようにしてほしい。
【施策22 未来に伝える景観づくり：3件】			
水城	女性	70歳代以上	神社、寺で有名な太宰府ですが、山や自然に恵まれています。それも売りになります。その山が荒れて、野鳥・昆虫が少なくなっています。草刈、木の剪定、きれいになりすぎて生きにくくしています。交通、犯罪の面では、見通しが良くなければならないのですが、下枝を切って上は伸ばさないと鳥が隠れる所がありません。実をつける木もあまり切りすぎないようにして下さい。数年前まではフクロウが巣を作っていたのに、木を切ってからは来なくなりました。大型の観光地にするには、山・自然・街全体を魅力あるものにしないとけません。美しい太宰府にするには、市民1人1人が意識を持って行動することです。
水城	女性	50代	環境、歴史は太宰府を語る時には欠かせない大切な柱だと思うので、現在進んでいる客館跡地の整備だけでなく、都府楼跡、坂本八幡宮周辺の整備においても原風景を残して、営業化しすぎない配慮をしてもらいたい。実際、子ども時代に遊び回った風景が40数年経っても大きく変わっていない。まるでタイムスリップしたような気持ちと呼び起こさせる。この風景は大切に守っていくに値すると思う。都市化しない田舎の太宰府をこの先も見て暮らしていけたら幸せである。道路、駐車場の整備は地域住民として市に取り組んでほしい。
水城西	女性	70歳代以上	旧水城村から太宰府町になり、太宰府市にと約80年、生まれてから長い年月過ぎてきました。令和になり、これから住み良い市であってほしいです。

【施策23 計画的なまちづくりの推進：19件】			
太宰府	男性	70歳代以上	北寿苑跡地の利用問題について、北谷区と早く話をしてほしい。太宰府は観光の街です。跡地を梅林、梅産地にしてはどうか。梅の街、梅を産業にして、景観のまちづくりをほしい。北谷ダムとダム周辺の公有地を運動公園、総合利用してほしい。北谷ダムができて、北谷は以前から洪水被害常襲地でしたが、昨年の洪水でもダム下流は被害がほとんどなく、みんな安心して稲作ができました。感謝です。北谷ダム建設時、事前説明ではキャンプ地の構想もあったと思います。子ども達の水遊び場、登山練習、あわせて小中学生、学童保育児童の遠足。キャンプの場、運動公園周辺も遊び場になると思います。北谷ダム周辺では、春の桜の時期にはダム屋上から市内、背振山脈、四王寺、福岡市内、志賀島、宝満山、若杉山と景色も良く、あわせて北谷運動公園のグラウンドゴルフ場の桜も知人、友人に紹介したら喜んでいきます。新名所です。太宰府市は景観を大事にする街になってほしいです。ダム下の公有地に平成15年の災害土砂と樹木（もちの木）の管理問題がある。行政の不法投棄ではないか。公有地管理について、北谷区役員と行政担当職員で、年1回以上の利用確認と景観の確認が必要だと思います。以上、この問題等は以前からの市町と語る会、県議と語る会等で北谷区の問題と話しています。
太宰府	男性	50代	松川地区に住む者ですが、お年寄りもたくさん住んでいます。「近くに小さなスーパーや道の駅等があればいいな」と皆言っています。この辺の人はスーパーに車で行くか、バスです。宇美町の方で買い出しする人がほとんどです（24時間のスーパーがあるため）。もう少し身近で買い物できたり、病院等ができれば凄く住みやすい街になると感じます。
太宰府	男性	40代	子ども達の公園に遊ぶ場がない。近隣の人の苦情で全く遊べない。ただの駐車場と化している。早急に対応してほしい危険箇所について、五条のパプテスト教会の裏の路地、平田製材所辺りまでのコンクリート壁が傾いて、しょっちゅう砕けてポロポロと道に落ちています。いつ倒壊するか怖いです。調査をしてほしい。
太宰府	女性	60代	観光客の目につく所は整備されていますが、そうではない所はあまり整備されていないと思います。
太宰府東	男性	70歳代以上	太宰府市が活性化するためには、社会資本の充実も重要な課題だと思います。また、人口増加対策についても積極的な行動が必要。前記を達成するための弊害が何なのか、検討することから始めてみてはどうか。考えられることは、非課税法人対策。大型住宅開発の可能性。空き家対策。国、市所有の大型空き地開発の是非。文化財保護に関する法律の見直し及び、それに関する特区検討。文化財を通じた市税収としての還元策の有無。太宰府市を観光都市とするのか、一点集中による対策。以上はすでに語られていることだとは思いますが、個人のつたない意見です。
水城	女性	50代	道路前にはアパートがある。道が整備されていないのに家や自家用車が増えて、歩くのが怖い。歩きづらい（特に高齢者。高齢者は「散歩しろ」と病院から言われるが、道路に歩道がない）。税金はたくさん支払っているが、いまだに30年以上自宅の前の市道はきれいにならない（税金が何に使用されているか不明）。
水城	女性	50代	歴史スポーツ公園のトイレをきれいにしてほしい。
水城西	男性	50代	太宰府市が福岡のベッドタウンとして街を計画するためには、春日市、大野城市、筑紫野市と比較して住み良いまちづくりをする必要があると考えます。タイミング良く令和で注目される街となっていますので、この数年の内に10年後、20年後、30年後の太宰府市を考えるべきでしょう。例えば、福岡県の中心企業である七社会を取り込んだまちづくりを計画的に進める。JRであれば都府楼南駅近隣を整備し、MJRマンションの建設を認可する。西鉄であれば都府楼前駅～二日市駅間の空地（二日市駅の手前）にサンリヤンマンションの建設を認可する。春日市や大野城市や筑紫野市はそのあたりが太宰府より優れているので、人口が増加がしていると思います。太宰府天満宮があることは他の市より優位であるが、その点をうまくいかしていない。市政は改めるべきであると考えます。とびうめアリーナではよく催しがあっており、活用できている感じですが、他にも施設があれば良いと思います（サッカー場、野球場等）。北谷は場所が問題。九州の県の中で、佐賀県は福岡県の隣にあるため、全て便利な施設が自県になくとも困らないため、福岡県に依存する形になっているように思われ、観光に関しても単なる通過県になっています。そのあたりは太宰府市も同じ環境なのではないでしょうか。他市に依存するのではなく、太宰府市としての努力も必要だと思います。
水城西	男性	50代	住みやすい、いたわりのあるまちづくりを期待します。

【施策23 計画的なまちづくりの推進：つづき】			
水城西	女性	30代	吉松2丁目に住んでいる者です。上の子が6歳、下の子が4歳で公園が大好きです。しかし、吉松の公園は小さく、最近ブランコがなくなり、老人向けのアスレチックに変わりました。近所のお子さんと「ブランコが好き」という子がいたのに残念そうでした。今は向佐野公園に徒歩で行っています。今年度から上の子が小学生になり、友達とだけや1人で公園に行く機会が増えると思うと、少し距離があるので心配です。吉松4丁目にスポーツ公園もありますが、大きい道路（31号線）を挟み、遊具がある所へも距離がありますので心配で行かせられません。ご近所のママさん達と、「吉松共同利用施設の隣にある宝満宮の所に砂場やドラム缶型の石だけでなく、すべり台やブランコがあれば良いのにね」という話になります。宝満宮に遊具を設けるのが難しいとしても、もう少し近くに広い公園があっても良いように思います。スポーツ公園の恩恵を受けてるのは吉松4丁目の人と青葉台の所だけのように思えてしまいます。今はゲーム機を持って、近所の子ども達が公園に集まる時代になっています。子どもが集まりやすい、集う環境をつくってあげてください。
太宰府西	女性	60代	太宰府らしい特長のあるまちづくり計画性を持ってほしい。
太宰府西	男性	70歳代以上	まちづくりは社会が多様化して難しいと思うが、若い人の活性化をはかるため、子育て支援と史跡利用をどうするか（交通体系を含めて）。
国分	女性	50代	坂本八幡宮が注目されて嬉しいことだが、交通渋滞の問題がある。観光客のためより、住民第一で考えてほしい。現在も国分から西日本シティ銀行とセブンイレブンの2つの交差点が渋滞しているが、西日本新聞のグラウンド跡地に住宅ができれば、また朝の渋滞が酷くなると思うので整備してほしい。免許証の返納が話題になっているが、今の現状ではバスは1時間に1本だし、近くにスーパーはないとなると、老後は心配になる。
国分	女性	50代	まちづくりに意見すると、住宅の増加に伴い道が狭いので、朝夕の渋滞をもう少し考えてほしい（建築許可の前に道路幅を考えてほしい）。
国分	男性	40代	住民の年代が偏らないよう留意してもらいたい（特にハード面の施策において）。開発型のまちづくりは、特定世代だけの流入になってしまいがちであるため。
国分	男性	60代	市内にはたくさんの史跡があって、土地の有効利用ができない。いろいろな条件があり建物等の建築が簡単にできず、税収不足の原因でもある。住み良いまちづくりだけでは税収不足となる。天満宮においても名前は知られているが、税収があるわけでもない。史跡地であっても有効に利用できる土地活用を考え、税収を増やさないと補助金をあてにする行政になる。
国分	女性	70歳代以上	施設の運用、利用がなされていないように思います。
わからない	女性	無回答	観光に力を入れるのはいいですが（天満宮など）、周りに住んでいる住民のことも考えてほしい。道幅が狭いので渋滞があるし、自分達が生活する上で利用している道路も混んでいて、とても不便です。駐車場を増やす、駐車場の場所を考える、利用できない道をつくるなど、何か対策を取ってほしい。横断歩道に人が立っていても止まらない車が多いです。とても危険なので、何かしら対策を取ってほしい。一旦停止の取り締まりを警察がしているのをよく見ますが、横断歩道の方が大切ではないか。
わからない	女性	70歳代以上	信号機と鉄道（西鉄電車）との間隔が短いので、右折の車の渋滞、事故等が起こりやすいと思う。
【施策24 地域交通体系の整備：65件】			
太宰府	女性	70歳代以上	都府楼、坂本八幡宮等、令和に入り来訪者が多く、マナーの悪さも目立っています。市民が止められていた駐車場も全く使用できていません。残念です。
太宰府	女性	60代	参道前の幹線道路は、日祝日の渋滞を解消する対策がほしいです。連歌屋地区に住んでいますが、住民だけは通り抜けても良いような裏道等を非常用につくっておいてほしい気がします。道路の歩道が非常に狭くて、歩くのにとっても不自由な思いをする区間があります（参道前の信号から連歌屋橋の方向）。打開策がほしいです。
太宰府	女性	50代	とにかく渋滞が多く、まほろば号も時間通りに来ない（土日祝、正月）。渋滞の改善をしてほしい。
太宰府	女性	50代	空港直行のバスはとても便利で助かります。西鉄太宰府線と大牟田線の乗り継ぎが悪く、これ程観光客が増えているのに改善されないのかと呆れます。
太宰府	女性	40代	筑陽学園前バス停の脇道を一方通行にしてほしい（離合できないので）。

【施策24 地域交通体系の整備：つづき】			
太宰府	男性	60代	天満宮駐車場へ行く道に住んでいます。参拝の車で、家にたどり着くのにとっても時間がかかります。天満宮への専用道路をつくってほしいと思います。
太宰府	男性	50代	福岡県道35号線の北谷～松川区間の道路拡張工事が一向に進んでいない、朝夕の交通渋滞が慢性化している。今後の計画はどのようになっているのか。太宰府市三条のセブンイレブン付近の民間駐車場に大型バスが出入りしているため、道路の往来を妨げ、交通渋滞が発生している。大型バスの乗り入れ規制等を考えてほしい。県道35号線の北谷～松川～三条までの歩行者用道路の整備が必要です。通勤、通学等に使用する歩行者道路は一部狭い所や、歩行者道路がない所もあるので非常に危険です。4月からは小学校の新1年生達が通学します。早急に整備をお願いします。今後の少子高齢化を見ずえ、親世代、子世代、孫世代と「子育てしやすい、住みやすい、働きやすい歴史や文化の太宰府市」と言われる市を目指すよう期待します。
太宰府	男性	50代	西鉄五条駅周辺道路の歩行者用通路が狭すぎる。まず、道路の整備をお願いしたい。駅前なのに活気がなく、暗い。なぜなのか、そこを考えてほしい。
太宰府	女性	40代	天満宮周辺は良いが、少し離れた所には街灯が少ないし、交通は不便。今は自家用車があるが、高齢になって太宰府には住めないと思う。買い物（通院）弱者が周りに多く、どうにかならないのかと思う。天満宮周辺の渋滞は本当に迷惑。
太宰府	女性	30代	五条駅の踏切を渡ろうとしていた2～3歳くらいの子の手を取り、乳児を乗せたベビーカーを片手で押す母親に罵声を浴びせていた人がいました。知人ではないようでした。ただ、親子を避けて歩くことで、自分が車道に出してしまうから危ないとのこと。いきいき情報センターや保育園が近場にあります。そこへたどり着くまでの間もやさしい安心な道中であれば良いと願います。
太宰府	男性	50代	太宰府天満宮に多くの観光客が来ていますが、金につながってないのではないかと道が渋滞して迷惑しています。
太宰府	男性	40代	道沿いの側溝を埋めて、道を広げてほしい。
太宰府	男性	60代	昔に比べ観光客が増え、家の前の道路（太宰府駅から宇美方面への道）が車で渋滞し、土日はもちろん正月は特に車で出られません。何とか、少しでもどうにかできないものかと以前から常に思っています。よろしくお願いします。
太宰府	男性	70歳代以上	運転免許返納者への交通手段の援助。
太宰府	女性	60代	長年住んでいるので満足度は高いですが、近年の道路環境には大変困っています。
太宰府東	女性	60代	だんだん高齢者が多くなり、商店がなくなり、交通面でも心配に思います。
太宰府東	女性	50代	マミーズ跡、佐賀銀行の跡を何とかしてほしい。道が狭い。渋滞で疲れる。
太宰府東	女性	50代	近隣他市に比べ高齢化、少子化が著しいと思われるが、予算も少ないと思われる。少々対応が遅延しているように思われる。観光に力を注いでいるが、それほど市民に返っている感じが薄いと感ずる。道路交通の整備が遅いと思う。バスを入れたいのであれば、住民の暮らしも少しは考えてほしい。高齢者の運転が多く、怖い時がある（多々）。なので、タクシーを増やす（夜間）努力が必要で、免許を返納させる努力も必要だと思う。
太宰府東	女性	40代	道路がとても変で、無駄な所が多い。交通量に対して信号の長さなどもあっていない。この財源を確保すべき（もったいない）。
太宰府東	男性	50代	老化した道路の整備。
太宰府東	男性	40代	道路のアスファルトがぼこぼこ。天満宮周辺にばかり金をかけないでほしい。その他はまるでやる気なしか。市民に対して満足できるまちづくりを願います。
太宰府東	男性	20代	マミーズ跡地前の駐輪場から五条駅に向かう際の歩行者側の道路が大変狭く、自転車との離合の際などに大変危険なため、早急に対策を打ってほしい。
太宰府東	男性	50代	基本的には住みやすい街なのですが、アンケートの回答でも答えた通り、西鉄電車を利用する際、二日市～太宰府線の本線につながる時間帯が（連絡悪し）非常に不便である（時間帯によってはかなりの待ち時間あり）。また、駅発の西鉄バスの発車時刻がうまく設定されておらず、非常に不便（五条駅始発なので調整できると思いますが）。市の方からも西鉄に交渉してほしい。よろしくお願いします。

【施策24 地域交通体系の整備：つづき】			
太宰府東	女性	70歳代以上	団地内の道路の側溝に蓋がない所が数ヶ所あります。早めに取り付けてもらえると助かります。
太宰府東	女性	70歳代以上	整備されていない五条駅周辺の道路（一方通行等）は人通りが優先なのか、人が優先なのか、昔から進化していない。改めて太宰府に帰ってきてびっくりした。住民にとってあまりにもやさしくなく、これからの先の老人世代には厳しいものだと思う。もっと行政としては研究するべきだと思う。
太宰府南	女性	30代	明るい公園（大濠公園のような）があると、みんなの交流ができて良いと思います。
太宰府南	男性	70歳代以上	五条周辺の区画整理をし、道を広くし、歩道を広くし、ゆったり歩けるようにすること。いきいき情報センター周辺と五条交差点と君畑交差点は、45年前から全く変わっていません。
太宰府南	女性	30代	どうでも良いところにお金を使わないで、市民、子ども達が安全に生活できる道路整備、街灯を付けるなどしてほしい。観光客が観光しやすい街にするのではなくて、まずは市民のことを第一に考えてほしい。前から中学校が給食になると言っているが、いつですか。市長が変わっても何も変わらない。保育園にも入れず、働けない。近所の信号は高齢者の信号無視が酷すぎて、子ども達が危ない（梅ヶ丘のセブンイレブンの信号）。
太宰府南	女性	50代	JR二日市と太宰府間にバスがあるといいと思います。西鉄では行けませんが、二日市へもバスがあれば高校の自転車も減り、観光客もJRを使ってスムーズに行けると思うからです。もちろん私も使いやすいから。
水城	女性	70歳代以上	駐車場税を取っているが、交通事情は良くなっていないように思います。
水城	女性	60代	年末年始の道路の渋滞解消。
水城	女性	50代	坂本区の街灯が九州電力かNTTか不明だが撤去された時（2年くらい前）に減って、1個なくなって区長や市役所に電話したが、まだ設置されていない。
水城	女性	40代	令和になり、一段と太宰府市が目ざされ、他県や諸外国から訪れる観光客も増えていると実感します。車の渋滞対策も検討の程をお願いします。
水城	女性	40代	JRとの連結が悪いので不便。
水城	女性	30代	渋滞が酷い（特に線路周辺）。観光バスが多すぎて、渋滞が酷いことがある。年末年始、七五三シーズン以外でも、平日にもある。一方通行、進入禁止時間指定の標識わかりづらいところが多く、わかりやすくしてほしい。
水城	女性	20代	夜の電車の駅が怖すぎる（JR、西鉄）。
水城	男性	70歳代以上	政庁通りの視覚障害者のための点字ブロックだが、目を覆うばかりの惨状である。自動車が乗り入れるから破壊するのであろうが、点字ブロック部分を掘り下げて設置するという事はできないのであろうかと考えたことがある。周囲の敷石の配置に工夫がいるが、できないことはないと思う。「ゴミや泥が詰まって掃除が大変」という声がすぐ想像できるが、その時は「掃除すればいいのではないか」と言いたい。それが障害者への愛であろう。自転車の通行は原則車道だと思うが、歩道が広いとつい走りたくなるし、実際に走っているが、点字ブロックの位置と自転車の走行路の配置は大いに検討を要するところだと思います。
水城	男性	60代	道路の舗装のひび割れ、陥没が多い。道路の安全性が問われる。改修作業を早期にすべき。土日祝日の道路渋滞が酷いため、天満宮行きの専用道路をつくるべき（大駐車場まで）。御笠川上部を通る道をつくる（大駐車場まで）。有料道路をつくる、前記分はまず交通調査をするとわかる（約80%~90%）。
水城	男性	70歳代以上	天満宮までの道路が混雑するので、思い切って道路をつくってほしい。まほろば号を西鉄二日市駅東口（イオン側）、観世音寺から天満宮の方へ走らせてほしい。
国分	女性	40代	踏切が開いている時間が短い。高架にしてほしい。

【施策24 地域交通体系の整備：つづき】			
水城	男性	70歳代以上	時々利用する駅までの道路の歩道が、車道側に傾いているのがいつも気にかかる。昼はともかく夜などは暗くて、車道を歩いている人が結構いるので非常に危険を感じることもある。市内にこんな道が結構あるのではないかとと思っている（通古賀3丁目の自宅マンション前～西鉄都府楼前駅までの道）。
水城	女性	20代	西鉄大牟田線は利用しやすいです。JR線は利用しにくいです。例えば、JRを利用する場合、西鉄で二日市下車後、西鉄バスでJR二日市へ。旧3号線でバスが利用できれば、乗り換えなしでJR二日市駅まで行けます。二日市は筑紫野市なので、まほろば号の運行は無理なのでしょうか。
水城	女性	40代	御笠川沿いを散歩することがあるのですが、柵がある所とない所があるので、できれば柵をきちんとつけてほしいです。
水城	女性	70歳代以上	太宰府駅方面から梅大路の信号までがいつも渋滞している。酷い時は連歌屋まで渋滞している。太宰府駅の信号より大駐車場への右折ができなくなってから、住民は迂回する方法がない。五条交差点で大駐車場方面から右折する時間が少ない。また、五条交差点で市役所方面から五条方面への右折が1～2台しかできない。これは、太宰府駅方面から直進してくる車が赤信号でも進入してくるためである。両方に右折信号の矢印をつけてほしい。楠田市長になってから市の発展や新しい改善などが全く見えません。太宰府愛を感じません。
水城西	女性	50代	市役所までの道路の渋滞を緩和。
水城西	女性	30代	道路が狭い所がある。道路状況が悪い所があります。
水城西	男性	50代	西鉄の踏切は太宰府、五条、二日市、都府楼前、いずれも朝夕のラッシュ時は大変渋滞し、ストレスになります。大野城市下大利までは高架になるのに太宰府市は何をしているのか。西鉄に対して交渉力がない。1日も早く高架にすべき。
水城西	男性	40代	洗出の交差点の渋滞が酷く、危険です。西鉄の高架化を望みます。
水城西	男性	50代	マミーズ横の西鉄踏切での車の渋滞。バイパスからの右折が、夕方はなかなかできない。上のバイパスから直接降りられるようになれば、便利だと思う。
水城西	女性	40代	西鉄都府楼前駅のホームを広くしてほしい（西鉄に何度もお願いしているのですが）。
水城西	女性	50代	自転車で通勤していますが、水城駅前や吉松に行く道が狭くて怖い（昔よりは整備されましたが）。
水城西	女性	50代	JR水城駅周辺について改善してほしい。吉松の踏切の十字路に中央分離帯の3列ポールがあるが、踏切の左折で止まっている横を無理に直進する車が多い。3列ポールが逆に事故の原因になっているように思う。1列でも良いのではないかと。また、JR水城駅の一時駐車場（乗り降り）が工事により歩道になる。歩道も大切なことも理解しているが、駅に一時駐車（停車）がないのは、今の時代どうなのか。水城駅は大野城市になるが、太宰府市民も多く利用している。南福岡自動車学校横の東屋（ほとんど利用されていない）を一部利用するなど、大野城市と話し合いをして改善できないものか。
水城西	女性	60代	車の運転ができなくなってからの外出の方法を考えた時、バスの利用がスムーズにできるか。
水城西	女性	70歳代以上	踏切の改良、拡幅。コミュニティバスの路線の見直し。
太宰府西	女性	60代	自宅付近にはスーパー、病院（内科、歯科、総合病院等）がありません。また、せめてJR水城駅付近にコンビニがあれば良いと思います。太宰府天満宮方向へは、土日祝は渋滞が激しいので近づけません。土曜日に市役所に行きたくても、かなりの時間を要するのでイライラします。以前、三条付近に住んでいましたが、渋滞時は自宅に帰りつくまでにいつもは数分の道に30分以上かかったことがあります。道路の整備をお願いします。
太宰府西	女性	40代	道路について、アップダウンが多く、自転車や徒歩での移動がしにくい。歩道と車道の段差や路面の悪さから、車イスやベビーカーを押すことが不便。電柱が多く、道路が狭い。外灯が不十分で、夜道が暗い。天満宮への道路の渋滞をどうにかしてほしい。まほろば号で下大利駅まで行けると助かる。

【施策24 地域交通体系の整備：づづき】			
太宰府西	女性	70歳代以上	点字ブロックの設置の仕方に疑問があります。「道路の途中で突然なくなる」と実際に使う人の意見を聞いて、「太宰府市内は安心して歩けるよ」というようになっていない。ご一考を。市役所の前の道路に瓦が敷いてあるが、強度的にも問題だし、雨に濡れるとすべりやすくなる。材質的には向かないのではないかと。
太宰府西	女性	70歳代以上	福岡都市部と南部をつなぐ道路が太宰府に集中していて、運輸車両が多く、渋滞が常態化している。バイパス等の整備を九州全体で改善してほしい。歴史的な建造物周辺が混雑していて、美しさが半減している。観光は重要な財源だと思うが、根本的な整備が必要だ。空港、博多駅からの太宰府の交通アクセスが渋滞の影響を受け、問題がある。コミュニティバスは便利だと思うが、JR駅との連携に不便さを感じる。
太宰府西	女性	70歳代以上	1時間に1回程度のコミュニティバスでは何の役にも立ちません。バスの回数を増やしてほしい。バス停の場所もわからない。不便です。福岡市内で買い物は済ませていますが、高齢になるとそうもいきません。これからが心配です。太宰府市内にはそろそろ50年になります。
国分	女性	50代	都府楼前駅周辺に車の駐車場がほしい。
国分	女性	20代	国分小校区に住んでいますが、山の方にも（国分5丁目付近）バスが通るといふ計画があるという話を耳にしたことがあります。その計画がどのようになっているのか知りたい。家の近くに自販機がほしい。
国分	女性	70歳代以上	以前に比べると、史跡周辺（道路）が整備されていると思う。
わからない	男性	20代	太宰府天満宮付近の渋滞緩和にもっと取り組んでもらえると有り難いです。
無回答	無回答	無回答	助成制度を充実してほしい、例えば、他市からの移住、他市との連携制度。例えば、コミュニティバスの路線乗り入れ。太宰府市には魅力的な商業施設がなく、筑紫野市・大野城市・春日市の施設を利用することが多い。
無回答	女性	無回答	青葉台に住んでいますが、コミュニティバスは少し坂道ですので、上の方にバス停をつくってほしいと思います。
【施策25 良質な水道水の安定供給：8件】			
太宰府	女性	50代	太宰府市は水道料金が高すぎて、何かと不便を感じる。ずっと太宰府に住みたいと思わない。税金なども、市民が住みやすいように使うべきだと思う。
太宰府	女性	20代	太宰府市は水道代が高すぎて困っています。
水城西	男性	50代	県下にて降水量は1、2位を争うのに、水道料金が高い。集合マンションの給水に、直結給水を認めないのは水道法違反ではないのか。
太宰府西	女性	60代	水道料金が高すぎる。
太宰府西	女性	40代	水道料金が高い。
太宰府西	無回答	70歳代以上	水道料金がとにかく高い。
国分	男性	40代	水道代が高すぎます。
国分	女性	60代	もう少し水道代を安くしてほしい。
【施策27 産業の振興：15件】			
太宰府	女性	60代	ふるさと納税の返礼品に令和にちなんだ品を考案されてはいかがでしょう。
太宰府	女性	50代	せっかく観光客が増えたので、お金を使ってもらえるよう、おしゃれなカフェや雑貨店、パン屋さんを誘致してほしいです。
太宰府	女性	30代	若者が仕事のために市外へ行きます。市内で若者が働ける場所、雇用を充実させてほしい。そのために子育てしやすいまちづくりを目指してほしい。SDGsをもっと広げて、太宰府をずっとそのまま継続すべきです。市民1人1人の意識改革のために、市は頑張してほしい。不安なくこの市で生涯を終えたいです。
太宰府	男性	40代	あれこれ特産物が増えすぎていると思う。
国分	女性	60代	企業誘致をして地元若者が多くいてくれると、街が活気づいてくるのではないかと。

【施策27 産業の振興：つづき】			
太宰府東	女性	70歳代以上	少子高齢化は進む一方だと思えます。子育て世代が市に入ってきてやすい環境は必要だと思えますが、以前に比べると充実しているように感じます。産業振興を進めて、市の財政を増やすことは難しいとは思いますが、観光だけに頼るのではなく、知恵をしぼってほしいです。
太宰府東	女性	70歳代以上	五条マミーズの跡には、これから店を開業したい人向けのチャレンジショップや近隣の大学の勉強、経営の実践の場にしたらどうでしょうか。チャレンジショップは確か重富町が行っていて、成功した人は後に店を開業したそうです。高雄公園で軽トラ市を開催してほしい。
太宰府東	男性	70歳代以上	西鉄五条駅の横（マミーズ）に早く開店してください。
太宰府南	女性	70歳代以上	高雄にスーパーがないのでつくってほしいです。
水城	女性	60代	「太宰府は大きな企業がないから財源がない」とよく聞きます。なくても、市民が満足しているという気持ちがあればいいと思えます。日本でも有数の良い土地に住んでいます。これからもこの地に住んで良かったと思うように、市の格を上げて下さい。近くに店がないので、日用品が揃うような店ができれば言うことなしです。
水城	女性	20代	街に居酒屋が少ない。活気がない。
水城	男性	50代	太宰府ブランドのPR（今、チャンスだと思えます）。
太宰府西	女性	70歳代以上	いきいき情報センターの1階の空き店舗の有効活用をしてもらいたい。閉店しているだけに活気もなく、寂しいです。
わからない	女性	30代	令和の街としてもっとアピールし観光客を迎え入れたいが、道路が狭かったり、宿泊施設（ホステルなど）が少ないので、1回で飽きられてしまっている気がします。何度も訪れたくなるような場所にしたいし、どんどん新たな風（飲食や販売）を取り込んで、「意外におしゃれな街だね」と言われるような市になってくれれば誇らしいと思う。そのために市が補助金を出して、新たな取り組みを行ったりできるような、若者が挑戦したくなるようなことをやってもらえたら嬉しいです。
無回答	無回答	無回答	青山1丁目に住んでいる者ですが、スーパーが建ってほしいです。
【施策28 文化遺産の保存と活用：6件】			
太宰府南	男性	70歳代以上	新元号令和の縁の地になった、私達が住んでいる太宰府市である。この絶好の機会（チャンス）をいかして、後世に継げるものを構築してほしい。文化財等の維持管理で多くの予算が必要であるが、本市には生産性を感じるものがほとんどないと思慮されます。このため、研究部門を含んだ企業誘致するためのインフラ整備を計画してはどうか。本市の観光地は天満宮に偏っているが、他にも重要な施設が多数ある。このため、周遊できるように考えてほしい。PRを盛んにしてください。
水城	女性	70歳代以上	私見ですが、観世音寺の仏像群のPRをしてもらいたい。
水城	女性	50代	客館跡近くに住む身としては、客館跡という貴重な文化遺産を太宰府の観光資源としていかにかしていくのか期待しているところですし、自治会活動として協力していけると良いと思っています。西鉄二日市駅から客館跡、坂本八幡宮、政庁跡、天満宮、榎寺というルートをもっと注視してもらいたいという思いがあります。
太宰府西	女性	60代	都府楼跡は訪れる人も多くなりましたが、当時のような建築物を再現したものを立ててほしいと思えます。ぜひお願いしたいです。「生きている間に見れたらいいね」と太宰府在住の友達と話しています。
太宰府西	男性	40代	太宰府は日本でも有名（知名度のある）な市町村であると思うが、それをうまく活用できていないような気がする。
国分	女性	70歳代以上	国分の文化ふれあい館はあまり役に立っていないと思えます。もう少し有効な使い方はないでしょうか。市長に期待しています。
【施策29 観光基盤の整備充実：19件】			
太宰府	女性	50代	現状の太宰府での生活に満足しています。1人暮らし（未婚、子どもなし）のため、行政に対しての関心がないわけではありませんが、不満や意見を申すほどの経験をしておらず、アンケートに十分答えられずすみません。太宰府に求めるものは、観光産業を基盤にしたまちづくりの整備と自然の保護です。

【施策29 観光基盤の整備充実：つづき】			
太宰府	女性	50代	天満宮の近くに住んでいますが、せっかく良いイベント、参加してみたいと思うイベントを実施しても、いつも情報発信が市外に向けて行われているようで、市外の友人に教えてもらったり、新聞で翌日知ったりしてがっかりさせられることが多々あります。
太宰府	女性	20代	政庁跡から天満宮までの政庁通りは店舗が少なく、閑散としているイメージが強く、寂しい感じがする。複社をもっと観光に取り入れると良いと思う。9月のお上りの儀、お下りの儀等、素晴らしい行事なので、全国的にアピールしてほしい（地元民、移住者でも知らない人が多い）。
太宰府東	女性	40代	観光のPRができてなさすぎる。長崎などを見習い、民間の企業に任せて対策すべき。「太宰府天満宮」と検索してみてください。市のホームページが出てくるのみで、見ても全くわかりにくい（子ども向け、外国人向け、他県の人向け、全くできていない）。日本でも有名な地なのに恥ずかしいです。
太宰府南	女性	20代	令和の郷、太宰府天満宮で盛り上がっているように見えるが、実際はその周辺だけが盛り上がっている状態で、全体がそうではない。企業があまりない市だから観光に力を入れる点はわかるが、雇用に結びついていないのは問題であると思う。太宰府に住んでいるメリットがあまりないと思う。筑紫野市の方がメリットがある。観光で売るつもりなら、五条付近くらいまで観光地にした方がいいと思う。
太宰府南	女性	30代	外国人観光客の増加に伴う治安悪化、美観が損なわれることを防止する対策をしてほしい。
太宰府南	男性	70歳代以上	令和ゆかりの地、太宰府として、全国へ積極的にPRして、観光都市太宰府市へと躍進脱皮してほしい。
水城	女性	20代	天満宮以外の観光名所をつくる。
水城	男性	70歳代以上	『花火大会』を開催してほしい。
水城	女性	40代	太宰府天満宮だけではない。太宰府市の観光都市づくりをもう少し頑張ってもらいたいと思う（伊勢市のような）。従来から住んでいる人からの目線、若い人からの目線など、いろいろな視点から意見を取り入れてほしい。リピーターの増えるようなまちづくりをしてほしい。
水城	女性	60代	令和の里にふさわしい、観光都市としてのまちづくりに力を入れてほしい。景観に配慮した建造物の推進、ゴミのポイ捨て禁止や禁煙区域を増やす等。また、太宰府市のシンボルとなる所が天満宮しかなく、他に大伴旅人邸復元等もおもしろいのではないかと思う。観光地に道の駅も必須だと思う。
水城西	女性	50代	太宰府天満宮にせっかく多くの人に来てもらっているにも関わらず、大したお金を落としてくれないように思えてならないので、宿泊施設の充実や海外からの人達とイベントをして交流する。とびうめアリーナの活用。
太宰府西	女性	40代	天満宮への観光客等で潤うのは参道や天満宮自体だけのように感じられるが、観光都市としてもっとより良い活用ができるのではないかな。
太宰府西	男性	70歳代以上	観光事業を天満宮だけに頼らないで、坂本八幡宮、政庁跡等の総合的発展をもっと進めてほしい。本当はとびうめアリーナをつくる前に、政庁跡のシンボルである七重の塔を建設した方が太宰府の発展のためには良かったのではないかな。中央行政とのパイプをいかした市行政の改善、改革を期待します。楠田市長の手腕に期待しています。
太宰府西	男性	70歳代以上	天満宮のための太宰府市ではない。観光、施設、美化、新旧のリフレーミング、老若男女の改善を要す。
国分	女性	50代	観光については坂本八幡宮、竈門神社と全国的にも注目され、観光についてますます榮えてとても良いと思います。
国分	男性	50代	都府楼前駅（西鉄）、県外からの観光客が利用しているのに、看板だけが新しく設置されただけで他はあまりにもお粗末。できれば太宰府天満宮までの案内ガイドパンフレット等を置き、また案内経路の看板もわかりやすく設置してほしい。何よりトイレの汚さには閉口してしまいます。せっかく全国に知られる名所となったので、市民として自慢できる所にしてほしいと思います。
国分	男性	60代	太宰府市と筑紫野市はタイアップして、太宰府への観光客が二日市温泉にうまく宿泊して、お金を落とせるようにしてほしい。持ち帰りに不向きな梅ヶ枝餅に変わる、クッキー的な新しい土産を開発してほしい。
無回答	女性	70歳代以上	市長はじめ、職員の尽力には感謝しています。しかし、天満宮には外国人ばかりで、高齢者がお参りに行くのにいつも困っています。

【施策30 国際交流・友好都市交流の推進：1件】			
わからない	女性	50代	せっかく令和でも注目を浴びているので、積極的に文化交流を進めてほしいと思います（日本の他県、海外の都市）。全国的に太宰府の名前は知名度が高いし、太宰府に何があるかわかっている人は多いです。それを利用して文化財をアピールするというよりも、この街でいろいろなイベントをやってほしい。画期的な新しいイベント（よその真似ではなく）に来てもらうような活動をしてほしいです（例えば、海外の神様（ギリシャ神話の神様）の博覧会をする。フランスの修道院展をする。道真公の神様つながり）。どんどん海外と交流してほしい。太宰府ならではの食べ物もつくってほしい。
【施策31 市民参画の推進：6件】			
太宰府南	男性	70歳代以上	自治会が高齢者が多くなり、市報配り、組長などの継続がこの先どうなるか心配です。私の住んでいる地域だけでなく、太宰府市全体ではないでしょうか。
水城	女性	40代	各公民館をもっと使いやすくしてほしい。
水城	男性	70歳代以上	多くの自治会が自立していない。行政は自立へ向けての支援と、小学校区ごとのコミュニティセンターの建設の検討をしてほしい。
国分	女性	30代	PTA、自治会、育成会などの組織がわかりにくく、何をしているのかもわからないのに役員等が回ってくる。情報をわかりやすくして、誰でも得られるようにしてほしい。また、住んでいる地区などで格差がないようにしてほしい。
国分	男性	70歳代以上	まちづくりも地域交流も、1人1人が注意すること。
国分	男性	60代	新旧市民の交流機会がもっとあっても良いのかもしれない。
【施策32 情報の共有化と活用：6件】			
太宰府	女性	50代	情報発信には工夫をしてもらいたい。人（近隣）からのコミュニケーションでの情報ではなく、いつでも、誰でも情報が取れるようにインターネットコミュニケーションを強化してほしい。市政だよりは紙媒体でなくても良い。福岡市のようにLINEでPush機能の活用すれば、若い人はいつでも見られる。高齢化サービスも必要だが、未来を支えるためにも若者が住み慣れたまちづくりが必要であり、若い人達の行政参加や意見が反映されることだと思われま。個人的には、水城地区の情報はほとんど知りません。
太宰府	女性	50代	下に描かれている新キャラクターもかわいらしく、万人から好感を持たれるキャラクターだと思います。
太宰府	女性	30代	計画期間の最終年のようですが何か得られたのでしょうか。対象年齢が18歳以上でしたが、2分の1成人式を行う10歳や小中学校を卒業する12歳、15歳に聞いてみてはどうですか。子ども目線だから気付かされることもある。将来を担う子ども達です。コミュニティ無線は、何を言っているのか聞き取れないことが多いです。特にこの寒い時期の家は閉め切っています。また、聴力が弱い人にはどのように伝えているのですか。
太宰府南	女性	60代	満足度の部分で「わからない」としたのは、施策1から33の項目で現在の状況が見えていないためです。見せる努力をお願いします。SNSの活用、福岡市のようなLINEを使った質問受付、回答など。
わからない	男性	20代	子育て支援など、どのような補助があるのか詳しく知りたい。今後、子どもをつくるなどを考える際に情報が少なく、不安である。若い世帯でも暮らしやすい街にしてほしい。
無回答	女性	70歳代以上	市広報その他が横文字で書いてあるし、高齢者はパソコン等を使えません。日本語で記入をお願いします。
【施策33 市民のための行政運営：29件】			
太宰府	男性	70歳代以上	観光都市太宰府に市民の皆さんが協力している。特に天満宮は全国的に知名度も高く、そこへの観光・参拝者は全国でも有数である。天満宮本体ももう少し市民に金銭的な還元をしてもらいたい。例えば、体育館その他諸々、市民に喜んでもらえるよう、目に見える形での行動をお願いしたい。
太宰府	女性	40代	図書館の建て直し（古くて暗いので）。

【施策33 市民のための行政運営：つづき】			
太宰府	男性	40代	差別をなくしてください。上から目線で言わないでほしい。理解できない、わからないから市役所へ行って教えてもらいたい気持ちで行っているのに、もっと市民、困っている人にやさしく、わかりやすく説明をお願いします。中には寄り添ってやさしくしてくれる人もいます。
太宰府	女性	50代	市中心部から離れた地域は高齢者が多いのに、交通が不便。市役所の出張所を設けるべきだと思う。
太宰府東	女性	70歳代以上	税金の使いみちについても、正しく使われているのでしょうか。市議会議員の数も、もう少し少なくないと思います。各自治会や太寿会（老人会）等に市から補助金（地域運営補助金）が支給されていますが、決算についてはそれぞれ適切に運営されているか、市の方ではチェックされているのでしょうか。疑問に感じています。市の職員も年々若い人達が入庁し、良い方向に変わること期待しています。
太宰府東	女性	50代	選挙の時、夜に仕事をしている人もいるのに、選挙カーがうるさい。交通ルールを守っていなかった。
太宰府東	男性	70歳代以上	安心して歩ける歩道を多くしてください。車の数を少なくしてほしい。市の財政を多くしてほしい。税金を少なくしてほしい。緑を多くしてほしい。雑草、ゴミを少なくしてほしい。川をきれいにしてほしい。人口が増加しないのはなぜか考えてほしい。市役所に天満宮課をつくって協議してほしい。天満宮から税金のようなものをもらってほしい。
太宰府東	男性	20代	マミーズの跡地に入る店舗を早く決めてほしい。
太宰府東	男性	40代	以前、ゴミの出し方の問い合わせを電話で行ったところ、「冊子で出しているはずだ」等を威圧的に言われた（男性職員）。気軽に相談できないのかと不愉快になった。市職員の質の向上を求めます。
太宰府東	男性	50代	観光客が増えても、観光に携わる仕事をしている人以外の市民には何の恩恵もない。観光収入を市民に還元してほしい。
太宰府南	男性	40代	土曜日に開庁しているが、取り扱い内容に不満。月に一度で良いので、住民課以外も手続できるようにしてほしい。
水城	女性	50代	市にお金がないのなら、たくさんの給料を民間よりもらっている市役所職員の給料を下げるべき（たまに民間で働いて、民間企業の厳しさを知ってほしい）。
水城	男性	40代	天満宮を中心に動いている街であるにも関わらず、税収が少ない。税収が入る仕組みづくりが必要だと考えます。一部の人間だけ良い環境になっていないのか。良い街、まちづくり、楠田大蔵市長の新しい取り組みに期待します。よろしくお祈いします。人口が増え、みんなが住みたい街、AIを利用した住みやすい街、中国のアリババ等がやっていることを太宰府に取り込んだり等、大きな変化を求めます。
水城	男性	40代	行政職員は高齢者や子どもの目線に立って、街中を自分達の足で歩いてみてください。どこに危険があるかわかってくると思います。どのような危険があるかわかると思います。街を活性化するのは高齢者ではなく若い世帯であり、子どもだと思えます。そのバランスが悪いと感じてしまいます。これからも街のため、市民のために日々の業務を頑張ってください。
水城	男性	30代	天満宮からお金（税金）をとってほしい。交通面で負担を負っているにも関わらず、税金をもらえないのは不満。ぜひ中学校の給食センターや、小学校への給食エレベーター全校設置の資金にしてほしい。
水城西	女性	60代	高齢者が増加していく中、市としてその人材の活用。市外等へのアピール、行動も大切であるが、市民に対してすべきことがもっとあるように思われる。市内に来る外国人が多いのに対して、居住している人が少ないのはなぜかということも考えるべきである（別の外の市に比べて）。
水城西	女性	40代	給食（中学）の問題にしても、前市長だけのせいにはいけないと思います。議員がいて、なぜそうなったのかよく考えてほしい。議員の活動が全く見えず、何をしているのかよくわかりません。議員だよりも書いているだけという感じです。行政とは大変なことではと思うが、太宰府市には情熱が感じられず、選挙にも行く気になれません（行っていますが）。

【施策33 市民のための行政運営：つづき】			
水城西	女性	30代	子育てや障害者福祉など他市と同じようなサービスではなく、太宰府市独自のサービスを設けてほしい。
水城西	男性	50代	質問に対して補足資料が何もない。例えば、水道料金の近郊地比較、住民税の比較、まほろば号のバス路線図、大韓民国扶餘郡の位置、太宰府市の人口推移など。
太宰府西	女性	50代	令和の年号で有名になり、良かったと思います。人口が増える対策があれば良いです。
太宰府西	男性	40代	私達の子育ての場所として選んだ太宰府市を、子ども達も選ぶ太宰府になってほしいと思っています。よろしくをお願いします。
太宰府西	女性	60代	いきいき情報センターの中の保健所、地域包括支援センター、市役所等、太宰府市の東側に集中していますが、大野城市との市境にある所に居住している人にはとても不便です。まほろば号の利用は都府楼前で乗り継げますが、天候の悪い日には利用が不便です。夏の日射し、冬の寒さ等、高齢者には過酷です。その解決策にとびうめアリーナに出張所を設けるか、いろいろな手続きをもっと簡単にして、書類の発行などを郵便受取などに変更できたらどんなに楽でしょう。善処を願います。市役所、図書館のトイレをリニューアルしてほしいです。職員の人も使っているのなら、なおさらだと思います。
太宰府西	男性	70歳代以上	行政職員が一生懸命働いている様子は感じられるのですが、あと一步、積極的な発想や問題意識を常に抱く姿勢が必要なのではないかと思います。
太宰府西	女性	40代	市役所の場所が不便。とびうめアリーナでもサービスを提供できるようにしてほしい（証明書の発行等）。市役所への提出物について、「なるべく郵送してください」という物は切手不要にしてほしい。
太宰府西	女性	40代	市役所で働いている人数が多いと感じる。
国分	女性	60代	令和の元号により様々な業務が加わり、日々の仕事をしていることだと拝察しています。
国分	女性	50代	他市にも書類を取りに行ったりするが、「太宰府市役所はちょっと」と思うことがある。少数精鋭で、税金の無駄をなくしてほしい。
国分	女性	20代	市役所～まほろば号のバス停のアーケードをつくる前に、あれは必要ですか。金の無駄遣いだと思う。税金が高すぎる。払っていても何も恩恵を受けていない。市役所の人は説明が下手で、回りくどい。市民は数が限られるような用事で行くのだから、知らなくて当たり前です。態度が酷い。提出の催促のハガキを出すのはいい気がしません。協力したくなる市政運営を求めます。封筒にせめて両面テープを付けたらいかがですか。
国分	男性	60代	太宰府市職員の質の向上（責任を持てる管理職の育成を含む）。職員に余裕がないように思います。市民の立場に立った考え方が少ないと思います。歌碑が無計画に多すぎる。景観の邪魔になってきているように思う。国の行政改革の影響か、職員が少なすぎるのではないかと思います。親の死亡手続き時、手続きが複雑で書類の説明や受付不備が多かった。相対的に正職員が少なすぎるのではないかと思います。

附属資料

附属資料<使用した調査票>

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力のお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～令和2年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に〇印でご回答いただき、2月21日（金）までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの18歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので、個人情報観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※返信用封筒に印刷しているバーコードは、郵便番号818-8790をバーコード化したものです。よって、すべての封筒に同じバーコードを印刷していますので、個人を特定するものではありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

令和2年2月

太宰府市長 楠田 大蔵

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に〇印をつけてください。

③ たとえば、「〇は1つ」や「2つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところをお願いします。

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係
電話 921-2121（内線535）

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(令和2年3月末時点で)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他()

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他() |
| 5. 家事専業 | |

付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 1から6以外の福岡県内市町村 |
| 4. 春日市 | 8. 福岡県外 |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(令和2年3月末時点で)

次の中からお選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中からお選びください。

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(集合住宅(アパート、マンション))
3. 賃貸住宅(一戸建て)
4. 賃貸住宅(集合住宅(アパート、マンション))
5. 社宅・寮
6. 間借り・下宿
7. その他()

(まちの住みやすさについておたずねします)

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。

「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物が便利 | 18. その他 () |

→付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。

「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 保険料や公共料金が高い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

子育て支援の推進

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 10. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(〇は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

高齢者福祉の推進

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(〇は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 全く感じていない

問 12. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 高齢者福祉サービスの内容を知らない

付問 1. なぜそう思うのか理由を記入してください。

()

障がい福祉の推進

問 13. あなたは太宰府市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

地域福祉の推進

問 14. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 15. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 16. あなたは太宰府市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

生涯健康づくりの推進

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドックを含む)を受けましたか。

(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けなかった

→付問 1. 【受けたと答えた方】におたずねします。あなたがこの一年間に受けた「健康診査」の項目を選んでください。(○は複数選択可)

- | | | | |
|--------------------|---------|--------|----------|
| 1. 健康診査(一般健診・特定健診) | 2. 胃がん | 3. 肺がん | |
| 4. 大腸がん | 5. 子宮がん | 6. 乳がん | 7. 前立腺がん |

【75歳以上の方だけにおたずねします。】

問 21. 医療機関が行う健康診査（個別健診）のほかに、市が行う健康診査（集団健診）があれば、そちらを利用したいですか。

1. 利用したい
2. 利用しなくてよい

問 22. 市では、40歳以上の市民を対象として、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していますが、ご存じですか。（○は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

付問 1. 【知っていると答えた方】で40歳以上の方におたずねします。あなたは、令和元年度に元気づくりポイント事業に参加しましたか。（○は1つ）

1. 参加し、ポイントを商品券と交換した
2. 参加したが、商品券と交換できるポイントまで貯まらなかった
3. 参加していない

防災・消防体制の整備充実

問 23. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。

以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。
（○はそれぞれ1つずつ）

- ① 3日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
 1. はい
 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
 1. はい
 2. いいえ
- ③ 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始などの災害情報の入手方法を知っている。
 1. はい
 2. いいえ
- ④ 家具の転落・転倒防止策をとっている。
 1. はい
 2. いいえ

問 24. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。（○は1つ）

1. 活動内容をよく知っている
2. 活動内容を一部知っている
3. 活動内容は知らないが、消防団があることは知っている
4. 消防団があることを知らない

防犯・暴力追放運動の推進

問 25. あなたは市内に住むことについて防犯の面で安心していますか。（○は1つ）

1. とても安心している
2. どちらかといえば安心している
3. どちらかといえば不安である
4. とても不安である

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記入してください。

{ - 7 - }

安全な消費生活の推進

問 26. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。
(○は1つ)

- 1. 被害を受けた
- 2. 直接の被害はないが不安を感じた
- 3. 特になかった

→ 付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。
具体的には、どのような被害や不安ですか。(○はいくつでも)

- 1. 架空請求・不当請求
- 2. 点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）
- 3. キャッチセールス・催眠商法による被害
- 4. 振り込め詐欺
- 5. その他（具体的に)

人権を尊重するまちづくりの推進

問 27. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

→ 付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。
(○はいくつでも)

- 1. 同和問題
- 2. 性別（男女）に関する人権
- 3. 子どもの人権
- 4. 障がい者の人権
- 5. 高齢者の人権
- 6. 外国人の人権
- 7. HIV感染者などの人権
- 8. その他（具体的に)

問 28. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。
(○は1つ)

- 1. 尊重されている
- 2. どちらかといえば尊重されている
- 3. どちらかといえば尊重されていない
- 4. 尊重されていない

男女共同参画の推進

問 29. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)

- 1. 同感する
- 2. ある程度同感する
- 3. あまり同感しない
- 4. 同感しない

問 30. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む]

（○は1つ）

1. 相談した
2. どこ（誰）にも相談しなかった
3. DVを受けたことはない

生涯学習の推進

問 31. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 32. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に3回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

文化芸術の振興

問 33. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生活環境の向上

問 34. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 35. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）

1. かなり守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. ほとんど守られていない

問 36. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

自然共生社会の構築

問 37. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 38. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。

(○は1つ)

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う

循環型社会の構築

問 39. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化たいひかに取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる
2. ときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

問 40. あなたは、不要な紙類(新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール)及び古布の資源回収を利用していますか。(○は1つ)

1. いつも利用している
2. たまに利用している
3. 利用していない

低炭素社会の構築

問 41. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動(節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど)を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

環境教育・学習の推進

問 42. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベント(環境フェスタ等)に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 年に2回以上参加した
2. 年に1回程度は参加した
3. 参加したことはない

未来に伝える景観づくり

問 43. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 45. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

計画的なまちづくりの推進

問 46. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 47. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

付問 1. あなたの家の近くにあれば便利だと思う施設がありましたら、具体的に記入してください。
()

地域交通体系の整備

問 48. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についてお尋ねします。

まほろば号は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 「まほろば号」を利用しないのでわからない

問 49. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 50. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

付問 1. 歩行者環境についてお尋ねします。

安全に歩ける環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

付問 2. 自転車環境についてお尋ねします。

安全に自転車を運転できる環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 51. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|---------|---------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス (まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他 () |

産業の振興

問 52. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

文化遺産の保存と活用

問 53. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 54. あなたは太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることをご存知ですか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

観光基盤の整備充実

問 55. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 56. 今後の太宰府観光に何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|------------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備 | 7. PR |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品 | 6. 市内交通機関 | 8. その他 () |

国際交流・友好都市交流の推進

問 57. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 58. あなたは太宰府市が大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. 中津市との友好都市締結は知っていた
5. どれも知らなかった

問 59. あなたは外国人や留学生、海外の姉妹都市、国内の友好都市とどのような交流がしたいですか。(〇はいくつでも)

外国人や留学生	姉妹都市	友好都市
1. 意見交換会	1. 市民訪問団への参加	1. 市民訪問団への参加
2. スポーツ交流	2. スポーツ交流	2. スポーツ交流
種目: _____	種目: _____	種目: _____
3. 文化交流	3. 文化交流	3. 文化交流
内容: _____	内容: _____	内容: _____
4. 語学講座	4. その他	4. その他
5. ホームステイ・ホームビジット	_____	_____
6. その他	_____	_____
_____	_____	_____

コミュニティ活動等への参加

問 60. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか (〇は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 61. あなたは自治会活動以外(問 60 以外)のボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

情報の共有化と活用

問 62. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 66. あなたは市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。
(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 67. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の1~33の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
施策01 子育て支援の推進 (子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 高齢者福祉の推進 (高齢者の介護予防や生活支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策03 障がい福祉の推進 (障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策04 地域福祉の推進 (地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策05 生涯健康づくりの推進 (健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策06 社会保障の適正な運営 (国民健康保険の健全運営、後期高齢者医療・介護保険適正運営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策07 防災・消防体制の整備充実 (防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策08 防犯・暴力追放運動の推進 (防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策09 交通安全対策の推進 (交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策10 安全な消費生活の推進 (消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進 (人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策12 男女共同参画の推進 (男女共同参画の啓発や男女が共に参画する機会の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策13 生涯学習の推進 (生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策14 社会教育の推進 (家庭や地域の教育力の向上、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策15 学校教育の充実 (学校運営・改善の支援、学校教育の内容や教育環境の向上、学力向上の推進、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策16 文化芸術の振興 (文化芸術活動の充実、市史の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策17 生活環境の向上 (生活環境の保全、環境マナーの向上と環境美化の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策18 自然共生社会の構築 (みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策19 循環型社会の構築 (ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策20 低炭素社会の構築 (省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

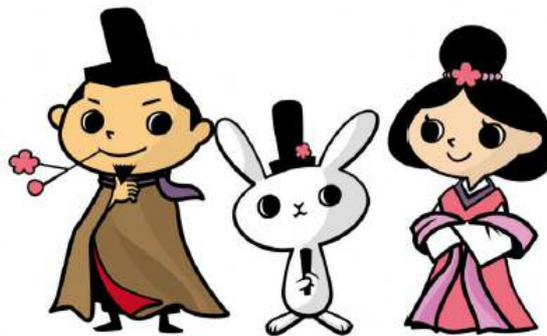
	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策21 環境教育・学習の推進 (環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策22 未来に伝える景観づくり (景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策23 計画的なまちづくり (秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策24 地域交通体系の整備 (幹線道路や市道の整備や公共交通の利便性の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策25 良質な水道水の安定供給 (水道施設の整備・維持や水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策26 下水道の整備と普及促進 (下水道施設の整備・維持や下水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策27 産業の振興 (商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策28 文化遺産の保存と活用 (史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策29 観光基盤の整備充実 (観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策30 国際交流・友好都市交流の推進 (国際交流活動の推進や姉妹都市・友好都市交流の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策31 市民参画の推進(自治基本条例の制定や地域コミュニティ、NPO・ボランティア、学校との協働)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策32 情報の共有化と活用 (行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策33 市民のための行政運営 (行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上、広域連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



美人のたびと

のびのびタビット

れいわ姫

◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、2月21日（金）までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

発行年月日 令和2年3月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601